

190
2

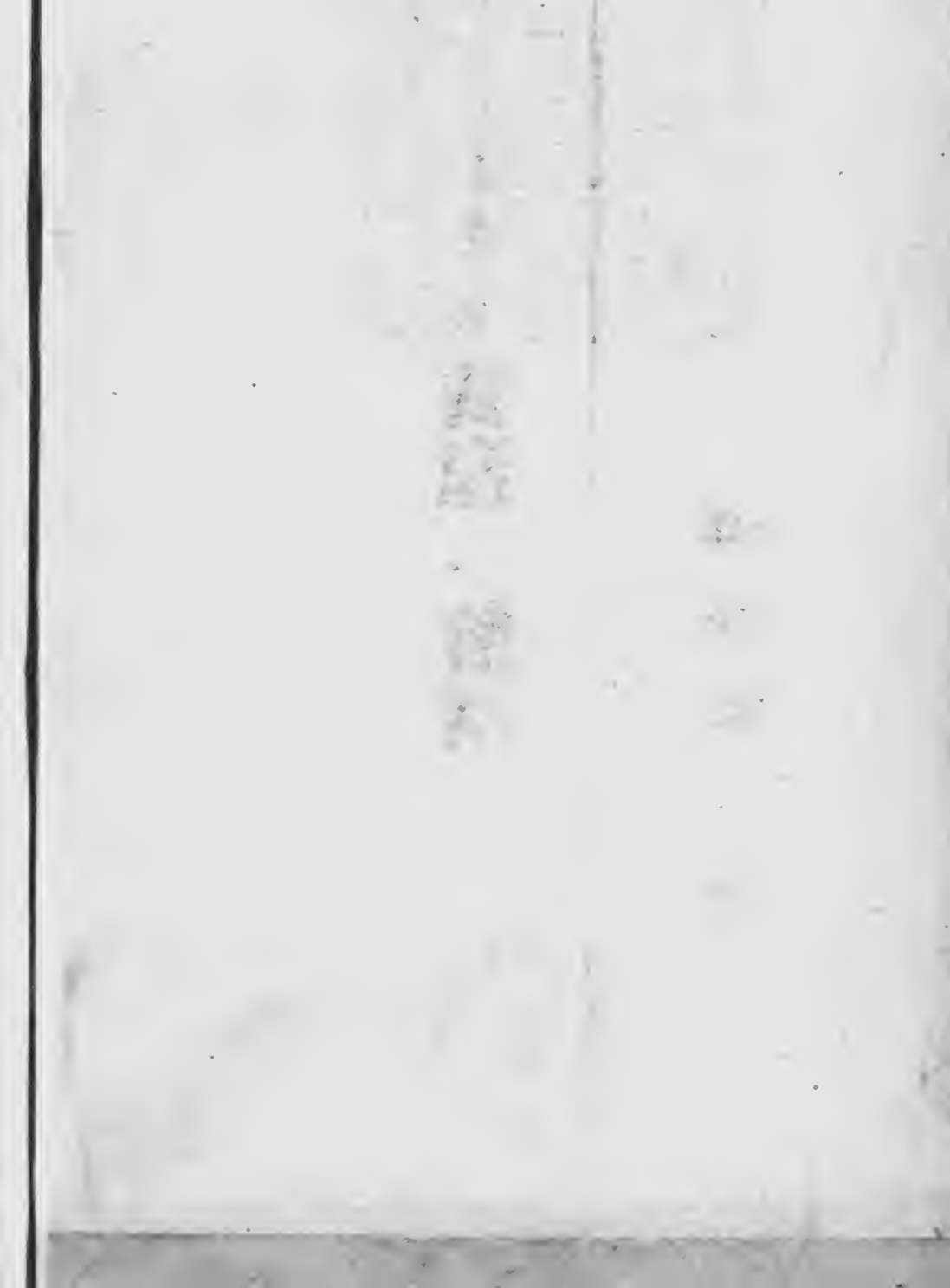
767
文雅
236



著三覺川森

アキナ 訓解の遺囑

社会式株
社ナ口コ

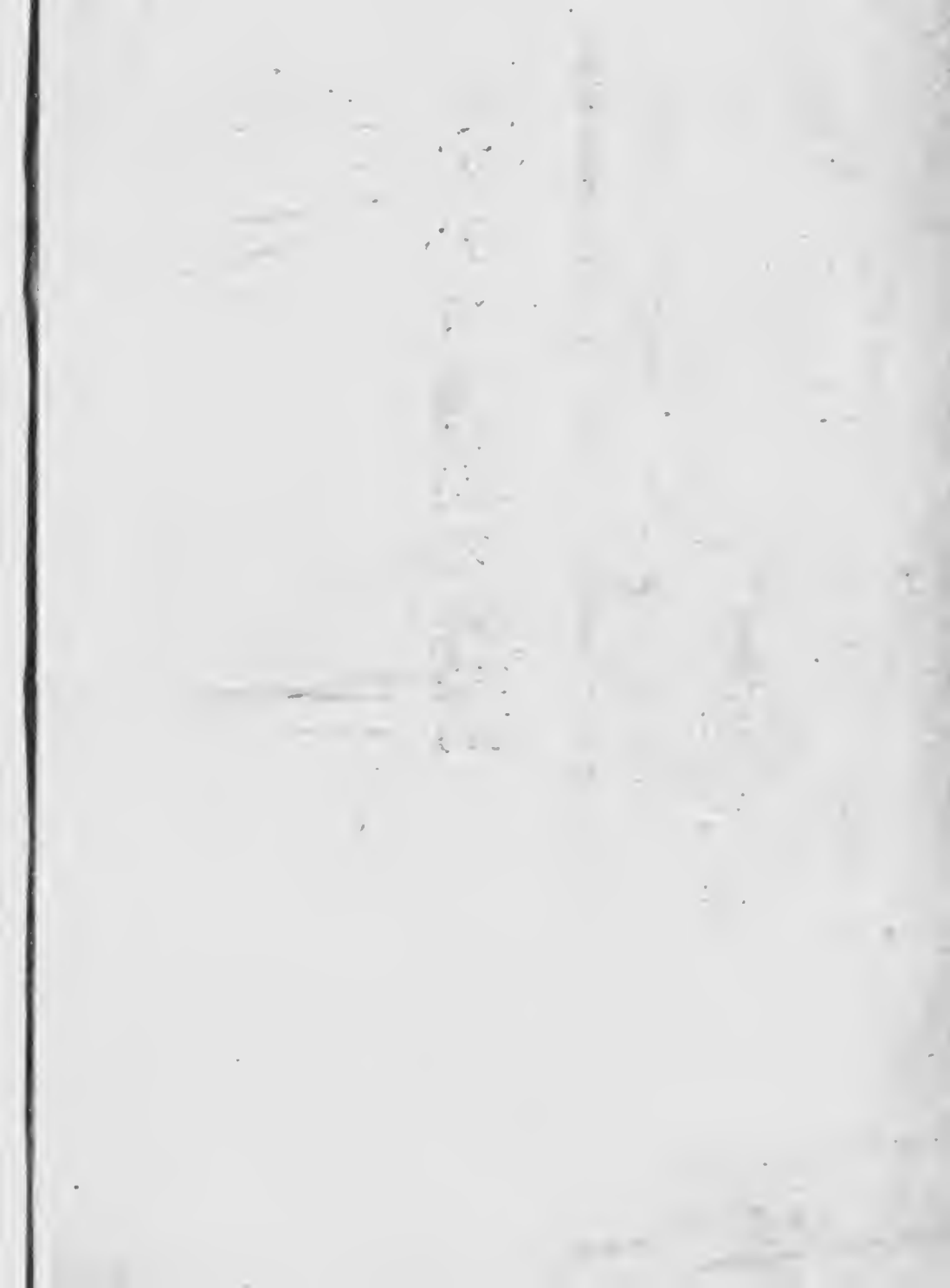




ナチス
獨逸の解剖

森川覺三著







by *Thom*





シャハト博士



自序

一九三〇年であつたかと思ふ。一 家族同伴で獨逸伯林に勤務して居つた私は、或る朝突然、當時四才で日本語よりも獨逸語の方を先に覺へた私の次男から、ハイルヒットラーと挨拶されて面喰つたのであつた。當時ゲッベルスをプロイセン州宣傳部長として、伯林市を中心とするプロイセン州一圓を猛烈な勢ひでナチス化せんとして居つたヒットラーの少年幼兒教化工作が、遂に第三國人の子供である私の幼い次男に迄乳母を通じて襲ひかゝつて來たのだつた。

それ以來私は當時の大部分の伯林人に冷笑されて居つたナチス運動が、全獨逸を征服する事は只單に時日の問題でしかないことを固く信するやうになつた。而してナチス運動に私かに興味を持ち、ゲッベルスやヒットラーの演說會にも努めて行つて見る事として居つたのだが、正直なところ當時の彼等の主張は餘りに粗野で、過激であるやうな氣持がして居つたのであつた。

一九三二年の暮に歸朝することとなつて丁度ボートセード迄來た時、第一黨となつたナチスが騒ぎ立て、ムシュライヒヤー内閣も遂に倒れたことを英字新聞で知つていよいよ今度こそヒットラーが出るであらう、若し出さねば内亂になるかも知れぬ。何れにしても伯林はかなりの騒ぎであらうと噂したことを記憶してゐる。

爾來七年、ナチス獨逸が、事毎に世界中を驚嘆させて強硬外交に成功を収めて行つてゐる裏に、六千萬民衆が、如何に苦しい努力を傾け盡して國力の充實に當つて居るかを、遠い滿洲の一角から種々に想像して居つたのであつた。

昨一九三九年初め、會社の命令に依つて再び獨逸へ行かねばならぬこととなつた私は、七年間に一變したであらう獨逸を見ることを唯一の樂みとして赴任したのであつた。

獨逸に着いた私は、この七年間に想像以上に見違へるやうになつた國內の諸相と意氣天を衝く慨のある獨逸民衆の氣持ちの激變を感慨深く眺めてゐる間に日が經つて、第二次世界大戰の序幕とも云ふべき獨逸の對波軍事行動の前後や、對英佛戰の物凄しい準備を現地で經驗するを得て、恰も前回はヴェルサイユ條約の苛酷な重壓に悩み抜く共和政體の獨逸と、その情ない狀態を自力で打破せんともがくナチスの苦闘を目のあたり見聞し、今回は又ナチス政治七年の跡を索ね、乘るか反るか國運を賭しての必死の獨逸の姿を頭に刻み込ま

れた様な結果となつたため、私自身としては異常なる印象を植ゑ附けられたのであつた。今春歸朝するや早々各方面に引張り出されて現地報告を求められた私は、是亦國民としての義務の一端と信じて極く概略をお話して廻つた。現在の吾々に數多くの示唆を提供してゐるナチス治政下の獨逸、殊にその經濟機構は何等かの參考になると信じたからである。

然るに講演と云ふ形式は、時間にも制限があり、又私自身としても生理的條件からの限度もあつて精々三時間半であり、それ以上は聞く方も喋る方も辛いので、何時も物足りない氣持ちが残つて居つた處へ、聞いて下さつた方々や速記録を讀んで下さつた方々から、彼の點、此の點と熱心に質問を受けるやうになつた。が然し、一々詳細に御返事することとも仕事を持つてゐる身の出來ない事である上に、更に荷物を整理中出て來たナチス發展史上貴重な寫眞の夥しい中に、公開し度いものも數多くあることを發見して、何とか方法のないものかと考へ始めたのが、柄にもない事ではあるが、單行本に纏めて見ようと思ひついた動機である。

只豫め讀者の御了解を得て置き度いことは、私は元來この種の著述等には凡そ縁の遠い一技術屋に過ぎず、且つ又兩度の獨逸在住に於ても、何れもこの種の調査を目的として行

つたわけでもないので、文章の拙いことは勿論である以外に、觀察が一方に偏してゐる點もあるであらうし、又視野の狭い缺點もあるであらうと云ふ點である。要は、上述の通り過然ではあるが、ナチス以前と以後の獨逸を比較して見聞し得るやうな時期に獨逸に居つたために、ナチスが、如何なる方策であるの貧困のドン底に沈んでゐた獨逸を、僅か七ヶ年と云ふ短い期間に驚異に値する現在の獨逸に築き上げて來たか、又現在の獨逸が具體的にどれ程の境地に達して居るか、と云ふ點を寫眞と圖表と數字の助けを借りて出來得る限り平易に讀者諸君に御報告して、讀者の從事せらるゝ専門に於て、幾分でも御參考に供したいといふのが、私の眞意である。

時恰も各種物資の入手困難な時に當つて數多くの寫眞を出來るだけ鮮明に再現し度いために、三菱製紙の信貴重役に縋つて大變無理な御願ひを馳き入れて頂いた。

この貧弱な小冊が世に出でて紙質の上で幾分でも氣持よく見て頂けるとすれば、全く同氏の御好意に據るものであることを特に附記して、心からの感謝を表し度い。

始めて獨逸の地を踏んだ當時から嚴格な指導と鞭撻を賜つた、私としては、師と仰いでゐた故野間恭一郎先生の靈に此の一書を捧げたいと思ふ。

昭和十五年七月

著者 識

目次

第一章 第二次歐洲大戰の序幕

第三次歐洲大戰の前夜——在留邦人の觀察——リッペントロップ外相の暗躍と獨逸不可侵條約の成立——ソ聯の眞意

對ポーランド軍事行動——ヒットラーの遺言——獨逸軍事行動の果敢振り——ヒットラーの對英佛大放送——獨逸軍の建設的攻略作業——ポーランド短期崩解の眞因——獨逸技術團のポーランド再建設の迅速振り

獨逸對英佛軍事行動の多眠事情——英佛首腦部の過怠——ヒットラーの誠實と精神集中

第二章 ヒットラーの生立ちよりナチスの誕生迄

ヒットラーの幼少時代——ヒットラーの生家——ヒットラー孤兒となる——ヒットラーの獨學と當時の勞働社會——世界共產主義の擡頭——ヒットラー奧太利を見捨てミュンヘンに移住す——異常なるヒットラー理念の發育と大戰の勃發

ヒットラー出征を志願す——第一次世界大戰の推移——獨逸統後の苦惱——獨逸内亂勃

種と大戦終結——ヒットラーの懊惱と骨に徹する復讐心——ヒットラー、ミュンヘンに還る——祖國の激變せる状態にヒットラー憤激す——國內更に一轉、ヒットラー再び兵營へ迎へらる——獨逸労働黨七人目の黨員となる——獨逸労働黨漸く活氣附く——共產黨との對立激化とS・Aの誕生——ナチスの誕生——ナチスの二十五綱領

第三章 戰後獨逸の一般事情 五〇

實行不可能なヴァルサイユ平和條約の強制——慘憺たるインフレの襲來——ナチスの成長と其の環境——ヒットラーの十一月革命前後——ヒットラーの獄中生活

第四章 ナチス再組織 六五

ヒットラーの出獄——青年層の狂喜——ヒットラー箝口令——無言ヒットラーの努力——S・Sの誕生——ヒットラー箝口令の解除——ナチス黨員の激増と相次ぐ黨大會——ヒットラーの全國的活動初まる——ナチス州指導者制の創設とゲッベルス拔擢——ゲッベルス伯林の死聞——ホルスト、ベッセルの死——ヒットラーの青少年教導事業

第五章 ナチスの全國的擴大より政權把握迄 九四

インフレ後の獨逸國內事情——中間景氣來る——經濟恐慌來と失業者激増——全國的ナチス化運動の躍進——ナチスの議會進出——第一回總選舉戰の失敗

ナチス議會進出漸く外國の注意を惹く——獨逸政界多事となる——第二回の總選舉——
第一黨となる——經濟危機來襲——第一黨ナチスの行衛——ヒットラーの伯林私政府時
代——ヒットラーの大統領選舉立候補——中間内閣の出現——パーベン内閣倒れ、再び
中間内閣現はる——遂にヒットラー内閣生る

第六章 ヒットラー獨裁より總統制の出現迄

.....一三七

黨發展犧牲者へのヒットラーの誠實——ヒットラー内閣の難航と共產黨處理——飽迄合
法的な獨裁權要求——共產黨の徹底的撲滅と勞動戰線組織——共產黨以外の政黨の崩解
作用——ヒットラー内閣の改造——國家的建設事業の一齊開始と失業救済——獨裁體制
の強化とヒットラーの憤み——ナチス内部結束に努力するヒットラー——國家的建設事
業に對するヒットラー總統の熱意——政治大學の創設——聯邦の解消と中央集權の達成
——ナチス黨旗の國旗化——ヒットラー總理全國民に其の信任を問ふ——猶太人整理
事業——聯盟脫退事情——黨内外の肅清工作
ヒンデンブルグ大統領の薨去とヒットラー總統制の出現——ナチスの國家機構

第七章 ナチス獨逸の經濟政策

.....一八三

ナチス經濟前後の比較——
ナチス經濟政策の比較——博士を拔擢す——シャハトの考察——シャハト博士通
貨代用品を創案し信用膨脹政策を執る——シャハトの指導經濟機構——ナチス指導經濟

七ヶ年の數字的變遷と其の内容の説明——歐洲各國と獨逸の軍備投資額の比較——輸出
入の變遷と其の内容——國內工業力の發展模様

第八章 在外商工會議所の活躍……………二〇五

假想學例の一

假想學例の二

假想學例の三

兵機類の製造權

第九章 職能組合及び専門家團の國內的活躍……………二二一

職能組合の構成

經濟指導事務の運用と目標

第十章 ナチス獨逸の物價政策……………二二七

シャハトの考へ方と機構

物價構成管理國家委員の權能と物價維持の方策

輸入原料類價格に對する方策

第十一章 シャハト博士とフンク博士の交迭事情……………二二二

失地恢復の積極化と其の資金要求——ナチスの憤みとシャハトの後任者難——國防軍主
國部の改造——若冠フンク博士經濟相に任命さる——租稅證券の發行——ナチス獨逸國
家財政の數字的變遷——第二次大戰勃發直前の獨逸財政

第十二章 ナチスの國家事業……………二二九

廣範圍の軍備擴充と國力涵養の併行——軍民協調に對するヒットラー總統の用意

自動車専用道路網計畫——自動車専用道路に對するヒ總統の熱意——トッド博士の計畫
と建設機構——國鐵動員の妙案——専用道路の規格と交通規則

専用道路の構造と使用資材の一例——自動車専用道路の現在と其の廣汎なる規模——自
動車専用道路の目的

運河改修事業——ニードーフキーノの揚船裝置——運河網の完成に依る利益

勞働者及び下級勤勞者の生活改善運動——勞働者の生活狀態とヒ總統の理想——新殖民
地運動——新住宅群建設の効果

ナチス獨逸の再軍備宣言と急速軍備擴充——政權把握と同時に始めた慎重な軍備——再
軍備宣言後の用意——空軍の大擴張——森の中の地下工場——獨逸空軍の人的構成——
全空軍の威容——獨逸空軍の比較——開戦後の擴充

ジークフリート要塞線の構築——實際起工の年度——要塞の具體的施設——構築費用と

失業救済

第十三章	ナチスの農村政策	二八五
------	----------	-----

第十四章	文化事業	二八七
------	------	-----

第十五章	労働戦線の成功と労働者優遇策	二九〇
------	----------------	-----

労働戦線と労働組合の相違——労働戦線の全国的構成——労働戦線の擴大化——労働戦

線の事業と歡喜力行運動

KDF船の一例と其の利用

労働者の保護と資本家の喜び——戦時に於ける效果

第十六章	義務労働制度	二九六
------	--------	-----

義務労働制に對するナチスの目標——其の機構——土への労働——義務労働制の規定

——男子労働の配置——義務労働の效果の一例——義務労働の軍備的豫備教育

第十七章	ナチス少年團	三〇七
------	--------	-----

ナチス少年團の起源——少年團の全國化と其の總指導者——學校教育との調和と其の限

界——獨逸の初等教育重要視の程度——少年團の夏季旅行——軍隊準備教育

第十八章 政治學 校……………三二五

ヒトラー總統の考へ方——指導者學校とヒトラー學校

第十九章 精神入替所制度……………三一七

ヒットレリズム反逆者の矯正——今尙反抗者のある理由——精神入替所と監獄との相違

第二十章 黨 の 耳……………三二一

第二十一章 戰時體制に於けるナチス獨逸の物資統制……………三二三

フリック内相の放送——統制品の一時的賣止め——切符の詳細——織物、皮革類の切符配給の實狀——切符統制勵行の三段構へ——ナチス細胞組織の活躍と其の歴史——切符統制の配給量——自由消費時代との比較と民衆の態度——政府の耳の活躍とその敏速なる處置——筋肉勞働者の不平と政府の處置——國民の分類と配給量案配の妙味——筋肉勞働者の生活實相——配給量の科學的統制——獸肉代用魚肉獎勵の實際——切符統制違反者處罰の實例——纖維類、皮革類統制の是正——石鹼の統制——食料品統制の裏面

第二十二章 生活必需品以外の物資需給狀態と其の戰時體制……………三三三

鐵及び鋼——戰前の狀態——開戰と同時に採つた方策——ポーランド征服後の早業——

— 8 —
鐵から見た獨逸の長期戰に對する勘定

非 鐵 金 屬

輕金屬需給關係

燃料問題——固形燃料——液體燃料と自動車の統制——ガソリン需給關係

戰時燈火管制の徹底振り

第二十三章 ヒットラー總統の私生活……………三七〇

第一章 第二次歐洲大戰の序幕

第二次歐洲大戰の前夜

一九三九年の八月、氣持のいい北歐の夏の日、晴天続きで眞晝は少し汗ばむ様な事もあつたが朝夕は丁度日本の初秋を思はす様な爽やかな冷氣を覚え、生きとし生けるものに生甲斐を感じさせる様な氣候であつた。

それにも拘はらず伯林市民は鬱々として楽しむ事の出来ない状態に置かれてゐた。英佛の軍事委員が露都モスコウ市に腰を据ゑて露骨な獨逸包圍態勢を英佛ソ軍事同盟締結に依つて完成せんとして居り、恰も此の同盟が今にも出來上る様な宣傳を續けて居つたからだ。それ迄ソ聯を下品に扱き下す事に依つて獨逸民衆の喝采を呼んでゐた宣傳大臣ゲッペル

1) Göbbels

スも何うしたものか一向ラヂオに出て来ない、政府も黨本部も無氣味な沈黙を守つてゐる、オースタリーやチェッコをあれ程手際よく一兵にも顧みずして征服したヒットラーだ、必ず又妙手を打つに違ひないと信じてはゐるものゝ、今度はソ聯が一枚加はつて掛つて來るとすれば丁度一九一四年の第一次世界大戦其の儘の状態になるのぢやないか、と云ふのが其の頃の獨逸人有識階級の心の中の心配であつた様だ。

在留邦人の觀察

在留邦人の多くはナニニ戦争なんかになるものか、英佛も獨逸も戦争には懲り／＼してゐる筈だし、獨逸だつて戦争する用意は未だ／＼出來てやしない、お互にラヂオ宣傳戦でもやつてお了ひだらうと考へてゐる間に段々日が經つて、二十二日午後になると突然外相リッペントロップが露都モスコへ飛ぶ事や重大なる結果が招來されるであらう事が放送され、民衆が相當亢奮してゐる間に二十三日朝、全く民衆の豫期に反して獨ソ不可侵條約の成立が勝鬨の鐘の如くに放送され、民衆は何が何だか判らないまゝに亢奮の坩堝に放り込まれた。利己主義的な考へ方が當り前である獨逸民衆は、つい昨日迄ソ聯とかボルシェビキとか云へばまるで人類の仇敵の如く云つて居たのをケロリと忘れて、もうこれで歐

洲に當分戦争はない、獨逸とソ聯が手を握つた以上は英佛なんかは問題にならない、無論獨逸へ掛つて来る筈もない、矢張りヒットラー總統は偉い、ハイルヒットラーと云ふわけで無暗に喜んでゐる間に英佛對獨の戦争不可避の情勢が急激に展開して來たのは誠に皮肉な事實であつた。

リッペントロップ外相の活躍

モスコへ飛んだ外相リッペントロップも神ならぬ身の獨ソ不可侵條約成功に依つて和平解決の端緒を掴み祖國に重大な手柄を立てたとも思つたのであらう、恰も凱旋將軍の様な氣持ちで歸つて来る、伯林空港テムベルホーフ¹⁾へ着陸する間際をニウス映畫の寫眞班がカメラに納めて直ぐ翌日からデカ〜と映すと云ふ騒ぎであつた。この獨ソ不可侵條約締結は世界の隅々迄殆ど信すべからざる事が起つた様に響き渡つた事は勿論であつたが、獨逸人自身にも少くも有識階級には説明し切れぬ謎を與へた事は事實で、ナチスの主張とは全面的に相容れぬ筈のソ聯と如何に窮餘の秘策とは云へ握手すると云ふ事が、手近の問題を解決するにはなる程絶好且つ唯一の手段ではあらうが何れはナチスの高唱する獨逸第三帝國建設の大目的に非常な障害になるのではなからうかと云ふ、一抹の暗影を投げかけ

1) Tempelhof

た事是否み難い眞實の氣持であつた。

其の當時傳へ聞いた處ではヒットラーも其の側近者に日獨伊軍事同盟が出来れば效果百パーセントで、英佛ソ軍事同盟が假令成立しても問題でないが、肝心の日本に國論即決、秘密嚴守が望めない現状ではソ聯を英佛に奪取さるゝ事は獨逸としては到底忍び得ざる處で、ソ聯と今更結ぶと云ふ事が自分の從來の主義主張と如何に矛盾が多いとは云へ、又結んだ結果が五〇の價值しかないとは云へ、絶對絶命の問題と考へた云々、と洩したと云ふ事であつた。

要するにナチス幹部としては何事に對しても左様である様に、此の場合にも最惡の場合の二正面作戰の危險を避ける爲、主義主張の上での非常な犠牲と、貪慾なソ聯に對しての最大の物的讓歩を敢てして漸く一方の活路を見出したものである事と、發表は突然であつたが實は可なりの以前から執拗に工作してゐた事だけは間違ひのない處であらう。

ソ聯の眞意

然らば英佛の軍事専門委員をモスコに呼び付け、英佛ソ軍事同盟に就き日夜交渉を重ねて居つたソ聯は、一體何を目標として居つたか、又英佛軍事委員は長い間モスコに滯

在して居つてソ聯の眞意も獨逸の工作も何れも少しも氣が付かなかつた等と云ふ事は一寸考へられぬ事で、毎日何を考へ何をして居つたかと云ふ事になるが、其處が老獺なるスターリンであり、一切が秘密の幕に包まれて居つて、物事を判然さすことの出来ないソ聯であつて、強ひて理窟を附けるならば矢張りソ聯の最も恐ろしいのがナチスの獨逸であり、一番欲しいのが獨逸の精巧な機械であり、假令一時的にでも獨逸と握手し度いのだが、正面から積極的に獨逸に接近したのでは相手も相當な者、踏み倒される事は判り切つてゐるので取引を出来るだけ有利に導く爲、及び萬一豫算が狂つた時の第二候補として英佛を利用し又控へに取つて置くと云つた打算から手玉に取つて居たと云ふのが眞相ではなからうかと思はれる。

何れにしても茲に物の憐れを止めたのは英佛の軍事専門委員で、自國では夫々相當な地位の人々であらうがまるで自國民から馬鹿と無能の標本の様に思はれつゝ悄々引上げて行つたと云ふ事である。

此の獨ソ不可侵條約成立を境として、流石のナチス幹部も敵情視察が全く狂ひ出し、有頂天になり始めそれ迄、ラヂオに、新聞に、凡ゆる機關を通してポーランドに對して要求して居つたダンチツと自由市の回收と、ポーランド廻廊を横切つて獨逸領である東プロシ

ヤへの鐵道線路と、自動車専用道路を付けさせると云ふ要求を一舉にダンチヒの回收は勿論の事鐵道線豫定地より海側の方は全部獨逸へ返還しろと要求を擴大し、相手もあらうにポーランドに對して援助を約してゐる英國に其の仲介を頼んだのである。駐獨英國大使ヘンダーソンは形式的に本國へ往復したが獨ソ不可侵條約の成立以來最早一戰不可避を覺悟してゐる英國の承知する筈もなく、仲介の勞を取る事を拒絶した。英國が多分左様出るであらうと豫想して居た獨逸は、今度はポーランド大使を呼んで直接平和解決の交渉をしたいから全責任者を伯林に寄越せと申入れると、ポーランド大使は直ぐ歸國した儘歸つて來ない。愈々國際關係は緊迫の度を加へて來たが、獨逸民衆は未だ希望的觀察をして居つて、此の次にはヒットラー總統が何んな妙手を打つであらうかと噂して楽しい夢を見續けてゐた八月二十八日の午後、内相フリックの放送に依り突然生活必需品の切符統制が實施せられ、獨逸民衆も漸く事態重大化を感じて心配してゐる間に三十、三十一の兩日が無氣味な沈黙の裡に過ぎたのであつた。

對ポーランド軍事行動

明けて九月一日となると午前五時頃であつたか、伯林市民の夢は多數の飛行機の爆音に

1) Henderson

2) Dr. Frick

依つて破られた。スワと許り街路へ、又はバルコニーへ出て見ると、晴の薄霧を突いて非常な高度で無数と云つて宜い程の多くの飛行機が西から東へ東へと飛んで行くのであつた。私の見た時は殆どバルコニーから仰ぎ見得る天空の面積は全部と云つて宜い程、飛行機で埋められ盡して居つた。いよ／＼やつたなと思ふと共に何とも云ひ様のない胸震ひを感じたのであつた。午前十時になるとヒットラーは吾が獨逸民衆に告ぐと云ふ呼掛けで四十分に亘る大放送をし、いよ／＼ポーランド軍事行動を開始する宣言を發し、玆に第二次大戦の幕を切つて落したのであつた。越へて九月三日になると英國は二時間以内の回答を條件とする最後通牒を獨逸に送り、是に對してヒットラーは一時間に亘る大放送を行つた。

ヒットラーの遺言

勿論英國の要求を撥ね附けると共に自分も昔の兵士であるから前線へ出動す、若し自分が戦死した場合は¹⁾ゲーリング空相を、ゲーリングも戦死した時は²⁾ヘッスの後繼總統として國民是れに従ふやう、ヘッスも死ぬと云ふ様な場合が萬一にも來たらば其の後の總統は國民一同よく相談して選ぶやうとの悲壯な遺言を残して前線に出て行つたのであつた。

1) Hermann Göring

2) Rudolf Hess

翌四日には佛國は英國との軍事同盟に従つて對獨宣戰を發し、第二次大戰の完全なる體系に入つたのであつた。

獨逸軍事行動の果敢振り

獨逸の對波軍事行動は今では衆知の如く極めて簡単に短時日に梟が附いて了つたが當時在獨邦人は勿論、恐らくは在歐邦人全部左様であつたと思はれるが、ポーランドも歐洲では軍隊の強い國の一つであつて、文化の程度が低いだけ剽悍な民族と云はれて居り、又其の軍備に於ても相當なものを持つて居つたし、飛行機も大して優秀ではないが自國產の相當なるものを持ち、軍用飛行場も可なり持つて居つたので、先づ少くも二ヶ月位は持ち應へ得るであらう、其の内にはスローモーションの英佛も救援に赴き、従つてポーランドとバルチック海に於て陸海空の大激戰が展開されるであらう、此の場合ソ聯が何う出るか、獨逸と不可侵條約を結んだ許りのソ聯ではあるが、戰爭の進展に従つて何う出るか知れたものではないと云ふのが一般的の考へ方であつた。

當の相手國たるポーランド政府當局も自惚れも手傳つて、右の様な或はそれ以上の考へ方をして居つたに相違ない。

獨逸人自身もナチス治政七年に依つて非常に國力の充實してゐる事を知つてゐるが故に或は左様教へられて居るが故にまさかポーランドに負ける筈はないが、英佛が加はり又ソ聯の出方次第に依つては相當苦戦になるのではなからうか、殊にヒットラー總統の政治的睿智の数々、外交上の駆引の上手はいや程見せ附けられて居るので、此の點不出世の英雄であり、彼の第二帝國を一代で建設した¹⁾ビスマルク以上であるとは常々口にしてはゐるものゝ、實際の戦争にかけては未だ全然未知數であると云ふので口には出さぬものゝ心の中心では皆非常に心配して居つた事も事實であつた。

然るに大本營より日々ラヂオに依つて國民に告げらるゝ獨逸軍の進撃振りの迅速と、其の出處進退は事毎に常識的豫想の意表に出で、ポーランド軍は見る間に寸斷され、包圍され、殲滅され、ポーランド政府は轉々蒙塵、約二週間にしてルーマニヤ國境を越えて逃げ出す、氣懸りだつた英佛は一向出て來ない、九月十九日になると問題のダンチッヒ自由港は完全に獨逸に復歸し、ヒットラー總統が乗り込んでラヂオ大放送を試みた。

ヒットラーの對英佛大放送

曰く、これで獨逸の對ポーランド軍事行動の目的を達したから獨逸としては是れ以上實

1) Bismark

力行使の意志はないが、英佛が獨逸民族の存在を呪つて尙戰爭を続け度いと云ふなら御相手をしよう。三年が五年七年でも御相手をしよう、何時迄やつても獨逸は決して屈服しないのみならずお前達の知らない新鋭武器があるからそれを使つた時に人道問題を口にするな、戰爭繼續の責任はお前達にあるのだから、と胸の透く様な恫喝を放送する事によつて、英佛を威嚇して萬に一つの和平の機會を掴まんとすると同時に、第二次歐洲大戰が繼續された場合の責任を巧に英佛に轉嫁せんとし、又一方國內民衆に對してナチス政權は斯く迄して戰爭を回避して和平を提案しつゝ獨逸の要求だけは通さんと努力して居るにも拘はらず英佛は獨逸民族の存在迄も呪つて居る爲戰爭を繼續しようとしてゐるので獨逸は自衛上已むを得ず戰はねばならなくなつたのだと云ふ、民衆教育を兼ねた含みを多分に持つた一石三鳥の大演説をやつたのであつた。

勢の赴く處無論英としても左様で御座いますか、と引下がる事も出來ず、又當時獨逸の國內事情を研究する事の不充分であつた英政府は第一次大戰と同じく經濟封鎖に依つて獨逸を遅かれ早かれ參らす事が出來ると云ふ理由のない夢を見續けて居つて、よもや自國陣營が矢繼ぎ早やに破られる等とは夢にも考へて居なかつた爲に、このヒットラーの大演説に對應して直ちに當時の英首相チュームバーレン氏は徹底的にナチス政權腐蝕を叫んで是に

答へ、恰も英獨共ラヂオに依る言葉の上の應酬のみを繰り返し、第三國に對しては双方共本當に戦ふ意志がないのではないかと云ふ様な淡い失望を感じさせながら實際はナチス政權は勿論獨逸民衆の英國に對する骨に徹る様な深い戦意を培養しつゝあつたのである。

獨逸軍の建設的攻略作業

この九月十九日のヒットラーのダンチヒ市に於ける大演說以來、獨逸の對波軍事行動は破壊的行動より漸次建設的行動に移り、波首都ワルソー市に立籠つた波軍團に對しては數回手を替へ品を換へて降服を勸告し、或は在留外國使臣及び其の家族の救出に努力して成功し、其の後に尙抵抗せんとした同首都を猛烈に砲撃並に爆撃して遂に降服せしむる等の事もあつて、九月末に至つて遂に全波蘭土を完全に征服、軍事行動開始後半月にして重要據點全部を、一ヶ月にして完全にポーランド全軍を征服して了つて其の迅速果敢なる成果に全世界を驚倒せしめると云ふ實狀であつた。

ポーランド短期崩解の眞因

茲で一寸書き添へ度いのは何故に波蘭土は斯くも簡単に慘敗したか、それ程勝敗の數明

らかであるにも拘はらず何故に獨逸に又向つたかと云ふ點である。

これには種々の事情があつた様で、第一に考へられる事は元來最近迄の波蘭土政權が完全に同國の軍閥によつて占められて居つて、各大臣殆ど全部軍部出身者乃至は現役軍人であつた。歴史の教ふる通り、歐洲各國の軍部政治と云ふものが世界の大勢を見誤り、自惚の混つた自力過信が國を誤ると云ふ事實は昔も今も變りがない。第一次大戰に於ける獨逸が其の一例であり今回の波蘭土が他の一例であつた。無論獨逸に勝てると迄は考へなかつたらうが、少くとも四ヶ月乃至半年位は持ち應へ得る、其の間に英佛も救援の手を伸べて呉れるであらう、それから先は時の運位に考へて居つたのではなからうかと考へらるゝ節が多分にあつた事である。

第二に考へらるゝ事は衆知の通り波蘭土と云ふ國が有史以來四回も國が興り又亡びた國柄であり、祖國の滅亡に他國よりは慣れてゐると云ふか、癖が附いてゐると云ふか、政府も民衆も無意識に心の用意を持つて居つた點である。

それが獨逸に又向つて萬一慘敗し亡國の悲運に逢着しても、それに依つて再び世界大戰に導く事が出来るであらう、その結果獨逸が再び最後に敗亡するであらう、然らば平和會議に於て再び波蘭土は前通り、或は以前以上の大きな領土に依つて國を再興し得るに違

ひないと云ふ様な飽迄他力本願的な巧利的な考へが底にあつた事は否めないと思はれる。

第三に考へられる事は、波蘭土も英佛と同じく敵狀視察が不足して居つて、獨逸の軍備の猛烈さがよく判つて居なかつた——無論是れは後段で述べるが判らない方が當り前である程、ナチス政權の平時の用意周到さが効果を擧げて居つたものではあるが、全然判つてゐなかつた様であり、一方自國の軍備が軍政に近い政治を續けて來た爲に波蘭土としては國を擧げて軍備に努力して來て居つて、第三者から見れば大したものではなかつたが純自國製の飛行機も持ち軍艦も持つて居る。總動員に依つて三百五十萬の大兵備を整へ得た。獨波國境にはマヂノ線程ではないが要塞線も構築してゐる。又波蘭土陸軍は歐洲では佛陸軍に次ぐ強い勇敢な軍隊である事は定評となつてゐる。波蘭土政府が自惚に陥つたのも幾分無理からぬ點もある。しかも政府當局が殆ど全部軍部出身者で世界狀勢に暗いと來て居つたので自力を過信したと云ふ點も確かに見逃せない事實であると考へられる。右の様な理由から平和解決をすべかりし、又それが極めて容易であつたにも拘はらず遂に自から破局に導いたのであつた。

軍事行動を開始した當初、獨逸の執つた作戰がまた精確な點に於て實に驚嘆すべきものがあつた。獨逸が波蘭土國境に集中して居つた兵力は約百五十萬と云はれてゐる。其の

軍隊が直ぐに波蘭土に雪崩れ込むかと思ふと案外にも鳴を潜めてゐて、其の代りに九月一二三日間は獨逸の優れた空軍が約二千機出動して猛烈な空襲に依つて數多くあつた波蘭土空軍基地を完全に叩き潰した。飛行機も全部用を爲さなくなつて了つたのを見届けて漸く全面的攻勢に出たのであつた。

又東プロシヤに接する波蘭土領土は低地で、しかも七八の兩月は雨期である。毎年此の邊一體夏から秋にかけて湖沼地帯と化して軍事行動等は夢にも考へられない處であつたので波蘭土は何等の軍備施設もして居ないのであつた。

然るに昨一九三九年に限つて七八兩月に亘つて一滴の雨も降らない、湖沼地帯になる筈の一體の地が干上つてカラ／＼になつて居る事を充分に調べて居つた獨逸は海上輸送に依つて機械化部隊——と云つても現在の獨逸陸軍は全部機械化されて居つてテク／＼歩いてゐる様な兵隊は一人も居ないから陸軍の一部と云ふべきであらうとは思ふが——其の機械化部隊を極秘で東プロシヤの唯一の港¹⁾ケ、ニヒスベルグに陸揚げして待機させて居たのを軍事行動開始と同時にすつと波蘭土領に進めたのであつた。若し波蘭土にして少しでもこれに備へて居つたら此の東プロシヤから進入した獨逸軍は恐らく全滅の厄に會つたのであらうが毎年湖沼地帯となるので吞氣千萬にも開け放しであつたので文字通り無人の境を行つて物凄く進軍する、波蘭土軍部が氣が附いた時分には既に此の進入軍隊がワルソーの背後

1) Königsberg

に迫つて居つた様な實情で、從て獨波國境から九月四日漸く進入して來た獨逸軍に對抗すべく布陣して居つた波蘭軍は數日にして完全に腹背に敵を受けねばならぬ様な狀態に陥り開戦四五日にして既に大勢は決定、波蘭土軍は絶望的な抵抗を繰り返さねばならぬ様な憂目を見、從つて戦果に於ては三百五十萬の大軍が百五十萬の獨逸軍に散々に包圍され、遂に一ヶ月にして八十萬の戦傷死と二百七十萬の捕虜を出した上、亡國の悲運を招いて了つたのである。これに對して獨逸の犠牲は約三萬五千と發表されてゐる。

老獪なのはソ聯で、獨逸の實力行使に依つて大體波蘭土が無力となつた時、ソ聯の軍隊は默々として國境を越へて波蘭土へ進入して、一兵をも唄らずして第一次大戰前の國境、即ち波蘭土領土の約半分を其の手に納めたのであつた。

獨逸技術團の波蘭土再建設の迅速振り

斯くして一ヶ月の短時日で完全に波蘭土を征服した獨逸は、夫迄に豫め用意して置いた¹⁾ルール地方の鐵鋼石炭工業中心地から選抜した技師職工熟練労働者隊を直ちに波蘭土領内の工業地、即ち獨逸の上シ²⁾ュレージャ州に隣る舊波蘭土領工業中心地へ急派して十月一日から其の地方の工場を動かし煙突から煙を上げる。又百五十萬の軍隊は捕虜と共に獨逸

1) Ruhr Gebiet 2) Ober Schlesien

本國へ續々歸還して来る。前線に出動して一兵卒と艱難苦勞を共にしたヒットラー總統

はゲーリング元帥其の他を従へて伯林へ凱旋して来る、伯林市民は熱狂してこれを迎へると云ふ湧き返る間にナチス黨部の軍隊であるS・A（暴風部隊又は突撃隊と云つて元來ナチス結黨後反對黨がナチスに加へるテロ行爲に對抗して他黨にテロ行爲を以て酬ひ、ナチス黨を守る部隊であつたが、ナチス國內統一後は國防軍の補助並に警察力の補給乃至監督の役目に轉化し無數の青年を養つてゐる）及びS・S（親衛隊又は保護隊と云つてヒットラー近衛兵に相當しS・Aが積極的であるに對して防衛的な使命を持たされて居つたのであるが、氣の早い青年を多く有してゐるが爲に現在では却つてより激しい行爲をやるので民衆から恐れられて居る）が入れ替つて續々波蘭土へ進入し、多數の捕虜を使つて着々戰禍に依つて破壊された都市や道路や橋梁の修理に着手し、其の計畫的な且つ敏速な整然たる建設實行には第三國人を驚嘆させたものであつた。

對波獨逸軍事行動は以上の如く九月一杯を以て一段落付いたのであつたが、其の後は世界の期待を裏切り、獨逸軍は動かざる事泰山の如く、無論國內的には軍用各機械の修理、軍隊の短期休養後の敏速なる西部國境への移動等はあつたが對英佛軍事行動は一向開始されな

獨逸對英佛軍事行動冬眠事情

例年十月初旬から漸次北歐一體濃い雲に覆はれ、曇天許り續いて四月初旬から漸やく太陽が薄く差し初めるのであるが、昨一九三九年に限つて晴天續きで十一月中旬迄青空が毎日の様に仰げたのであつた。此の間獨逸潜水艇が英本土北端の島の奥にある軍港スカパフローに潜入して英航空母艦¹⁾ロイヤルオーク號を見事に撃沈し、辛苦艱難して約一週間の費やし無事獨逸へ歸還し、其の決死的英雄行爲を賞讃され、ヒットラー總統の命令に依つて大型飛行機を以て迎へられた十四人の乗組員が伯林に着き、ヒットラー總統が水兵に至る迄一人宛握手して手づから鐵十字勳章を一人宛胸に着けてやる、艇長は若い少佐であつたが其の場で中佐に昇進する、水兵其の他の乗組員の父母が獨逸國家に忠勇なる奉公を盡した英雄の父母として其の住む市町村長より賞讃と感謝の辭を贈られる等の事があつたに止まり期待されて居つた獨逸空軍の英本土大空襲等は一同行はれず、世界は獨逸が何等か和平の提案を爲すのではなからうかとさへ噂し、獨逸民衆も此の儘平和が來ると信する者が多かつた位で、中にはナチス幹部は何を考へ何を爲して居るのだ、日が經るに従つて英の經濟封鎖が進み又英佛の甚しく獨逸に劣る空軍が米國の援助に依つて着々充實されて行

1) Scapa Flow 2) Royal Oak

くではないか、と幾分焦り氣味に憂慮する獨逸人のあつた事も事實であつた。又獨逸國防軍上層部は度々果敢なる英佛攻撃をヒットラー總統に上申したとか、大會議を開いたが決論を得なかつたとかの其の場に居合はして見て來た様なデマが口から耳へ傳へられた事も事實であつたが實際は用意周到なヒットラー總統は作戰を練りに練つて一陽來復を一日千秋の思ひで待つて居つたのであつて、勿論此の間既に相當戰時態勢に置かれて居つた獨逸工業が全力を擧げて更に純戰時態勢に入つて軍需品製造に猛進した事は當然であるが、對外的特に對英佛攻撃態勢としては何等積極行爲が爲されずに物々しい、然し平和な日が流れて居つたのであつた。

英佛首腦部の過怠

若し英佛にして今少し獨逸軍備の巨大さ、其の計畫の周密さ、其の國家構成の堅固さを精密に調査して居つて、獨逸經濟封鎖が前大戰と全然相違して居る國際狀勢の爲に何等の効果を擧げ得ない事が判つて居つたなら此の秋から春へかけての北歐惡天候を逆用して積極的に果敢な攻撃を獨逸に加へるべきであつたので、又それを實行して居つたら斯く迄脆く蘭白を蹂躪され、スカンヂナビヤに敗退し佛が降伏する様な事もなかつたであらうに飽

迄樂觀して獨逸を甘く見て居つた英佛は、獨逸からの積極行動のないのを獨逸が戰意がないのではないか、或は其の軍備が獨逸の宣傳する程はないのであらうと高を括つて居たのではないからうか、何れにしても此の唯一無二の好機を半年の長きに亘つて氣附かなかつたと云ふ事は英政府當局の取り返しの附かない大失策で、此の一事でも今回の英獨爭覇が勝負にならない様な惨敗を以て英國の敗けとなるであらうとは少しく獨逸國內事情の最近の有様を知つてゐる第三國人には等しく考へ得る處であると思ふ。丁度此處迄筆を進めた時にラヂオは佛の降伏條件受諾、停戰協定署名を傳へてゐる。回顧すれば二十一年前現在と丁度正反對の地位に於て獨逸人に對する憎惡に燃えた佛軍總司令フオシ¹⁾元帥に依つて不可能に近い屈辱的條件を押し付けられて停戰協定に署名させられた思ひ出の深いコンビエーニユの森の、しかも佛軍戰勝記念として保存されて居つた萬國癡臺會社ワゴンリーの内に於て賢明なるヒットラー總統は往時のフオシ¹⁾元帥とは全然正反對に極めて寛大な鮑迨佛國民の屈辱を感じざる程度の條件を以て停戰協定に佛代表の署名を求め、フオシ¹⁾元帥の紀念像に對し暫し感慨に耽つたと傳へられてゐるのは、其の間に二十年の歲月は流れて、國際間の最大不幸事たる戰爭の根本原因たる民族的怨恨の如何に根深いものであるかに就いて身自ら體驗したヒットラー總統の深い思慮の結果であるとは云へ、何たる皮肉な

1) Foch

對照であらうか。

更に英國打倒の大目的に向はねばならぬとは云ひ條、最早其の大半の目的を達したヒットラー總統は二十一年前毒瓦斯に依つて兩眼失明に至らんとする身を病院の一室に横へ、牧師より聞かされた屈辱降伏に身悶へして悲憤の涙に暮れ、復讐を心中深く決心して以來眞に文字通り一身を國に捧げ燃ゆるが如き信念に依つて惡戰苦闘の幾星霜を重ね、漸く宿志の一半を達した忍苦の過去を振り返つて嚙感慨無量であつたらうと想像される。

ヒットラーの努力

ヒットラー總統の如く信念に燃え、鋼鐵の如き意志の力を常にピンと張り切つて居つてしかも一片の私心なく、鬭争の連續であつた忙がしい生活の間にも常に讀書と思索に依つて世界觀的哲學を築き上げつゝ、又科學の進展に常に意を用ひて一度戰ふや、獨自の科學兵器を縦横に驅使し新作戰に自から乗出し常に世界を驚嘆せしめる點に於て古今東西を通じて英雄傑士雲の如しと雖も比肩し得る者皆無であると云つても強ち妄斷ではなからうと思ふ。

第二章 ヒットラーの生ひ立ちよりナチスの誕生迄

ヒットラーの幼少時代

ヒットラー傳は既に相當詳細なものが内外の識者に依つて書かれてゐるので、茲にはナチス政權の發達に就いて知つて置かねばならぬ概略のみに止める事にしたいと思ふ。

ヒットラーの生家

古來英雄傑士の多くが左様である如くヒットラーも貧困と不運の連續に其の幼少年時代を過した。一八八九年四月二十日、奧太利領のブラウナウ¹⁾と云ふ小さな町の下級税關吏の家に呱呱の聲を擧げたのであつた。第一圖の二階の住居が當時のヒットラー一家の住宅で

1) Braunau

あつた。父なる人は純粹の獨逸人であつて貧農の子に生れ苦學力行漸く小官吏迄漕ぎ付けた男で後年ヒットラーが鋼鐵の如き意志の持主と云はれる執拗性を持つて居るのは此の父の遺傳であると云はれて居る程意志の強い同時に頑固其の物で町の人にも餘り親しまれない人であつたと云ふ。

母なる人は代表的な獨逸の普通の女であつたが一人子である、アドルフに對しては盲目的な愛を注いだと傳へられてゐる。

兩親共純粹な獨逸人



第 1 圖

*であり乍ら川一つ隔てた奧太利領に生れた爲め奧太利の國籍を持つてゐたのであつたが少年の頃からヒットラーは大獨逸民族の歴史を愛讀したさうである。

是だけならばヒット

ラーも大した不幸でもなく寧ろ幸福な幼少年時代を持つて居たと云はねばならぬが、此の幸福は間もなく忽然として失はれて行つた。ヒットラーが段々生長し、同じく官吏にしないで父の意志で其の町の地方中學に通つて居た十四才の時に父が頓死した。

ヒットラー孤兒となる

而して二年経つて又母も病死した。十六才で天涯孤獨となつたヒットラーは其の當時繪が非常に好きで、兩親の希望に反し世界一の畫家になる決心であつたので、兩親を失つた彼は早速家具家財を賣り飛ばして得た僅かの金を懷中に嗅太利首都ウ¹⁾ャーンに出で、美術學校の入學試験を受け、勿論好成绩でパスすると許り考へて居たのが落第して了つた。自信の強かつた彼ヒットラー少年は、そんな筈がないと思つて美術學校へ押しかけ落第の理由を訊した處、面接した先生が氣の毒だが君は畫家たるべき素質を持つてゐない、是位の繪なら誰れでも描く、然しそれ程繪が好きなら繪に多少關係のある建築の方に志したら何うかと云つて呉れたので、若いヒットラーも仕方なく畫家たる希望を捨てて建築を志す様になつた。然し其處で僅かの金も費ひ果し自ら口を糊せねばならなくなつたので、止むなく苦勞に苦勞を重ねて建築労働者の見習ひになつたり、設計者の手傳ひをしたりして轉々と職場を變つて行つたのであつた。此の當時がヒットラーの一生の最も貧困時代で、彼の自叙傳「吾が闘争」の中にも此の時代の絶えざる貧困を語つてゐる程である。

1) Wien

ヒットラーの獨學と當時の勞働社會

この貧困の内にも後年のヒットラー活躍の下準備は自然に培はれて行つた。と云ふの

は此の貧困な生活をし乍らも彼は食費を切りつめて迄圖書館に通つて生得の好學心を満足させて行つたのであつた。又勞働者の間に伍して生活の糧を得乍ら彼の生れ附きの叡智

は、若い彼をして當時の何の光明もない、只生きて行くだけの憐れた勞働者の生活に馴染ませ切らなかつた。従つて至る處の職場で年嵩の勞働者から見ると當時のヒットラーは、

何となく生意氣な奴だと云ふので到る處仲間から嫌はれ通して極めて孤獨な生涯に追込まれ、自然の結果として彼を益々圖書館へ通はせる結果ともなつた様である。其の間に若

いヒットラーの頭は、其の當時の勞働者の何の向上心もなく女と酒と賭博に身心を消耗して行く傾向を悲しむ氣持ちが出て來初めた。元來何事も事象の核心を突いて徹底しなけ

れば得心出來ない性質であつた彼は、圖書館に於ける濫讀の傾向が漸次社會問題に向けられる様になり、それから政治問題、民族問題に興味を覺える様になり、國際知識、猶太人

問題に迄發展して行き、斯くして正規な教育としては單に地方中學の中途迄しか受けてゐなかつた若いヒットラーは、二十才前後で既に立派な教育を受けたインテリ青年にも優る

知識を備へて居つたと云ふ。加之、彼の生れつきの叡智は彼をして書物に讀まれる事を防ぎ、常に鋭い批判を加へ乍ら漸次彼の世界觀の基礎を培つて行つたのであつた。

世界共產主義の擡頭

例へば當時の地主、資本家、官吏の横暴と壓政の下に世襲的貧困のドン底に置かれて居つた歐洲全般の勞働者の状態は、獨逸のマルクスに依つて唱道せられ露西亞帝政末期とも云ふべきニコライ二世の暴壓政策に依つて露西亞に於て反動的に急激に發達して來た¹⁾ニン²⁾トロツキイ等を指導者とする純理論的共產黨運動が勞働組合と云ふ形式で解りもしない癖に勞働者の間に病的に瀰漫して來て居つて、殆ど勞働者であつて破壊的な勞働組合員ならざるなしと云つた時代であつたにも拘はらず、若いヒットラーの理智は無批判に同僚に合流せしむる事なく、勞働組合の研究から進んで共產黨の理論が民族殊に光輝ある歴史を持つ獨逸民族の受け入れ得るものでない事を悟らせ、更に進んで然らば何故勞働者がかゝる貧困のどん底に呻吟せねばならぬかと云ふ點に鋭い探究の眼を向けしめ、當時の政治組織が改善されねばならぬ事と、共產黨から勞働者を解放せねばならぬ事、及び猶太系資本家の苛酷なる搾取から祖國獨逸を救はねばならぬ事等を漸次悟らせ、未だ信念に燃える

1) Marx

2) Lehm

3) Trotsky

處迄は行かなかつたものの彼の愛國者的傾向は徐々に成長して來たのであつた。

奧太利を見捨てミュンヘンに移住す

當時奧太利に君臨してゐたハプスブルグ王朝は、歴代暗愚の當主を出し其の政治は横暴に満ち、政界は泥沼の如く腐敗し切つて居たし、經濟的にも何等の光明を持つてゐなかつた。こんな都市が今や民族的意識が燃へ上りつゝある愛國青年ヒットラーを長く引き止め得なかつた事は當然である。

斯くしてヒットラーは遂に維納に愛想をつかし、最も手近なまた豫て憧れて居つた南獨の古都ミュンヘンに移り住む事となつた。此のヒットラーのミュンヘン市移住は、其の當時の若いヒットラーとしては維納に愛想をつかした揚句、

維納から比較的に近かつたのと少年時代から歴史を好んだヒットラーの淡い憧れに依つて深くも考へずに行はれた事ではあつたが、後年彼が燃ゆるが如き信念を抱いてナチス運動を始め、惡戰苦闘を経たとは云へ、急激に發展して行く跡を見ると、彼が此の時ミュンヘンに居を移した事が實に彼の成功の重大なる原因を爲して居る事實を見逃せないものであつて、彼亦一個の風雲児でもある。

ミュンヘンに移つてからも彼は建築關係の安仕事に依つて糊口を凌ぐと共に、益々募る

彼の知識慾に馳られて讀書研究に没頭して行き、彼の鋭い頭腦はソロ／＼其の天分の輝きを見せ始めて段々に事象の把握を明確にして行き、彼の世界觀的哲學とでも云ふべき理想は、益々精確な形を取りつゝ日々成長して行つたのであつた。

異常なるヒットラー理念の發育と大戰の勃發

斯くして彼の知識、批判、把握、理想、信念と云つたものが日に月に異狀の發達と成長を遂げつゝあるにも拘はらず、彼の社會的地位は矢張り一建築圖工でしかなかつたのであつて、其の儘推移すれば結局ヒットラーは、まるで夢遊病者の如き高い理想を抱いたインテリ圖工以外には發展の仕方もなかつたのであつたが、天は風雲兒彼ヒットラーを矢張り無駄には育てなかつた。具體的に云へば此の理想政治家の卵を世に送る爲に必要であつた社會的秩序の大變動が與へられたのであつた。それは外でもない第一次世界大戰の幕が切つて落されたことであつた。時にヒットラー、年二十五才。

セルビヤの一青年學生の短銃が、奧太利皇儲及び妃殿下を自動車中に射殺した事件は圖らずも當時バルカン半島に於ける歐洲各國の複雑なる利害と勢力の不平衡を一舉に武力に依つて解決する機運に導き、霸氣と自惚れの固りであつた獨逸皇帝カイザーウィルヘルム二

世の不用意な積極主義は、セルビヤを背後から繰つて居た露西亞の勢力、獨逸の興隆を何時かは叩かんと待ち構へて居つた英佛を敵に廻す事をも恐れず、只單に奧太利國と獨逸帝國との歴史的友好關係と同盟と云ふ表面的理由を口實として、無謀なる戰端を開かせるに至つたのであつた。

丁度其の時佛大統領ポアンカレ¹⁾は露都ペテルブルグに露帝を訪ね、獨逸を假想敵國とする露佛の提携に努力して居る最中であつて、倏敏なポアンカレ²⁾がベルグラード市に於ける奧太利皇太子暗殺事件勃發に依つて急據最悪の場合の打合せを露帝と遂げ、海路歸國を急いだ事は當時の有名な偶發的事件であつた。

斯くして獨帝の野心と佛大統領の對獨・露佛同盟は、獨逸を一方として露英佛三大國を相手方とする戰端を開かせ、後には米國日本伊太利迄參戰せしむる世界有史以來の大戰爭に迄發展したのであつた。

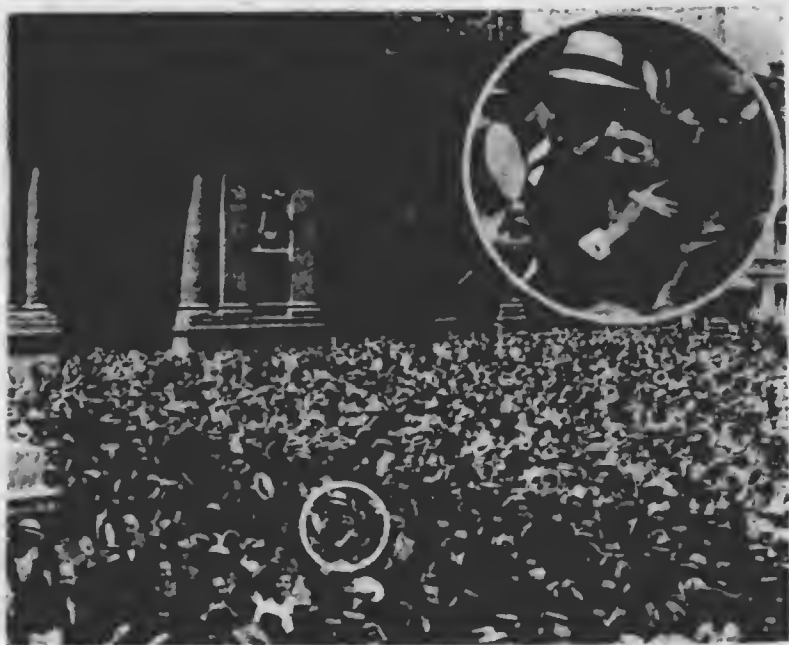
ヒットラー出征を志願す

獨逸は直ちに國內總動員を行ひ學生や青年勞働者で召集に洩れた者は續々志願した。

又獨逸軍部も當時の隆々たる國力に依り必勝を期し乍らも萬一を慮つて、毎日々々士官が

1) Poincaré

2) Bergrad



交代で目ぼしい都市の街頭や廣場で志願兵募集の演説に聲を洩らして居た。愛國信念に燃え初めたヒットラーが何條引込んで居られようか、彼は當時維納に愛想をつかし自分が國籍を有する奧太利其の者にも愛想をつかして居つたと云はれて居るが、大獨逸民族の戦ひとして直ちにミュンヘンに於て志願に應募し、バイエルン聯隊に未教育兵として收容されたのであつた。相變らず貧困な生活に瘦せ衰へた此の時のヒットラーが、群集に混つて志願兵募集の演説を聞いてゐる風景が第二圖の寫眞である。

1) Bayern

第一次世界大戰の推移

戦争はヒトラーの想像し豫期した通り惨憺たる死闘其のものの連続であつた。ウイ

ルヘルム一世の跡を受け繼いだカイザーウィルヘルム二世は、幼にして其の俊敏伶俐を謳はれたが、同時に其のため非常に慢心して居つて自己の萬能を信じ、自己に反對するもの凡てを斥けねば承知の出来ない人であつた。其の爲先帝と共に第二帝國と云はるゝ獨逸

聯邦帝國の基礎を築き上げた大功勞者のビスマルクをさへ斥けた人物であつた。従つて

此の大戦の火蓋を切つて落す當時の彼ウィルヘルム二世の側近には只迎合これ努むる阿諛の士のみであつた。勿論當時の獨逸は長年のビスマルクの苦心漸く實つて海軍力に於て

陸軍力に於て、國內工業力に於て又商船隊に於て、輸出に於て何れも英を凌ぐとする盛況にあつた事は事實であるが、それにしても内容貧弱で力無く、内政又大いに亂れて居た奧太利と云ふ厄介な荷物を擔いで、殆んど世界列強の凡てを向ふに廻して戦ふ程の實力は充分に用意されてはゐなかつた事は明かである。然るに、一人の苦諫を呈するの忠臣も

なく、思ひ上つたカイザーの意の儘に開かれた戦端が、獨逸の連勝に終る筈は最初から全然有り得ないのであつた。然し獨逸の軍隊は終始勇敢に戦つて戦争前半は破竹の勢であ

つた。殊に有名なタンネンベルヒの大會戰に於ては、豫備役となつ



第 3 圖



第 4 圖

バイエルン聯隊の一員として従軍したヒットラーも御多分に洩れず勇猛果敢な奮闘を續け度々殊勲を立てたと云はれてゐる。而して一度は足部に貫通銃傷を受けて野戰病院

て、ハノーバー²⁾の片田舎に隠退して居つたヒンデンブルグ將軍を起用した事に依つて殆ど半生を對露作戰の研究に費し其の邊の一木一草をも究めて居たと云はれる同將軍の果敢な作戰と勇敢無比な將兵の奮闘に依つて僅か一萬二千の寡兵、能く二十二萬の露大軍を散々に叩き付け殆ど全滅の厄に遭はせ、爲に獨全軍の士氣を振ひ立たせると同時に、露西亞帝政の没落を早めたときへ云はるゝ世界戰史上に輝く大捷を得た事は今尙世人の記憶に新たである。

に静養を續け第三圖の後列右から二番目の如き白衣の姿となつて居つた事もあつたが再び戦線に立つて今度は西部戦線に陰惨な塹壕生活を續けたのであつた。此の當時のヒットラーの姿は第四圖の左端に見らるゝ通りである。

獨逸銃後の苦惱

大戰の後半は果して獨逸將兵の必死の努力にも拘はらず漸く獨逸軍に不利となつて來た。物資の缺乏は極度に達し銃後は餓ゑに苦しみ餓死者の數は段々増加して來た。前線は彈丸と食糧の不足に悩んだ。其の間に露西亞では帝政は脆くも崩解しケレンスキーのメン・ビイキ政權立ち更に有名な一九一七年の十月革命に依つてレーニンに統率さるるボルシ・ビイキ政權確立するに及んで外交方面を擔當したトロツキーの政策に依つて獨逸國內の赤化が猛烈に工作され獨逸間の有利な單獨講和を計らうとした露西亞側の努力は獨逸軍部の強硬態度に依つて表面的には失敗したとは云へ餓ゑ苦しむ獨逸銃後の民衆につくづく無意味な勝味のない戦争を繼續する事の馬鹿らしさを考へさせるだけの効果は充分にあつて其の他幾多の原因もあつたとは謂へ獨逸民衆は最早人間の堪え得る凡ての難業苦行を経験し盡して居つた。聯合國も左様であつた。英佛伊何れも國內民衆の戦争を呪ふ聲に苦

しみ、労働者のストライキに憐み、前線の士氣も段々目立つて失はれて行つて居つた。謂はば聯合國も獨逸も双方ヘトヘトになつて居たのである。かゝる状態に於て露西亞帝政が崩解し獨逸との單獨講和が一度は失敗したが二度目に成功したのであつた。此の出來事は聯合國を驚愕させた。而して獨逸を非常な希望に起き上らせた。東部戰線から續々獨逸の大軍が西部戰線へ廻されて來た。獨逸民衆も一時はこれでは或は勝利を得て平和が得らるゝかも知れないと希望を持ち初めたのであつた。

聯合國は周章狼狽して露西亞の内政に武力干涉を行はんと迄して來た。一九一八年に於ける獨逸の最後の猛攻勢は斯くして無理に集めた彈丸を以て開始されたのであつて、遂に巴里のエッフェル塔を遙に眺め得る處迄押したが悲しい哉最早それ以上彈丸が續かなくなつた。

又國內では民衆が最後の希望を振ひ起してゐたにも拘はらず悲しい哉遂に労働大衆は困苦に堪へ得ず巧妙なボルシェビズムの煽動に乗ぜられて大ストライキを勃發させて了つた。

獨逸内亂勃發と大戰終結

此のゼネストに依つて前線の彈丸は更に不足して了つた。其處へ後から後から補給さ

る、聯合軍の初めて使つたタンクは流石勇猛果敢な獨逸兵も手が付けられなかつた。斯くして折角露西亞の内亂に依つて戰勝の希望を以て燃え上つた獨逸軍の最後の士氣も今度は本當に絶望の淵に滑り落ちて來た。

此の當時ヒットラーは尙暫療生活を續け奮闘して居つたのであつたが遂に敵の打ち出した毒瓦斯彈にやられて失神し兩眼は失明したのであつた。然し尙天は此の運命の子を捨てなかつた。後方へ送られて衛戍病院の一室に呻吟して居るヒットラーは軍醫の懸命の努力に依つて段々と眼が見える様になつて來た。

一九一八年の秋になつて益々快方に向つてゐるヒットラーの耳へ、牧師の口から信ずる事の出来ない出來事が傳へられたのである。曰くカイザーの退位、獨逸帝國の滅亡、共和國の成立、屈辱極まる休戰條約の締結、一瞬にして世の中が變つて了つたのであつた。

ヒットラーの懊惱と骨に徹する復讐心

ヒットラーは始め信じ切れなかつた。次には身の置き處のない程悲しんだ。而して最後に彼の冷徹な頭は彼の全身に浸み透る程の深い深い愛國心と聯合國に對する骨に徹するが如き復讐の妄執を植ゑ付けたのであつた。

猛り狂ふ許りの頭を抱いて、ヒットラーは然しじつと病院に止まらねばならなかつた。
一旦失明した彼の眼は仲々完全に癒らなかつたのである。

ヒットラー・ミュンヘンに還る

漸く全快して病院を出た三十才のヒットラーは伍長の服を着て再び懐かしいミュンヘンに歸つた。懐かしいミュンヘンの兵營に歸つて見ると、意外にも兵營の内は意識的に赤化されて居り戰場から歸つた許りで何が何だか判らない、兵士共には共產主義の政治理論とか獨逸軍閥殊に此の大戦を起したプロイセン軍閥の罪惡が計へ上げられて教へ込まれてゐた。ミュンヘンは¹⁾カート・マイスナーと云ふ猶太人の共產主義者に依つてバイエルン地方の政權が握られ、完全な赤色共產政治が行はれてゐたのであつた。

祖國の激變せる状態にヒットラー憤激す

戰場から歸つた許りの兵士達は皆五年近く朝から晩迄大砲の音と爆彈の破烈と毒瓦斯に悩まされ乍ら勇敢に戦ひ續けて來た勇士許りだつたのでまだ頭の調子が完全に平靜になつてゐない時に、矢繼早にこんなまるで想像も付かない様な共產理論が叩き込まれようとし

1) Curt Meisner

たのである。正確な判断の付く筈がなかつた。然し冷徹な頭の持主で愛國心に燃えてゐるヒットラーにどうしてこんな赤化教育等が大人しく受けられるだらうか、彼は猛烈な反感を覺へ赤化教育が熱心に續けらるゝ兵營の真中で、共產主義が獨逸民族の光榮と絶對に相容れぬ事を絶叫した爲に遂に彼は兵營から追はれバイエルン赤色政府のお探ねものになり生命の危險に曝されたのも一再ではなかつたと云ふ。然し狂瀾の真中に放り込まれた様な休戰直後の獨逸國狀は日々刻々に激變し次から次へ思ひがけぬ事件のみ勃發した時代であつて此のバイエルンの赤色政府も間もなく其の餘りに人道を踏み外した様な貴族富裕階級に對する復讐や虐殺の爲に人心を失ひ、又同じ共產政府である中央に反抗した爲に中央政府よりの討伐軍にたつた一日の市街戰で脆くも破れて崩解してしまつた。

而して其後に來るものは當然の反動として極端な右傾であつた。バイエルン聯隊の兵營では又急轉回して右傾的政治理論の研究が叫ばれ出した。然し戰場から歸つた許りの兵士達には共產黨の理論も判らないと同様に右傾的理論も判らなかつた。其處で直ぐ思ひ出されたのが戰場から歸つた直後共產黨理論が教へ込まれようとした時、勇敢に反對意見を絶叫したヒットラーの姿であつた。

國內更に一轉ヒットラー再び迎へらる

斯くして隠れ家から探し出されたヒットラーは迎へられて再び兵營に入り、政治理論の指導者として日々教壇に立つて其の心中に鬱積した愛國的政治觀を秩序もなく兵士達に聞かせると云ふよりもむしろ自分自身に聞かせる様な氣持で話す間に、段々彼の氣持が落着き光明が見え出した様に思つたと云ふ事である。

兵士達は自分等が五年近くも生命を投げ出して苦戰して來たのもそれが皆愛する祖國の爲めであると素朴に信じ切つてゐた爲であるのに、漸く休戰となつて歸つて見ると自分達の居ない間に何時か故郷の有様は一變して了ひ、人々の考へがまるで想像も付かない變り方をして、了つて軍閥戰爭の罪惡のみが計へられ、市民からも冷い眼で見られるのが心外千萬で正に爆發しようとして居る時にバイエルン赤色政權が崩解し人々の考へ方が又一八〇度轉回して來てやつと鬱憤が納まりかけた時にヒットラーに依つて烈々たる愛國主義的政治理論が日々叫ばれ始めたので其の喜びは急激に燃へ上ると共に、長い戰鬪生活から未だ充分納まり切らない荒くれた習慣がともすれば何か思ひ切つた殺伐な事が仕出かし度くて堪らない様な氣持を生み鬱々として集積されつゝあつたので期せずしてヒットラーを憎

ぎ上げんとするような方面に發展して來たのであつた。

獨逸勞働黨七人目の黨員となる

其の當時政治好きなバイエルンの都ミュンヘンには政情の激變續きの爲左派右派種々な團體があり毎日の様に彼方此方に政談演說會が催されてゐたのであつたが、未だ兵營外では公衆の前に立つた事のなかつたヒットラーは聯隊士官の依頼もあり、自分の興味もあつて軍隊の政治研究員と云ふ様な資格で右黨の一つとして生れた、獨逸勞働黨の第一回の演說會を偶然聞きに行つたのであつたが、獨逸勞働黨と云ふ堂々たる名前に似ず實に貧弱な會合で辯士も亦碌に理論も持つてゐないし聴衆も殆ど來てゐないと云ふ貧弱さであつたので、聴衆として聞きに行つた等のヒットラーは逆に彼等に自己の信念を述べ不知不識に辯士の役目をつとめて了つた。所が驚いたのは獨逸勞働黨の面々で彼等は元々鐵道工夫達が六人集まつてビールを呑み乍ら勝手な熱を上げてゐたのが何時の間に名前だけ堂々たる獨逸勞働黨と云ふ看板を掲げ名前が出來た以上一度政談演說會でもやらうぢやないかと申し合せた位のものであつたので無論大した政治理想を持つてゐたわけでもなかつたので其の當時からソロ／＼雄辯の素質が現れ初めたヒットラーの演說を聞いて魂を奪はれたのも

亦當然であつたのだ。

思ひ存分論じて氣持ちよく歸つて來たヒットラーに翌朝配達されたのは此の勞働黨からの入黨勸誘狀であつた。ヒットラーの演説にすっかり感心した六人の勞働黨はヒットラーの歸つた後であんな有力な男に入つて貰へれば我黨も面目一新するだらうと相談一決直ちに入黨勸誘狀を出したものと見える。ヒットラーは最初馬鹿らしく思つたらしいが思ひ直してこれにも何かの契機となるかも知れない、かうして兵營に居て兵士相手に政治理論を説いてゐるよりも實際運動に一步前進する事になると思ひ返したと云ふ。斯くしてヒットラーは第七人目の黨員として此の獨逸勞働黨に入黨したのである。

獨逸勞働黨漸く活氣附く

斯くしてヒットラーを第七人目の黨員として加へた獨逸勞働黨は漸く活氣附いて來て度々ミュンヘンの安料理店に集會と云つても只の七人が集まつて來るだけではあつたが集會を催して其の擴大運動に付き相談した。此の七人が來ると必ず決つて坐る隅つこがあつて今尙ナチス發祥の記念とされてゐる。第五圖の寫眞は其の當時のまゝ保存されてゐる

此の隅つこである。



第 5 圖

を度々催したが仲々聴衆が集まらなかつた。然しヒットラーは失望しなかつた。根氣よく繰り返してゐる裡に徐々に效果は表はれ始めた。かうして一九一九年末に至つてミ
ユンヘン市民は漸くヒットラーの雄辯に動かされ始めたのであつた。

共産黨との對立激成とS・Aの誕生

當時獨逸特にバイエルン地方の政權は長い激しい大戰の直後の事として民心は眞に疲勞困憊の極に達してゐた爲に自然に右傾各政黨共意氣頗る舉らないものがあつた。是に反して左傾諸黨は大戰末期に全世界を驚かした露西亞赤色革命の影響を受けて、非常に活潑にな

ヒットラーは注意深く自分が黨首になる事を回避したが他の六人は黨の擴大策に付いては殆ど無智に等しかつたので、漸次ヒットラーが中心になつて來た。其處でヒットラーは何とかして大衆を掴まねばならぬと考へて大衆演說會

つて來た上に世界赤色革命を理想として居たトロツキーは露西亞一國革命を唱へるレーニン一派と必死の勢力争を續けて居つた爲に當然トロツキー一派の所謂コミンテルン運動の餘波が獨逸にも襲來して一度赤色ソビエトバイエルン政府が立ち又倒れた後であつたとは謂へ赤化分子の潜在は相當なるものでありその得意のテロ行爲や破壊的な危険な言動を爲す者多く又事實掠奪暴行殺人等は毎日市民を脅かして居つた。従つて心ある市民は左傾各派の政治運動を非常に嫌つたのであつたが、殘念乍ら一般大衆は無暗に景氣のいゝ左傾各派の政談演説を好み又惹き附けられてゐるに反し、右傾各派と來ては大衆を引き着けて行く闘士を缺いて居たのであつた。其處へまるで火の玉の様なヒットラーの愛國的極右政談演説が矢繼早に表はれて來たのだ。ミュンヘンの市民がこれに俄然惹き着けられ始めたのも當然の話ではある。驚いたのは左傾各派で、思はぬ政敵の出現の爲見る見る彼等の足下から崩れ始めたのだ。初めは右傾政黨で、しかも粟粒程の小さな獨逸勞働黨だ少しテロ行爲でもやつて會場妨害をやれば直ぐに消えて無くなるだらうと云ふので亂暴者を二三人ヒットラーの演説會へ送つて見たが何れもヒットラーの熱辯ですつかり感心させられ嬉し涙を流してゐる會衆が承知しないので不成功に終つた。俊敏なヒットラーが何としてこれに氣附かないでゐよう。初めて妨害を少し加へられた時から直ぐに彼は

對策を考へ、結局政府乃至警察の力は頼むに足りない當時の事だ、自己防衛を講ずるより外に方法はないとの結論に達したヒットラーは、最も彼の強い後援者であつたバイエルン聯隊の士官兵士を頼んで來て防衛手段とした。其の中自黨員がヒットラーの演說毎に幾何級數的に増加して行くのを見て何時迄も國防軍に依頼する事は面白くない。自黨内に防衛團を持たねばならぬと云ふのでヒットラーの有名な言葉である齒には齒を以て眼には眼を以て報ゆる主義から自黨内に暴風部隊と名づくる自衛團を組織したのであつた。それが今日益々盛大な形で残つて居て今回の獨逸軍事行動の國防軍補助部隊として非常な効果を表はしてゐるS・Aである。

S・Aは目的が目的であるだけに若い血氣盛りの荒武者のみが選ばれた、これにヒットラーは猛烈なる軍隊的訓練と秩序を仕込んだので彼等は心酔するヒットラーに選ばれたる事を名譽とし、ヒットラーの爲めに死する事を敢て辭せない氣風が出来て來た。此の時分からヒットラーは青年の心を掴む術を自然に備へて居つたと見える。と云ふよりも彼の熱鐵の如き愛國心が若い純真な青年を感激させずには置かなかつたと見るべきである。

斯くしてS・Aの結成されたのは一九二〇年の初頭であつた。一九二二年になるとS・Aも大分軍隊色濃厚となり武器こそ持たね立派な部隊となつた。第六圖は其の當時

の S・A である。

第 6 圖



ナチスの誕生

ヒットラーの矢繼早やの演説會は益々効果を表はし今やミュンヘン市民でヒットラーの名を知らぬ者はなくなつた。熱烈なる愛國者としてその月二回位の演説會は次ぎから次ぎへと大きな會場に移つて行つても常に超満員であつた。S・A も美事に效を奏し會場荒しは常に簡單に始末された。斯うなると共產黨は狼狽し初めた。而して今度は會場荒しの代りに會場その物を共產黨で満員にしてつて一般聴衆を入れない様と云ふ小策戰で出來得る限り多數の共產黨員を開場早々ドッと入場せしめた。然るに其の結果は何うだらうヒットラーの熱辯を聞かされた。

共產黨員は會場を出る時は半分以上熱心なヒットラー崇拜に早變りしてゐたのである。

流石の共産黨もヒットラーだけは手が附かないと云ふ有様だつた。斯くの如くヒットラーの熱辯が大眾の心を掴んで行くと獨逸勞働黨も事實ヒットラーの政黨である事が動かし難い事實となつて來たので、それ迄形の上の黨首であつたドレクスラー¹⁾は黨首を辭退しヒットラーを名實共に黨首とする事にした。斯くしてヒットラーは黨首となるや否や黨名の變更を考へ、日頃の彼の主張である民族自決國家主義であつて各階級の平等の幸福を計る社會主義であり、又大獨逸民族の自覺を高揚する政黨であり、職業の高下を無視して國家の爲民族の爲働く事、即ち勞働を本旨とする主義、と云ふ種々の主張を盛つて國家社會主義獨逸勞働者黨、即ち National-Sozialistische-Deutsche-Arbeiter Partei と名付けたものであつた。普通これの頭字を取つて N.S.D.A.P. 又は最初の二字の内から Nazi のナチス或はナチと略稱する現在の黨名が此の時に決つたのである。一九一九年末の事だ。新たな黨名を發表する以上其の綱領も發表せねばならぬ、と云ふので有名な二十五箇條の綱領を決定し、これを一九二〇年春の大集會に於て發表し、これを境として愈々ナチス黨の大活躍が始まつたのである。

ナチスの二十五箇領

1) Dreksler .

此の時發表された二十五箇條の綱領は當時のナチス唯一の政治理論家であつて後に經濟省次官となり、ナチス政權初代の蔵相クローシクや二代目經濟相シュミット三代目のシヤハト等を助けてナチス經濟機構を築き上げたと言はるゝフエーダーの考案に成りヒットラー自身の嚴密な修正を加へたものと云はれてゐる丈に其の後二十年の今日に至るも極めて僅かの修正を只一回加へられたのみで、永遠のナチス黨綱領と決定されてゐる謂はば現在のナチス獨逸の國是を爲すものである。

其の大略を摘記すれば左の如くなる

一、民族自決の法則に據り凡有獨逸人は大獨逸帝國國民たるべし。

二、獨逸民族は他民族と平等の權利を要求するが故に不平等なるヴェルサイユ條約を破棄す

三、獨逸民族の正當なる生活權を主張するが故に殖民地を要求す

四、純正獨逸人血液を有する者のみ獨逸帝國國民たる事を得、猶太人は獨逸國民たる事を許さず

五、獨逸帝國々民ならざる者は外國人としての法規の下に於てのみ獨逸國內に住居し得るものとす

1) Krosigk

2) Schmitt

3) Gotfr'ed Feder

六、獨逸帝國の政治、法律は帝國國民のみ是れを決定し得、従つて帝國官公吏、共同團體

公職は帝國々民のみ是れに就任し得

個人の性格、能力に關係なく又は單に政黨的利益より官公吏の任免を決定する腐敗せる議會政治を排撃す

七、帝國々民の生活は國家より保證さるべきものとす、國民生活困難の場合には帝國々民以外の國內在住者は國外に追放するものとす

八、一九一四年八月（第一次世界大戰勃發の時）以後獨逸に入國したる凡ての非純正獨逸人（即ち猶太人）は國外に追放すべきものとす、又今後の入國は禁止すべきものとす

九、凡有獨逸帝國々民は平等なる權利と義務あるものとす

一〇、凡有獨逸帝國々民は精神的肉體的創造育成を最大の義務とす

國民各個の行動は國家の利益と背馳せず且つ其の必要より爲さるべき事

一一、勞働及び努力なき所得を許さず、國民を利子奴隸制度より解放せん事を主張す

一二、凡有國家戰爭の國民に要求する物資と血液の犠牲を理由として戰爭に依る個人的不正利得は假借なく國家へ沒收すべきものたる事を主張す

一三、社會化されたる凡ての營利經營は國有とさるべきものとす

一四、大資本營利經營の利益は國民全體に分配さるべきものとす

一五、國民一般の國家養老保證制度を確立せん事を期す

一六、健全なる中堅層は國家方針として維持せらるべきものとす、大百貨店は國有とし小資本商店へ安價に賃貸さるべき事及び國家並に公共團體の購入は之等小資本商店より爲さるべき事を要す

一七、國內全土地は國民生活に適合する様再分配さるべき事及び公益の爲には如何なる土地も無償にて提供さるべき事並に土地の賃貸、投機は禁止さるべき事を要求す

一八、吾等は公益に反する行爲を爲す者に對し飽迄闘ふ、國家叛逆者、高利貸、奸商等は職業、地位、血族に關係なく死刑を以て處罰すべきものとす

一九、物質的世界秩序を規定するローマ法を排撃し獨逸法を以て新たな秩序を規定せん事を期す

二〇、素質あり勤勉なる獨逸國民の凡てが、高等の教育を受け且つ指導的地位に達する事を得んが爲教育制度は根本的に改革さるべきものとす

凡ての教育機關は實際生活を目標とし民族思想の把握は學校に於ける知識教育と共に教育の最大目標とさるべきものとす、特に貧しき子弟にして優秀なる素質を有する者は兩

親の地位職業の如何に關せず國費を以て教育せらるべき事を主張す

二二、母性及び幼兒の保護、幼年勞働の禁止、國民體位の増進、體育に關する凡有團體の國家的保護に依り國民健康の増進は極度に獎勵せらるべき事を主張す

二三、國民徵兵制度の創設を主張す

二四、計畫的政治虛構、及び新聞に依る其の宣傳は禁止さるべきものとす

獨逸精神に依る新聞尊重の爲、獨逸帝國々民以外の新聞業従事を禁じ、獨逸帝國々民以外の獨逸新聞業への資本的參加を禁じ、違反する者は直ちに營業を停止し國外に追放さるべきものとす

二五、獨逸帝國に危險を及ぼさず又獨逸民族の倫理、道德に違反せざる限り宗教の自由を主張す

ナチス黨は積極的キリスト教を代表す、而して獨逸民族永遠の繁榮は只公益は私益に先んずと云ふ原則の下に於てのみ可能なる事を確信す

二六、獨逸帝國は強力なる中央集權と其の絶對的權力を要するものとし帝國全土は中央政府の發布せる法律に依り全聯邦國一様に隅々迄同様の狀態に置かるべきものとす、其の達成の爲め廣汎なる職能委員會を設置するものとす

吾黨指導者は必要なる場合其の生命を犠牲としても以上の綱領貫徹の爲、凡有努力を盡す事を宣誓す

第三章 戰後獨逸の一般事情

茲で吾々は當時の獨逸の一般狀勢を一寸振り返つて見なければならぬ。

休戰條約成立後革命騒ぎで暫く政權の確定しなかつた獨逸は一九一九年二月往時ルーソ
ーの宗教改革で名高い中獨の古都ワイマール¹⁾に於て形ばかりの國民投票を行ひ、フリード
リッヒ・エーベルトを大統領に選舉し共和國獨逸の憲法を決定した。而して第一次總理大
臣シ・イデマン³⁾は其の當時の左傾三大政黨の聯立内閣を作り兎も角も共和國獨逸の形を整
へた。これを待つて居つた戰捷聯合國は平和條約を巴里郊外ヴェルサイユ宮殿に於て獨逸
政府代表に押し付けた。内容の大略はアルサスローレン及びザール地方の佛への割讓と
殖民地全部の聯合國側への沒收と二千億金貨マークに餘る賠償金の支拂ひと云ふ想像に絶
する苛酷なものであつた、無論獨逸政府がこれを素直に受諾する筈がないと云ふ見解の下
に骨の髄迄獨逸を憎んでゐた當時の佛大統領クレマンソーは武力に依つて威嚇する事を忘
れなかつた。獨逸は悲憤の涙を吞んでと云ふよりもむしろ自暴捨鉢になつて無條件に受

1) Weimar

2) Friedrich Ebert

3) Scheidemann

諾してしまつた。無論履行出来る目當は全然なかつたのであつた。聯合國側、特に佛國はこれでもう安心だ、獨逸は永久に吾等の奴隸だと喜こんだのであつたが此の時誰れか二十年後正に此の瞬間の丁度逆の事實が現はれやうと想像し得たであらうか。

實行不可能なヴェルサイユ平和條約の強制

斯くして獨逸民族として殆ど堪へ得ざる屈辱的な事實負擔し切れない無理な賠償條件が聯合國殊に獨逸を蛇蝎の様に憎んでゐた佛大統領クレマンソーに依つて武力を以て敗殘の獨逸に無理に押し付けられたのであつた。固よりかゝる條件が獨逸民衆に其儘承認さるゝ筈はないので、詳細が政府に依つて國會に報告せらるゝや流石大部分赤化して居つた獨逸國會も悲憤の極に達し斯くの如き屈辱を忍ばんよりはむしろ死を擇ばんと絶叫する議員もあつたと云ふ。然し武力の前には凡てが無意味であつた。シャイデマン政府は如何ともする事が出来なかつた。只納まらないのは陸海軍人であつた。悲憤の餘り自然暴れる事となる、統制力の殆どなかつた中央政府は是等を押へ切る力がない爲、姑息な妥協政策のみを執つてゐた爲に益々右傾左傾の暴力團は跋扈して來ると云ふわけで、國內蜂の巢をつゝいた様になつた。又聯合國への賠償は勿論約束通り拂はれない爲に聯合國は

遂に、ルール地方へ進軍して武力占領を敢行し、獨逸工業中心地はさんさんに蹂躪され有名なクルツプ工場は此の時殆ど凡ての工作機械を佛軍に依つて計劃的に破壊され、逸獨國內の目ぼしい物資は賠償の一部として遠慮なく持ち去られた。

慘憺たるインフレの襲來

流石辛棒強い國民性の獨逸民衆も遂に自暴自棄に陥り、物資の不足と政府の無方針な財政々策の爲極端なインフレが獨逸全土を襲つたのも此の時である。當時獨逸在留の外人は凡有贅澤をして一ヶ月一磅使ひ切れなかつたと云ふエピソードもある。従つて共產黨の勢力は急に擴大され其のテロ團は百人部隊と稱し政府の默認の下に白晝公然市民から物資を掠奪し始め殆ど正視するに忍びない状態に陥つて行つたのであつた。勿論中央政府は度々倒潰し次ぎから次ぎへ變つて行つた。が幾ら次の内閣を作つても無駄であつた。國民の生活は極度の困窮に陥り聯合軍占領地であつたルール地方の如きは佛軍の撤布する僅かの金で動かされ、無力の中央政府をいゝ事にして獨逸民族である事も忘れ佛國の保護國としての獨立共和國を作つて獨逸の國籍から逃れ様とする運動さへ起つたのであつた。かゝる内にもヒットラーの熱辯は續けられナチス黨員は益々増加しつゝあつた。 S・A

1) Krupp, Essen



第 7 圖



第 8 圖

第 9 圖



も益々強力となつて來た。此の當時の S・A の模様が第七圖に見られる。

勿論、心ある獨逸人の内にはこの亡國的現象にいたく慷慨悲憤し、反動的に暴力を以て無力な中央政府を倒し、祖國を累卵の危險より救はうとする者も續出して來た。愛國の

一念に凝り固まつてゐるヒットラーが何うして默視し得ようか、しかも彼の信念は其の後

益々大衆の信仰を迄獲得し、黨員は激増し S・A は段々訓練を加へて今や立派な軍隊組織となり、流石に聯隊とか中隊とか國防軍其の儘の言葉を避けてスタンダルト——基準部隊とでも譯すべき乎——なる名稱を一九二三年初めて用ひ、最初四ヶ基準部隊としたが續々増加して行く盛況でありスタンダルトの表象として楯を用ひ初めたのであつた。第八、九圖は初めてスタンダルト制を S・A に設け、ゲーリングを初代の S・A 隊長に任命した當時の楯及びゲーリングである。

ナチスの成長と其環境

加之當時ミュンヘンのバイエルン政府當局も又國防軍も共產黨の横行に手を焼き抜いてゐた爲に非常にヒットラーを後援して居つてS・A隊員は公然と兵營内に宿泊し、自由に國防軍の制式兵器彈藥を使用する事さへ默認されて居つて一九二三年初頭にはスタンダルト制を始めた機會にミュンヘン郊外マンスフェルトに大示威運動を行ひ、當時五千に増加してゐたS・A及びナチス黨員を一私人に過ぎないヒットラーが堂々と閱兵したのである、(第十、十一、十二圖參照)。無論共產黨並びに流石のバイエルン政府もこれには猛烈に反對した。然し國防軍の後援の下に遂に敢行し然かも國防軍の幹部將軍連がヒットラーの側に立つて恰もヒットラーを推戴するかの如き印象を與へ、一萬の大軍はヒットラーに絶對的忠誠を誓ふと云ふ珍無類の現象を呈し、獨逸國內は勿論、聯合國側にも非常な反響を呼び起し、共產黨其の他左傾政黨及び聯合國側より猛烈な苦情を喰つて中央政府は大いに狼狽し、其の嚴重な取締りをバイエルン政府に命令して來る。バイエル政府も中央政府は恐しくはないが彼等自身がヒットラーに取つて代られるのではないかとの不安をソロ／＼抱き初めると云ふ始末であつた。



第 12 圖



第 10 圖



第 11 圖



第 13 圖

反響が餘りに大きかつたのでヒットラーは私かに會心の笑を洩すと共に今後益々暴力が加へらるるであらう事を覺悟しヒットラー¹⁾突貫隊を創設した(第十三圖参照)、而して連日之等を或は兵營内で又は郊外で猛烈なる訓練を加へたのであつた(第十四圖参照)。當時の



第 14 圖



第 15 圖

1) Stoss Truppe

ヒットラーは餘りの過勞に依り憔悴しては居たが其の闘志は益々磨ぎ澄され、其の精神力は異常なる強靱性を發揮して來たと云ふ。第十五圖は當時のヒットラーである。

ヒットラーの十一月革命前後

當時ヒットラーの主張は尙帝政華やかなりし頃の憶出に耽つてゐる國防軍の幹部や大戰當時の軍部巨頭連に多くの共鳴者を得、丁度ミュンヘン郊外に隱退して居た大戰末期の獨逸軍總司令官であつた有名なルーデンドルフ將軍の如き太く若いヒットラーに傾倒しヒットラーが次いで南獨²⁾ニュールンベルヒ市に於て全獨逸ナチス黨大會を開いた時等常に行動を共にし、若しヒットラーが實力に依りバイエルン政權を握る意志あらば自分も協力し様と申入れたと云はれてゐる、第十六圖はニュールンベルヒ市に於てルーデンドルフ將軍がヒットラーと共に全國より集つて來るS・Aを迎へてゐる處である。第十七圖は此の時集つたS・Aの大軍が廣場に集つた處である。斯くしてヒットラーの立つべき秋は上述の様に内外共に熟して來たと若いヒットラーは思つたのであらう、遂に彼は彼の突撃隊突貫隊其の他の黨員にミュンヘンへ集結を命じ十一月九日を期して實力行使に依て先づバイエルン政府を乗取り次いで伯林へ進軍して全獨逸を席捲し様と企てた。バイエルン聯隊は無論

1) Ludendorf

2) Nürnberg

彼を支持するであらう。
人も居ないと思つた。

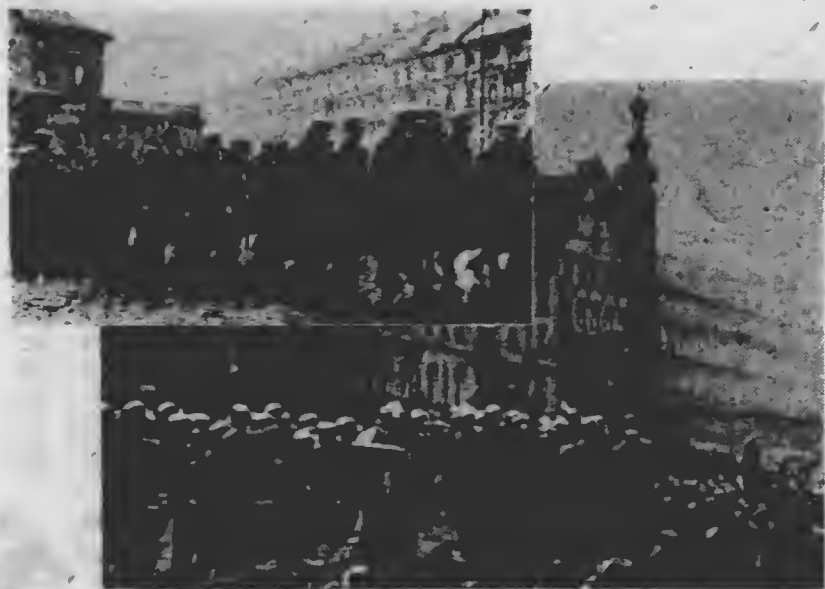
バイエルン政府も最早彼に反対意見を持つてゐる人間は一人



第 16 圖



第 17 圖



第 18, 19 圖

十一月八日早晩には折からの吹雪を突いて多数の S・A は續々ミュンヘンに集まつて來た。或は貨物自動車に搭乗し（第十八圖）又は徒歩で（第十九圖）S・A や突貫隊でない者もバイエルン地方の山村からも續々として集まつて來た（第二十圖）。

ミュンヘンは大變な騒ぎとなり市公會堂前等は群衆で身動きもなくなつたと云ふ（第二十一圖）その少し以前からバイエルン政府の幹部はヒットラーの急激なる勢力増加に對しソロ／＼不安を抱いて居つたのでヒットラーの平和的クーデターに一度は公衆の面前に於て同意して政權を譲り渡して置き乍ら僅かの油斷

を見て急遽畏へ廻つて國防軍及び警察に對し、ヒットラーが全獨逸を覆す様な反逆を企て暴力に依つて自分に同意を迫つた。彼の企てはどうしても阻止せねばならぬと説き、ヒットラーの逮捕及びS・A其他の示威運動に對しては機關銃で打ち拂ふべきを嚴命し、國防軍地方統官が是れに加擔した爲形成は一變した事を感知し得なかつたヒットラーは、翌九日ナチス大衆の大示威行進を命令し、自らルーゼンドルフ將軍と共に先頭に立つてミュンヘン市内を練り歩かんとして市の中央部に差しかゝつた際、思ひがけないバリケードを發見し、驚いた處へ機關銃の齊射を眞向から受けたので流石



第 20, 21 圖



第 22 圖

の S・A も此の時許りは何等の效を奏せず、多數の死傷者を出し、さんぐな目に會つた。然し幸運にも先頭に立つて居つたヒットラーもルーデンドルフも微傷も受けずに身を以て逃れたのであつた。第二十二圖は當時の對ナチスバリケードを示す。矢張りヒットラーも未だ若かつた、輕卒でもあつた。これをヒットラーの十一月革命と云ふ。

ヒットラーの獄中生活

斯くてさんぐな目に會つたヒットラーは其の股肱と頼むゲーリング、ヘッス、フリック等と共に捕はれ、五ヶ年の刑をランズベルグの獄に受ける事となり、ルーデンドルフは無罪となり、ナチス運動は其の蔭色の制服と共に全獨逸に於て嚴禁さるゝ事となつた。

此の十一月革命で血染となつたナチス旗は其の後現在に至る迄ナチスの最も神聖なる同志の血に依て淨められたる黨旗として尊重せられ、其の旗手は最も選ばれたる者とせられる事となつた（第二十三圖は其の黨旗である。）



第 23 圖

此の獄中生活は然しヒットラーに取つて無駄ではなかつた。東奔西走の連續で一日として自己の信念を洗練する餘裕のなかつた、近年の激し

かつた日夜を顧みてヒットラーは外界から遮斷された靜かな生活を左程悲しまなかつた。而して政治信念から出發して世界觀的哲學に迄發展してゐると云はるゝ彼の民族理想が此



第 24 圖

の時完成され、同時に其の記録として現在では全獨逸青年層の聖書と迄仰がれ親しまれてゐる彼の自叙傳「吾¹⁾が闘争」が此のランズベルグの獄中生活から生れたのであつた。

第二十四圖は獄屋に靜思の日を送る當時のヒットラーである。

1) Mein Kampf

第四章 ナチス再組織

ナチス大衆に取つては指導者ヒットラーの入獄は非常なる打撃であつた。ナチス運動を禁じられたので差當り黨名を變へる事が必要となつたが早や此の點で四分五裂し、思ひくの名稱に依てヒットラーの教へと信じた方向に進んだのであつた。無罪放免されたルーデンドルフも亦一黨を創設したが、何れもヒットラーに見るが如き燃ゆるやうな信念を缺き又統帥の力もなかつたのでヒットラーなきナチスが如何に無力なものか日と共に民衆の心に深く喰ひ入る許りで、此の儘で行けば再び左傾各派の勢力が盛り返され國家主義は消滅するのではなからうかとさへ危ぶまれ初めたのであつた。結果から云へばヒットラーの偉大さを國民の頭に判然と叩き込む爲に天がヒットラーを雲隠しにした様な有様であつた。

ヒットラーの出獄

然るにバイエルン政府も流石に其のヒットラー一派に對する背信行爲に後めたさを感じ、

又其の後の左傾各派の横行にも困るので、遂にいゝ加減な口實を見付けて約一年後の一九

二四年のクリスマスの朝、ヒットラー及び其の一派を全部出獄せしめたのであつた。

意外に早い出獄許可に驚いたヒットラーは、

無駄ではなかつた獄中生活に名残りを惜み、且つ其の間に心からのナチス信仰者に變つて居つた獄吏全部から名残りを惜しまれつゝ寒い朝獄門を出たのであつた。第二十五圖は獄門から出た許りのヒットラーである。

第 25 圖

青年層の狂喜

ナチス黨員殊に若い血氣の連中は如何許りヒットラーの出獄を喜こんだであらうか、ナチス運動が嚴禁され、ナチス流の挨拶である右手を高く舉

げてハイルヒットラー（ヒットラー萬歲）と叫ぶ事が堅く御法度となつてゐた當時のミュ



* 禁止令も此の滔々たる民衆の聲に何時か無力となり、間もなく大した理由もなく解かれて了つた。ナチス再組織に固い決心をして居つたヒットラーはすかさず大演説會を開く事として、一九二五年二月二十七日ミュンヘンの大きなビール屋ビュルガー¹⁾プロイの地下室に於て「獨



第 26 圖

ンヘンに於て、ヒットラー出獄の日此の挨拶の爲に拘引された青年が捕へられ乍ら尙ハイル・ヒットラーを絶叫して止まなかつた有様が第二十六圖に於てもよく判るのである。

バイエルン政府のナチス*



第 27 圖

1) Bürgerbau-Keller

ス再組織紀念會場となつたのである。ヒットラーは當時出獄後二ヶ月充分休養もしたので第二十七圖の様に元氣横溢してゐたと云ふ。一年振りでヒットラーの大獅子吼に接したビュルガープロイに溢れた一萬の聴衆は熱狂した。

ヒットラー嵌口令



第 28 圖

逸の將來と吾人の運動」なる題下に大獅子吼を試みる事を決意し、第二十八圖の様なビラを至る處の町角に貼り出したものであつた。此の時よりビュルガープロイの地下室はナチ



第 29 圖

四分五裂した黨員は彼等の指導者の偉大さを再確認して以前より更に數倍の固さを以て結合された。パイエルン政府が其の斷壓に依つて完全に叩き潰した筈のナチスが以前の更に數倍の力強さを以て再結合されたのを見て、當路者は又狼狽した。而して窮餘の一策としてヒットラーにだけ公衆の前に於て演説する事を禁止したのであつた。それ程ヒットラーの雄辯が効果があつたと共に、其の結果が恐ろしかつたのであつた。流石のヒットラーもこれには閉口した。誰か自分の代りに公衆を惹き附けて行く様な代辯者はないか探したがそれは無理であつた。然し全然公衆への呼びかけを中止しては折角のナチス

擴大が進展しないと云ふので不満足ではあるが黨員中の目ぼしいものに次から次へ代辯させて見るが、何れも落第だつた。漸くヒットラーとは又別な行き方で幾分下品ではあるが效果的な雄辯を持つてゐる者が若い黨員から見出された。ゲッペルスが是れである(第二十九圖)。肺病で瘦せて居て小男の跛で風體の悪い



第 28 圖

ス再組織紀念會場となつたのである。ヒットラーは當時出獄後二ヶ月充分休養もしたので第二十七圖の様に元氣横溢してゐたと云ふ。一年振りでヒットラーの大獅子吼に接したビュルガープロイに溢れた一萬の聴衆は熱狂した。

ヒ
ッ
ト
ラー
嵌
日
令

逸の將來と吾人の運動」なる題下に大獅子吼を試みる事を決意し、第二十八圖の様なビシを至る處の町角に貼り出したものであつた。此の時よりビュルガープロイの地下室はナチ



第 29 圖

四分五裂した軍閥は、この大なる再統一の以前より更に數倍の固さで結合された。パイエルン政府が其の斷壓に依つて完全に叩き潰した筈のナチスが以前の更に數倍の力強さを以て再結合されたのを見て、當路者は又狼狽した。而して窮餘の一策としてヒットラーにだけ公衆の前に於て演説する事を禁止したのであつた。それ程ヒットラーの雄辯が效果があつたと共に、其の結果が恐ろしかつたのであつた。流石のヒットラーもこれには閉口した。誰か自分の代りに公衆を惹き附けて行く様な代辯者はないか探したかそれは無理であつた。然し全然公衆への呼びかけを中止しては折角のナチス

擴大が進展しないと云ふので不満足ではあるが黨員中の目ぼしいものに次から次へ代辯させて見るが、何れも落第だつた。漸くヒットラーとは又別な行き方で幾分下品ではあるが效果的な雄辯を持つてゐる者が若い黨員から見出された。ゲッペルスが是れである(第二十九圖)。肺病で瘦せて居て小男の跛で風體の悪い

男ではあるが、當意即妙の激烈な演説をするに妙を得て居つた。

無言ヒットラーの努力

唯一の武器である熟辯を封じられたヒットラーは、茲に一轉してS・A擴充と訓練、及び更に一段高い政治目標への指導に全力を注ぎ始めた。彼の入獄中S・Aを預けて置いたロエーム大尉がヒットラーの考へと違つた方へS・Aを誘導して、ナチスから遊離せんとしてゐる事實をも發見したので、ヒットラーとロエームの對立を惹起する懸念もあつたがヒットラーの統制力はこれを圓滿に解決し、S・Aは再び純然たるヒットラーの私軍となつたのである。

S・Sの誕生

又別にS・Aとは違つた目的を持つた謂はば近衛部隊とも云ふべきS・Sを組織し始めたのも此の頃である。而して黨員²⁾デイトリッヒを初代S・S隊長に任命した。

第三十圖は稍々後年S・SをS・Aと同程度の大きさ迄發展させた初代S・S隊長デイトリッヒである。

ヒットラーは雄辯を封ぜられ閉口し乍らも瞬時もちつとして居なかつた。彼は此の機會を利用して出来るだけ多くの未だナチス化してゐない工場や農村を訪ねて労働者や農夫



第 30 圖



第 31 圖

達の眞の魂に觸れ、又彼自身の人間味に依つて彼等に光明を與へんと努力した。其の結果は直ぐに現はれて労働者や農夫達の純朴な心は忽ちヒットラーに傾倒するのであつた。

第三十一、三十二、三十三圖は工場労働者や農民が心よりハイルヒットラーを叫びつゝある一例である。

ヒットラー嵌口令の解除



第 32 圖



第 33 圖



第 34 圖

更にヒットラーはナチス黨内の急激な擴大に必然的に伴つて來る異分子の整理に着手した。それは仲々容易な仕事ではなかつたのであるが、彼は根氣よく、且つ無理な此の仕事を續け、遂に黨内の結束を堅實無比なものに固め上げたのである。此の二年に亘るヒットラーの無言工作は夫々又無駄ではなかつた結果を表はして來た。バイエルン政府當事者の交迭に依つてヒットラーの嵌口令がやつと解かれたので、今度はミュンヘン最大の會場たるチルクスクローネ¹⁾、日頃は曲馬團や大仕掛な安芝居にのみ使はれる二萬を容れると云ふ大會場に於て大獅子吼を二年振りで試みることとなつた。一九二六年春である。二萬に餘る聴衆はヒットラーの獅子吼に依つて何時もの如く更に燃え上る愛國心とヒットラー崇拜の念と前途に光明を感じて感銘深く散つて行つたのであつた。此のチルクスクローネの大演説を烽火として、ヒットラーの火の玉の如き活動は三度スタートを切つた。

1) Cirkus-Krone

六月には今や全國に擴がつた黨員の便宜を考へ、且つ又獨逸共和國憲法制定の地である中獨の古都ワイマールに再起後第一回の黨大會を催した。第三十四圖は尙制服を禁止されてゐた爲平服でワイマールの町を示威行進してゐるヒットラー、ヘッス、フエーダー、其



第 35 圖

の他のナチス幹部である。

此の時全國から集まつて來た黨員は約二萬と稱せられ、S・A・S・S が制服を禁止されてゐる爲白シャツの儘で大舉集まつて來て(第三十五圖)(第三十六圖)全獨逸の民衆を驚かしたのであつた。人口約五萬の小さなワイマールの町に是だけの人間の宿泊する設備のない事は明かで氣候もよし此の大衆は郊外に野營したのであるが、ワイマール始まつて以來の壯觀であつたと云ふ

第三十七圖は大衆の炊事を受持つた若いS・Aの一部である。此のデモンストレーションは非常な効果があり黨員は又急激に増加した。

此の勢に吞まれて制服禁止令は解か



第 36 圖



第 37 圖

れた。

ナチス黨員の激増と相次ぐ黨大會



第 38 圖

次いでヒットラーはニュールンベルグに矢張り早やの第二回黨大會を開いた。此の時は既に S・A S・S は合せて壹萬人となつて居つて、制服禁止の解かれたのを幸ひに S・A を元々通り褐色、S・S を黒色の制服とした。第三十八圖は其時の S A の行進である。勿論大會の効果は大成功であつた。

此の一九二七年夏のニュールンベルグに於ける第二回目黨大會を境としてヒットラーの活動はそれ以前はバイエルン地方を主として中南獨に限られて居つたのが全獨逸に擴大さるゝ事となつた。然し何と云つてもミュンヘンはヒットラー自身の



第 39 圖



第 40 圖

思ひ出深い第二の故郷であり、ナチス發達史上缺く事の出来ぬ土地であるので、此の當時になるとナチスの將來を見込んで、財閥よりの匿名の寄附金や全國十萬の黨員の出金等相當集まつて來てゐるのでヒットラーはナチス本部事務所を兼ねた彼の本據をミュンヘンに構へる事とした。 蔦色の制服のナチスの本部であるからこれに蔦色の家——¹⁾ブラウネハ

1) Braune Haus



ウス——と命名したものであつた。
第三十九圖はブラウンエハウスの全景である。

第 四十圖は蔦色の家の内にあるヒットラーの公室である。

第 四十一圖は此の蔦色の家の入口
廣間の正面に飾られたナチス發展史
上憶出深き黨旗の數々である。其

られたテロに依つて、或は地方政權の斷崖に依つて尊い同志の血に塗られたものであり、
惡戰苦闘の歴史と先輩の血の犠牲を黨員達に永久に忘れしめない爲にヒットラー自身の發
意に依つて飾られたものであると云ふ。

第四十二圖は同じ入口廣間の他の壁面を飾るもので一九二三年十一月九日ミュンヘンに
於ける革命失敗の日、卑怯なバイエルン政權の背信の機關銃に斃れた同志を永久に記念し
感謝する爲其の名を刻んだ銅板を壁に埋め、又其の内でも最も勇敢であつたエッカート氏

の家並びに數々のこれ等の記念品は獨逸復興の此の上ない記念として、その民族ある限り尊敬と感謝の念が捧げられ、この家を中心としてこのあたりこそは、復興獨逸精神のメッカ、メチナともなるであらう事が想像されるのである。

家は小なりとするも、後の獨逸民族に與



第 42 圖

の胸像を飾つた一隅である。

第四十三圖は鳶色の家の公室に於て各地の功績ありし同志や資金の後援を與へて呉れる人達へ感謝の志として自分の肖像に署名して贈るべく机に向つてゐるヒットラーである。

慘苦の中から起ち上つた獨逸がもし歐洲制覇の夢を實現し得たならば恐らくはこの鳶色



第 43 圖



第 44 圖

へる遺産としては實に無量のものがあるであらうと信ぜられる。

ヒットラー以下ナチス一黨がこの家に深い愛着と追憶を持つ理由もおのづから理解出来るのである。



第 45 圖

第四十四圖は蔦色の家の黨俱樂部室又は酒保とも云ふべきカジノでS・Aの卵と少年團の一部を集め寸暇を割いてヒットラーがナチス精神の眞髓を清純な頭に

叩き込んでゐる處である。少年達の輝く眼に注意すべきである。
第四十五圖は何かの活動に移るべく蔦色の家を出發するヒットラー。

ナチス州指導者制の創設とゲッペルス拔擢



第 46 圖



第 47 圖

斯くしてナチス擴大運動は愈々大發展の緒に就くと共にヒットラーの活動は益々白熱化して來た。彼は先づ其の主張する指導者原理¹⁾に基いて、全國を幾つかの州に分ち、各州



第 48 圖



第 49 圖

に州指導者——ガウライター——を任命し、間斷なき宣傳と組織に努力せしむると共に、己れ自身は此の間を飛び廻り、要所要所を遊説して廻る事とした。當時ナチスに取つて最



第 50 圖

も強大な敵地はワイマール共和制體の中央政府の所在地である伯林であり、伯林を中心とするプロイセン州であつた。共產黨の策源地でもあり、國粹黨其の他の右黨も頑張つて居り、其の上に當時の國會に於ける第一黨であつた左黨社會民主黨の勢力範圍でもあつた。此處に出すナチスの州指導者は餘程人選が六ヶ敷い、其處でヒットラーに指名されて此の大役を引き受けたのはゲッベルスであつた。

第四十六圖は宣傳教育相となつた後のゲッベルスである。

第四十七圖は宣傳相室に於て私設顧問と相談してゐるゲッベルス。

第四十八圖は宣傳相としてナチス少年團に演説してゐる一九三三年のゲッベルス。

第四十九圖は少年團員と語る同氏。

第五十圖は東¹⁾プロシヤ州ケーニッヒスベルヒに飛來して宣傳に當らんとする同氏。

ゲッペルス伯林の死闘

一九二六年末愈々伯林に乗り込んだゲッペルスは決死の覺悟を極めて赤の巢窟であつた伯林市東部²⁾ノイケルン區の勞働者街に居を定め、肉彈的宣傳を初め、態と共產黨に挑戦して行つたのでテロ行爲を元來得意とする共產黨は待つてましたと許り肉

彈相打つ慘事が繰り返さるゝ事となつた。

第 51 圖

無論ゲッペルスが伯林へ乗り込む以前にも伯林にナチス黨員が相當出來ても居り、又命知らずのS・A隊員も居つたのであつたが、頭のない連中が多く無意味な小競合を繰り返

1) Ost Preussen

2) Neuköln





第 52, 53 圖



第 54 圖

す許りであつた。それがゲッペルスが來て計畫的宣傳を爲す様になつて俄然效果的となり、特に共産黨との衝突が目立つて増して來た。直接伯林の保安責任者たるプロイセン州政府はナチス嫌ひも手傳つて名を秩序に借りて猛烈なナチス斷壓に出て來たのであつた。従つてナチス黨員には毎日／＼負傷者が斷へなかつた。

大きな事件の時は何時も御大ヒットラーが飛んで來て是等尊い犠牲者を慰め且つ勵まし彼等の仇は必ず他日打つてやると盟つたのであつた。

第五十一圖より第五十四圖迄の寫眞は是等の狀景である。

ホルスト・ヴェッセルの死

當時伯林大學の學生で熱心なナチス黨員にホルスト・ヴェッセルと云ふ青年が居つて、ゲッペルスの指揮に従つて勇敢に先頭に立つて共産黨員街に進出して宣傳に従事して居たのであつたが、遂に最大の犠牲者として共産黨員の短銃に斃れて了つた。

ナチス黨内の共産黨に對する憎しみは此の一事件の爲め遂に爆發せんとした有名な事件で、第五十五圖はホルスト・ヴェッセルがS・Aの先頭に立つて伯林貧民街を行進してゐる處で、第五十六圖は事件直後ヒットラー黨首に依つて其の瞑福を祈られてゐる處である。



第
55
圖



第
56
圖

ヒットラーの眞剣な顔をよく見て貰ひ度い。

斯かる肉弾的努力の内にさしも困難であつた伯林を中心とするプロイセン州のナチス化も一歩々々敵の牙城に喰入り始め、少し成功し初めると當時指導精神力を缺いて居た右傾諸團體員のナチスに投じ来るもの多く、且つ又文化の中心地であるだけに學者政治家、殊に議會に席を有する代議士にして議會政治の無意義さを痛感してゐた連中の續々たる加盟があり、プロイセン州指導者にゲッベルスを任命したヒットラーの人の選の確かさを又證明するの結果となつたのであつた。

ヒットラーの青少年教導事業

吾々は茲で尙他の一方面、即ちヒットラーの青少年教化事業をも忘れてはならない。

一九二三年の十一月革命に敗れ獄中生活をしたヒットラーは、出獄後僅か一年餘の入獄の間に彼れの信頼してゐた人々が四分五裂してゐる事實に直面してつくづく成人教化の効果を考へさせられたと云ふ。しかも成年民衆は既に今日の人であり直ぐに昨日の人となるべき運命にある。不滅の精神運動を残すにはどうしても明日の人であり、今日の人となるべき運命にある青少年の純眞な頭に確實な根を卸さねばならぬと痛感して居た處へ、

青年に與へたのであつた。

シーラッハ青年は自分の進言が容れられたのみならず、重任



第 57 圖



第 58 圖

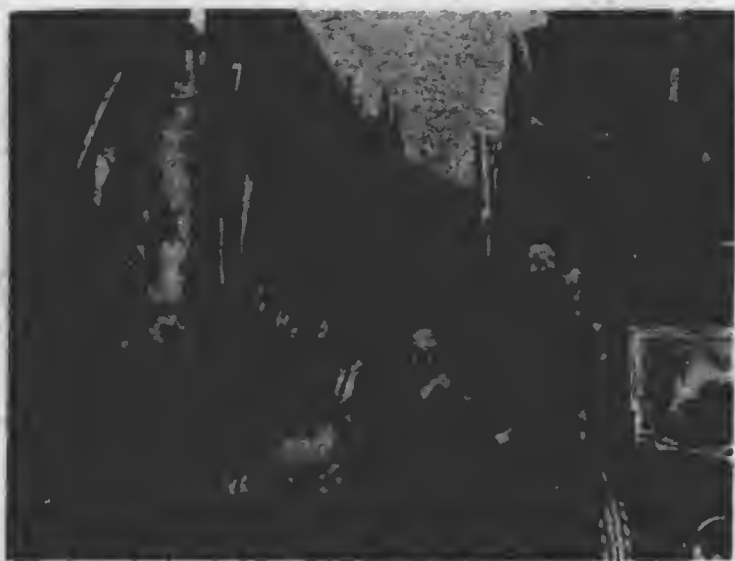
當時學生であつて熱心なヒットラー崇拜者であつた十七才の學生。リバルドゥール・フン・シーラッハが非常な熱を以て少年團を結成し、明日の中堅黨員養成を進言して來たのでヒットラーは周圍の多少の反對を押へて全獨逸ヒットラー少年團結成の全權をシーラッハ



第 59, 60 圖

を授けられた事にいたく感激し、渾身の努力を以つてこれに當り、一九二六年ワイマール黨大會に初めて S・A、S・S に伍し、可憐なヒトラー少年團三百名を率ゐてヒトラーの閱兵を受け、世人をアツと云はせたのである。

第五十七圖は、此の少年團の樂隊が獨逸の自由を高らかに奏して少年の意氣を高揚してゐる光景であり、第五十八圖は同じ少年團の喇叭隊の行進である。



第 61 圖



第 62 圖

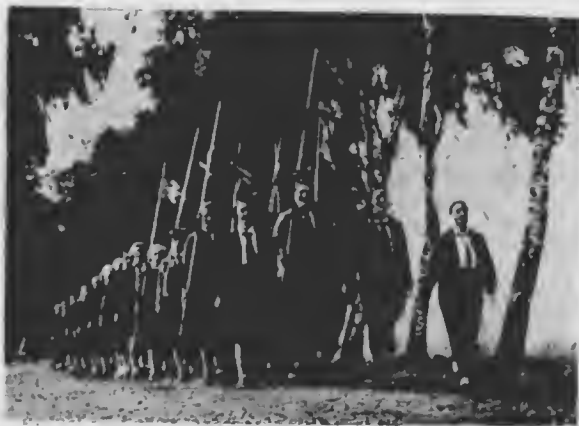
第五十九圖は未來の獨逸を脊負つて立つべき是等少年團が、團長シーラッハの熱烈な激勵と教育に酔つてゐる處。

第六十圖は稍年長の少年團が昂然と伯林市街を行進して行く光景である。

第六十一圖は全國より徒步を以て黨大會へ參加の爲、ニウレンベルグ市に集まつて來た少年團を團長シーラッハが閱兵してゐる處である。



第 63 圖



第 64 圖

少年團事業は少年男子に止まらず少女に對しても擴大された。第六十二圖は是等少女團の代表達が、親しくヒットラーより握手を與へられて居る處。

第六十三圖は農村の少女達が同じく教育を受け農村勞働の尊さを自覺して勞働の服裝其の儘で行進に加はつてゐる處。

第六十四圖は夫々の小指導者に引率されて是等少女團が體位向上をも兼ね堂々で行進してゐる處である。

此の少年團少女團に次いでナチス學生同盟が結成され、更に發展した成人各種職業別ナチス同盟が生れて來た。是等の中で少年團は特に效果の大きいもので、ナチス運動に一種清新可憐なる趣きを添へ、又少女團には一種の情操をも與へた。又其の實用價值に就いても明日の根強い基礎となるのみでなく、交通整理の補助、救急事業の手傳ひ等相當なるものがあり、しかも其の純真な頭腦に深く印象付けらるゝ愛國の信念に於て重大なる成功と考へらるべきである。少年團事業に就いては項を改めて書く事として茲には省略する。

第五章 ナチスの全國的擴大より政權把握迄

ナチスは今や全獨逸を燎原の火の如く席捲し、中央政府も各州政府も或は又國防軍も指一本加へ得ぬ實力を備へるに至つた。若しヒットラーがやらうと思へば實力に依る政權把握は易々たるものであつた。が然し、一九二三年の痛い經驗と圓熟して來たヒットラーの常識は飽迄武力行使を回避させ、合法的に恰も果實の熟し切つて落ち來るを待つが如く辛抱強く、政權が自然に掌中に落ち來るを待たんとする方針を堅持したのであつた。爲に血氣に逸るS・A・S・Sの内には兎もすれば外部へ破裂せんとする壓力の鬱積を來し、度々間一髪の危機もあつたが、益々加はつて來たヒットラーの統制力は克く是れを阻止し得た間に漸次舞臺が廻つて來たのであつた。

吾々は今迄餘りにナチスの發達經緯の千變萬化に興味を持ち過ぎた様である。其のたに些か獨逸全體の各方面の其の後の歩みを度外視した傾がある。此處で再び是等を振り歸つて辿つて見るのも無駄ではなからうと思ふ。

インフレ後の獨逸國內事情

一九一九年のヴェルサイユ條約に依つて不可能を武力で獨逸へ押し付けた佛蘭西も、結局ないものは何うしても取れない事を悟り、又英國も佛の餘りに我儘なのに不快を覺へ佛を押へる方向に出て來た處へ米國が、獨逸の破産は結局米國の聯合國への債權の回收を不可能たらしむるものであると爲して、獨逸破産救済の爲めヤング¹⁾を派遣し、ヤング案を作つて獨逸の賠償義務を餘程輕減したものの、尙戰後の獨逸に負擔し切れなかつた事は當然で、更にドーズ案²⁾となり、ロカルノ條約が生れ、佛のルール地方占領が解放され漸次獨逸に課せられたる義務が輕減され、又米國の遊資が續々獨逸工業へ投資さるゝに及び獨逸の工業界は漸次生氣を吹き返した。而して獨逸の大工業家連は實はインフレ時代に其の製品を海外に賣つて外貨を得、其の製作原價はたゞ同様のインフレ紙幣で支拂ひ得た爲國內勤勞大衆は極端な貧困に陥つたが、企業資本家の多くは却つて豫期せざる莫大な利益を外貨で得たのである。其の多くが猶太人であつた爲に益々ナチス運動に拍車をかけた結果となつたとは云へ、全部が猶太人でもなく、又獨逸系猶太人も多かつた。自然に彼等不當利得者は利益を隠す一つの手段として其の工場の償却に多大の利益を當て、更に工場設備

1) Young 2) Dawes

の改善取替へに當てた爲に一般には只獨逸の物資がたゞ同様で外國へ流れた様に考へられてゐたインフレが却つて獨逸工業界を變態的に改良した結果ともなつたのである。有名

な電機工場シーメンス社が伯林西郊に廣大な土地を拓きシーメンス市を建設し、全生産工場 of 集中と大本社事務所と、三萬人の従業員を基礎とする十萬人の住宅市街建設を大戰直前に着手したのであつたが、此のインフレ利得に依つて完全に償却し、考課狀面に每期全市街を僅か一馬克と計上して居るが如きは其の一例である。

又民衆を極度の貧困に追ひ込んだインフレも、シャハトの案出した獨逸領全土の土地抵當に依る¹⁾レントン、マークに依つて奇蹟の如く立ち直つたのである。

中間景氣來る

右の様な事情の當然の結果として、世界は戰後の生産過剩に苦しみ深酷なる不景氣に悩んだ一九二〇年から一九三〇年にかけて、獨逸工業は消却費不要乃至輕減と設備の新式を理由とする原價安の強味を持つて海外市場に臨む事が出来たのである。其處へ米國から

の低利巨額の資金が流れ込んだ爲、不思議なる中間景氣が出て來たのであつて、米國資本と共に米國式製産様式が輸入せられ、一時獨逸は生産行程の合理化が大流行し、更に日本

1) Renten mark

に輸入されて合理化運動が線香花火式に我が工業界の流行語となつた事も未だ世人の記憶に残つて居る事と思ふ。經濟的に中間景氣が出て來るとやがて國民の考へ方も落付いて來るものである。一時獨逸を風靡する觀のあつた共產黨も漸次勢ひを失ひ、是れに代つてナチス運動が民衆の心を強く擱んだのも一つにはかう云つた經濟的影響のあつた事も見逃せない。

經濟恐慌來と失業者激増

然るに人の世の行き過ぎに對しては自然の微妙なる是正が何時とはなしに來るものである、かうした獨逸の變態的の中間景氣もやがて是正さるゝ時が來た。一九三〇年の夏、不意に獨逸經濟界を襲つた金融逼迫は丁度其の當時大波の打ち寄せるが如き勢に乗つたナチス運動の結果、民族意識の根強い高揚、猶太人打倒の聲と共に米系資本家、猶太人企業家を震ひ上らせる効果を發揮し、急激な米系資金の引上げ、猶太系資本の國外逃避の結果であつた。さらでだに合理化運動に依つて生じて來た過剩勞力は、企業資本の引揚げに依る事業の縮小に依て益々拍車をかけ、失業大衆の數は月毎に撥ね上り一九三一年には五百萬、一九三二年秋には遂に六百五十萬に達し、國家當面の大問題となつて來たのである。

かゝる獨逸國情の變化變遷の間にヒットラーは如何なる活動をして居つたであらうか、吾々は又茲でナチス運動の全國的活動を辿つて見なければならぬ。

全國的ナチス化運動の躍進

一九二七年夏南獨ニウルンベルグ市に於て開かれたナチス第二回全國大會は非常なる盛會であつて、S・A 一萬人S・A 以外の黨員約十萬人と云はれる。S・A も段々訓練の

效果を發揮し武器こそ持たね薦色の制服に身を固め各基準部隊、スタンダルトに分れ、整然として隊伍を整へ堂々たる分列式を行ひ、御大ヒットラーの閱兵を受け絶対誠忠を誓ひ、ヒットラー又恰も一國の元首であるかの如き堂々たる態度で是れに右手を舉げて應へ、次いで約三百のヒットラー少年團が可憐な隊伍を組んで團長フォン、シーラッハに率ひられて肅々として進み、感激熱狂した十萬の黨員及び見物に來た多くの市民や労働者は我を忘れてハイル・ヒットラーを絶叫し、非常なる成功を収めたのであつて、獨逸全國も今更の様にナチスの勢力に就いて感銘を與へられたのであつた。

第六十五圖は一スタンダルト毎に與へられた部隊楯を高く捧げて、選ばれた楯手達が肅々と會場に入場する光景である。



第 65 圖

第六十六圖は各地ナチスS・Aが其の黨旗を中心に整列してゐる處。

第六十七圖は分列式の後大獅子吼するヒットラーの言葉に魂も奪はれて聞き惚れる若人達。

第六十八圖は大獅子吼を試みて參集大衆



第 66 圖

「トラーである。

此の第二回黨大會に於て更に躍進的黨勢擴大に成功したヒットラーは此の機を逸せず全國的にナチス化を企て、各地に州指導者を任命し、彼自身は晝夜の別なき大活躍を開始した事は前述の通りである。而して一九二九年引續きニウルンベルグで第三回の黨大會を



第 67 圖

に非常な感銘を與へた當時の齡三十八となつて惡戰苦闘に益々精神力を鍛煉せられて油の乗り切つたヒ



第 68 圖

矢繼早に敢行し、破竹の勢で激増して行く黨の實勢力を如實に國民の前に見せ乍ら寧日なき活動を彼自身續けたのであつた。

第六十九圖は斯くして飛び廻つて居る當時のヒットラーが、村々で純朴な農民達から心よりの祝福を受けてゐる實景。



第 69 圖



第 70 圖



第 71 圖

ラー。

第七十一圖は都市から都市へ激しく移動奮闘するヒットラーが、其の間でS・AやS・Sの隊員より種々の情報を受けてゐる處。



第 72 圖

第七十圖は當時ヒットラーの自動車に依る大活躍に常に隨行し、彼の自動車を運轉しつゝヒットラーを守つてゐたS・Sの一部隊長シュレックとヒット

第七十三圖は町から町へ、都市より都市へ馳け廻つて自動車の上から民衆に呼びかけてゐるヒットラー。



第 73 圖

第七十三圖も同じく街頭に於てS・Aの行進に右手を舉げてナチス流の挨拶を與へ、市民の前に大示威を行つてゐるヒットラーである。



第 74 圖



第 75 圖



第 76 圖

彼は又此の間にも都市から都市への間の村落で農民に親しく呼びかける事を忘れなかつた。何事にも用意周到で爲す事動くに無駄のない彼の修養が此の當時から積み重ねられて行つたのである。

第七十四、七十五圖は此の一二の實狀である。

第七十六圖は一九二九年のニウルンベルグに於て第三回黨大會を開いた當日、三度び全國から集まつて來たナチス大集團の行進を閲してゐるヒットラーである。

ナチスの議會進出

此の連續的黨大會とヒットラーの火の如き活躍と全國の州指導者の努力、殊に最も困難であつた伯林を中心とするプロイセン州に於けるゲッペルスGoebbelsの惡戰苦闘は當時前述の様な米系資本の流入と合理化流行の爲、一時中間景氣を生じて國民の生活も幾分樂になり、大衆をして民族意識を燃え上らせる爲には理論上幾分不利な時代であつたにも拘はらず、全國的ナチス化が着々と成果を收めつゝあつた事は、矢繼早やの黨大會に於ける幾何級數的黨員激増に依つて事實上證明され、其度毎に獨逸全國を驚かせ漸く歐洲各國をして容易ならぬ事態として狼狽せしめ初めたのであつた。此の當時の特に注目すべき傾向は勞働者農民學生等の大量的ナチ加入の外に、ゲッペルスの努力に依る伯林其の他プロイセン州に於ける既成政黨、ナチスの敵國の觀のあつた是等政黨の有力なる黨員であり既に堂々一家を爲してゐた政治家のナチス轉向であり、實業界に隠然たる勢力を有する大資本家財閥

の代表者達の加入であり、更に進んで現職大學教授等の有名な學者達の續々ナチスに投じて來た事實である。斯うなつて見ると今迄ナチスなんかは農民や勞働者や失業者や青年學生等の無智な階級や實社會に經驗のない連中をヒットラーの煽動的雄辯で惹き附けてゐる團體で、智識階級の人間としては相手に出來ないと高を括つて居た全國のインテリ階級も眞剣にナチスの主張を吟味する必要に迫られて來た。而して知れば知る程ヒットラーの民族的主張や世界觀的思想が、獨逸民族としての光輝ある行手を示すものであり、他の諸政黨の主張が何れも如何にも力の弱い理想の低いものであることが段々明かにされ來り益々知識階級の來り投ずる者を自然的に増加して來た。黨の勢力の擴大するにつれて益々其の効果を擧げる様に組織を擴げて行くのはヒットラーの天才的方面の一つでもあるので、ナチス擴大運動は日と共に効果を擧げて來たのである。

此の大勢を見てヒットラーは血氣に逸るS・AやS・Sの若い闘士達を嚴重に統制し乍ら合法的に政權に近づく爲に、彼の多年の主張であつた議會政治の否定に一見矛盾する様ではあるが、政權獲得の一手段として國會に自黨代議士を送る決心をしたのであつた。これは一面勞働者百姓を相手にして居つた當時は實際の處ヒットラー自身も國會の事情や選舉の戦ひ方も判らず、又夫程の自信もなかつたのであつたが、上述の通り政界名士連の續々

加入に依り現代議士のナチス黨員を得た事や、是等の人々の熱心な進言に依つて段々自信と決心がついて來た爲でもある。然るにヒットラーの多年の主張であり、ナチス黨綱領の重要な一部でもあつた無責任な議會政治否定の思想がナチス黨員の頭に叩き込まれて居つた當時、假令合法的政權把握の手段に過ぎないとは云へ、議會に自黨の代議士を送るべく決心する事は非常な決斷を要する事であり、又ナチス黨員に一大動搖を與へる危険性があり、黨幹部にも甲論乙駁ナチス分裂の危機とさへ云はれたのであつたが、現在の周圍を超越して未來の狀勢を洞察する精確無比なる判斷力こそヒットラーの天才的方面の最も大きな部分である。ヒットラーの斷が漸く此の危機を切り抜け敢然として選舉に對する準備を進めたのである。喜んだのは自信に満ちて居つて己が伯林開拓の實證を見せ度い氣持一杯であつたゲッペルスと黨機關紙¹⁾フエルキッシュ・ベオバハター紙主筆ローゼンベルグ及び現代議士でナチスに轉向した既成政治家達であつた。

第一回總選舉戰の失敗

斯くして一九二八年五月の總選舉に向つてナチスは急に立上つたのであつた。世人は驚いた。果して結果は豫想に反して僅か十三名の代議士を送り得たに過ぎなかつた。

1) Völkisch Beobachter

2) Rosenberg

此の結果を見て世人も冷笑し、ナチス黨内の議會進出反對派の人々もソレ見ると嘲つた。矢張りナチスも選舉に對しては素人であつた。宣傳も效果的でなかつたし、努力も足りなかつた事を判然とさせた。ヒットラーは然し失望しなかつた。是迄寧日なき奮闘に依つて演說會に於ける大衆の心を掴む事には自信のあるヒットラーも、選舉と云ふものは又別な心理が大衆に働くものだと云ふ事を此の失敗に依てつくづく體驗したのだが、彼の特徵である強靱なる精神力は此處にも發揮され選舉が終結するや否や直ちに次ぎの總選舉の準備を進めた。而して宣傳目標を急に外交方面に集中して國民の眼を惹き付けるべく努力し初めた。何故かと云ふと當時歴代の内閣はヤング案やドーズ案に依つて非常に是正された賠償問題に對して責任を履行すべく努力を續けて居つたし、又各政黨共賠償問題に對しては妥協的態度で何とかして聯合國側の御機嫌を伺つて此の上共賠償條件の輕減をして貰ひ度ひと云ふ消極主義で一貫しておつて、聯合國を向ふに廻して賠償義務破棄等と云ふ様な強硬な主張を爲し得る政黨もなかつたし、又當時の獨逸では國民の意氣も消沈して居つてそんな飛んでもない事は考へても見なかつたのであつた。此の情勢に於て國民の注意を惹き付け他の諸政黨を向ふに廻して國民大衆の心をしつかり把握するには外交問題は實に絶好の題目であつた。此の方針を決定するや直ちに猛烈な勢で實行に移り、機關紙

フ・ルキッシュ・ベオバクターは連日聯合國殊に怨骨髄に徹してゐる佛國に對する國民の反感を掻き立てるべく論陣を張り、ゲッベルスは當面の敵たる共產黨に對する反感から惹いては共產黨の祖國たるソ聯に向つて猛烈な惡罵を續け、又前回の選舉に依つて國會に議席を有するに至つた彼は、極度に代議士の資格を利用して國會に於ては勿論、街頭に於ても彼一流の惡い罵聲を聯合國に向け、當時漸く擡頭して來て國民の當面の大問題となつて來た失業者激増の問題を機敏に擗へて、此の責任を全面的に聯合國に負はしてつた。

ナチス議會進出漸く外國の注意を惹く

聯合國やソ聯はこれを見て猛烈な苦情を中央政府に持ち込むと共に、ナチスを公然の敵と見做し初めたのであつた。而しナチスは今や外國の苦情に依る中央政府の斷壓位で何ふにもならない程の勢力となつて居たのであつた。又老獪な英國は當時佛國の實力増大を私かに苦にして居た際なので、寧ろ隠れてナチスを援ける方針に出た爲め、ヒットラーも亦此の英佛不和の微妙な動きを極度に利用せねばならぬと見て親英方針を命令したのであつた。

聯合國、特に佛國やソ聯は當時直ぐに武力を以て獨逸の國內問題に干涉する程の力もなく、又意志もなかつたので、其の常套手段であるナチス反對派の買収に出て來て、共產黨を筆頭とするナチス反對派には莫大な金がペラ撒かれ従つてナチス黨員に對するテロ行爲は激増して來た。然し一方で國民大衆の注意は美事にヒットラーの狙ひ通りナチスに集



第 77 圖



第 78 圖

中して來たのであつた。

ヒットラーを初めナチスの全國的活躍は益々白熱化して來た。自動車に依つて全國を

馳せ廻つて居つたヒットラーは更に飛行機に依て活躍する様になつたのも此の頃の事であ

る。第七十七圖は當時のヒットラーが飛

行機で飛び廻り乍ら着陸地から全國のナチ

スを指揮命令してゐる處である。第七十

八九圖は飛行機から降り立つたヒットラー

が其の地方地方のナチス幹部に迎へられて

演説會へ趣く處である。

第八十圖より第八十三圖はヒットラーが

至る處の野外民衆大集團に對し熱烈な獅子

ヒットラーの執辯が躍如として居るではな

い。

いか。

かゝる間にも、議會進出方針決定に依て分裂の危機を體驗したヒットラーは益々ナチス

黨内結束の再強化を必要と感じ、一九二九年第三回黨大會をニウリンベルグに於て開き大



第 79 圖

成功を収めた事は前述の通りであるが、更に同年秋に至つて黨協議會の名目の下に同じニ
ウルンベルグに第四回黨大會を招集し黨内結束の強化を圖つたのであつた。又其の必要を
痛感する程結束は危機に臨んでゐたのであつたが、此の協議會に依つて辛くも危機は再び
切り抜け得たのである。



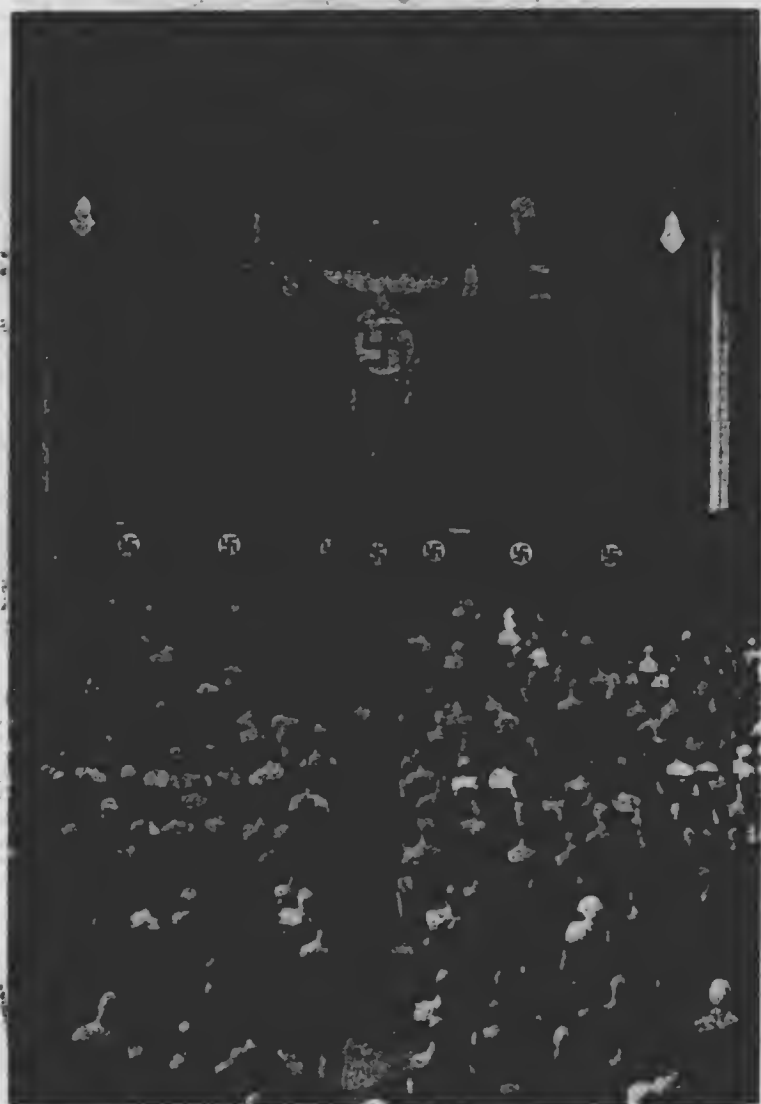
第 80 , 81 , 82 , 82 圖



第 84 圖

第八十四圖は此の協議會に臨むヒットラーである。漸く圓熟に向はんとするヒットラーが當時ナチスの擴大に連れソロ／＼芽生えて來初めた黨内異分子の發生に對し矢繼早やの黨大會や協議會を以て結束を計らんとして居つたが爲に幾分心中の苦惱を押し隠して、民衆の歡呼に應へてゐる模様が觀取り得るであらう。

第八十五圖は協議會場内部の模様で、ニウルンベルグ市の文化協會の會議室に於ける當時の物々しい有様であり、其の盛況がよく觀得出來る。



第 85 圖

獨逸政界多事となる



第 86 圖

ナチスが獨逸全國に破竹の勢で呼びかけ、又外交問題を提げて無謀に近い過激な論陣を張り、民衆の大部分がこれに傾くに従つて聯合國側が漸くナチスの動きに注目之眼を離さぬやうになると共に、一時的中間景氣の源泉であつた米系猶太資本は急速に引揚げられ始めた。失業者數は月々躍進する、ナチスのヴェルサイユ條約破棄の宣傳が民衆の心を捉へて行く程度に比例して、當時尙極く一部分が支拂はれたのみで大部分が未拂債務として殘されて居つた賠償金に對する聯合國殊に佛國の督促が愈々嚴重を極めて來る次第で暫く中間景氣に依つて稍平穩に經過して居つた獨逸政界は漸く多事となつて來た。當時小さい乍ら國會第一黨

であつた中央黨を提げて内閣を組織して居つた ブリュニング首相は此の迫り来る重大危機を切り抜ける爲には政府が強力なる力を持たねば到底不可能であると考へて總選舉を斷行し、強力なる選舉干渉に依つて中央黨を絶對多數の第一黨に迄強化し、其の背景で國會を無視した獨裁に近い政治を敢行して此の國家の危機を何とか切り抜けようとしたのであつた。無論彼と雖も此の澎湃た



第 87 圖

あるが、前回の選舉であれ程宣傳しても漸く十二名の議席を得るに止まつたナチスを少し選舉干渉をすれば保守的な當時の民衆が急激に澤山選出する筈はないと考へて居つたのである。ともあれブリュニング内閣

は一九三〇年國會を解散し其の秋總選舉を行ふ事としたのである。

第二回の總選舉

と、直ちに全國大宣傳とポスター戰を開始したのである。

第八十六圖から八十九圖迄は労働者や農民や家庭の主婦に呼びかけ又他政黨の偽瞞に充ちた政綱を直接攻撃した效果多かりしナチスのポスターの一例である。ヒットラー始め



第 88 圖

ナチスに取つては待ちに待つた結果選挙である。前回の失敗に教へられて用意に用意した選挙である。ポスターも民衆に直接呼びかける効果を擧げる爲、研究に研究を重ねて簡單明瞭なものとして腹案も出來て居つた。いよく國會解散となる



第 89 圖

ナチス幹部は勿論總動員で全國を駆け廻り絶叫を續けたのであつた。

第一黨となる

此の選挙の結果ナチスは一舉に百〇七の議席を獲得した。十二名のナチス代議士が一舉に十倍に近い百七名に飛び上つたのである。聯合國も國內民衆も殊にブリュニング内閣の與黨中央黨は驚愕して色を失ひ、猶太人は最早助かる道もないと早合點して極度に狼狽した。國の内外を問はずまさかと思つてゐた事が急に嚴然たる事實となつて現はれた様に思つたのも無理ではなかつた。

然らば百〇七名の議席で獨逸は直ちにナチス政治になつたかと云ふと仲々さうは行かない。五百五十名を以て數へらるゝ當時の國會議席中の第一黨となつたのみであつて、未だ未だ政權は握めたわけではない。然し國民大衆の希望がナチス政治にある事は最早動かすべからざる事實となつて現はれて來たのであつて、云ひ換へればヒットラーが合法的に政權を握む事を國民の大多數が希望して居り、此の上は只單に時日の問題である事が明かになつただけであつた。ブリュニング内閣は依然として繼續された。

經濟危機來襲

然し此の事實が世界に與へた反響は大きかつた。ナチス勢力漸増と共に引揚げられつゝあつた米系及び猶太系資本は更に急速に引揚げられた。失業者は益々増加して來た。而して遂に翌一九三一年の夏に至つて一織物會社の支拂不能が口火となつて暫く續いて居つた中間景氣の反動としてのパニックが獨逸を襲つたのであつた。本來ならば不自然な中間景氣の暫く續いた後の深刻なパニックとなるべき情勢であつたし、又各外國及び民衆も又再びあの深酷なインフレが來るのではなからうかと憂慮したが、當時獨逸銀行總裁であつたシ¹⁾ハト博士の必死の努力に依つて約一ヶ月の後辛うじて危機は切抜けられたのであつた。此の時のシ¹⁾ハト博士の超人的努力は、歐洲各國の驚嘆と獨逸國民の深い感謝を呼んだもので、伯林、ロンドン、巴里を飛行機で目の廻るやうに飛び廻つて債務の猶豫を乞ひ、一時的の貸出しを哀願し、午前中はロンドンで午後は巴里に居つて翌日は伯林の閣議に報告すると云ふ超人的努力振りであつた。國亂れて忠臣出づと云ふが、國歩艱難の秋かゝる傑物が出るのは東西その規を一つにしてゐるのも面白い。曩にはレンテンマークの案出に依つてインフレの泥沼から獨逸を救ひ、今又危機から祖國を救つた彼シ¹⁾

1) Dr. Hjalmar Schacht

ヘトが民衆の感謝の的となつたのは當然である。

此の如く國家の危機に際して國內政情の不安を招來する事は何處も同じく、獨逸も一方に於てナチスの動かし難い勢力と共に右傾左傾各派夫々思ひ思ひの宣傳に懸命となり來つた結果、政争が日に増し激化して行つたのも無理もない事であつた。

第一黨ナチスの行衛

國會の第一黨となつたナチスはヒットラーの慧眼なる指令の下に今度は一轉して地方政權を片端しから攻め落しにかゝつた。先づチューリンゲンとブラウンシュバイクが其の目標となつた。間もなく此の二州の地方政府にはチューリンゲンにヒットラーの懐刀と云はるゝフリックがブラウンシュバイクには俊敏なクラッゲが大臣となり、無遠慮にナチス宣傳と教育に公權を振り廻して思ひ切つた事を次から次へ斷行した。勿論これはナチス以外の各政黨の問題の種となり、中央政府も躍起となつたが鐵の如き意志の下に凡ゆる場合を覺悟の前でやつてゐた是等の人々には何等の効果もなかつた。

老齡にも拘はらず時代の推移を見るに敏であつたヒンデンブルグ大統領は痛く憂慮して一度ヒットラーと膝を交へて話して見て彼が世間の云ふが如く亂暴な事をしようとするの

1) Thüringen

2) Braunschweig

3) Kragge

でなければ、内閣に入れて第一黨の統率者として當然な政權の一部を受け持たすべきであると確信してブリュニングの極力諫止しようとしたにも拘はらずヒットラーを招いて初めて會見したのである。一九三一年八月の事である。

會見の結果は果してヒンデンブルグの信じて居つた通りヒットラーの主張も、行はんとする處も極めて眞剣であり、眞面目であり、合法的であり、愛國적である事が確められたので次の機會に入閣する意志はないかと質問して見た。是に對してヒットラーは自分が入閣する時は自分が總理としてであり、他の政黨を少しも混入しない百パーセントのナチス内閣でなければならぬと答へて、全部か、でなければ零か、と云ふ有名な返事をして別れたのであつた。

ヒットラーの伯林私政府時代

地方政權を一つ宛陥落させる事に主力を注いでゐたヒットラーは折好く翌一九三二年春に獨逸大統領たるヒンデンブルグの七年の任期が終り、形式的にも總選舉をせねばならぬ事と、今一つ伯林を中心とするプロイセン州の總選舉があつたのでこれに主力を注ぐ事となり、ミュンヘン市の鳶色の家は其の儘として伯林に腰を据ゑる事となり、伯林の官廳街で

あるウキルヘルム通りの極く近くにあつたホテルカイザーホーフの二階全部を借り切り、流石に大臣とは名付けなかつたが、外務、内務、經濟、宣傳、戰鬪等の各指導者を任命し、彼自身は最高指導者として陣取り、内外新聞記者を引見しホテル入口や階段等には篤色制服に身を固めたS・A、S・S等を配置し、恰も一國の總理の如き威嚴を示して、精神的にブリュニング内閣を威嚇する事にした。當時伯林人はこれをヒットラー私政府と稱して今にもヒットラーがクーデターでも行ふのでないかと心配したのであつた。

御大の乗込に依つてプロイセン州總選舉に對するナチスの宣傳は俄然活氣を呈した。ゲッペルスが此處を先途と活躍したのは勿論である。

ヒットラーの大統領選舉立候補

人も知る通りヒンデブルグ大統領は大戰中對露作戰に於てタンネンベルヒの大捷を遂げて以來獨逸人には一種の信仰の目標となつてゐたもので、大統領に選ばれてからも一部の憂慮を美事裏切つて、其の重厚の資質と國際關係に關する明敏な頭腦と武人出身にも拘はらず平和維持に對する確乎不拔の信念に依つて獨逸民衆の敬愛と信頼を一身に集めたのは勿論だが、又聯合國よりも厚い信任を受け、其の存在の故を以て賠償問題も漸次是正され

て行つたとも云ひ得る位で、誠に其の徳望を以て一國の安きに任じてゐた人物であつた。

第一回の任期七年は國歩艱難の内に兎も角もギリ／＼と國運を挽回して來た同大統領の再選は國民の誰れしも望んでゐた處で、如何に破竹の勢にあつたとは云へヒットラーが敢然ヒンデンブルグ大統領を向ふへ廻して、一舉に大統領選舉に飛び出やうなどとは流石に民衆の誰もが夢にも思はなかつた處であつた。又事實ヒットラーもヒンデンブルグ大統領の至誠には敬服して居つたので最初は立候補の意志もなかつたと云ふ。然るに當時國內の政黨が争つてヒンデンブルグ大統領支持を決議して居つた爲是等既成政黨に挑戦する必要上己むを得ず立上つたのだつた。政府は直ちに好機御座んなれとして猛烈な惡宣傳をし、民衆のヒンデンブルグに對する崇拜の念が強いだけにナチスに取つては由々しい危機が來たかの觀を呈したが、三月人民投票開票の結果は意外にもヒンデンブルグ千八百萬に對してヒットラー千百萬で略々三對二の成績であつて、これには政敵は勿論國民も今更の様に驚いたのであつた。斯くしてヒットラー立候補も却つて國內にナチスの勢力を誇示する好機となつて了つたのであつた。

かゝる間にもナチスの全國化は着々として進み、黨員の激増に連れて S・A や S・S は益々隊員を増加し來つて、一九三一年夏、當時地方政權を片端からナチスの勢力下に



第 90 圖

置かんとしてゐたヒットラーは中獨りシエムニッツ市郊外にS・A及びS・Sを集めて例の如く一大閱兵式を行つた。當時それ等は合計六十萬の大軍となつて居たが、益々規律整然たる訓練の行き届いた軍隊となつて民衆の前に現はれ、内外人の目を眩らしめたのであつた。第九十圖は此の時の盛況の一端を表はしたものである。

第九十一圖は當時のヒットラーがライン河畔ゴードスベルグ町附近をモーターボートで巡回して地方ナチス黨員を激勵して廻つて居る處である。プロイセン州の總選舉も豫期通り大成功であつた。一時激しい赤の策源地であつた伯林、其の後右傾保守派の金城鐵壁であつた伯林も遂にナチスの壓倒的勢力の

下に遂に屈服したのであつた。かうなると流石人望のあつたブリュニング内閣も手も足も出なくなり、一九三二年五月遂に總辭職の己むなきに至つた。

中間内閣の出現

事茲に至つては好むと好まざるに拘はらずヒットラーに組閣の命令が下るより他に途はなからうと國民も外國も特にナチス幹部も期待して居たのであつたが、案外にも軍部出身のフォンパーベン内閣が忽如として出現したのには皆アッと驚いて了つた。



第 91 圖

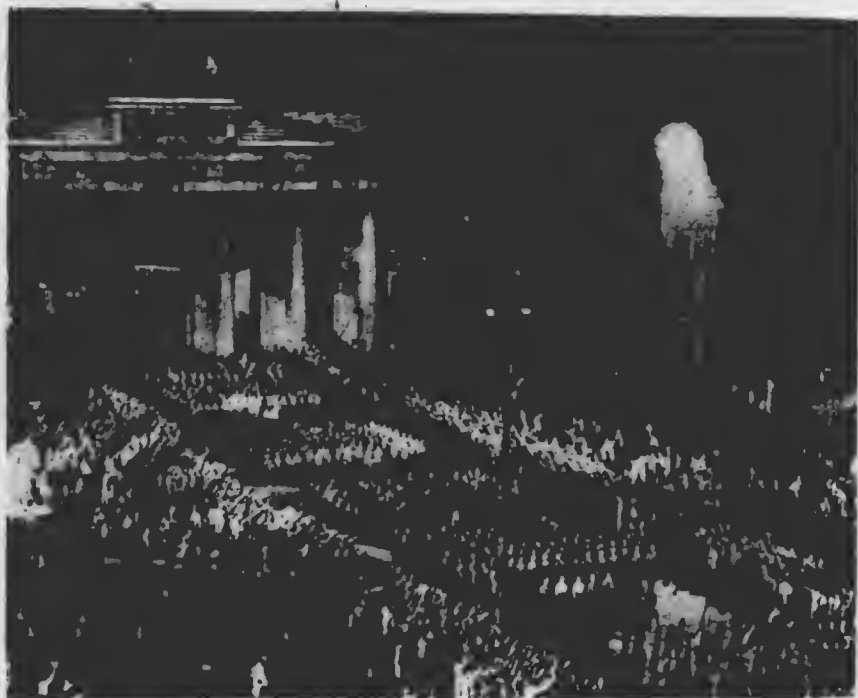
此の内閣は總理以下軍部出身者が多く、實權は首相のフォンパーベンでなく寧ろ國防大臣¹⁾シュライヒャー將軍に握られて居つた様である。シュライヒャー將軍は軍人にも似合はず凄い策謀家で、當時軍幹部や政治上層部に隱謀家として恐れられて居た男であつた。

此のパーベン内閣は成立するには成立したが元々軍部内閣であつて國會に何等の背景を

1) Schreicher

有して居ないので、成立早々其の存続性を疑はれて居つたのであつたが策謀家のシュライヒャーの案に依つて首相パーベンは直ちにナチスに言葉巧みに援助を乞ひ、ヒットラーも國會の解散其の他の條件を附して強ひて反對せぬ事を約したと云ふ。國會は約束通り解散せられ同年七月總選舉となつた。其の結果は豫想通りナチスの更に一步前進を示し議員數は一〇七名から一躍二三〇名となつて、五五〇の議席に對して絶對多數ではないが未曾有の強力なる第一黨となり、其の壓力に依りヒットラーの右腕と云はれたゲーリングは議長となり、國會は最早やナチスに吞まるゝの形勢となつて來た。世人は引續くナチスの大捷に舌を捲いたのであつたが、絶對多數を期して居つただけにナチス黨内の急進派の失望と焦慮は甚だしく、世人は今にもナチスのクーデターでも起りはしないかと惧れて居たのであつた。又事實ヒットラーからナチスを捲き上げて自分がナチスの力を利用せんと隱謀を廻らせて居つたと噂されてゐたシュライヒャーが此の當時かなりナチスの急進派をアジつてゐた事も事實の様である。が然しヒットラーの嚴然たる方針は飽迄合法的に何處迄も機熟するを待つべく強力なる統制を加へ、流石のシュライヒャーも一指を染むる事も出来なかつたのであつた。

此の間にヒットラーはS・Sの大軍を柏林の市中を示威運動させたり（第九十二圖）。



第 92 圖



第 93 圖

着々として進めて居つたのであつた。

第九十六圖、第九十七圖はホテルカイザーホーフに於て謀議を凝らすヒットラーとナチス幹部である。



第 94 圖

伯林近郊ポツダムに全獨逸ナチス少年團大會を催したり（第九三、九四、九五圖）して連續的に示威運動を繼續し乍ら一方に於てはホテルカイザーホーフに於ける私政府に陣取つてヒットラー一流の徹底した用意を



第 95 圖



第 96 圖



第 97 圖

パーベン内閣倒れ、再び中間内閣現はる

パーベン内閣は其の間心細い状態の儘で中間内閣的存在を續けて來たのであつたが、ヒットラーの無言の壓迫は益々加へられ、國會に於けるナチスの内閣に對する中立的態度は漸次内閣を見放すの態度に變つて來た。

ゲーリング議長は露骨に政府を無視した態度に出づるので益々焦つて來たパーベン首相は決心して再び國會を解散せんとしたのであつたが、これを豫感したゲーリング議長は其の間一髪前に落着き拂つて政府不信任案を通過させて了つた爲に遂に成立半年にして早くも一九三二年秋パーベン内閣は詰腹を切らされて了つたのであつた。

ブリュウニング内閣からパーベン内閣の倒れる迄の半歳餘りの間、政權不安定は當時の失業者激増の經濟界不況と相俟つて政府財政の苦澁と國民生活の困難は其の頂上に達した観がある。パーベン内閣の倒れた一九三二年秋に於て失業者數は實に六百五十萬に達したのであつた。當時獨逸全人口六千萬人であつたが、老若男女合せて全部の六千萬であつて、六百五十萬の失業大衆は壯年男女であつた。従つて全人口中の壯年男女對失業大衆の比は約四對一即ち四人の國民中堅層が一人の失業者を支持して行かねばならぬ状態であ

つた。

しかも家族制度のない國柄である。是等失業者は國家の給與がなければ餓死するか盜賊に墮ちるかの外行き方があり得ない状態である、これが給與だけでも政府としては相當なる重荷であつた。

かゝる状態に於てナチス一黨の組閣を肯じない大統領と全部取らねば承知せぬヒットラーとの間に立つてシュライヒャーは愈々其の隱謀を發揮して再び軍部内閣とも云ふべき中間内閣を組織したのであつたが此の大勢に於てかゝる中間的存在が續く筈はない。政府と議會の摩擦は激成せられシュライヒャーの國防軍を背景とする強硬政策も國防軍其の物が數に於てナチス大軍と比較にならない程劣勢にある外に國防軍自體がシュライヒャーを見放すに至り、老大統領ヒンデンブルグも此の時は惱み抜いたと云ふ事である。

これを見て取つた前首相パーベンはあれ程ナチスに苦い目に會はされて居つたにも拘はらず、オポチュニストの本領を發揮して巧に老大統領に取り入り自分が仲に入つてヒットラーを説き、ナチスと國粹黨と鐵兜團右傾三黨の聯立内閣を作つて見ようと申出た。パーベンの眞の肚はさうして此の三者を巧に操つて自分が首相になり政權を握つて行かうとしたと云ふ。

遂にヒットラー内閣生る

ヒンデンブルグも困つて居る最中として試みに彼の申出を受け入れたのであらう、パーベンをして一應當らせる事とした。處がヒットラーは自分が首相となる以外に考慮の餘地なしと突離したので當時尙ヒットラーを甘く見て居たパーベンは首相の地位を與へても事實上自分が實權を握ればいゝと云ふ様な考へ方からヒットラーを首相とする代りに他の右

傾二黨との聯立内閣を承知させ、ヒットラーも飽迄聯立内閣を拒絶しては何時の日か又政權が廻つて來るか分らず、それ迄更に黨内急進派を押へる事の困難を痛感して居たので遂に聯立内閣を承諾し、シュライヒャー内閣二ヶ月にして早くも倒れた後を承けて一九三三年一月三十日、遂に惡戰苦闘十四年のヒットラー政權が生れ出たのであつた。

願ればヒットラーが一九二〇年歳三十一才にして獨逸労働黨第七番目の黨員として正式に政治運動に身を投じてより正に十四年目の出來事であり、超人的急速成功ではあつたが思へば惡戰苦闘の連續であり、ヒットラーの鋼鐵の如き精神力なくしては到底不可能な大事業であつた。ナチス發達の概略を叙するに當り主としてヒットラーを中心に記述したのはナチス成功の理由の大半がヒットラーの個人的精神力の賜なりと信ずるが故である。

此の獨逸歴史上に特筆すべきヒットラー内閣の組成は上述の理由で産婆役のパーベン¹⁾獨逸國粹黨首領のフーゲンベルク、鐵兜團の親方ゼルテ²⁾の三人が副總理格で無任所相、農相、労働相の重要部門を占め、ヒットラー以外ナチスの顔振れとしては僅かにゲーリング



第 98 圖

とフリックが夫々無任所相、内相として入閣したに止まる。世人は當時此の内閣の内部的不和に依る短命を豫想した。又大人しく聯立内閣を承知したヒットラーを不思議とも思つた。パーベンはやつたりと思つた事であらう。然るにヒットラー一流の鬭争の連續方針は此の時既に周到な豫定が立てられて居たので、茲にも亦世人は事毎に驚かされねばならなかつた。其の事實に入る迄に吾等は一應當時の時代に躍る人々の姿を一瞥して見る必要があるだらう。

第九十八圖は組閣の日一九三三年一月三十日民衆の炬火行列にバルコンより感無量にて應へるヒットラー、ゲーリング、フリック、ヘッス等のナチス最高幹部。

1) Deutsche Nationale Partei
3) Stahl Hehn 4) Seldte

2) Hugenberg

第九十九圖はナチスに早代りしたフ・ンパーベンが未だ身に付かぬナチス流の挨拶を民衆に送つてゐる處、右端がゲッペルスである。

第一〇〇圖はヒットラーがゲッペルスとパーベンを兩側に従へナチス少年團の歡呼を受けてゐる圖である。内外の惱みに歪むヒットラーの深刻なる表情を注意すべきである。



第 99 , 100 圖

爲したルドルフ・ヘッスがヒットラーの側
近に侍してゐる處。

第一〇二圖は八十二才の老大統領ヒンデ
ンブルグを其のノイデック村の別墅に訪ね
大戰當時の將軍と一志願兵が今や一國の元
首及び其の總理として靜かな早春の半日を
親しく過した場面。



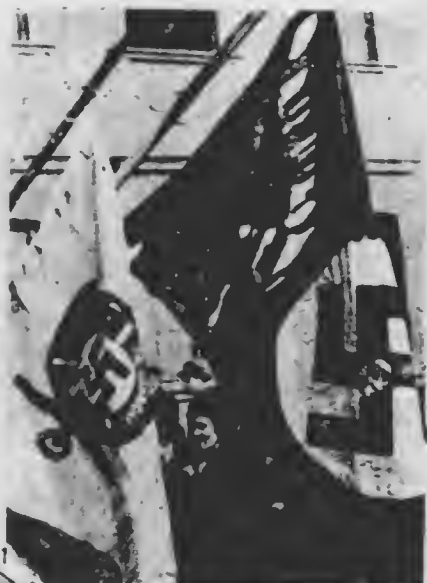
第一〇一圖は組閣後間もなく若くして
ナチス黨副總理に任命され、黨務に關す
る限りヒットラー代理として急に重きを



第 101 , 102 圖

ナチス發祥の黨旗である。

第一〇四圖は内相に就任して鐵腕を振つたヒットラー智囊の一人と云はれてゐるフリック博士。



第 103 圖

第一〇三圖はヒットラーの天下となると同時に一九二三年の革命失敗當時沒收された儘となつて居つたナチス最初の黨旗を國法に依りナチスの手に取り戻した

第 104 圖



第六章 ヒットラー獨裁より總統制の出現迄

黨發展犠牲者へのヒットラーの誠實

かゝる内外多事の秋にもヒットラーは黨の犠牲となつて斃れた幾多の黨戰士に無限の感謝と心からの哀悼を表する事を忘れなかつた。總理就任直後の多忙なる時にこれを實行してゐる眞面目さは幾多黨内の不平分子を心から服従せしめるのであつた。

第一〇五圖はナチス闘争史中最も惡戰苦闘を續けた伯林ナチスの戰士の墓に彼等の嘗ての指導者であつたゲッペルスを伴ひ訪れて默禱を捧ぐるヒットラーである。

見よヒットラーの哀悼と苦惱に歪む深刻なる表情を、これ有るが故に彼は二百萬のナチス私軍を統率し得、六千萬の全國民の信頼を宛め得たのである。

他國人の吾々さへ襟を正させるではないか。

ヒットラー内閣の難航と共產黨處理



第 105 圖

難産の結果やつと生れ出たヒ・トラ
ーゲンベルグ、ゼルテの聯立内閣は、
然し生れ落ちると同時に様々の生活苦を
體驗せねばならなかつた。政府内に於

けるヒットラーとフリーゲンベルグ間の氣
味悪い對立、左傾各派の虎視眈々たる
敵意、殊にレーニンの死後、トロツキ
ーと争つて遂に獨裁地位を確保したスター
リンが軍備の殆どなかつた獨逸を一舉に
赤化するには絶好の機會であるとして續
々妻いさの戦士を送り込んで獨逸共產黨
を援助せしめんとして居つたのである。
正に内憂外患の極と云ふ状態であつた。

ヒットラーは總理就任と同時に一舉に
政府内の他二黨を整理し同時に共產黨を

何とか片付けねばならぬ情勢を見て取り、就任二日に直に國會の解散を宣言し、三月總選舉と決定すると共に就任の日の夜即ち一九三三年一月三十日獨逸としては前例のなかつたラヂオを通じての全國民に對する政見發表を行ひ新内閣の政見を發表する形に於て巧にナチスの宣傳に着手したのであつた。而して矢繼早にナチス政見發表會を催し熱辯を振ひ、國民生活の充足と失業大衆の救済を天下に公約したのであつた。フリーゲンベルグ、ゼルトも對抗上黙つては居れず各自黨の大會を催し、政府内部の不和は露骨に國民の前に暴露された。

此の當時ヒットラー初めナチスの幹部の最も恐れたのは共產黨であつた。多年の國民生活の困苦、殊に失業の激増に直接苦しんだプロイセン州は當時尙共產黨の本據であつて其の潜勢力は無視し得ざるものがあつた。其處でヒットラーは先づプロイセン州に思ひ切つた手入れを行ふ豫定で、新政府の無任所相たるゲーリングをプロイセン州の内相に、又當時のナチス黨秘書長リヒツツを文相に、ナチスの初めからの黨員レヴェツォーを警視總監に任命し、猛烈な斷壓を加へ初めた。共產黨の集會、機關紙は假借なく禁絶せられ、ポスターを貼つても捕へて投獄した。

二月末日の夜半更にナチスに都合のいゝ出來事が起つた。伯林自慢の一つであつた伯

林全市の四分の一を占むる大森林公園、チーヤガルテンの一方に莊麗な建築を誇つて居つた國會議事堂ライヒスタークは放火に依つて全焼したのである。伯林警察必死の活動の結果、此の放火は共產黨の計畫的行爲の最初であつて、これを手初めに各官衙の焼打ち、銀行や富豪邸宅の掠奪、政府大官の暗殺等が豫定されて居つたと云ふ事が判明し、共產黨は一網打盡、首脳部以下三百名に近い黨員が根こそぎ投獄されたのであつた。當時伯林人士は尙ナチスの狂暴であつた過去の印象から此の國會議事堂焼打は共產黨狩りを斷行する口實を設くる爲ナチスの芝居として行はれたものであるとの噂さへした程であるが、時日の経過と共にヒットラーの性格も漸次國民一般に知らるゝに及び矢張り共產黨の仕業であつた事が後には確信さるゝに至つた。勿論これは後日談であるが附記して置く。

飽迄合法的なナチス獨裁權要求

三月上旬の總選舉の結果は豫想通りナチスの大捷で約二百九十の議員數を得、直に絶對多數黨となるには尙少し不足して居つたが、國粹黨、鐵兜團は勢力頓に落ちて聯立内閣も漸次名目のみとなつて來た。當時共產黨は尙相當なる議員數を有して居たが國會議事堂放火事件と共に其の大部分は投獄され、又其の直後緊急令を發布して獨逸國內に於ての共

1) Tiergarten

2) Reichstag

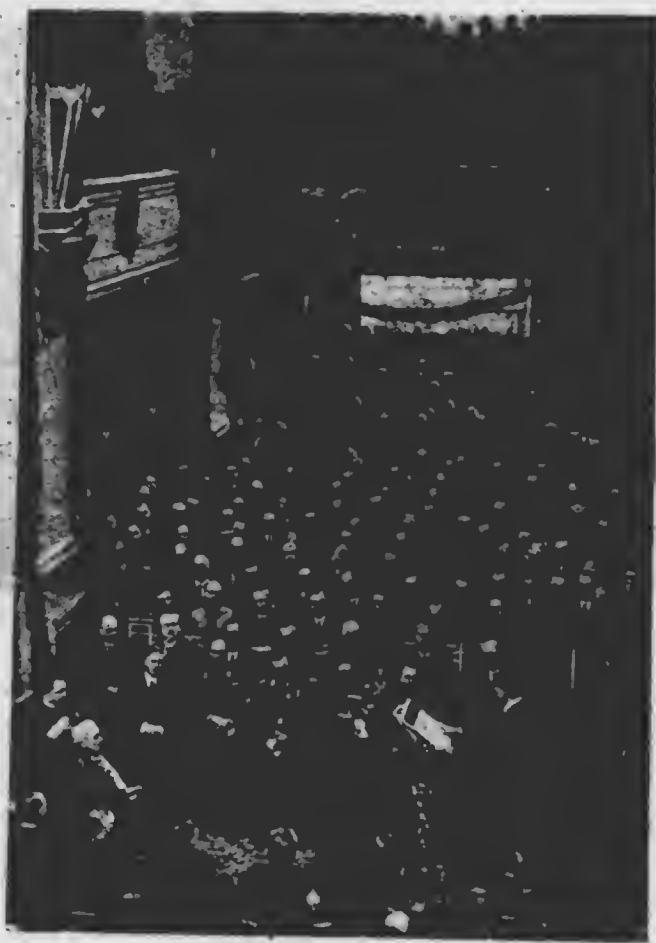
産黨運動を絶對的に禁絶したので、事實上共產黨は根こそぎ撲滅されたと同様で、實勢力に於てナチスは此の選舉以來絶對多數黨となつたのであつて、殘る問題は國粹黨と鐵兜團を如何なる形式にてナチスに併呑するかと云ふ事のみであつた。



第 106 圖

三月二十一日はビスマークの獨逸第二帝國建設を完了して全獨逸帝國國會を開いた帝政時代の獨逸の重大な紀念日であつたので、今やヒットラーの所謂第三帝國建設の大業に就かんとするに當り其の中間過渡期の共和國獨逸を守り通して來たヒンデンブルグ老大統領の希望もあつて、帝政時代の獨逸皇室ホーヘンツォレルン家代々の菩提寺であつた伯林近郊ポッツダム離宮の傍らのガルニゾンキルヘに於て歴史的の祭典を行ふ事となつた。此の日ヒットラーは珍らしくモーニングに改めパーベ
ンやフーゲンベルグと共に同町に赴き老大統領や文武百官を前にして獨逸國宰相として嚴

肅なる祭典を滞りなく済し、獨逸民族の向上と光輝ある歴史の發展を誓ひ、獨逸國民に平和を招來すべき公約を爲したのであつた。第一〇六圖はパーベン、フーゲンベルグと共に



第 107 圖

式場に進むヒットラーである。

第一〇七圖は老大統領と文武百官の前に嚴かに誓ふヒットラーの莊嚴なる姿である。斯く

して三月二十一日は獨逸第二帝國の紀念日であ

ると同時に愈々これから初まる獨逸第三帝國の創始紀念日として長く獨逸最大の祭典と決定せられたのである。全獨逸民衆が此の日如何に深い感慨を以て過去の苦難多かりし日



第 103 圖

を願ひ、今後の光明に輝く然し困難な建設を思つた事であらう。老大統領の眼には此の日感慨の涙が光つてゐたと云ふ。

第一〇八圖は此の日ボッツダム町の廣場に群集せる民衆の姿である。翌二

十二日からナチス絶對勢力下の國會が開かれた。國會議事堂が焼かれたので同じチーヤガルテン公園内に在つた國立オペラ劇場のクロールオパーに於て數萬のS・A・S・Sに取圍まれて行はれた。

議員は此のナチス戦闘部隊の大群に先づ威嚇されてから國會へ入つて來たのである。心中如何に口惜しがつても最早此の大勢の下に於て如何とも爲す術もなかつた。斯くして度膽を冷して置いてか

らヒットラーは開會劈頭無遠慮に國家權力行使に對する全權委任を要求したのである。言ひ換へればこれから自分は獨裁政治をやるぞ、と宣言して置いて賛成を求めたのである。考へて見れば随分無遠慮な話で共和國政體のまゝで、然かも國家元首たる大統領現存の當時の國會に向て絶對的委任を要求したのである。ナチス以外の議員が心からは是に賛成する筈は毫もなかつたのであるが、其の爲に用意周到なヒットラーは數萬のナチス戦闘部隊で議場を取り卷かしてゐるのである。若し反對して否決でもしようものなら直ぐに捕はれ投獄さるゝ事は見へ透いてゐる。立憲政治には未曾有の此の要求は斯かる事情の下に殆ど全會一致で賛成を得たのであつた。此の瞬間よりヒットラーは形は首相であるが事實上は獨裁君主としての實權を合法的に得て了つたのであつた。斯くして兎も角も形の上で合法的に獨裁權を握つたヒットラーの鐵腕政治が初まるのである。

共產黨の撲滅と勞働戰線組織

先づ獨逸一國をナチス一黨でとの目標に猛進し初めた。共產黨の幹部連は曩きの國會議事堂失火事件で大略清掃したが尙恐るべき卵が各種勞働組合の形で残つてゐる。これ



第 109 圖



第 110 圖

を何とか整理せねばと云ふので、丁度迫つて来た五月一日のメーデーを前に國法を以て國內一切の労働組合の解散を命じ労働者全部を包含する労働戦線を結成せしめる事とした。これに依つて獨逸労働大衆をマルキシズムより解放し國家を總罷業の災厄より救ふ事を宣言したのである。

會場に於てヒットラー少年團の代表
少年が老大統領に花輪を捧げる處、
第一一一圖は此の當時竣工就航す
る事となつた獨逸航空會社ルフトハ



第 111 圖



第 112 圖

而して是亦獨逸第三帝國の最も紀念すべき祭日
の一と定め大祝典を催しヒットラーは老大統領と
同列にて之に臨んだのであつた。第一〇九圖は
會場に赴く老大統領とヒットラー、第一一〇圖は

ンザの新型大飛行機
にヒンデンブルグ元帥

號と命名し進空式に老

大統領を迎へてゐる處

である。 ヒットラー

が一方に於て大統領を

無視するが如き鐵腕政

治を行ひ乍ら、他方偉

大なる老大統領をして反ナチス

的感情を持たせないやう、心を

碎いてゐる處が如實に看取出來

て面白いと思ふ。

此の日の夜ヒットラーは伯林

の大、及び全國の民衆に對しマ

イクを通じて勞働の神聖とマル*



*キシズムの國家に流して來た
客毒に就き一時間に餘る大放
送を行つて勞働大衆に深い感



第 115 圖

銘を與へた。第一一二圖は此の狀景である。

第一二三、一一四圖は此の日伯林で勞働の國家的意義を叩き込まれて意氣昂然となつた勞働大衆である。

勿論此の日は全國各地に同様の催しを大々的に行ひ、ナチス幹部の必死の努力の下に各地勞働大衆はヒットラーの理想の下に振ひ立つたのである。第一一五圖は其の一例でライン地方の勞働者が氣勢を擧げてゐる處である。

斯くて此の勞働戦線の強制的結成と共に解散を命じた國內無數の勞働組合からは其の指導的地位にあつた共產黨分子を多數投獄し、完全に共產黨の根絶に成功したのであつた。

共產黨以外の政黨の崩解作用

次いでヒットラーは愈々一國一黨の主張を貫徹せしむべく鐵兜團を團長ゼルテと共に巧にナチスに轉黨させ、手強い國粹黨フリーデンベルグに對しては正面から其の全黨のナチスへの合併を要求し硬骨であつたフリーデンベルグの反抗も多少あつたが豫備工作に依つて黨員の主なる者に豫め連絡してあつた爲合併の形式に於て六月末日無事ナチスに併呑して了つた。フリーデンベルグは憤慨して辭表を叩き付けて内閣を去つた。第一一六圖は自發的



第 116 圖

にナチスに合併された鐵兜團の幹部が S・A 幹部と共にヒットラーを訪ねた場面である。これで右傾二大政黨は手際良く片付いたのであるが、左傾には共產黨の外に長年労働者間に強大な地盤を持つて居る社會民主黨があつた。これに對して如何なる方策に出るかについてはヒットラーはゲーリングとフリックに一任して居つたとの事であつたが、フリックが一人で簡單に斷歴して解散させて了つた。

社會民主黨黨員労働者の中には多少反抗した者もあつたが、これも電光石火に捕へて投獄して了解して了ふ、と云ふ様な有様で實に水際立つた切れ味を見せて茲に大體ナチスに依る一國一黨は漸く形と内容を整へて來たのであつた。

ヒットラー内閣の改造

聯立内閣首相に就任して以來半年にして早くも



第 117 圖

事實上ナチス單獨内閣の形に漕ぎ着け得たヒットラーの奮闘は其の背後に強力なるS・A、S・Sの壓力があつたとは云へ實に超人的成功と云はねばならぬ。其處でヒットラーは内閣を大ビラに改造しゲーリングを航空相に、フリックを内相に、

ゲッペル

スを宣傳

相に、ル¹⁾

ストを文

相に、ヘッス及びケルル²⁾を無任所相にダレー³⁾を農相に任命し主なる處は全部ナチス幹部に振り當て完全なる自黨内閣を造り上げたのである。第一一七圖はケルル氏の肖像、第一一八圖はルスト氏の演説中の風景である、當時經濟大臣は其の特殊技能を要する事と、當時の財政が極めて危険であ



第 118 圖

1) Rust 2) Kerl 3) Darre

つて一步を誤れば、パニックを招來する恐れがある爲に又ナチス黨内には財政通が居なかつたためもあつてシュミットを任命した。此の外にも黨員外の大臣は二三あつた、外相のノイラート、國防相のブロンベルグ將軍等である。

國家的建設大事業の一齊開始と失業救済



第 119 圖

國內政治體制を其の理想とする一國一黨に持來す爲斯くの如き大車輪の活動を續けてゐる一方で、ヒットラーは黨幹部に指令を與へて着々建設事業に着手して居つて、此の六ヶ月に約束通り失業大群を約百萬だけ就業させたり又婦人の結婚に依る職場放棄に依つて幾分失業救済の目的を達すると共に其の主張する國民大増殖を期して結婚費用國家金融法案を出したり、極秘裡に國民の眼をかすめて軍備大擴充に着手したり眞に各方面に對する火の如き活動を開始してゐ

するヒットラーである。

第一二〇圖は此の時の黨旗の行進。

第一二一圖は形式を好む獨逸人趣味に依り種々の旗の持ち方の一つ。

第一二二圖も同じく其の一つ。

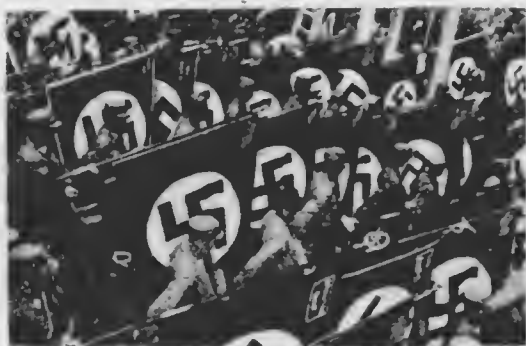
第一二三圖は此の時集まつた百五十萬と云はるゝS・A・S・Sの大群の整然たる隊伍の模様である。此の三旒の大旗は其の大きさに於て、其の形式美に於て眞に天



第 120 圖

たのであるが、是等は別に後述する事とする。
七月に入つてヒットラーはナチス黨大會と協議會を思出の地、南獨ニールンベルヒで開催した。此の時集まつたS・A・S・Sは總計百五十萬と云はれてゐる。

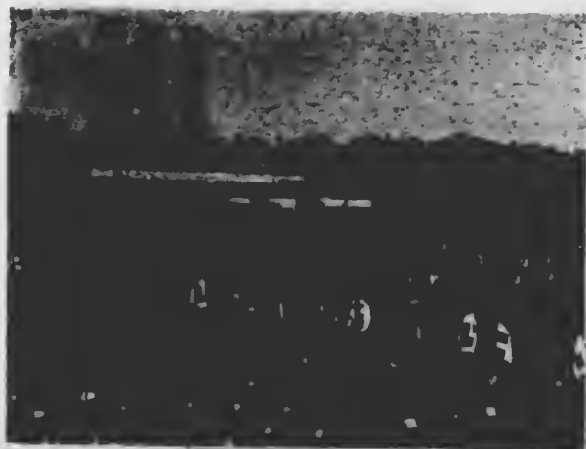
第一一九圖は各地より續々參集する部隊を閲



第 121 圖

下を呑むの氣慨がある
ではないか。

第一二四圖は同じ會
場を違つた方向から見



第 122 , 123 圖

た處である。S・Aの整
然たる大衆を注意すべき
である。

第一二五圖は此の大衆
を前に十四年間の苦闘の
結果、遂に鐵腕宰相とし
て大獅子吼を試みんとす
るヒットラーである。

天を搖がす様なハイルヒ
ットラーの歡呼の聲に彼
亦感慨無量であつた事と
思はれる。

第一二六圖は會場を出ようとするヒットラーに長年
辛苦を共にした忠實な黨員達が感極まつて握手を求む
る爲に思はずヒットラーの自動車を取り圍んだ狀景で

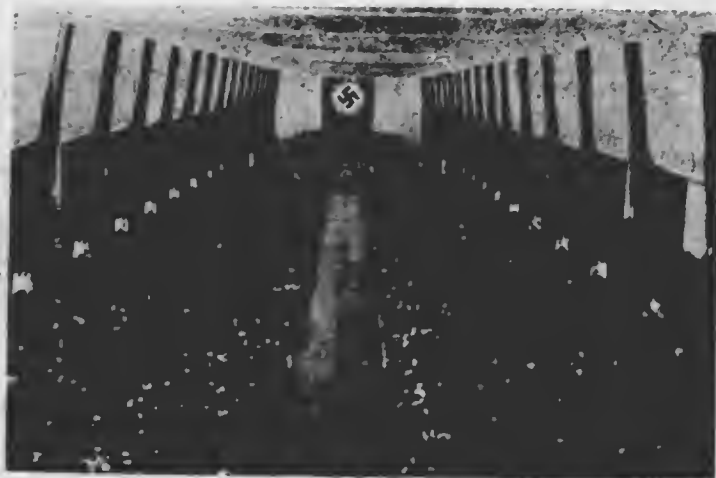


第 124 , 125 圖



第 126 圖

受けるヒットラー。



第 127 圖

ある。

第一二七圖は協議會の模様である。三萬を容るゝと云ふ¹⁾ルイトポルド館も満員の盛況である。

第一二八圖は此の大會の意義深き成功を祝する各地代表の内の可憐なる少女の祝辭と花環を



第 128 圖

1) Luitpoldhalle

獨裁體制の強化とヒットラーの悩み

斯くして赫々たる成功の連續裡にナチス一黨の獨裁政治陣營の建設に邁進して居つたナチス勢力破竹の發展にも、然し其の反面幾多の困難と危機を包藏して居つた。其の悩みの最も間近に迫つたものの一つは國防軍とナチスの戦闘部隊であるS・A、S・Sの處理統一の問題である。數の上に於てはS・A、S・S其他のナチス部隊は當時合計約二百萬と稱せられて居つた。ベルサイユ條約に依り十萬に制限せられて居つた國防軍及び其の補助部隊として歴代の政府が警官と云ふ名目の下に養つて來た下士官達を合せて五十萬足らずの頭數に比べると比較にならない。又ヒットラーの所謂國民革命¹⁾の成功を斯くも見事に遂げさせたのは何と云つても是等部隊の無言の威壓が物を言つてゐる。殊にヒットラーの全權委任要求の國會通過の如きは其の最も有効に働いた一つであり、又其の後の勞働組合の一齊解散と勞働戰線への糾合等も國防軍の何等の援助を蒙つて居ない。若しヒットラーにS・A、S・Sが無かりせば全國二千萬の勞働者が政府の命令一本で左様に簡單には注文通り動かかなかつた筈である。

其のナチス諸部隊を國防軍の下風に置いては二百萬の部隊員が承知しない事は判り切つ



第 129 圖

てゐる。又逆に國防軍をナチス部隊の下風に置く事も出来ない。由來獨逸國防軍士官達は多く貴族又は軍人の子弟のみで固められ古い傳統と毅然たる土風を持つてゐる一種の貴族である。ヒットラーの嚴重な訓練を経て整然たる統制の下に置かれて居るとは云へ元々勞働者や百姓や失業者の中の亂暴者から育つて來たナチス部隊の命令を聞く筈もない事は明かであつた。

然らば同等の資格で合併させるかと云ふと、是亦至難である。ユンカースツームと稱する一種の貴族的風格を持つてゐる國防軍が粗野なナチス隊員と心から融け合ふ可能性は全然ないからである。

ナチス部隊の内でも特にS・Aは此の問題について自分等こそ國防軍の根幹となるべきであるとの強い主張を持つて居るもの多く黨大會に於て此の芽生えを早くも見て取つたヒットラーは彼の親衛隊である關係もあり最も信頼し得る

1) Junkerstum

状態にあつてヒットラーの命令とあらば水火も辭せない崇拜者である。ヒムラーを指導者とするS・Sを急速に増大強化する事とした。

第一二九圖は此の當時のヒムラーを中心とするS・S隊長團である。此の時を機會として、今迄ヒットラーの身邊を守る事を其の使命として居つた稍消極的なS・Sが俄然積極的な、寧ろS・Aのお株を奪つて反ナチス傾向のある人物には斷乎としてテロ行爲を敢行する烈しい戦闘部隊に轉じて來たのも面白い現象である。

ナチス内部結束に努力するヒットラー

秋になるとヒットラーはルール工業地方の中心地ドルトムント¹⁾市郊外に又々S・A、S・Sを集めS・Aを引き緊めナチス黨員の結束を促す事とした。是亦非常な盛會であつて參集した部隊員百五十萬と云はれて居つた。

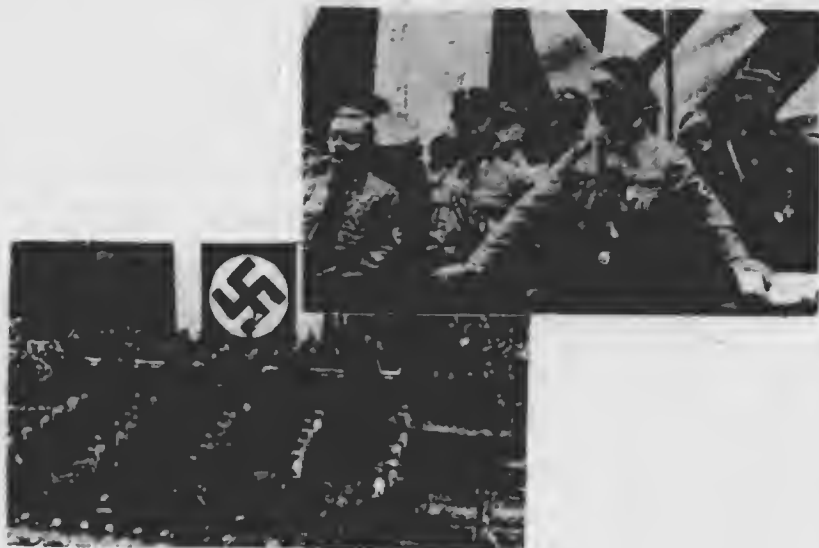
第一三〇圖は此の大衆の前に尙一段の結束を叫ぶヒットラーである。

第一三一圖は其の直前集まつて來る部隊員の大衆を前に想を練るヒットラーの後ろ姿。

第一三二圖は當日の集會を終り、市中を示威行進する各部隊を閲するヒットラーと其の幕僚達。



第 130 , 131 圖



第 132 , 133 圖

第一三三圖は此の當時既に可なり發達して來て居つたS・Aの中の種々の特殊部隊の一つ自轉車隊がヒットラーの閱兵を受けてゐる處。

國家的建設事業に對するヒットラー總統の熱意

かくの如くヒットラーは内部の結束を計り乍ら又經濟方面、農業方面、産業方面、官吏の統制と次ぎから次ぎへと獨裁政治態制を強化して行つた。誠に此の一九三三年はヒットラー初めナチス幹部の必死の努力に依つて獨逸としても實に多忙な一年であつた。法令は次ぎから次ぎへ發布され、社會の凡有組織は徹底的に變更されて行つた。しかも政治方面のみならず、經濟、産業、農村方面に止まらず、今や世界一の折紙を付けられて流石大土木工事を誇る米國人をしてさへ道路だけは獨逸に負けたと云はしめた有名な國營自動車專用道路網の建設着手も實に此の多事であつた一九三三年に開始されて居り、ヒットラー自身第一のシッベルを振つて居るのである。第一三四圖はヒットラーに依つて最初の土が堀られてゐる場面でヒットラーの直後に立つて右腕を半ば舉げんとしてゐるナチス黨制服の巨漢が此の大土木事業に全責任を負ふて立つたトッド博士である。此の自動車專用道路については別に詳述する事とする。



第 134 圖

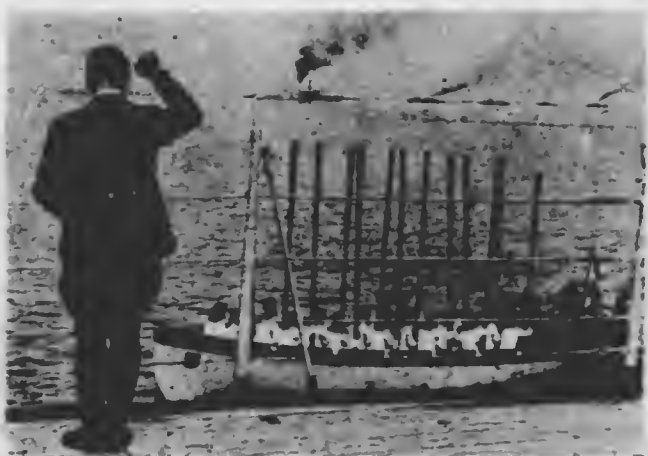
ルサイユ條約に依つて極端に制限せられて名許りの微力な海軍ではあつたが——を閱し燃ゆるが如き愛國心を將兵に植付けて居る。第一三五圖はヒットラーがナチス黨服に身を固めレーダー提督を従へて軍港内を巡視してゐる處である。

第一三六圖は此の時ヒットラーが旗艦の上より各兵團の歡迎に應へてゐる處である。



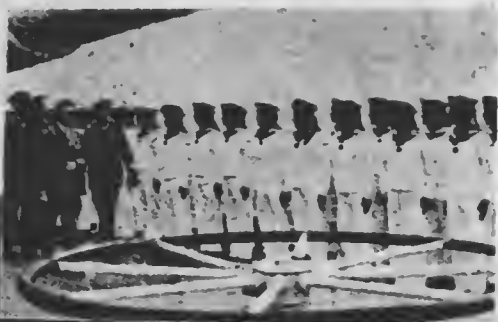
第 135 圖

又此の間にヒットラーはリキール軍港に宰相として堂々と乗込み海軍の統率者¹⁾レーダー提督を従へて全海軍——と云つても是亦ヴェ



第 136 圖

第 137 圖



第 138 圖

第 139 圖



である。



第 140 圖

第一三七圖は艦上に於て水兵を閲してゐる
ヒットラー。

第一三八圖はキール軍港内に於ける觀艦式
を旗艦上より閲してゐる處。

第一三九圖は旗艦上に飼ひ馴したライオン
の子に興ずるヒットラー。

元來ヒットラーは非常に動物が好きである
と云ふ事で此の狀景等は平素の張り切つたヒ
ットラーとは別人の觀があるのも面白い。

第一四〇圖は此の時舉行した獨逸袖珍戰艦
シエーア提督號の進水式の光景。此の戦艦
は無論ヒットラー在野時代の建造者手のもの



第 141 圖

此の年又ヒットラー多年の主張であつた、¹⁾國立政治指導者學校をベルナウに創設した。ヒットラーの主張に依れば政治指導者は最も大切なものでこれが能力と素質に依つて直接國家が興隆し或は衰微する。此の大切な政治指導員養成の専門の學校がないと云ふ事は放置出來ない制度の缺陷である、と云ふので、是を創設し自ら其の開校式に臨んで激勵し、學生の一人宛に親しく握手を與へたのである。第一四一圖は此の時の緊張した學生達である。

聯邦の解消と中央集權の達成

此の頃ヒットラーは又獨逸の完全なる中央集權を完成した。元來獨逸は小國分立の聯邦的政體より漸次文化の興隆を見、プロイセン國王家ホーヘンツォーレルン家に名君ウヰルヘルム一世出で鐵血宰相ビスマーク現はれて漸く聯邦の儘で獨逸帝國を築き上げたもので流石のビスマークでさへ是以上には一歩も出る事が出來なかつた。聯邦各小國は夫々王

1) Reich's Führer Schule

2) Bernau

家を持ち首府を有し政府と議會を有して居つて小さい乍ら立派に一國家を爲して居つたのであり、従つて一方に於ては文化と産業が大體各地方に平均して居り、紐育とか東京とか云ふが如き持て餘す程の巨大な都市もない代りに人口五十萬乃至百萬程度の中都市が大學を持ち劇場を有し、郊外に都人士に休息を與ふるに足る自然を持つて程良く國內全般に散在して居るので都合の良い事も多いが同じアリアン人種であり乍ら地方色も濃く言葉の訛も強く、現在でも例へば生粹の漢堡人とバイエルン人では直ぐには言葉も通じない、是等が原因となつて完全なる中央集權はビスマークの鐵腕を以てしても出來なかつたのであつて只ビスマーク以前の小國分立群雄割據の状態を其の卓拔な外交手腕と鐵腕政策で漸く聯邦に迄纏め得たのであつてそれだけでも從來に比して對外的に非常に強化されたと云ふので、人呼んでこれをビスマークの獨逸第二帝國と稱したのであつた。斯く觀じ來るとヒットラーが何でもなくやつて了つた中央集權成功が實は非常な大仕事であつた事が判るのである。野に在りし當時よりヒットラーはナチス綱領の重大な項目として其の指導者原理と共にグライヒ、シャルトウング——同時支配とでも譯すべき乎——國內隅々迄同じ瞬間に同じ狀態に置かれてゐなければならぬ、中央政府の命令が同じ瞬間に同じ程度に全獨逸の末梢神經迄行き届き、守られねばならぬと云ふ事を高唱して居つたのであつたが、

ナチス一黨内閣迄漕ぎ付けるや否や矢繼早に黨幹部級の人物を各地に送り黨の州指導者以外に官吏としての州統監の如き制度を作り又無遠慮な干涉に依つて各聯邦政府當局をドシ／＼自黨員に依つて置き替へ事實上各聯邦諸國の機關を乗つ取つて了つたのであつた。

こゝ迄行くと大戦後ワイマル憲法に依つて聯邦共和國となつて居た獨逸の政治機構は根本的に變更せられたものと見るべきで、名稱こそ其の儘としては居たものの完全なるヒットラー獨裁に依る非立憲專政ナチス帝國となつたと考へるべきである。ヒットラーも亦第三帝國と云ふ言葉を以て暗にこれを示して居るのである。

ナチス黨旗の國旗化

も一つナチス一黨政治體系完成後の大きな出來事はナチス黨旗を其の儘國旗に制定した事である。尤もヒンデンブルグ大統領は自分が苦しんだ共和國時代の白赤黒の國旗を直ちに引き下げる事をどうしても承知しなかつたので、其の在世中は白赤黒の舊國旗とナチスの黨旗である赤地に逆萬字巴を双方國旗とし兩方揃へて出す事に制定したが、大統領の死後早速白赤黒が禁ぜられてナチス黨旗取りも直さず國旗と制定したのである。

ヒットラー總理全國民に其の信任を問ふ

ナチス一黨で全獨逸を塗り潰す仕事が大體豫定通り出來た多忙の一九三三年の末にヒットラーは自己の所信と政治が一體どれ程國民の支持を受けてゐるかが知り度くなつた。

又ヴェルサイユ條約一方的破棄を實行するについて先づ國際聯盟を脱退し様と考へ、國民の結束の状態も知り度いと云ふので、人民投票と國會議員の改選を同時に舉行する事とした。其の結果に依つて又歐洲各國は驚かされたのである。

即ち聯盟脱退に對する政府信任投票が九四パーセント、國會議員選舉に於て、九三パーセントがナチスのために投票せられたのである。云ひ換へれば最早國民の殆んど全部がヒットラー宰相に信頼し切つて萬事一任しようとの氣持ちになつた事が數字に依つて示されたのである。

此の結果年末になつて國會は招集されたが、殆ど全部褐色のナチス黨服か然らずんば黒のS・Sの制服に依つて充たされた議會は最早政治を議する場所ではなく、獨逸政府即ちナチス幹部に於て決定されたる方針——と云つても實は殆ど全部ヒットラーの秘策より生れたものであるが——を申し渡され賛成してヒットラー萬歳を叫ぶだけの爲の場所、云ひ

換へれば景氣を付ける爲のみの場所と變つて來たのであつたが、兎も角も集まつた。議長
ゲーリングは開會を宣し其の儘黨の決定方針を簡單に説明して閉會を宣し、露骨に思ふが
儘に振舞つて開會より閉會迄僅かに七分と云ふ世界記録を作つたのも此の時の事である。

猶太人整理事業

ヒットラー獨裁政治體系が整つて來ると共に豫期された猶太人排撃は黨本部指導の下に
着々實行された。此の當時の獨逸政府の猶太人迫害が非常に事實と違つた風に世界に宣
傳されて居る爲に此の一事だけで獨逸、特にナチスを野蠻人の様に嫌ふ聲が世界各國に起
つて居る様であるが、實は宣傳されて居る程非人道的な事は一つもないのであつて無論經
濟的には迫害した、獨逸國內に居堪らない様にした事は事實であるが故意に危害を加へた
事はないのであつた。我々東洋人、特に吾國に於ては猶太人に關する知識と經驗を缺い
てゐるため一般に何故ヒットラーが、ナチス獨逸が、猶太人を斯く迄憎むか判らない點も
ある様に思はれるので此のナチスの猶太人整理事業を少し詳細に書いて見やうと思ふ。

ヒットラーの猶太人整理の念願は其の源を遠く彼の青少年時代を送つた維納に發してゐ
る。當時建築労働者に伍して僅かに口を糊して居た彼は、當時の労働者が何れも個人と

しては素朴な正直な人間許りであるのに、其の生活は世襲的貧困のドン底に置かれて居て其の日／＼を只牛馬の如く生きて行く以外に何等の光明も希望も持てない状態にある事を若い、感受性の強かつたヒットラーは深く悲しみ、一體人間の勞働力の價值と云ふものはこんなに迄低いものであらうかと考へ初め、圖書館通ひの濫讀の間にフト猶太禍に關する書物を發見し、それから段々歐洲全般の經濟界の歴史と猶太人の關係に目を光らし初めた處へ大戰に遭遇して志願兵となり惡戰苦闘を續けて漸く生きて歸つて見ると戰爭に少しも參與せず出征もしなかつた猶太人のみが戰後の國民生活窮乏の眞中でヌク／＼と贅澤な生活を我物顔にしてゐるのを見て、大戰は各國に散在する猶太人が彼等の金錢的利益を得るのみの目的で誘導したものであり、民族あつて國家なき彼等の間に恐るべき秘密結社がある事等を感じ得たので、歐洲の眞の平和を招來する爲には先づ是等猶太人を歐洲より整理せねばならぬと考へ、此の構想が彼の約一年間の獄中生活の間に確然たる信念に迄發展したのであつた。

然らば眞實の猶太人の間には其の様な惡辣な計畫があつたのであらうか。あの利己的守錢奴に近い民族にそんな事が可能であらうか。筆者自身も嘗つてはまさかそんな大がかりな國際的秘密結社なんか出来る筈がないと信じて居たのであるが、自身歐洲に生活し日常

身邊の經驗を重ねて行く間に想像に餘る猶太人の陰險な性質を體驗するに連れて安んじられ、
「トラ」は慧眼である、事象の根本を衝いてゐると考へる様にならざるを得なくなつた。

彼等猶太人の内にも勿論いゝ性質の人間も居ないではない。又頭腦の明晰な民族である爲多くの世界的學者を出してゐる事も事實である。が然し金錢のためには何物をも犠牲とする、吾等東洋人としては想像も出来ない程の守錢奴的本能を持つてゐる事も又否めない事實である。又國家を持たぬため危險分散の念願からと全世界に股がつて最大搾取の能率的達成を目的として常に國際的に活躍する傾向を持つて居る事も事實である。

名を明示する事の出来ないのは残念だが、猶太語の太陽を商品名として太陽の如く世界を照し同時に世界の隅々迄から大量搾取せんと云ふ電球があり、米系猶太人資本に依つて世界各國に深く根を下してゐる事業で生産原價の数十倍の高價で販賣しダニの如くに各國民の膏血を絞つてゐるが如きは其の適例の一つである。是等は只法外な利潤をせしめてゐると云ふだけであるが此の種の事業が盛大に赴き、不當な利潤に依つて多額の資金が蓄積されると最早や普通の事では此の巨大な資本は運轉出來なくなる。國際間に暗躍して戰爭を誘發せしめ、戦時經濟に依つて巨額資金を有利に運轉したくなるのも彼等守錢奴的本能から考へて當然過ぎる話である。

獨逸に於ては獨系猶太人が大戦と其の後の混亂時代に乘じて米系猶太人と連絡して夥しき不當利潤を絞つたものであつた。

今や其の清算の時期が來た。ヒットラーは政權を握ると同時に官吏身分法を制定し、少しでも猶太人の血の交つて居る事が戸籍上明かな官吏は一舉に全部罷免し、獨逸國內の凡有公職に就く事を禁じた。

次いで農村政策として少しでも猶太人の血統を引いて居る獨逸人に土地所有の權利なき事、及び今後猶太人との結婚に依つて其の子孫に猶太人の血を混入させた者は土地の買賣も子孫に相續させる事も出来ない事を規定した。

又猶太人の兵役義務を免じ、志願しても採用せぬ事とした。

更に猶太人の血統を有する者の教職に就く事、書物を著す事、猶太人の著書を學校の教材とする事、猶太人の作曲した音楽を演奏する事等を順次國法を以つて禁じた。又劇及び映畫の俳優となつて公衆の前に現はれる事も禁ずるに至つた。此の果斷な猶太人整理に宣傳相ゲッベルスが大童となつたのも當然であつて、有名なナチスの焚書事件も彼の熱辯に依つて全國の學生を奮起せしめた此の頃行はれたのである。

ナチス系全國學生に依つて一九三三年五月一齊に猶太人の著書と反ナチスの書籍が焚か

れた事件が世界を驚かせた頃、國內では猶太人に對する民衆の憎惡が頂點に達し全國各地で猶太人經營の商店百貨店等が襲撃され、多大の經濟的被害を被つたのであつたが、生命の被害はなかつた様である。此の反響が世界各國から囂々と起り、又群衆心理の恐ろしさをよく辨へてゐるヒットラーは遂に見過し得なくなつて個人的感情に依つて秩序なく猶太人を襲撃する事を禁ずる法令をさへ出さねばならなくなつた、一九三四年三月の事である。然るにナチス黨員の不平は仲々納まらない、遂にナチス黨幹部協議の結果、同年四月一日を期し全國一齊に秩序ある猶太人迫害を行ふ事を決定し、名をポイコットに借りて全國のナチス黨員新聞雜誌映畫を動員してポイコット敢行の宣傳を爲した。但し猶太人に身體上の危害を加へる事は堅く嚴禁した。

四月一日になると鳶色の制服を着た S・A が、猶太人商店一軒に付き二人の割合で、百貨店——當時の獨逸大百貨店は殆ど全部猶太人經營であつた——に對しては多くの隊員を派し、それ等商店へ入らんとする獨逸人に其の店が猶太人の經營であるから他の商店へ行つて買ふ様に一々大聲で説明する。飾窓の上には外から「猶太人の店から買ふな」と書いたビラが無残に貼られてゐる。料理屋カッフエー皆然りである。これでは如何に未練があつても居堪れたものでない。又何時生命の危險が來るかも知れないと思ふのは人

情である。殊に武力の前には弱い彼等である、此の日以来猶太人は續々財産を捨て、國外に逃れたのである。爲替管理が嚴重に行はれてゐたので、僅かに寶石や貴金屬を僅か許り身に隠して國外に逃れ去つたのであつた。中には惜しい人物も相當に居た。相對性原理で世界に名を轟ろかした¹⁾アインスタイン博士の如きも此の時米國へ去つたのである。是だけの大騒ぎをし乍ら此日獨逸國內に居住して居つた猶太人で怪我をした者もなく、實に整然と計畫的に行はれた事は美事であつたが追はれた連中が本當の事を云ふ筈もなく、世界の輿論は殆ど猶太人を虐殺したかの様に傳はつたのであつた。

此の事件で大略猶太人は國外に去つたが尙去らぬ者乃至猶太人の血が少し混じてゐる者等は未だ可なり残つて居つたので、次いで行はれた猶太人迫害は徹底した差別待遇である。多くの公園には「猶太人入るべからず」と高札を立てた。さうでない公園では猶太人は普通のベンチに坐れない事になつて猶太人専用のベンチがベンキの色別けに依つて一目瞭然と區別され、料理屋カフフェーは殆ど全部入口に「猶太人歓迎せず」と貼紙し推して入つて来る猶太人客には露骨な不愛想を以て對する事となり、國立オペラ劇場や一流の映畫館は「猶太人入場御斷り」の貼紙をした。

官公署銀行等へ行つても猶太人待合所が別にされてゐると云ふ徹底振りである。

吾々

1) Dr. Einstein



第 142 圖

日本人が見ると獨逸人と猶太人との區別は餘程代表的猶太鼻でもぶら下げて居ない限り判別がつかないのであるが、獨逸人から見ると一見にして明かださうで、尙進んで半分位猶太人の血を混じて居る者迄位は一見して分ると云ふ。

名譽を重んずる吾等から考へれば、斯く迄差別待遇されては假令死を賭しても國外へ出るのが常識であらうと思はれるにも拘はらず、流石に厚顔なる民族ではある、平氣で公園の猶太人ベンチに腰を下ろし、獨逸人の輕蔑と憎惡の眼を平氣で撥ね返してゐるのには舌を捲いた事も度々であつた。

現在尙猶太人系統の住民が相當數獨逸に居る事は事實であるが第二次歐洲戰開始と共に非常なる彈壓を喰ひ、最早寄生的生存を辛うじて續けてゐるに過ぎぬ。即ちヒットラーの猶太人整理事業もヒットラーの政權把握一年後には大略其の目的を達し其の後七年にして起つた第二次歐洲大戰を契機として完成

したと見ていゝと考へられるのである。

斯くして着々其の理想を實現しつゝあつた此の頃のヒットラーは正に意氣天を衝くの概があつた。男子と生れて彼ヒットラーの此の當時に於けるが如き精神力を發揮した者も古今東西を通じ少ないであらう。

第一四二圖は此の當時のヒットラーの姿である。

聯盟脫退事情

此の一九三三年の秋には又一つ獨逸として大事件があつた、獨逸の聯盟脫退である。

其の直前聯盟に於て軍縮會議があつたのでヒットラーは時こそ到れりとして獨逸と同様水準迄歐米各國の軍備縮少を提案したのである。勿論獨逸に對する憎惡に燃えてゐた佛がこれを承知する筈もなかつた。然らば獨逸に於ても各國並の水準迄軍擴をすると宣言し、鮑迄英佛伊と對等の軍備を主張し、佛の必死の反對に會ふや斷然聯盟脫退を通告したのであつた。當時佛の我儘な態度は英伊をして私かに對佛牽制を策せしむるに至り複雑な國際關係に在つてこれを完全にヒットラーに利用されたのであつて、ヒットラーの素人強硬外交成功の第一歩を残す事となつて了つた。

ヒットラーの組閣第一年は多事多端の中に連續的成功裡に過ぎ、第二年たる一九三四年をヒットラーは暫く平和裡に無爲に暮したかつた様であるが、さうも行かなかつた。むしろ此の一九三四年の方がヒットラーとしては苦しい事件の連續であつたらうと考へられる。

黨内外の肅清工作

ヒットラーが多年訓育を續けて來たS・Aは今や巨大なる軍隊となつて國防軍との對立氣分も芽生えて來た事は曩にも述べた通りであるが、此の年に入つてS・Aは益々獨逸國軍としての存在を主張する様な氣配を見せた。嘗てヒットラーが入獄中S・Aを預かつたロエム大尉が自分一人の考へ方でまるでヒットラーの意志でもない方向へS・Aを向けて居つたのを出獄したヒットラーが苦心して當時事なくS・Aをロエムより取り上げた事も一寸記述して置いたが其の後部下を容易に斬れない性質のヒットラーはロエム大尉をS・Aの幹部の一人として置いたのであつた。軍人上りの單純な性格で且つ無暗に負けじ魂のみ強かつた同大尉が多年の苦心を思ひ、當時の同僚が今は國防軍内で時めいて居るのを見るとどうしても彼はS・Aを國防正規軍に直して昔の同僚を見返してやり度い

氣持に驅られたのも無理のない事である。

それだけなら問題もなかつたが、豫てからヒ

ットラーのナチス黨首としての地位を奪つて國防軍とナチスと兩方を自己の掌中に收め度
い野心を持つて居つたシュライヒャー將軍が此の單純なロエーム大尉を繰つたので、事は
面倒となつて來た。可なり辛棒強くロエームの反省を待つて居つたヒットラーも遂に決

心して S・S に命じ國家反逆罪を適用してシュライヒャー將軍を其の私宅に襲撃せしめ、
夫婦とも銃殺せしむると共に自らミュンヘン市に乗り込んでロエームと會見し、其の非を
難詰して反省を促したが、同大尉が判然と態度を變へないので遂に涙を吞んで S・S 隊員
に命じて銃殺したのであつた。尙此の兩人の家宅搜索の結果種々の新事實を發見して國
防軍及び S・A 隊員中しかも幹部級から約八十名程の肅清工作犠牲者を出し、世界をして
ナチスとボルシェビツキとの區別に迷はしたものである。

此の肅清工作はヒットラーに可なり深刻な悩みを與へた様である。

然しこれで S・A

は不純分子が一掃され、再びヒットラーに絶對忠誠を誓ふ結束した部隊となつて一難は去
つたのであつたが、又次の難が直ちに襲つて來た。七月末奧太利ナチスが輕率にも同國

首相¹⁾ドルフスを暗殺したのであつた。

ドルフスを後援して居つた伊首相ムッソリーニは

激怒して今にも獨逸へ進軍せんとする態勢を見せたのでヒットラーは百方陳謝し、パーベ

1) Dollfuss

ン副總理を大使として派遣する等の事によつて漸く此の難關を切り抜けたのであつたが誠に危機一髪の連續であつた。

ヒンデンブルグ大統領の薨去とヒットラー總統制の出現

ホツと一息吐いて居るヒットラーに今度はヒンデンブルグ大統領の薨去と云ふ豫期せぬ事件が起つたのであつた。獨逸國民に慈父の如き親愛を持たれて居つた大統領である。

獨逸國民に與へた衝動は大きかつたがヒットラーの心の悩みも大きかつた。S・A 肅清

工作や、ドルフス首相暗殺に依つて世界のナチス政權に對する憎惡は頂點に達し、獨逸民衆も亦心ある士は相當外交關係を憂慮してゐたのである。ヒットラーに對する國民の人

氣も絶對的に信頼してゐる者のみでもなかるべきは明かであつた。此の最惡の狀態に於

ては大統領の薨去を見たのである。大統領後繼者としては勿論ヒットラー以外には考へ

得られない狀態ではあるが圓滑に運ぶべく餘りに時が悪い。これを勇敢に突破しようと

したのがナチス幹部であつたが、ヒットラーは後繼大統領を設けず國家最高指導者兼宰相

として自ら此の地位に當る事にしてつたのであつた。ソ聯に於て獨裁政治の凄腕を振

つて居るスターリンが單に黨書記長の名目に止つて居るが如く、結局此處迄漕ぎ着けたヒ

ットラーに取つては大統領でも指導者でも實際は同じ事であり、然も國家最高指導者と云ふ名稱は彼の在野時代からの主張の、最も重要視されて居る指導者原理の理論上、最も彼の理想に近い名稱でもあるのだ。兎も角もヒ大統領薨去の八月二日より名實共に完全なヒットラー總統制とナチス國家が出現したのである。

ナチスの國家機構

ナチス獨逸の國家組織上の特色は、ナチス在野時代其の儘の構成を用ひてゐる點である。少しく説明を加へれば、ナチスの原則である指導者原理を國家各層各部内に推し擴げてゐる事で、例へば各官吏は其の擔當部門に於て其の直屬上司即ち指導者に對して絕對責任を負はされて居り各省大臣乃至長官は、其の擔當部門に關する限り總統に對して絕對責任を負つてゐる。斯くして國民各人は大なり小なり、其の直屬指導者を通して總統に絕對責任を負つてゐて、其の業務、乃至任務遂行に當つては、各直屬指導者への絕對服從を要求されてゐる。

斯くして集大成された絕對服從と、絕對責任を一身に集めてゐる總統はどうするか、と云へば、總統は天と民に對して絕對責任を自ら負つてゐるのである。此の國民に對して

總統が絶對責任を負つて責任の交換を行つてゐる點が、他の獨裁政治と異り又專政君主政體より進歩して居る點である。絶對責任を上司に對して負ふ處に自己擔當の範圍内に於ける絶對權が発生するのであつて、斯くして其の部局部内に従つて眞のワン、マン、コントロールが行はれ事務の澁滯が防遏され、絶對責任を負ふ處から各人の眞に國家的立場に立つての善處が發揮されて來るのであつて、従つて責任逃れの下らない會議制度や、法令の末に拘泥した實狀に卽しない結論、人數のみ多くて一向事務が進捗しない官僚氣風等はナチス獨逸には起り得ないのである。

但し人間得て權力の地位に座ると力を惡用して見度くたるもので、殊に此の如き絶對權の場合一層此の傾向は起るものである。これを防ぐ爲めに二三の例に依り述べた通り、二重三重の目付けを付けてゐるのであつて、獨逸の秘密警察制度とさへ言はるゝのであるが組織の得意な獨逸人である、特に用意周到に考慮されたる整然たる機構に於て、民衆も、官吏も、黨員も、國防軍關係者も公平に、しかも嚴重に國家負擔を分かち、國權發動の利益を享受してゐるのである。民間の自動車制限する時は同じく官吏も黨員も自動車を制限される。民衆がコピー代用品を強ひられてゐる間は官吏も軍人も同様に代用品が入手出來ない。重大なる失敗や事故が起れば必ず責任者は情實なく罰せられる。不適

當と分り切つた人が情實に依つて無經驗の地位に烏滯がましく座ると云ふ様な事は絶無である。凡てが理詰めであり、計畫的であり、直線的である事は實に羨ましい状態である。是れあるが故に國民一般安んじて其の業に従ひ、過重な國稅負擔に堪へ忍び得るのであらうと思ふ。

第七章 ナチス獨逸の經濟政策

ナチス經濟前後の比較

一九三二年の暮、即ちナチス政治に入る直前に於ける獨逸の經濟狀態を概観して見れば次の通りであつた。

人口六千萬人、失業者六百五十萬人、ヴェルサイユ條約より漸次輕減されて來た聯合國への賠償金は、殆ど大部分未拂債務として繰り越されては來たが、十四年間に諸物資を以て支拂はれた額は決して少額のものではなかつた。其の爲か此の當時の獨逸經濟界は、一時米系資本の流入に依つて中間景氣を呈して居たとは云ふものの砂上の樓閣に等しく、其の實質的内容は極めて貧弱であつて、一九三一年夏獨逸を襲つた恐慌は、國立銀行總裁のシハトに依つて辛うじて喰止め得たとは云ふものの、其の禍根は仲々簡單には除去出來ないものであつて、政府必死の對策に依つて單に彌縫を重ねて居つた處へ、更に米系猶

太系資本の急速引上げを喰つたのであつた。

當時通貨發行高は年額百貳拾億馬克（平價換算六拾億圓）、これ以上はインフレ懸念の爲發行不可能であり、此の内約二十五億馬克が租税として政府に回收され其の他の收入全部を合せて年約七八十億程度であつて、政府は六百五十萬の失業者に對する最低國家扶助費一人一日當り二馬克の支出にも苦しんだのである。

ナチスは政權を握るや此の當時の經濟狀態を基準として比較する事とし、物價指數其の他を凡て一九三二年暮を一〇〇として、ナチス政治の實績を毎年發表する事としてゐる。

滿七年經つた一九三九年春發表した處に依ると、人口八千萬（奧太利、チェッコ、メル等の合併及び自然増加約二千萬人である）に對し、通貨發行年額百五十億、即ち國民一人當りを計算すると僅かではあるが減少して居つて、租稅收入八十八億で其の他一切の國家收入約三百五十億、物價指數は一九三二年暮に比し低下してゐるものもあり、甚だしいは借家賃の如き一〇〇から六七迄下つてゐる。上つてゐるものも最高一〇〇が一〇九となつた位で、平均して二〇程の上昇に過ぎない。

しかも此の七年間に自動車専用道路やヴェストヴァール要塞、¹⁾（俗にジークフリート要塞線と云はれてゐるもの）其の他ナチス政治に入つてからの國家事業に投じられた國帑の合

計は九百八十億とある。果してこれが可能であらうか、是等の數字に何か間違ひがないであらうか、ソ聯のそれと等しく、獨裁政府の發表する數字は概して信用出来ないもので、多分に手加減が加へられてゐる事を覺悟せねばならないとの概念で、最初は疑がつてかゝつたのであつたが、それにしても我々第三國人の想像と餘り懸け離れて居るので、段々探りを入れて見ると右數字は真正正銘のものである代りに、此の外に通貨代用品とも云ふべきものが二三併用されてゐる事が判明したのである。

シャハト博士を拔擢す

一九三四年八月、ヒットラーは經濟大臣であつたシュミットを免じて國立銀行總裁のシャハト博士を經濟大臣に任命してゐる。當時、シャハトは有名なナチス嫌ひで、ナチスの天下となつてからも到る處の公開席上でナチスの政策に堂々と反對して居つたのであつた。自然彼はナチス幹部より甚だしく睨まれて居つたので、シャハトを經濟大臣に任命する事はヒットラーの發案にも拘はらず可なり問題となつて、ゲーリング等は極端に反對したと云ふ事であるが、當時ナチス黨員中には勿論國內一般にも、シャハト程卓拔なる手腕を有する財政家が見當らなかつた。又、彼程獨逸民衆の信頼を持ち、彼程産業界の裏

表に通じて居る人はなかつた爲に、ヒットラーは押して彼を拔擢したのであつた。シ、ハトは引受條件として、經濟相兼國立銀行總裁を一身に引受け、獨逸財政の全權を掌握したのであつた。従つて本格的ナチス指導經濟政策は、一九三四年八月になつて初まると見るべきであると思ふ。

シ、ハトの考察

シ、ハトは獨逸財政を一身に引受けるや、當時の獨逸財界の狀態が百二十億以上の通貨發行に堪え得ない、云ひ換へればこれ以上發行すれば直ちに惡性インフレを惹起すべき危険にある事を看破し、公債發行も不可能であると斷じた。公債を發行して消化しきれない場合は、嫌應なしに政府が引受けるより外に處理の道がない。政府が引受けるとなるとそれだけは餘分に通貨發行を要する爲、インフレを避くる爲にはこれも出來ないと見たのである。

更に外債の可能性は如何と云ふに、是亦全然見込がない。ナチスの過激な宣言に依つてナチスの勢力が伸展するに伴つて、急速に外資が引上げられてゐる際である。新たな借金に應じて呉れる國がない事は明かである。然らば百二十億でやつて行けぬかを考へ

ると、ナチス以前の政府でさへ百二十億を最低限度として要したのである。失業救済を公約したナチス政府、軍縮會議に於て英佛伊と平等の軍備を堂々と要求して容れられざりし爲斷乎として聯盟を脱退したナチス政府、ソ聯を人類の敵として宣傳是れ努むるナチス政府である。大土木事業を起し大軍備に着手する事は勿論であり、其の内の主なるものは既に着手されてゐる。

(註) 政府資金が大膨脹すべきは明かであり、是れを如何に調達するかがシャハトに課せられたる第一の難問であつた。

シャハト博士通貨代用品を創案し信用膨脹政策を執る

進退極まつたシャハトが其處で案出したのが通貨代用品の發行である。通貨ではあるが市場性を有せぬ通貨、云ひ換へれば紙幣ではあるが味増、醬油の買へぬ金を發行すれば直ちに物資に替へられる惧れがないから、政府の目的は達し乍らインフレにはなるまいとの考へ方であつた。

第一に實行したのが政府下命の民間製鐵業者、機械業者、土木請負業者に政府注文額内の手形を發行させ、これを最後の切札である政府の信用に依つて無理に流通させる爲

に、大膽にも經濟省が裏書する事であつた。是れをシャハトの信用膨脹政策と稱するのである。

當時の民間業者にはそれ程の信用は勿論無かつたが、政府が裏書して居る事であるから信用しない譯には行かない。何處の銀行でも割引に應じるので、民間業者は恰

も全額の前拂を得たも同様となつて、事業着手に困らないと云ふ寸法である。銀行で割

引いた手形は結局政府へ歸つて来る。其時は政府は普通の通貨で支拂はねば勿論銀行は

破産の外はないのであるが、其の間に相當の時日がある。其の間に經濟界が動き出すの

で失業者は減る、前拂と同様の事をして居るので金利は結局政府の脊負込みとなるが、失業者扶助資金の漸減に依つてそれ位は出るだらうとの見込みであつたと云ふ事であるが、

これが美事に適中したにはしたが、一方に於ては割引割引で轉々する爲漸次金利の高騰を呼び、又政府引受けの手形宛現金準備の爲、市中浮動の現金を手早く回収する爲、特別の

銀行を設立して備へた爲、市中は漸次金融逼迫を呈して此の方からも金利の高騰を招き一

九三五年夏には此の金利負擔の現金準備にも窮して來たので、丁度其の時英佛の反目不和の状態にあつたのを利し、ヒットラー豫ての公約であり熱望であつたヴェルサイユ條約の

一方的破棄と、自主的再軍備宣言を敢行したのを機會として、民間業者の手形を廢止して政府發行の再軍備手形としたのであつたが、是亦手形である事に變りなく、只民間業者の

發行であるか、政府の發行であるかの相違であるが、しかも前者は政府が裏書してゐる爲に效力に於て何等の相違はないのであるが、人間の心理は妙なもので、此の爲金利漸騰傾向を幾分喰ひ止める効果はあつた様である。恰も日本銀行發行の紙幣と朝鮮銀行の紙幣が、以前支那滿洲に於て價值に相違があつた如くである。

又普通の通貨にも、シ・ハトは種々の種類を設けて其の使途に依つて使ひ分けを強制した。即ち馬克貨を對外的に下落せしめない様に國定相場に依つて吊上げてゐる自由馬克¹⁾これに對して國內のみに許さるゝ國內馬克²⁾、外人誘致の爲の格安記録式旅行馬克³⁾、外貨に依つて購はれた馬克を國內投資にのみ用ひ得る遮斷馬克、獨逸へ渡航の外客が獨逸船中にて格安に用ひ得る船中馬克等である。

之等は何れも同一馬克紙幣を記帳、記名、爲替管理等に依つて使ひ分けさせたのであつて、其の勵行強制の効果を擧げる爲嚴罰主義を取り、故意に違反したものは爲替管理法違反として最高死刑迄を要求してゐる。

シ・ハトの指導經濟機構

更に又強制的輸出増進輸入制限の爲種々複雑なる經濟組織を案出した外、海外市場に於

1) Frei mark
4) Sperrmark

2) Inlandmark
5) Schiffmark

3) Reise mark

て獨逸品が馬克國定相場の高價な爲の理由に依つて競争に堪へ得ざる場合は、最高五割迄國內馬克に依つて國家が補助するが如き方法を實行したのも此の頃の事であつた。

輸出増進強制は其の後一品でも多く、一錢でも高く海外市場に捌く爲國外に於て國際的經濟牒報網を漸次完成し、國內には民間自治に依る專業の職能組合の徹底的統制に依つて國家補助の必要を漸減し、一九三七年頃から全く廢止し得る迄漕ぎ着けた。

又國內經濟界指導の爲にはナチス結成初期に於て、ヒットラーと共にナチスの二十五ヶ條綱領を完成したと云はれてゐるフェーダーの創案に成り、シャハトに依つて完成したと云ふ獨逸の行政通商の相互連絡機構の大略は、圖示すれば第一四三圖の如くなる。

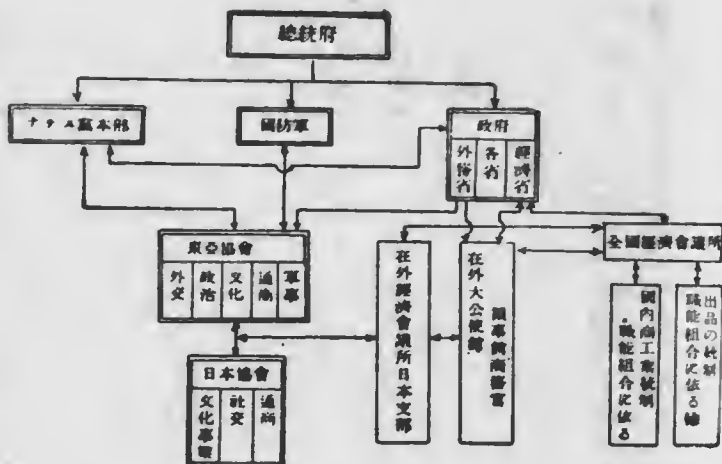
茲には煩雜を避ける爲獨逸國內行政の大綱と東洋、殊に我國に對する通商關係を圖示するに止めた。勿論全世界に對して大同小異の機構を設けてゐる事は想像に難くない處であつて、特に在外經濟會議所と稱する通商牒報機關が全國經濟會議所や、當該國駐在商務官及び文化交換と社交を表看板とする、日本協會等との連絡振りを注意すべきである。

右の内の全國經濟會議所と假りに譯して置いた所謂シャハト博士案出に係る計畫經濟機構の概要を更に圖解すると第一四四圖の如くなる。これは骨組だけであつて、各職能組

合には更に夫々細別した多數の職業別專門家團體に分れて居るのであつて、其の凡てを克

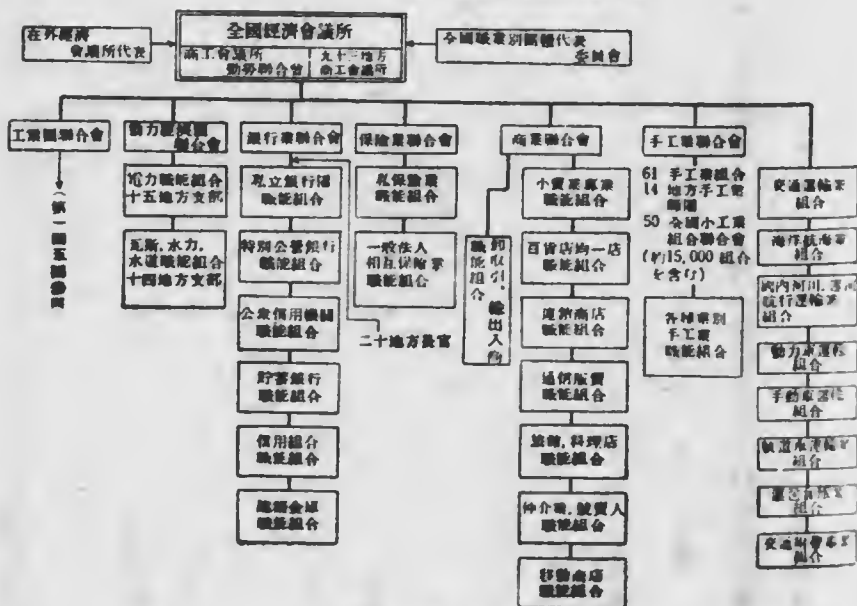
1) Wirtschaft Gruppe
kammer 2) Japan Institut 3) Reichswirtschafts-
4) Aufbau der gewerblichen Wirtschaft
5) Fachgruppen

明に書き表はす事は餘りに複雑煩鎖となるので省略した。



第 143 圖

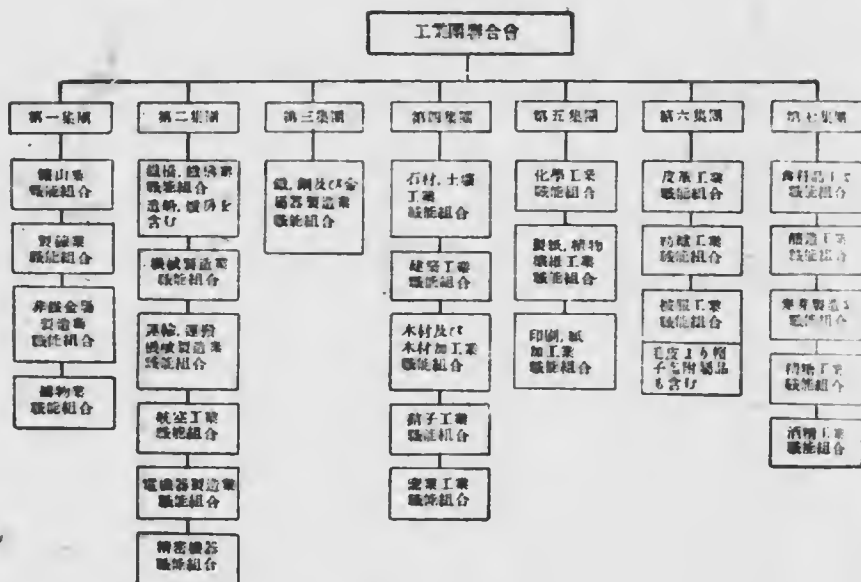
シヤハト博士計畫經濟機構圖解



第 144 圖

シヤハトの此の機構に對する元々の考へは、機構だけ作つて後は一切民間業者の自治に委せ、自身は國立銀行總裁兼經濟相として金融及び指導に止める積りであつた様であるが、結局は徹底した指導を實現する爲完全なる自治に放任する事が出来なくなつて來て、自分の部下やナチス黨員を各職能組合迄入れなくてはならない様になり、又經濟產業界の實情を知り盡して居つて、而もインフレを二回迄も防止した爲、インフレ避けの神様の様に全國民より信頼されて居つた爲、事實シヤハトが踏込んで來る事を財界も、產業界も、全國民も希望して居つた様な事情でもあつたのである。これが獨逸の指導經濟が形は民間業者の自治ではあり乍ら、實際は多少政府と黨との入つた協同體の如くであり、上層部に於ては強力なる政治が加へられ、下層に行く程民間自治の形を執つて居る特殊の機構となつた事情である。

既に述べた通り獨逸の國情が工業の發展に重點を置いて來た長年の歴史があつて、國內に於ける各般の實狀が又工業従事員が非常に多い割合に、商業従事員が比較的少い點に於て他の多くの國と異つて居つて、例へば銀行としても商業の爲の銀行が比較的少くて工業の爲の銀行が非常に多く、自然の結果として、銀行の重役にも技術出身者が半數以上を占めてゐる事が珍らしくなく、工業會社の主腦部は勿論技術者が殆ど全部と云つてよい程そ



第 145 圖

れ程工業の方が商業よりも優勢である爲に、此のシャハトの經濟機構に於ても工業聯合會が非常に大掛りのものとなつた。其處で、特に工業團聯合會だけは他のライヒス・グループと組織が違ひ、第一より第七に至る迄の主要集團七個に分類し、一切の製造工業を七部に分類したのである。其の分類内容だけを圖示したのが第一四五圖である。

此の主要集團の下に更に各業別職能組合を置き、其の職能組合の下に更に小別けとした二個以上の業別専門家團を置いた事は、他のライヒス・グループと同様である。

此の専門家團が如何に細別されてゐるかを、機械工業職能組合の二例に就いて挙げて見ると左の通りとなる。

- 一、工作機械（金屬加工用）専門家團
- 二、木工機械専門家團
- 三、精密工作機械（金屬加工用）専門家團
- 四、被服工業機械専門家團
- 五、紡織機械専門家團
- 六、農耕機械専門家團
- 七、動力機械専門家團
- 八、空氣及び液體唧筒類専門家團
- 九、製鐵、製鋼、鑄物機械専門家團
- 一〇、礦山、建築用機械専門家團
- 一一、起重機、昇降機、運搬用機械専門家團
- 一二、製紙、印刷工業機械専門家團
- 一三、食料、榮養品工業用機械専門家團

一四、裝置、器具類専門家團

一五、事務所用器械類専門家團

一六、商業用機械専門家團

一七、兵器、火器専門家團

一八、土木機械専門家團

一九、その他一般、

右は機構案出初期のもので、其の後益々細別項目が増加し、又省略合一されたもののである事は勿論である。

是等の機構の中特徴とする處は、全國經濟會議所や各聯合會は業者中の最經驗者年長者を指名すると共に、經濟省やナチス黨員を相當數加へ、云ひ換ふれば經濟機構であり乍ら多分に政治味を加へ、一段下る毎に政治力は稀薄となつてゐる事で、要するにシ・ハトに依れば、計畫經濟とか指導經濟とかは物資の不足に對し國家的要求が過大である爲、如何にしても自由に放任しては置けないが、さりとて民間業者の創意と興味を無視しては國家全體として進歩が止まり能率が擧がらない。従つて自由經濟の長所を失はしめないで、國家の要求に漸次適合する様に舵を取つて行かねばならぬ。此の點に非常なる苦心を重

ねたので、結局は末梢神経は自由にして置いて、中樞になる程政治力を多く加へて行くより方法がないとの結論に達し、かうした形體に落着いたのであつた。

ナチス指導經濟七ケ年の數字的變遷と其の内容説明

斯くの如き新たな、理詰めの經濟機構で、然らば七ケ年の間に如何なる結果が顯はれて來たか、吾等は此處で其の實績を數字と内容双方より研究して見る必要がある。

歐洲各國と獨逸の軍備投資額の比較

第一に軍備に就いて考へて見度い。

ナチス獨逸となつて以來總國力を擧げての廣汎なる軍備を極秘裡に進めた事は既に述べた通りであり、全體國家としての特徴である國民へ知らせる必要のない事は一切發表されない建前から、其の精確なる數字は掴み得ない事勿論であるが、國家事業としての七ケ年に完遂された種々の大事業に費された總金額は大約九百八十億である事を考へ、其の半ばが何れも廣義に於ける軍備を包含してゐる事を基礎として思ひを廻らす時、直接間接に軍備として費された總國費は七年間に少くとも一千億を下らないものである事は容易に想像

し得る處である。これに對比して歐洲大國が各々どれ程の軍備豫算を計上して居つたか、獨逸經濟省參與¹⁾ミンデン博士に依れば左の通りである。

年次	總豫算	軍事費	百分率
英國	一九三二 八〇〇百萬磅 一九三七 九〇八 一九三八 九〇八 一九三九 一、〇三四、四	一〇三百萬磅 二六八 三四三	一二、八 二八、九 三三、二
佛國	一九三六 一九三七 一九三八	一一、五五八百萬法 一八、九五〇 一二、一五九	二四、〇 三〇、〇 四〇以上
ソ聯	一九三二 一九三六 一九三七	一、三九七百萬留 一四、八一五 二二、四三一	一三、六 三五、九 三七、〇

右に依つて明らかなるが如く、歐洲大國何れも逐年軍事費の飛躍的増大を見せて居り、殊にソ聯に於ては、一九三六年から本格的軍備に取掛つた事が窺はれるが、それにしても

1) Dr. Gerold von Minden

ナチス獨逸が最小に見積つて一千億以上の軍事費を七ヶ年に費して居るのに比べると、拊違ひにその尠い事が明かになるのである。

此の途方もない巨大な資金を投じて行つた軍備の内容に就ては別に述べ度い。

輸出入の變遷と其の内容

第二には輸出入バランスを見る必要がある。第一四六圖はナチス獨逸となつてから一

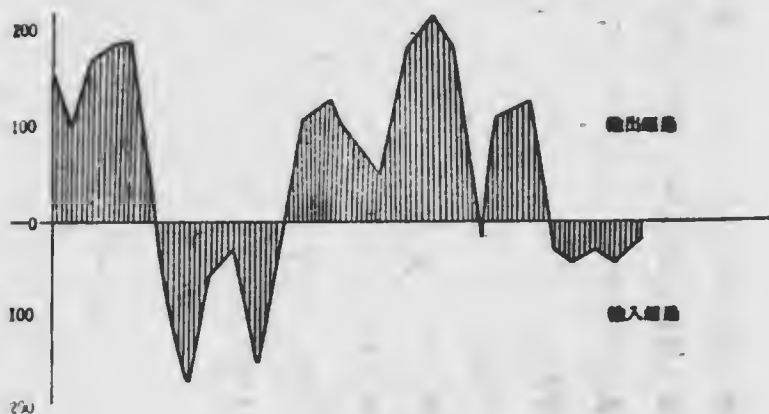
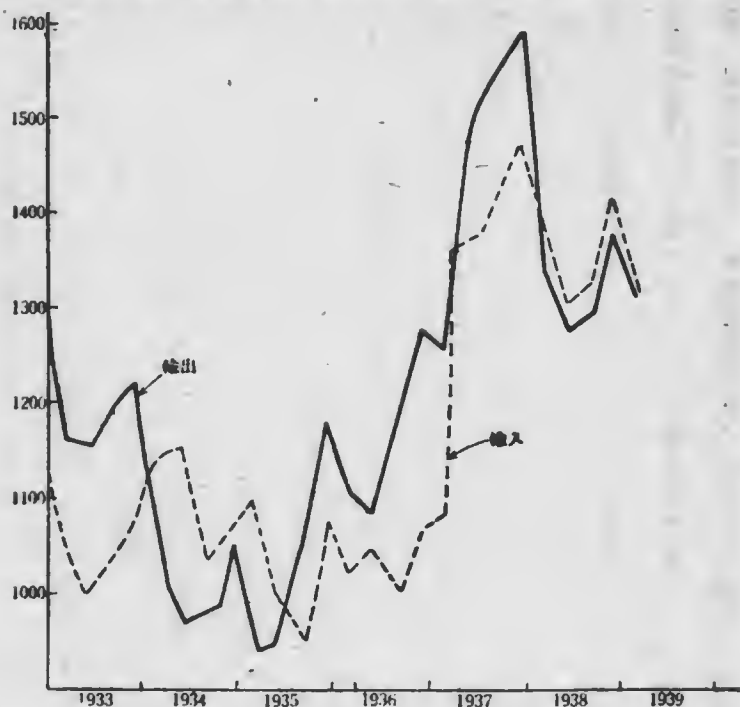
九三九年春迄の輸出入の實績を圖表としたものであつて、少しく説明を加へると、一九三三年中政治工作に懸命努力中であつたナチス幹部は、僅かに前年度の輸入實績の幾割かを輸入金額の上で許す所謂¹⁾コンチンгент制を從來通り踏襲して居つたに止まり、新たな指導經濟に入つてゐなかつた爲輸出増加ではあつたが、輸出入共數字が小さい事の特徴としてゐる。一九三四年と五年の前半に於ては、四ヶ年計畫の強力なる遂行と軍備の極秘

着手の爲、輸出能力を著しく減じて輸入超過となり、而も其の間に政府の意識的輸出増進の方策が表はれて輸出入足取りが激變して居り、一九三五年の後半以後は指導經濟の效果が漸く現はれ始め、輸出超過の儘、輸出入共漸増方向に轉じ、一九三七年後半に於て其の頂點に達してゐる。

此の當時は衆知の如くナチス獨逸が漸く其の軍備に幾分の自信を

1) Kontingent Verordnung

獨逸對外取引變遷圖表 單位百萬馬克（英太利との取引除外）



生じ、ヒットラーの爆彈外交が着々行はれんとしてゐる時で、政府が、極度に輸出を獎勵し乍ら莫大な食料や燃料を輸入して萬一に具へた事實が、此の足取りからも明かに看取出來るではないか。一九三八年から僅か乍ら又輸入超過に轉じてゐるのは、愈々ポーランド其の他に對し實力行使の己むを得ざるを覺悟して更に高度の軍備擴充と食料其の他の輸入に着手した爲、輸出能力を漸減して來た事を裏書してゐるに外ならない。

是等の期間を通しての輸出の大半は機械、重工業製品、化學製品、藥品等であり、試みに一九三八年に於ける主なる輸出品の金額を見ると次の如くである。(單位億馬克)

一、機械(飛行機、自動車等を含む)	一一、七二
二、重工業製品	九、七〇
三、化學製品	五、〇五
四、石炭、コークス	四、九六
五、纖維工業製品	三、六〇
六、電機類	三、一七
七、石炭を原料とする諸製品半製品	二、八一
八、精密機械類(計器、寫眞機を含む)	一、五一

其の他印刷物(書籍)、染料、陶器、硝子、樂器等があり、原料類半製品類は總輸出の五分の一に過ぎず、五分の四が完成品である事も注意すべきである。

これに對して輸入の内容は何うであらうか、容易に想像し得る通り食料品と原料品が其の全部であり、五分の三が礦石其の他の軍備擴充と指導經濟遂行の爲の原料であり、五分の二が食料品である。

輸出に對比して同じく一九三八年の輸入の内容を見ると左の通りである。(單位億馬克)

一、鐵及び金屬礦石	八、〇八
二、屑 鐵	〇、九二
三、羊 毛	二、六七
四、木 綿	二、一九
五、礦 油	二、八一
六、木 材	二、五一
七、穀類(油性植物を含む)	五、七二
八、各種植物性食糧原料	二、四一
九、果 實	三、〇一

一〇、	コーヒー、紅茶、ココア	一、九七
一一、	煙 章	一、五五
一二、	獸肉魚肉	一、四五
一三、	牛乳製品	一、五五
一四、	牛	一、一三
一五、	鶏 卵	〇、九五
一六、	動物性油脂	〇、四五
一七、	其の他食糧原料	〇、七二

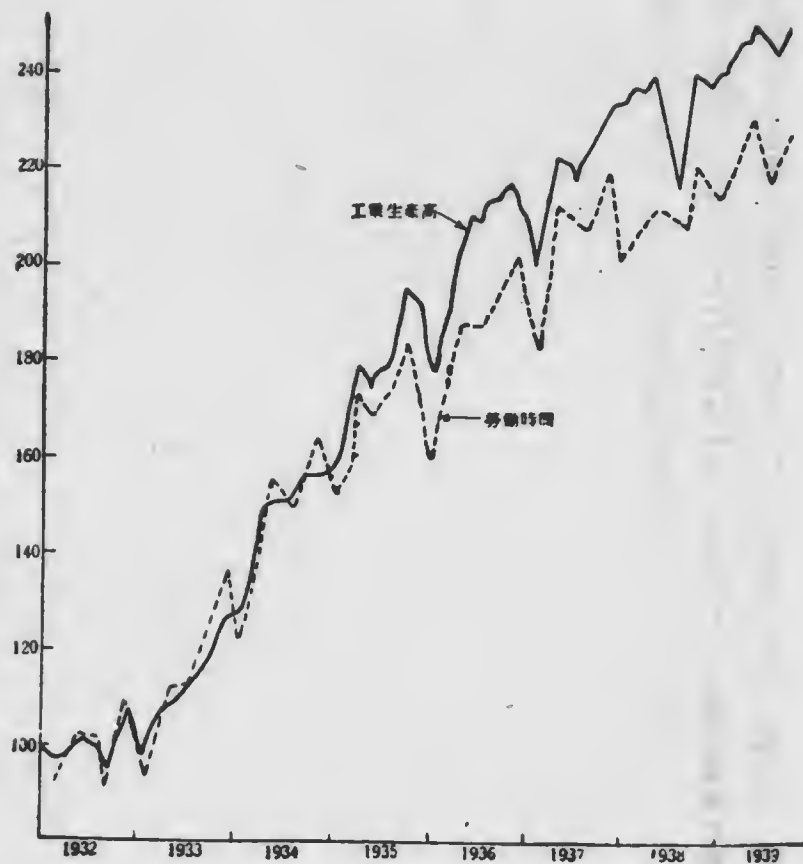
國內工業力の發展模様

斯くの如き機構に於て國內工業生産は何う變つて行つたか、第一四七圖は此の工業生産高漸増の足取りと、それに要した勞働者就業延時間を一九三二年を一〇〇として圖示したものである。即ち一九三八年末に於ては一九三二年初めの工業生産高に對して、約二倍

半の生産高を實際に記録して居るのである。しかも前述の通り又第一四六圖の示す如く、

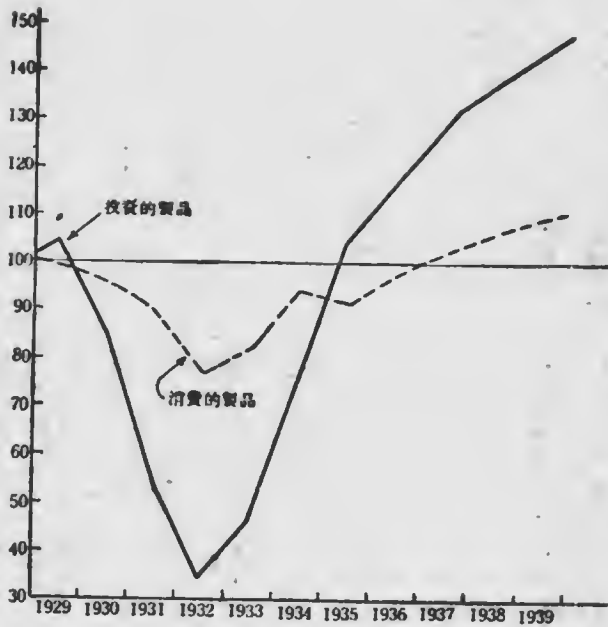
一九三八年初めから輸出が激減してゐる事實と思ひ合せて、如何に此の當時ナチス獨逸が

獨逸工業生產高漸增見取圖



第 147 圖

所謂投資的製品の行衛は、云はずと知れた軍備擴充用の諸工場である。



第 148 圖

軍備に全力を傾倒したかが想像出来るのである。これをナチス政府は¹⁾投資的製品の生産なる言葉をもつて表はしてゐる。然らば此の投資的製品と消費用品²⁾の生産を如何に案配して居つたか、第一四八圖は此の實績を表はす圖表である。此の圖表に依つて、ナチス政權となつて以來如何に努力して所謂投資的製品の生産に努力したか、明らかに判斷されるのであつて、此のナチス政府の

(註) 自動車専用道路はヒットラーの強い決意の下に既に一九三三年秋着手された。四年計畫も發表されて其の一部分は同じく一九三三年に着手されてゐる。ジークフリート要塞も、當時發表されてはゐなかつたものの着手されてゐる事は明かで、政府幹部には知られて居つた様である。空軍大擴張も一九三三年春決定し、秋より着手された様である。

1) Investitionsgüter

2) Verbrauchsgüter

第八章 在外商工會議所の活躍

在外商工會議所と云ふものは實在しない。外國顧客を出来るだけ刺激しない様に付けた巧妙なる表看板であつて、實體は在外獨逸人各個の活躍に依つて効果を擧げてゐる通商陳報網に外ならないのである。しかも是等の在外獨逸人の個々が齎らす種々の斷片的情報は、一切全國經濟會議所に於ける情報局に集中せられ、適宜に整理され其の情報が必要とする各職能組合へ巧みに迅速に通達され直ちに活用されるのである。而して、シヤハトの理論に依つて、一品でも多く一錢でも高く、海外市場に於て獨逸輸出機械が制覇して行くやう美事な統制が行はれて行くのである。

假想舉例の一

これを一例を假設して更に説明すると次のやうである。

南米のAなる製鐵會社が新たに大製鋼工場を設置せんと目論んだとする、A會社の技術

方面を擔當し決定權を有する重役が、米國の某大學で修業した經驗を有し、從來米國製機械のみを採用して居つた事、並に今回は機械購入豫算が非常に窮屈であつて米國製の高價な機械を購入し得るや否や自信がない爲、獨逸製機械に就いても研究して居る事等が一々情報されると、斯かる場合には設計を幾分變更してでも安値を見積り得る獨逸國內製造者Bが、職能組合に依つて此の仕事を受くべき様内密に決定される。他の獨逸製造者は

單なる御附合ひで、勿論職能組合に依つて指定されたBより幾分高い値段と長い納期を見積る事を要求される、と云つて單に御附合ひで見積るのであつて、受注の惧れもなければ熱もないやうな事は出先の獨逸人にも氣取られないやう、表面至つて熱心な見積をしてゐるが如き態度を續ける事も併せて要求される。恰もBやCの製造業者がAを相手に直接

取引に努力してゐる形に於て、實はAを相手に職能組合が智能を傾け情報網を總動員して商賣してゐるのである。其の内に意外な方面から別の獨逸人を利用して豫算の金額や、米國製造業者の見積値段が漸次情報されて來ると、職能組合がBの製造原價や實際の製造必要期間に拘泥せず、A會社の許し得るであらう最高の値段で米國製造者の競争し得ない範圍の値段と納期が決定され、Bの見積となつてBの出先の獨逸人に通達され、同時に在外商務官に通知される。斯くして獨逸品は許され得る最高の價格で以て、確實に競争

各國製造業者を排撃して販路を開拓して行く。

假想舉例の二

此の逆の場合も多い。從來自分の會社は獨逸の機械を採用してやつてゐる。特に某の會社の製品を買つてやつてゐる。今度は豫算がないのだから彼の會社なら從來の恩義に感じて少し位無理は聞いて呉れるであらうと期待してゐたのに、豫期と正反對に高い見積を突き出して來た、實に怪しからぬ、と憤慨してゐる好人物の顧客も間々見受けるのであるが、此の獨逸の機械を知りシハトの理論を考へに入れると丁度逆の事が言へるのであつて、從來獨逸の機械のみ採用し、今更ら米國製機械では工場の連絡の都合が悪い處迄獨逸に好條件を作つてあるから、製造者の原價を跳び越えた高い値段で買はねばならなくなるのである。立場を一寸置き替へて考へれば當然の事であるが、理屈より感情の強い人種は時々此の様な思はぬ失敗をするのである。

假想舉例の三

更に他の例を假想するとこんな場合もある。

獨逸人は元來技術的頭腦に自惚れに近い

自信を持つてゐる。よく獨逸人の云ふ冗談にこんながある。

英國人は石で橋を架ける、米國人は鐵で橋を架ける、吾々獨逸人は頭で橋を架ける。残念乍ら事實獨逸人の技術的頭腦は英米よりも常に一步も二歩も進んでゐる様であつて、今回の大戰に於ても、科學兵器一般に於て英佛が獨逸より著しく劣つて居た事も世界衆知の通りである。俊敏な頭腦とは思へないが、現在に拘泥しないで一つの事を執拗に考へ抜いて遂に新たな解決を見付け、又常住不斷に改良を考へてゐる爲に時と共に技術が進んで行く。又社會の組織も技術の進歩に都合良く出來てゐる。

各企業の主腦部分が殆ど全部技術者で固められてゐる爲理解も早い、一般に技術者が優遇されてゐる爲優秀なる素質の子弟が皆技術家たんとする状態である。他國の様に間歇的に進歩するのではなく、常に不斷に前進してゐるのである。従つて是等頭腦の働きの結晶である新發明、新工夫の特許の商賣を最も有利と考へてゐる。頭腦の働きに依つて得た結晶を紙上に圖示して巨額の外貨を稼ぎ得るとすれば、成程此の上ない有利な商賣である。

其處で此の製造權の販賣を非常に奨勵して居つて、特に嚴密な職能組合の統制を加へてゐるのである。

茲に假りにバルカン地方の甲なる國の或る會社が、獨逸の乙なる會社の製造權を買ひに來たとする、乙なる會社は此の新工夫に百萬圓を投じて居り、既に他の國へ製造權を七十五萬圓で賣つて居るので、甲なる國へは五十萬圓で賣つても尙二十五萬圓利益が残る勘定となり、更に第三第四の國へも賣れる事を豫想してゐるので五十萬圓で充分と考へてゐるとする、職能組合は然し斯様な乙會社の理由を全然問題にしない。

先づ情報を調べて此の製造權を甲なる國で實施すれば、其の會社は現在に比して幾ら程利益を得るであらうかを計算する。勞力、原料、動力、水、運搬費、營業費、税金等凡て情報が揃つて居ると、職能組合内の専門家團が經驗家許りであるから直ちに計算が的確に爲される。其處で逆に甲なる國へは此の製造權を幾らで賣つても尙、其の會社は現在に比し幾分の利益を得る筈であると歸納的に販賣可能最高價格を決定するのである。此の決定に依つて乙なる會社は豫期せぬ利益を得る事となるが、只では儲けさせない。妥當な利益を除いた残額は乙會社の所得の儘で更に一段先きへの研究費と、工場の設備改善費にのみ使用を許される。斯くして頭腦の働きの結晶に依つて一度び他國より一步先きに出了會社は、更に一步前進する事を強制され、又工場設備の改善に依つて其の生産原價を引下げらるゝ様仕向けられるのである。

兵機類の製造權

又兵機等に關しては、賣先如何に依つては如何に有利でも絶対に販賣を許可されぬ事もあり、又更に一步先の發明工夫が完成される迄は絶対に販賣を許可されない場合もある。此の場合は製造權を買つた方は獨逸で不用となつた使ひ粕を買はされる事となるのである。

殊に製造權は我國が獨逸の最大顧客である様であり、同じ様な製造權が併行して同時に買はれる事も度々あつて、心ある獨逸人は、結構な顧客ではあるが、日本人の心理は結局吾々獨逸人には判らないとさへ云つてゐる實例もある。何とかしてこんな事の度重ならない様に國家的に統制する事が出来ないものかと、考へさせられる事も一再ではなかつた事を茲に附記して置き度い。

第九章 職能組合及び専門家團の國內的活躍

工業聯合會の下に全工業を七種類の集團に分類し、更に其の各集團内を種々の業別に分類して職能組合を設け、更に其の職能組合内を専門家團に分け、此の専門家團及び職能組合を自治的に且つ積極的に、民間業者をして經濟省の確定した指導經濟方針に合致せしめんとした事は、シ・ハートの經濟機構立案として既に述べた通りであるが、是等が如何にして運用され又如何なる方向に向つてゐるかに就いて、二三の例を擧げて述べて見ようと思ふ。

職能組合の構成

専門家團は其の專業に於て第一人者と我人共に容す實際の經驗の豊富な、所謂エキスパートの少數より成つてゐる。是等の人は勿論自分の仕事を民間人として持つた儘フ、ハダグルッペ員となる。是等のフ、ハダグルッペの相當數、例へば機械に於ては、一九團が集

まつて職能組合を形成する。専門家團に在つては全く民間人許りであるが、是等が集まつて形成する職能組合に於ては、經濟省官吏とナチス黨員が各一名加はつて來て少しく政治の力が及んで來る。此の職能組合員は、例へば機械ならば各専門家團員も一目を置くが如き斯界の第一人者であり、長老である人が經濟省より指名されるのである。

經濟指導事務の運用と目標

種々の仕事の遂行は専門家團に依り立案、處理せられ、職能組合長同意の下に其の名に於て各業者に指令されるのであつて、従つて各専門業務の範圍内に於てのみの事項に關する限り、専門家團と職能組合は同一のものと考へて差支へないと思はれる。他の専門にも關聯する場合に於てのみ、決定權は専門家團の手を離れ職能組合長の手に移るのである。

斯かる機構と組織に於て、職能組合の名の下に國內的に遂行する仕事の内容は

一、國內的無用の競争を回避する爲の品種及び數量的生産統制

二、商品生産原價の騰貴を防ぐ爲の資金の可及的高速回轉を目指しての未働商品蓄積豫

防統制（結局これも生産統制となる）

三、政府の方針に従ひ、輸入原料の漸進的節約と國內原料乃至代用原料に依る置替への強制

四、在外商工業會議所との完全なる連絡に依り、輸出品製作の國內製造者への案配及び指導

五、政府の方針に依る民間業者の利潤の一定割合を、其の工場の機械設備の改善に使用せしむる事の強制、指導、製作工程の改良進歩の國內同業者一般への通達と指導

是は獨逸工業の全國的躍進を計る爲一製造業者の發明工夫を其の工場に獨占させず他の同業者に一齊に採用せしむる事に依つて、獨逸工業の水準を時々刻々に押し揚げて行かんとする意圖に基くものであつて、例へばAなる製造家が一つの發明と工夫を完成し其の爲同じ原料で、より優秀なる製品が出来るとか同じ製品が少し安く出来る事が判ると、國內各地同業組合の様な組織を通じて一般に公開し何の工場も直ちに是れを採用する事を強制する、國家全體として利益は擴大される。

が然し發明工夫した人は努力が酬ひられない事になる、是れは輸出品製作の場合乃至資材配給に於て少しく手心して僅かに満足させる。残りの不満は、ナチスの最も重視する綱領である「公益は私益に先んずる」と云ふ宣言を以て我慢させるのである。

若し此の新工夫なり發明なりが特許となる場合は國外に對しては發明者工夫者の權利が認めらるゝ事は勿論である。従つて發明工夫が以前程其の利益を國內に對して獨占する事は許されないが、と云つて全然利益がない譯ではない様に統制されてゐる處に獨逸の指導經濟の妙味があると思ふ。

六、資材配給

平素に於ては輸出第一、軍備第二、國內需要第三の順位で資材が配給されて居つた様であり戦争と共に戰時經濟局が設置され特にゲーリング空相が其の局長を兼ねる事となり第一軍需、第二輸出、第三國內需要の順位に變へられた様である。

資材配給振りは何分にも生産力が何品に付いても充實して居るので、獨逸人の工業常識の程度の高い事及び此の配給を司る職能組合や専門家團が其の專業に二十年三十年没頭してゐる第一流の人物揃ひであつて、各民間業者も是等を胡麻化したせぬ事は充分に知つて居るので極めて圓滿に迅速に行はれて居り民間業者又必要資材の要求内容に於て割掛けを加へる等の事もなく、又専門家團もよく仕事の内容が判斷出來ゝ人のみである爲め不必要乃至不急と斷定せられるものには何等の資材が與へられない反面に於て必要な仕事に對しては充分なる資材が與へられる。云ひ換へれば資材配給は○か一〇〇で

ある。天引き等と云ふ様な却つて國家の損失となる事が行はれない事は勿論である。

又獨逸の郵便事務が安全確實である爲もあるが、一般に書面を郵送した證據がある場合相手は受け取らなかつたとは逃げられない習慣があつたが、茲にもナチス政府の徹底さを加味して居り資材配給要求が業者より發送された事が證據立てらるゝ場合、同一市内の職能組合、(例へば伯林市内工場が資材要求を發達した場合)ならば三日以内に必ず諸否の回答を書類で發送する事を規定されて居り、萬一此の回答を三日以内に出し得なかつた場合は全責任は職能組合に轉じ、其の仕事が不急不必要と考へられても職能組合は是れに充分なる資材を自己の責任に於て配給する義務を生ずる事となつて居る。従つて資材を要求する方も配給する側も全く對等の立場に於て一つの事務として迅速に處理して行く有様は羨ましい程であつた。資材配給願を出して二ヶ月も三ヶ月もせねば諾否も判らない、やつと承諾の代りに「許可」が與へられても資材實物が入手出来るのは更に數ヶ月を要すると云ふやうな事は獨逸人には殆ど理解出来ない事であらう。若し何かの事情で其のやうな事が獨逸に起つたとしたら、恐らくナチスが承知しないで責任者を死刑位には處するであらうと思はれる。

此の他に技術其の者の輸出、従つて其の反對の技術逃避の防止等の仕事も職能組合に

課せられてゐる仕事であるが、此の點は大體在外商工會議所の項でも述べた通りであるが、國外持出し許可のない圖面を不注意に國境で發見され、死刑に處せられた實例もあり、又工場見學に行つて建物の大略を見取り圖として手帖に控へた爲に投獄された外國人もある位嚴重に逃避を防止してゐる。

第十章 ナチス獨逸の物價政策

二回迄インフレを救つてインフレ防止の神様のやうに獨逸民衆から信賴されてゐたシャハト博士が、物價の變動を可及的に防止すべく考慮を廻らした事ゝ當然である。

シャハトの考へ方と機構

シャハトに據れば、自由經濟に於ては物價は需要供給の自然現象に依つて變化し、決定するのであつて、大需要があつて供給これに伴はざる状態が續かねば高物價は來ない。

従つて小數の成功者と多數の貧困者を生じ、失業者問題に迄發展する。が然しナチス獨逸に於ては國家の需要が莫大であつて、供給が常にこれに追隨し得ない惧れがある。これが爲國內一般消費を極力押へて國家需要を滿すべく案配して居る事は二、四頁第一四八圖の示す如くであるが、尙更に國家需要は大であつて、一般消費は益々滿されない傾向に走る事は明かで、自由に放任せば必ず高物價を招來し民衆の生活が脅かされる事となるの

で、如何なる犠牲を拂つても物價は可及的に押へねばならぬ。と云つて餘りに押へては生産に對する民衆の創意と興味を殺して了ふ。苦心の結果シヤハトの案出した機構は、同じく民間専門業者より指名に依り物價構成管理國家委員を設け、物價決定に對する必要なる凡ての權限を與へ、一九三三年ナチス政府となる以前から物價監督所の設けがあつて、微溼的ではあるが大衆消費物資の物價を監督して居つたが、此の仕事を全部引繼がせ同時に物價臨時停止令を出し、又一方に於て勞働賃銀の高騰を防止すべく賃銀停止令³⁾を發して四年計畫遂行中勞働賃銀の騰貴する事を許さない事としたのである。

物價構成管理國家委員の權能と物價維持の方策

此の物價管理特別委員は

一、商品の需要、生産、配給、貯藏に關し各職能組合を通じて各生産業者に命令する權能

二、生産業者販賣業者其の他關係者の帳簿を隨時検査する權能

三、倉庫を隨時檢閲する權能

四、品質を検査考慮して販賣價格の標準を決定する權能

1) Reichskommissars für die Preisbildung 2) Preisstopverordnung

3) Lohnstopverordnung

五、其の他物價構成に關する必要な處置を執る權能を與へられて居つて、物價維持の方策として

一、國產の使用を強制し

二、代用原料の使用及び是に對する研究を強制し

三、屑物、廢棄品の再製利用を強制し

四、消費節約の宣傳を爲し

五、生産統制を嚴重に行ひ、未動商品の防止即ち生産されてから需要されずに倉庫で癭てゐる期間を切り詰める事に依つて、生産業者の資金の廻轉を人爲的に早め、低利潤を以てしかも業者の合計利潤の増加を計る事を強行し

六、需要供給からのみ來る高率利潤と、不勞所得（株主、貸家業、高利貸等）を極力制限する

事等に依つて物價高騰を防いだ。

輸入原料類價格に對する方策

外國よりの輸入に依らねばならぬ農產品、礦產品は世界的物價と景氣に支配される事が

多いので、是亦、國內に於ける是等原料品を需要する企業家乃至輸出入業者の自由に放任出來ないと云ふので、各商品毎に一つの購買會社とも云ふべき國內需要を一纏めとして逆に世界的物價を誘導せんと試みた。此の目的に對しても、所謂在外獨逸商工會議所々員の活躍が非常なる効果を齎らした事は勿論である。又輸入會社も勿論民間専門家のみより組織してゐて、無經驗な人士が情實のみで高い地位に座るが如き事は絶對にない。

第十一章 シヤハト博士とフンク博士の交迭事情

以上其の概要のみを略記したやうな、周到なる配慮と複雑な機構の下に運用されたナチス獨逸の指導經濟は、年と共に其の威力を發揮し始め、失業者は急激に減少し、國家事業は着々遂行され、全國工業界は異常の活況を現出し、國民の生活は目に見えて改善されて行つた。

失地回復の積極化と其の資金要求

一九三五年のヴェルサイユ條約一方的破棄と再軍備宣言も、ヒットラーの狙ひ通り英佛の疎隔と佛の人民戰線等に依る國內歩調の不一致等に依つて、獨逸殊にナチス幹部の最も恐れて居た武力干涉も起らずに濟んだ。

斯くなれば次の問題は失地回復の外にない事は當然であつて、愈々積極的に大獨逸建設に着手せねばならぬと云ふので、一九三七年となると、ナチス幹部は更に軍備の大擴充を

計畫したのである。其の資金として國內にインフレを招來する事なき、又金利も不要であり期限が來ても返す必要のない巨額の資金を、例の通貨代用品で何とか工夫せよとシハトに迫る、シハトはそれは出来ない、のみならずこれ以上の負擔には獨逸の國力が堪え得ない事を斷言して、逆に軍備急速擴充を思ひ止る事を要求し、茲にナチス幹部とシハト博士の正面衝突となり、遂にシハトは職を辭し流石に多年獨逸國家に對し大功を樹て、屢々經濟的危機を間一髪に救つてゐるシハト博士を追放する事も出来ない、表面病氣と云ふ理由の下に無任所大臣の地位に据ゑ、其の儘同博士の希望の通り財産全部を持つて瑞西に去る事を許したのであつた。

ナチスの悩みとシハトの後任者難

シハト博士の去つた後は、暫く後任が決定しなかつた、と云ふより適當な人物がなかつたのである。當時のナチス獨逸には種々の悩みがあつて、其の最も重大なものは國防軍とナチスとの不和であつた。元來ヒットラーは、彼自身多年養成して來て、又其の力も大いに與つて政權把握に迄成功した、ヒットラー私軍と云はるゝS・A及びS・Sを無理に押へて國防軍を立てゝ來たのである。其の爲にS・A内の不平分子が、ヒットラー無き

ナチス政治をさへ夢みるに至つたので、遂に涙を吞んでロエーム大尉や、これを國防軍側に在つて操縦して居つたシュライヒャー將軍を一舉に清掃したことは曩に書いた通りである。それ程迄に國防軍を立てゝ來たのも、ヒットラー自らが其の一員であつた光輝ある國防軍を反ナチスとしたくない爲の苦衷の一つであつた。然るに國防軍内部、殊に其の上層階級には前大戰當時からの古強者が多く、しかも其の殆ど全部は一種の貴族であつて、傳統を誇り家柄を自負してゐる者が多かつた。ナチスの天下となつてからヒットラーは一面に於て大いに國防軍を尊重して懷柔に努めると共に、ゲーリングの空軍相任命、全國民のヒットラーへの忠誓等、漸次國防軍がナチス化の己むを得ざるに至るやう極力仕向けたのであつた。勿論國防軍内部にも漸次ヒットラー崇拜者を増して來ても居たのであるが、將軍連から見ればヒットラーもゲーリングも單なる成り上り者である。其の指揮命令に服するを快しとしないのも亦人情の自然と云はねばならぬ。

國防軍主腦部の改造

當時國防軍の巨頭の一人であつてヒットラーを理解し崇拜して居つて、又其の爲にナチス幹部の信用を受けて國防大臣に就任して居たのはブロムベルグ元帥であつたが、直ぐ其

の下、陸軍總司令官の地位に居たのがフリッツ・大將で、此のフリッツ・大將は有名なナチス嫌ひで、且つプロムベルグ元帥と相容れぬものを持つて居たが同時に陸軍部内有數の人望家で、流石のナチス幹部と何とも出来なかつたのであるが、一九三七年暮此のプロムベルグ元帥が自分のタイピストと結婚した事から（無論再婚であるが）プロムベルグ對フリッツ・ナチス對フリッツ・ナチス、惹いてはナチス對國防軍の不和軋轢が急に表面化した。國防軍の傳統に凝り固まつて居るフリッツ・將軍から云へば、プロムベルグはヒットラーやナチスに媚びる事に依つて國防相に成り上つたり、元帥になつたりした氣に喰はぬ男である上に、ユンカー階級を代表する名譽ある國防軍の總帥にもあるまじき一職業婦人、しかも自分が日常使つてゐるタイピストと結婚する等とは風上に置けぬ男である。こんな男を光輝ある吾が國防軍の總帥にして置くわけには行かないと云ふのである。フリッツ・ナチスはこれを正式にヒットラーに申出で、プロムベルグの罷免を要求し、ナチス幹部は逆にフリッツ・ナチスの罷免を主張し、國防軍も一時殺氣立つたやうであつたが、ヒットラーは例に依つてこれに巧妙なる解決を與へて此の危機を乗り切つたのであつた。これを世にナチスの一九三八年の改革と稱してゐる。即ちヒットラーは一九三八年二月、プロムベルグを罷免すると共にフリッツ・ナチスを閑職に就け、ヒットラー自ら國防大臣を兼攝し、其の代理と

して國防軍總司令にカイテル將軍を据ゑ、陸軍總司令に ¹⁾ブラウヒッ、チ、將軍を、海軍總司令は ²⁾レーダー提督其の儘、ゲーリングを元帥に昇任し空軍總司令に任命して三軍を完全に掌握し、其の機會に外相ノイラート男を罷免しリップントロップを新任し、暫く後任難に悩んで居たシ、ハトの後任としてフンク ³⁾を經濟大臣兼國立銀行總裁に任命した。

若冠フンク博士經濟相に任命さる

少し傍道へ外れたが、斯くしてシ、ハト博士の後任として新に經濟相の重任に就いたフンク博士は、當時獨逸民衆を驚かせた程若い無名の士であつたが、多年シ、ハト博士に師事した有爲の士で、此の無名の青年經濟大臣がシ、ハトでさへも授け出したナチス幹部の無理な要求である金利の掛らない、又期限が來ても返済の必要のない通貨代用品を案出したのである。
租稅證券 ⁴⁾がこれであつた。

租稅證券の發行

尤も此の租稅證券 ¹⁾は、嚴密に云へばフンクの獨創ではなく、ナチス政權となる少し以前の一九三二年秋、當時の苦しい政府財政の補助として、小額公債の意味で當時國立銀行の

1) Brauchitsch

4) Steuergutschein

2) Räder

3) Dr. Funk

總裁であつたシ、ハトに依つて案出され、賣り出されて居たのであるが、これを巨額に發行する事に依つて、ナチス幹部の要求である急速軍備大擴充の資金に充當する事を思ひ付いた處にフンクの功績があるのであつた。

當時シ、ハトの創案に成る指導經濟機構の効果が漸次顯はれて來て、極度の資金回轉に依る民間企業者の利潤、惹いては個人所得の増大、國家事業の併行的推進に依る國內景氣の高揚に伴ふ國民所得の増大は美事にフンクの狙ひを適中せしめ、巨額の租稅證券を完全に消化したのであつた。

租稅證券である以上、民間業者乃至國民大衆は次ぎの納稅期迄金庫に入れ置るか己むを得ぬ場合これを擔保として銀行から必要な資金を借入れる外方法がない。

納稅期が來ると税金として稅務所へ納入する。政府は黙つて受取つて置けばいい。直接金利も掛らないし又通貨を以て返濟する必要ないと云ふ譯で、完全に消化されれば實に效果偉大なるものであつた。

ナチス獨逸國家財政の數字的變遷

當時何れ程の國家稅收があつたか、直接租稅として一年約八十億馬克、輸入稅、企業稅、

營業稅等一切の國家收入を合せて、一九三八年度に於ては大約百七十七億馬克と發表されて居る。其の漸増程度を表示すると左の通りとなる。

綜合稅收額(單位億)

前年度比較增加率

	綜合稅收額(單位億)	前年度比較增加率
一九三四	八二、二	二〇、〇 %
一九三五	九六、五	一七、五
一九三六	一一四、九	一九、一
一九三七	一三九、六	二一、五
一九三八	一七七、〇	二四、六

即ちシ・ハト機構の素晴らしい成功を如實に示してゐるのであつた。

國家收入としては右の外短期小額公債、各州、自由市等の各種收入、物品賣買附加稅、失業保險事業、疾病、傷害保險事業、勞働戰線の寄附、冬季救濟事業等の收入等で、一九三八年の總歲入は合計三百五十八億である。(「大獨逸帝國の經濟指導」に依る)

シ・ハト案に依る經濟機構も、フンク新經濟相に依り國內事情の變遷に即應して漸次變更されたのであるが、大同小異であるから茲には省略する事とし度い。

第二次大戰勃發直前の獨逸財政

一九三九年に入つてナチス獨逸の國家財政も大分餘裕が出来て來た。民間利潤も益々増加して來た。これでは漸次公債をも消化し得るであらうと云ふので、フンクは此の邊で國家財政を漸次常道に戻し、通貨代用品を一切廢止し、租税と公債に依つて賄ふ事を決意した處へ今回の大戰となつたのである。

斯くの如き苦心と機構と遺繰りに依つて、國家事業と軍備擴充が七ヶ年に亘つて大規模に遂行されたのであつた。其の國家事業と軍備擴充の主なるものに就いて、其の大略を記して見度い。

第十二章 ナチスの國家事業

廣範圍の軍備擴充と國力涵養の併行

シ・ハト博士に依つて創案せられ其の弟子フンク博士に依つて繼承されて徹底的に行はれた遣繰り財政々策の下に遂行されたナチス獨逸の國家事業の内、最も大きなものは廣義に於ける軍備である。茲に特に廣義と斷つて置き度いのは用意周到なヒットラーの計畫だけに他國に於けるやうに軍備擴充となると國民生活を犠牲として軍備擴充を遂行した結果成る程軍備は出來たが其の代り犠牲に供された國民生活の方面から國民大衆が精神的に又物質的に甚だしく劣質となり、國力が低下すると云ふが如き偏狹な近視眼的な軍備擴充はこれを出來得る限り回避して國民生活を漸次向上させ、國力を涵養し乍ら軍備を進めて行つた處にナチス獨逸の特異性が現はれて居るのであつて、軍備其のものの内容の高度性もさる事乍ら國民大衆をして常に光明を持たせ幸福感を味はせ乍ら廣義に於ける軍備を七

年間の短時日に前人未到の程度迄擴充し、而かも此の國家的大消費に堪へ乍ら一方に於て國力を恢復して行つた事實は知れば知る程驚嘆すべきものがあり、正に現在の吾々に取つて頂門の「針」とも考へらるゝのである。

軍民協調に對するヒットラー總統の用意

何れの國に於ても軍備急速擴充の必要に迫られるやうな國情に於ては時勢の必要上得てして軍人萬能となり勝ちであつて自然と軍人の軍務以外への發言を招き易く、民衆壓迫となり、惹いては國民大衆の反軍思想の醸成を招來し易いものであるが、統率の天才を有するヒットラーは最初から此の點に腐心して國防軍の面目を出來得る限り尊重し乍ら嚴重なる統制を加へて掛つた點は獨裁政治である爲の自由さを持つて居つたとは云ふものの、ナチス政權獲得の當初は今日程の絶對的權力を確立して居なかつた事も考へねばならないので、其の用意周到さと統制力の偉大さに驚嘆せずには居られないのである。

(一) 自動車専用道路網計畫

此の廣義に於ける軍備擴充の第一としてヒットラーが天下を取らざるや着手したのが自

自動車専用道路網計畫である。

曩きにも述べた通り、當時の獨逸の國を擧げての重大問題は失業大衆處理の問題であつた。ヒットラーは野に在りし時屢々失業救済をナチス黨政綱の重大眼目として擧げて居り、又政權把握の直後即ち一九三三年一月三十一日ラヂオを通じて全國民に呼びかけ新政府の政策としてこれを公約して居つたのである。從つて國民は如何なる方策に依り此の六百五十萬の失業大衆を前記の如き獨逸經濟界最惡の状態に於て救済するか非常に關心を持つて居たのであるが、これに對してヒットラーの國民に示した第一歩が此の自動車専用道路——¹⁾ライヒス、アウト、バーンの計畫であつた。

何故に自動車専用道路計畫が左迄貧困のドン底にあつた當時の獨逸に必要であらうか、國民は一般に疑問としたのであつたが、これには深い理由があつた。

第一に失業大衆は多くは未熟練労働者であり、熟練労働者も長い失業生活に意氣銷沈して其の能力は甚だしく低下して居ると見ねばならない。これを大量的に捌くには大土木事業を起し比較的熟練を必要としない筋肉労働に當らせ、漸次能力を復活乃至向上させねばならない。

第二に當時の獨逸として若し直接に軍備擴充に着手でもしようものならナチスの政權獲

得以來極度に神經を尖らせてゐる英佛が黙つてゐる筈がない。

軍備がヴェルサイユ條約

に依り殆ど無に等しい迄制限せられて居た當時の獨逸として英佛の武力干涉を撥ね附ける
丈けの實力がない。迂濶には直接軍備に着手出来ない。

無論後述の通り迂濶に着手出

來ないから仕方がないと諦めてゐるやうなヒットラーではなかつたのであつて外國人の眼
を掠め國民にも秘密にして此の當時から直接軍備に着手しては居るのだが、公然とは出來
ない爲めに直接軍備は失業者の大量處理とはならないのであつた、従つて間接的ではある
が軍備の一端ともなり、且つ不熟練労働者を大量消化する最良法として此の事業を計畫し
たのであつた。

第三にヒットラー自身の體驗である。

彼が野に在りし時代、特にナチスの全國的擴大

運動に着手してより此の方、政權把握迄寧日なき彼の全國的活動は殆ど全部自動車に依つ
て爲された。此の間彼の自動車の走破延距離は地球の十三周に相當するさうであつて、

當時からヒットラーの將來を豫想し、又彼の主張に共鳴して支援を惜しまなかつた財閥の
寄附に依る自動車は次から次へ乗り潰されたのであるが、其の爲驚くべき走破記録を無意
識に樹立して居るのであつて、従つて彼の雄辯と信念に依る全國的大衆獲得は自動車がな
くては出來ぬ事であつたのだ。

此の事實を簡單に看過する様なヒットラーではない。彼は此の事實から將來の戦争は

高度廣範圍に於ける内燃機關の利用に依り著しく其の作戰効果を擧げ得る事に想到したのであつた。然かも當時の獨逸の狀態を顧みて彼は愕然としたと云ふ。當時獨逸自動車

製造業者は二十數社あつたが何れも國內的無用の競争の爲大量生産に進み得ない爲、其の生産原價は著しく高價であつた。政府は又財政の困難から自動車の輸入は勿論、所有に

對して重税を課して居つた。しかも都市を一步離れれば自動車をして充分其の能力を發揮せしむべき専用道路は全然ない、云はば國家が上下心を一つにして如何にせば自動車の普及を防遏し得るかに専念して居るが如き有様であつた、とは云へ勿論現在の吾國の狀態よりは遙かに自動車の爲に有利な狀態ではあつたのであるが、ヒットラーの眼にはこれは一日も放置出来ないと映つたのであつた。在野當時に此の點を憂慮して居つたヒットラー

である、政權を把握するや早速一九三三年二月自動車展覽會を開き同時に自動車所有者に對する税金を一切免除し、二十數社の製造者をして無用の國內競争を避けしむる爲の統制を経済省に命じた結果、品種及び機關出力に依る細かい統制を行ひ、出來得る限り部分品の互換性を持たせ、各社が二三種の車を大量生産し得るが如き條件を完成して極力生産原價の低下を計らせ、國民大衆には自動車に關する税金を一切廢止した上尙月賦拂に對し國家

資金の貸與制度を作り、車庫（ガレージ）組合を組織せしめて自動車所有者の經常費低下を計つた上に更に國費に依る全國自動車専用道路網計畫を發表し完成の上は無償にて此の道路を使用せしむる事を公約し且つ全國道路標示、自動車交通規則の統一單純化を計らせる事とした。又燃料に對しても價格低下と潤澤なる供給の種々な方策を實行した。此のやうな狀態に於て少し餘裕のある民衆が自動車所有に依る利便と享樂を希望する事は當然であつて、自動車需要は激増し輸入禁止に近い外國製自動車の統制と相俟つて國內自動車製造業者が大量生産と國內競争回避の結果何れも事業の大發展を來し、價格も漸次低下し益々大衆性を持つと共に有力なる自動車生産業者の内より航空機用發動機の優秀なる物を生産し（例へば¹⁾ベンツ社）更に航空機全體の製作會社に迄發展して來たもの（例へば²⁾ヘンシエル社）さへも生じて來たのであつた。在野當時の體驗より自動車事業の發達、惹いては航空機事業發達の一助と迄考へて居つて、此の自動車専用道路を計畫したヒットラーの狙ひは斯くして一石三鳥四鳥の効果を擧げて行つたのである。

自動車専用道路に對するヒットラーの熱意

ヒットラーの自動車専用道路に對する熱意は上記の如き彼自身の體驗より生じた深い理由を持つて居るものであつたが故に一九三三年五月一日此の計畫を發表し六月三十日には

1) Mercedes Benz motorenbau A.G. 2) Henschel u. Sohn A.G.

彼の愛する黨員の内の天才的土木技師トッド博士を國道局長官に任命しヒットラー直屬の獨立局として國道造營に關する限り全權を與へ、同年九月二十三日¹⁾フランクフルト市とダルムシュタット市間の第一期線の着工に當つては親しく臨席し自ら鋤を振つて最初の土塊を堀り(第一三四圖参照)、一九三五年五月十九日此の第一區線が完成するや、多忙なる時間割いて自ら開道式に臨みこれに關與せる勞働者に其の勞を謝し此の勞働者達を前にし又ラヂオを通じて全國民に呼びかけて曰く、

民衆の利益を高揚する建設を具現せずして國民の國家精神を振起する事は不可能である。現在吾等が其の一步を踏み出した大事業は其の永久性に於て後代の獨逸國民のより高き民族高揚の基石となるであらう。

此の事業の完成の日獨逸は世界に冠絶せる近代道路を其の所有とし平和的進歩の偉大なる紀念碑を眼にする事であらう。

と。其の言ふ所の遠大にして而かも着實なる、以て爲政者の範とするに値すると思はれる。此の日の放送は特に民衆に感銘を與へたやうである。第一四九圖は此の紀念すべ

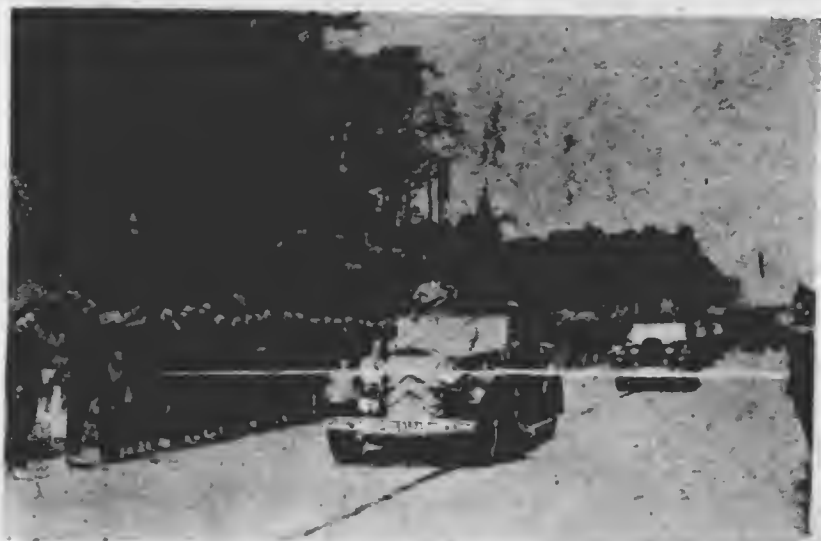
き日、ヒットラー自ら車上に立ちて道路建設に努力した勞働者群に挨拶を與へてゐる處である。勞働者歡喜の様を注意すべきである。第一五〇圖は此の日自ら開道式を行つて

1) Frankfurt-a.M

2) Darmstadt



第 149 圖



第 150 圖

テープを切つてゐるヒットラーである。

第一五一圖は一九三五年七月ニウルンベルヒ市に於て催されたる年次黨大會に於て、國道長官トッド博士をして國道建設の現況を報告せしめヒットラー自づからトッド博士の勞を謝してゐる處である。

一方これと併行して自動車製造事業に對してもヒットラー自身絶大の關心を持ち、政權把握早々の一九三三年二月伯林に自動車展覽會を盛大に開催せしめ、自ら親しく參觀して各製造業者に激勵を與へ、又獨逸最古の自動車製造業者たるメルセーデス、ベンツ會社を訪れ、同社が獨逸としては初めて製作せる歴史的自動車を見、現狀を參觀し、第一臺目の自動車より手がけて當時既に隱退して居つた同會社の熟練工師ベンダーに握手を與へ、其の多年の勞を慰めたのであつた。

第一五二圖はベンダー老工師に握手を與ふるヒットラーである。

政權を把握したとは云ふものの多數の反對政黨を控へ國內統一に寸暇なきヒットラー自らの斯くの如き熱意が國道建設工事に多大の景況を與へぬ筈はない。

トッド博士の計畫と建設機構

トッド長官は痛く感激して先づ國內一圓に互る總延長七千キロ米の第一期自動車専用道

路計畫を樹立し、全國を十五區に分ち、一九三三年より三六年至る四年間に第一期計畫を完成し、更に一九三六年より四〇年に至る四ヶ年に第二期計畫として一萬キロ米を完成すべき目標を確立、更に自動車専用道路の外第二號道路として國道¹⁾を第三號道路として地方道路²⁾を、第四號道路として商用道路³⁾をも併せ計畫し、道路に関する獨逸第三帝國百年の大計を樹てたのである。

斯の如き大土木事業を短時日に遂行するためには大かかりな組織を必要とする事は勿



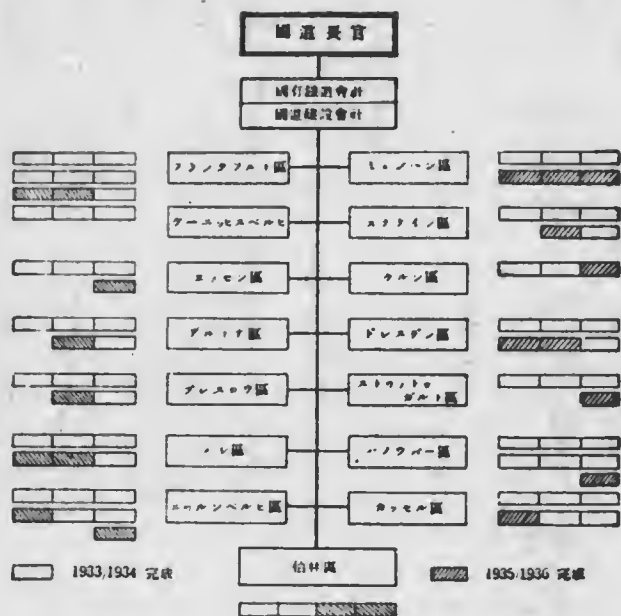
第 151 圖



第 152 圖

- 1) Reichsstrasse 2) Landstrasse 3) Wirtschaftstrasse

なる組織の各部局擔當者を短時日に揃へる事は不可能である。四ヶ年に七千キロの自動車専用道路を實際完成する爲には、適當な部局擔當者を得るために時間を空費しては居れ



第 153 圖

論であつてこれをトッド博士は次のやうな組織を以て當る事とした。

此の組織に就き少しく説明を加へる。

國鐵動員の妙案

第一に面白く感ずるのはトッド博士が國有鐵道を動員してゐる事である。是程大規模の組織を案出する事は組織好きの獨逸人として大して珍らしい事ではない。が然し必要且つ充分

ない、そこで考へたのが、國道建設に最も必要なる土木技師機械技師工員達を最も豊富に有する國有鐵道を總動員しようと云ふ事だ。獨逸の國有鐵道は其の他の一般民衆相手の國家機關の多くがさうであるやうに國有であり官營であり乍ら、日常業務遂行の圓滿と迅速を計る爲に形は法人營利會社となつてゐて其の全株を政府が持つてゐる。恰も伯林や漢堡の市内交通會社や航空會社ルフトハンザが形は法人株式營利會社であるが實際は市營國營であるのと同様である。

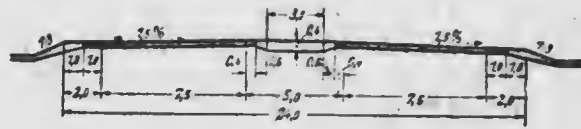
従つてこのやうな場合に非常に便利であつて、トッド博士が一寸國有鐵道會社の社長と話し合ひ、同會社内に國道建設會社を造り適當な技師工人を選んで辭令を渡せばそれで必要な部局擔當者を得られるのである。事務所も別に要らない、従つて國道建設に要する大量の物資運搬も極めて圓滑に運行され、計畫も大體の方針をトッド長官が與へるだけで直ちに着手される。又かゝる場合、自分の方になるべく都合の良いやうに優秀な人間はなるべく出さず、出來の悪いのや持て餘し者のみを新會社に移して己れのみ涼しい顔をしてゐるやうな不心得者が官私營會社の幹部に居ないのも羨ましい次第である。却つて逆にこの様な場合新しい仕事の困難さを何れも體驗して來てゐる實際の經驗家を幹部として居る爲、新會社への人選に當つても特に優秀な技師を割愛するの風があるのは獨逸の一般で

ある。

斯くして多數有能の人的資材を簡単に整へたトッド長官は第一五三圖の如く全國を十五區に分ち、夫々區長を任命し其の下に全國に八十ヶ所の丁場を置き、其の地方でナチスS・Aの助力に依つて最も早く職に有り就かねばならぬ失業者を大量採用し、同時に一九三三年より一九三六年に至る四年間各年毎の完成豫定を定め、必要なる物資、セメント、鐵、土木機械等を國有鐵道を通じ業者に發注し、第一に南獨フランクフルト市とダルムスタット市間百五十キロに着手し同時に伯林近郊の最も交通量の大なる區間に短かい各種道路を直列に作つて連ね其の何れが近代の交通に適するかを實物試験に着手する。云ひ替へれば第一區線路にトッド長官の最良と信ずる工事に着工し乍ら一方に於て念の爲試験道路を列べて試験してゐるのである。試験を完全に済してから一齊にかゝるのが普通の獨逸の遺方ではあるがヒットラーの嚴命に依つて其の餘裕を與へられなかつたのであつた。が然し試験の結果は矢張りトッド長官の信じた通りの證明に終つたと云ふ事である。

専用道路の規模と交通規則

此の最初の時からトッド長官主張の下に道路の寸法に對して標準を定め、第一五四圖の如く往復を密接せしめず、四米巾の綠地帶を置いた點に特長を持たしたのであつた。何



第 154 圖

でもないやうであるが、是が實は非常なる効果を現はしたのであつて、此の點で米國の自動車専用道路所謂^{ハイウェイ}は獨逸に一目を置かねばならなかつたのであつた。又往及び復を四米の間隔で離す事は實に徹底して行はれ、陸橋鐵橋は何れも七米半の巾のものを近接して、二本作つてゐるのである。又往及び復何れも七米半の巾で、其の中央に黒色の四呎位の

巾の線を入れて居つて、嚴重なる交通規則に依つて凡ての車は必ず外側、即ち右側交通であるから、必ず行方に對して右端となる部分を走ることとを規定され、左の半分、即ち内側は前の車を追越す時のみしか通つてはならないのであつて追ひ越すや否や徐々に又右半分の三、七五米巾の内に歸らねばならない。又右側の三、七五米内に於ても絶対に止まる事を許されない。此の爲適當な間隔にパークする爲の側道が設けられてゐて、止ま

り度いものは其處迄走つて側道へ入つた上でなければ止まる事を許されない。又此の道路は地圖の上に自由に線を引いたやうに上下左右に殆ど曲線らしい曲線を入れて居ない。低地には陸橋を、高地は堀り下げ、森や林は無論切り拓いてゐる。しかも稀に曲線を已

むを得ず入れて居る處は極めてゆるい曲線であり、しかも時速一〇〇キロ乃至一二〇

口位の速力で走ると殆ど舵を切らなくても自然に車が曲線に従つて走るやう左右に勾配が附してある。

往及び復七、五米づゝの外側に黒色の二米巾の部分附して居るのは自動自轉車の爲であつて、自動車は此の部分走つてはならない。又逆に自動自轉車は此の二米巾以外の部分を走つてはならない。無論平面交叉は全然ない。又此の道路は機械動力化された車のみ走り得ると規定されてゐる。

何故斯くの如き嚴重な複雑な規則を作つたかと云ふと、往及び復を密接させず四米の間隔に離した事は、自動車的高速化に連れての自動車事故防止であり、緩走路と急走路を分けた事は貨物自動車とのさばつて乗用自動車の邪魔をするが如き事、惹いては事故を防止するためである。吾國の京濱國道や阪神國道に於て屢々此の種事故の起るにも拘はらず、何等交通規則の勵行が行はれず、又速度の遅い貨物自動車は道路の中央を我物顔に走つて、高速度を有する乗用自動車の後から如何に警笛を鳴らすも頑として譲らない状態が繰り返されて居つても何等改善されない、又しようとも考へない我國と、國道を建設する前から是等の點を考へ萬全の考慮を拂つた上尙嚴重な交通規則を作つてかゝる獨逸との差は國民性の相違とは云へ實に天地霄壤の差があり、何時の日か彼の程度に達するかを思へば悲し

くなるのみである。

専用道路の構造と使用資材の一例

トッドは又凍害に就き非常なる考慮を拂つてゐる。獨逸は北緯四十九度から五十五度

に亘る國土であり、其の首都柏林は人も知る如く北緯五十二度餘、樺太の日露境界線五〇度を更に二度餘り北に位してゐるのであつて、全國土は丁度樺太の南端から北端迄に當つてゐる。メキシコ灣暖流の作用に依つて其の高緯度の割合に寒さが嚴しくないとは云へ南滿洲程度の寒さは避け得ない。従つて冬季凍害に依つて折角作つた道路が破壊される事は豫期される處であるが爲に、彼は此の點に頗る苦心したと云はれてゐる。結局彼の採用した方法は、地下水の來襲するが如き場所では地表下五米位迄土壤を置き替へ排水を極力用意すると共に、割栗、砂礫、砂利等にて突き固め、其の上に角型割石を並べ、更に其の上に約二〇釐の厚さのコンクリート層を置き、更に上層を太い鐵線に依る鐵網コンクリート層で固め、最上層を地氈青層を以て被ひ此の最上層を七・五米巾に跨がつて兩側に太い軌條を設け、此の上を走る特殊な表面仕上げ機械に依つて鏡の如く仕上げることであつた。試みに彼が第一期線の某地に一杆の區間に對し用意した材料を見るに次のやうである。

棒 鋼

五二噸半

セメント

九六〇噸

割 栗

一、三〇〇噸

砂利、砂礫

九二〇噸

砂

一、二〇〇噸

トッドは又一九三三年計畫當時の國道上に於ける自動車平均速度六〇キロが完全なる自動車専用道路の完成の曉、平均時速八〇キロとなり一〇〇キロ一二〇キロと漸次上昇すべき事を豫定し、最高一六〇キロの時速を以て重量車の通過する場合、其の重さと速度の爲に路面の破壊される事なきやう凡ての計算を行つたと云ふ。換言すれば此の自動車専用道路は現代科學の粹を集め、可能な限りを盡して將來の高速交通に萬全の用意を加へて着手したものであつた。一九三五年五月開通した第一區間が今尙何等の修理を必要としないで、其の後完成して行く部分と同じ状態に保たれてゐる事も當然の事ではある。

自動車専用道路の現在と其の廣汎なる規模

如何にヒットラーが深い關心を持つて居たとは云へ當時極度の貧困な状態にあつた獨逸が他の爲すべき多くの大事業を差し置いて此の事業に斯く迄執心した事は如何にも不自然

である。又明日の交通に備へたとは云ふものの自動車走らす爲のみに是程の立派な道路が必要であらうかい。どんなボロ自動車でも一度此の専用道路に乗るや否やガタとも云はない、鏡のやうな平滑な面を只機關の音とタイヤが路面に接して又離るゝ際に發するシーイツと云ふ一種の快よい音を立てるだけである。あらん限りの速度を出しても交通規則がお互に守られてゐる爲に危険と云ふ感じさへしない。カーブへ來ると特に速力を落さない限り舵を切らずとも其の儘カーブについて廻つて行く、人間は只ガソリンペダルを踏んでさへ居ればいい。することがない爲却つて眠くなつて危い位にそれ程完全な道路である。米國の土木技師が實地に此の上を走つて見て、これを自動車用道路の標準とするなら全米國には勿論世界中に道路と云ひ得る道は現在には勿論無いが將來も出來まいと云つたとか、獨逸人がこれをヒットラーの藝術と稱するのも故なきに非ずである。

一九三九年八月即ち今次の戦争直前に於て第二回の四年計畫を正に終らんとして居つた當時の自動車専用道路の状態はどうであつたか、種々のデーターを擧げて見ると左の通りである。

一、完成總延長

約七〇〇〇軒

二、準備工事着手總延長

約六〇〇〇軒

三、完成總延長七〇〇〇料に對し投じられたる國費總額 約八十億馬克

四、就役土木用小型機關車 約九、二〇〇輛

五、就役土運車 約二〇〇、〇〇〇輛

六、軌條總延長 一二、五〇〇杆

七、コンクリート混合機 一、三〇〇臺

八、蒸氣及び電機シヨベル 九〇〇臺

九、突固め機械 四〇〇臺

一〇、廣義に於ける従事員（直接間接従事員、所要資材生産従事員等を含む）

約二百二十萬人

一一、一九三二年末現在獨逸自動車總數 約六十萬臺

一二、一九三九年八月現在獨逸自動車總數（軍用を除く） 約二百十萬臺

右の數字で明らかな如く、ヒットラーの狙ひ處は美事に適中してヒットラー政權把握の直前六十萬臺であつた自動車保有量が七年間に百五十萬増加し、合計二百十萬臺になつたのである。又直接間接に二百二十萬人の従事員に職を與へ、世界に冠絶する施設を爲して民族意識を高揚せる効果も見逃し得ない。

替へ地表近く迄一應盛土をした儘の處である。

第一五六圖は割栗、砂礫、コンクリート、鐵網コンクリート迄仕上げ表面の仕上げに取



第 155 圖

路の現状を寫眞に依つて一瞥する事としたい。

第一五五圖は極く大體の準備工事を終へた自動車専用道路である。即ち最下層より土砂を置き



第 156 圖

又此の自動車の激増に備へて消費燃料の自給策も忘れて居ない。此の點は別に詳述する事とする。

此處で此の自動車専用道



第 158 圖



第 157 圖

りかゝる前の状態。

第一五七圖は低地を跨ぐ陸橋の橋脚の
仕上つた處、近代的構成美を感じる。

第二五八圖は出来上つた橋脚の上に往
復單獨の橋桁を渡してゐる處。



第 159 圖

一端を示す。

第一六〇圖は出來上つた専用道路の一例、交通規則が嚴重に守られてゐる處を注意すべきである。

第一六一圖も出來上つた道路の一例。

第一六二圖は南獨伊太利國境に近い所謂獨逸アルプスの山岳地帯に山を削り谷を渡して仕上げた國道



第 160 圖

第一五九圖は次の橋脚を積み終らぬ前に仕上つた橋脚より橋桁を伸し、丁度橋脚が出來上つた時には橋桁も其處迄伸びてゐる急速建造法の



第 161 圖



第 162 圖

の一例であらう。

自動車専用道路の目的

用意周到なヒットラーが公約した失業救済の爲とは云へ、前掲の如き巨大なる國費を投じて是程迄の完全な道路を作るには何か遠大な普通の人間には氣付かぬ敵本的目的がなくては叶はない事である。只單に世

界に冠絶した道路を誇ると云ふだけのために遂行するには米國と違つて獨逸は餘りに貧乏だ。

此の目的に就いてナチス政府の公表してゐる目的より進んで極秘としてゐる目的を掘り下げて見るのもナチス一流の一石三鳥四鳥の行き方を知る一助ともなると思ふ。

第二に挙げられてゐるのは失業救済である。

前掲の通り此の道路網完成のため一九三九年夏に於て直接間接の従事員二百二十萬人を使つてゐる、是等がナチス政權前に於ては哀れな失業者として食ふや食はずの生命線を彷徨して居つたのだ。今や立派な労働者と

して失業の心配もなく職場を得て居るのである。即ち失業救済の目的は其の一部分を立派に達したのである。

第二の目的が自動車の普及と其の製造事業の勃興である。既に述べたやうに二十數社の國內競争に依つて倒れんとしてゐた製造業者を品種別、馬力別に依る統制を行ひ、部分品の寸法を統一して極度に互換性を持たせる事に依り、生産の單純化と大量化に向はせ手際よく一社も破産せしめずして年々製造臺數を向上させ、六十萬臺の保有量より七年間に百五十萬臺を増加して合計二百十萬臺迄發展させ、而も其の生産品は各々特長を持つて居つて米國品の如き劃一的のものでなく、燃料自給の困難な國狀に鑑み極力燃料消費の節約に向つての發達を目指して來てゐるのであつて、自動車製造事業の勃興と普及は素晴らしく向上しつゝあるのであるがヒットラーは尙足れりとせず更に國營大企業に依て飛躍的に安價にして技術的に完全なる大衆車を大量製産し、筋肉労働者にも一家族一臺の普及を計らんとしてゐる。これは別に記述する事とするが、兎も角も自動車の普及と其の製造業の發展は狙ひ通り着々成功してゐると見るべきである。

第三の目的は邊鄙な地方の産業開發である。元來獨逸は古くより鐵道網の發達した國柄で然も山岳地帯が比較的少い好條件に恵まれて居るのであるがそれでも尙更に四通八達の

交通網を完成すれば今迄發展しなかつた地方も開發されよう、埋れて居つた地方農産品の價値を高めるのであらうし又利用の途のなかつた地方人の餘剩勞力も活用されようと云ふのである。現にドレスデン市東部の俗稱ザクセンス地方、南獨アルプス地方等は目に見えて民度が高くなつて來たと云ふ事である。

然らば専用道路網の完成進行に連れて如何なる程度に自動車運輸が増加し、如何なる効果を擧げて居るか。

第一次計畫の終了した一九三六年に於ては諸般の準備に手間取り、完成總延長僅か四百軒であつた。従つて其の利用價値もまだ見るべきものがなかつたにも拘はらず自動車運輸に於て三六・五%の増加をなし、時間の節約に於て専用道路建設前の都市間の自動車運輸所要時間の四五%を節約し得てゐる。

これが地方産業の發展に資する程度は相當に大であると見なければならぬ、即ち第三の目的も完成總延長の増大するに連れて加速度的に幾何級數的に達成されつゝあるのである。

第四は公表されてゐない目的であつて、有事の際の敏速なる大軍の移動を狙つて居るのである。第一次大戰に於て多正面作戰を餘儀なくされて苦しみ抜いた獨逸である。其

の陸軍の機械化は勿論在野當時からのヒットラーの念願の一つであつた事は當然である。

現に對ポーランド軍事行動に依つて初めて示された陸軍の高度機械化は國民をアツと云はせた程で、殆ど全軍が動力化されたる高速度交通機關に依つて整備されて居つたのであつてポーランド征服後暫時の休息と機械の修理の後百五十萬の大軍が敏速に西部戦線に移動を完了した事實が此の第四の目的が眞のヒットラーの狙ひであつた事と、又それが美事に效を奏してゐる事を雄辯に物語るものである。

幸か不幸か英佛の對獨作戰が熱意と機敏さを缺いて居たため、獨逸が惧れて居つた對波軍事行動中に西部戦線へ攻め込まると事がなかつたため此の獨逸大軍が敏速に東の國境より西の國境へ又は其の逆を移動し得る事の效果を的確に示す機會が無かつたが、四圍他國に接する獨逸として大軍を敏速に移動せしむる可能性を具へて居る事は其の國防上非常なる強味であると云はねばならない。開戦の九月一日に直ちに民間自動車の大部分を封じ、僅かの許可を與へた車にも都市内部のみの使用に限定した事實を思へば、ために殆ど完全に交通のなくなつた此の専用道路の上を高度に機械化されたる大軍が如何に自由に敏速に移動出来た事であらうか。

此の効果だけでも巨額の國費を投じて完成させた價値は充分にあると考へられる。

更に第五の目的があると云ふ。

これは幾分推測が過ぐる傾向がないでもないが、用意

周到なヒットラーの事だ。或は秘したる目的の一つに考へてゐるかも知れぬ。即ち最

悪の場合獨逸空軍基地が全部叩き潰された場合にも尙、國內の至る處より自由に飛び上り又歸着出来る様に軍用飛行機の發着場として考へられてあるとの説である。専用道路の鏡の如き平坦さは自動車のためのみならばあれ程の必要はない。軍用飛行機の速度の増加に伴つて軍用飛行場は一定方向でいゝから又巾は狭くてもいゝから極めて平坦な、相當長い距離が必要となつて來た。殊に積み得る限りの燃料と爆彈を滿載して飛び出さんとする時滑走路の極度の平坦度を要求するのだ。

又速度の増加と共に機體が一般に小さくなつて來た。現在の獨逸の爆撃機は何れも此の専用道路から容易に飛び出し又は歸着出来る事は事實である。

(二) 運河改修事業

失業救済を目的としてナチス獨逸の着手した第二の國家事業は運河改修である。ナチス政權以前に於ても獨逸は運河の發達した國柄であつた。比較的平坦な上に北にエルベ¹⁾ オーダー²⁾、ヴェーザー³⁾、西にエムス⁴⁾、ライン⁵⁾及び其の支流を爲すマイン⁶⁾、南にドナウ⁷⁾の大河を有し何れも滿々たる流れを有するので、其の間を縦横に結び付けるだけで相當なる運河

1) Elbe
6) Main

2) Oder
7) Donau

3) Weser

4) Ems.

5) Rhein

網が出来る事を見逃す筈もないので、相當に發達して居つたのであつて有名なライン河を千噸積の大型荷船が數隻汽船に引かれて狭い河を上下する様は旅人に深い印象を與へたものであつたがこれに比較しては北の方は發達しなかつた。北の方の東海¹⁾と東の方の北海²⁾との海水面の高低差が最高二十米にも上るためにダム、其の他特別の裝置が必要であり、其のため船舶の航行に時間を取らるゝ事夥しいのであつた。これを人爲的に改良し、運河の利用を此の方面にも高めやうとする計畫がナチス政權前より進められて居つたのであつたがナチス政權となつてから急激に工事を進め、有名なニーダーフキ³⁾ノ村の揚船裝置を完成し、其の他國內全般に亘る治水を兼ねた運河網の完成に着手したのである。

ニーダーフキ³⁾ノの揚船裝置

伯林の東北約八〇軒のニーダーフキ³⁾ノ村の揚船裝置は恐らく巨大な事の好きな米國人でも思ひ浮ぶまいと思はれる程の大機械裝置であつて、一千噸の荷船を浮べた儘大きな鹽とも三十米程短時間に捲き揚げ、鹽の一端を開いて船を引き出し、又歸り船を浮べて三十米下ると云つた遣り方であり、八本の垂直回轉軸を巨大な電動機に依つて徐々に回轉し其の周圍に植へた螺旋齒に依つて鹽を捲き上げやうとする裝置であつて、流石重工業の發達して居る獨逸でも此の螺旋齒が寸法の大なる爲連續したものが作り得ないで、飛び飛びの齒

に仕上げて垂直軸に取り付けたと云ふ状態であり、揚船の高さに於ては僅か三〇米で誘るに足らないが、其の考へ方に於て千噸の船を浮べた儘水と一緒に捲き揚げると云ふ處に特異性が認めらるゝものであつて、獨逸の見ものの一つたる價值を有してゐると思はれる。

運河網の完成に依る利益

此の運河網特にバルチック海への出口と結ぶ點の高低差の解決に依つて、現在の獨逸の荷船は千噸迄は容易に、又必要に依つては現在の獨逸の潜航艇の如きは容易に北海よりバルチック海へ、又はダニウプを通つて黒海へと自由に敏速に運搬し得るに至つたのである。是亦失業救済の効果を擧ぐると共に産業開發と萬一の場合の國防上の遠大なる目的を達成し、所謂國家百年の大計を着々効果を擧げて實行しつゝある事は偉とするに足ると考へられる。

(三) 勞働者及び下級勤勞者の生活改善運動

ナチス政權が失業救済の第三事業として着手したのが此の勞働者及び下級勤勞生活者のために其の生活改善を計つてやる運動であつた。ヒットラーの若き日の悩みを詳しく觀

察する時吾々は彼が如何に下級労働者の光明なき生活、世襲的貧困に動かされたかが判るのであるが、其の後の十數年間に尠くとも獨逸の労働者の生活は漸次改善されて來た。殊に米系資本の流入し來つて合理化運動が叫ばれて以來急激に改善向上されたのであつて、我國は勿論の事、英、米、佛、ソ聯邊りの労働者の生活に比べてナチス政權把握の當時の獨逸労働者及び下級勤勞生活者の生活狀態は遙かに健康的であり文化的であつたと云はねばならない。住居は間數も少く間取りも小さくはあれ、中産階級住宅街と比較して外見上大した相異もなく二三ヶ月遅れではあるが映畫も安價に見る事が出來、ラヂオは各家庭に終日鳴つてゐる、壯麗では勿論ないが小綺麗なカフエーやレストウラントがあつて安價に清潔にビールを飲んだり夕食を攝る場所も充分あると云ふ状態であつて紐育や倫敦や巴里の華やかな半面にあの陰慘な貧民窟と云つたものは獨逸の何の都市にも存在してゐなかつた。只六百五十萬の失業大衆の大半は住居費を支辨する程の扶助金を國家から貰へない爲に大都市々外の廢地に簡單な掘立小屋を建て間に合せの戸障子を打ち付けて雨露を凌いで居たものはあつたが、これも所謂ラウベン、コロニーの己むを得ざる轉用であつたので、決して不健康的とは云へない。ラウベン、コロニーと云ふのは別莊を持てぬ階級で日曜に家族連れで郊外に遊びに出掛け得る程の餘裕もない連中、即ち普通労働者や下級サ

ラリーマン達が、都市に近接する郊外で別に景色もよくなく湖もない爲、又耕作にも適しない土地である爲——獨逸は元々砂地であつて此のやうな耕作の出来ない土地が多い——殆んど捨値で買つたり借りたり出来る土地を極めて小さな十坪か二十坪程度の區劃割りにして組合を作つて借り受け、又は月賦等で買ひ受け、日曜毎に家族連れで出掛け、先づ柵を設け次いで有り合せの木材、鋳力板、古障子を持ち込んで一坪か一坪半位の日光と雨露を凌ぐ程度の小屋を作り上げ、更に残つた土地を根氣良く耕し、いゝ土を運んで來て草花や野菜位は出来るやうにし、芝生を植ゑたり草花を楽しんだりして日曜終日家族と共に日光を満喫し乍ら土いぢりをやつて、食事は持參の手辨當で濟し、小さなアンテナを張つて手製のラヂオを取付け日曜の夜迄楽しんで歸つて行く。一週間は鍵をかつた儘にして置いて又次の日曜には朝早くより出かけて行く、と云つた事が流行し、殆ど全獨逸各都市の近郊に見る様になつた、貧乏人の身分相應の手製別荘區域の事である。

此のラウベン、コロニーを今一段根氣良く手入れする事に依つて無理に寢泊り出来る程度迄作り上げて住居を失つた失業者群が住み込むやうになつたのであるが、元々貧乏乍ら別荘氣分を味ふ爲に作り出したものであるだけ市中に比して空氣も良く日光もよく當る。貧乏しても失業しても清潔好きの根氣のいゝ國民の事であるから寄せ集めの材料で作つた

小屋には何う工面するか赤や青のペンキを塗り窓邊には草花の箱を置き、芝生の上には簡單なテーブルでも持ち出し織子は當つては居るが清潔に洗濯された布で覆つて貧弱な食事も楽しく喰つてゐると云ふ状態であつて、衛生的見地からは寧ろ都會居住者、工場地帯居住者より健康的と考へらるゝ位であつた。

しかも失業救済事業の着々たる進捗に依つて此のラウベン、コロニーに定住するの己むを得ざるに至つて居つた極貧失業者より漸次救済されて行つたのであつて、ナチス政治二ヶ年にして六百五十萬の失業大衆の内二百萬が就職し滿三年目の一九三五年末に於て大體失業者を一掃し得たのである。

従つて一九三四年末に於てはラウベン、コロニー定住者は事實上なくなつて了つて又以前の如くラウベン、コロニーは労働者、下級サラリーマンの週末別荘に返へり、未だ半分の就職し得ないで居つた失業者達も兎も角中産階級と大差なき生活を續けて居つたのであつた。

獨逸労働者の生活状態とヒ總統の理想

云ひ換へれば獨逸の労働者、下級サラリーマンは他の何れの國に於ける同級者よりも遙かに健康的な、文化的な生活に恵まれて居た事は事實であるが、又其の爲に是等の人達の頭に國家觀念が残つて居つてナチス運動の有力な支持者となつたのであるが、然しヒト

ラーの理想は遙かに高かつた。

彼は猶太人の無残なる搾取を方違して金利奴隷から解放し、ヴェルサイユ條約の無理な賠償を拒絶し、國內産業を統制指導し無意味な國內競争を避くる事に依つて獨逸の勞働、勤勞大衆はもつともつと文化的な衛生的な、生活が出来る筈であると確信して居つた。又ナチス其の物が健全な勞働大衆を背景として發展して來た歴史から云つても先づ第一に勞働、勤勞大衆の生活を向上させ度いのであつた。これを失業救済と結び付けて考へた處にヒットラーの偉大さがあり、これを強行した處にナチス幹部の決斷が見らるゝのである。

新植民地運動

ナチスはこれをノイエ、ジードルング運動、即ち新しい植民地建設の運動と云ふ名目を與へた。海外の植民地は何れ取り戻して見せるがそれ迄國內に今迄住宅地でなかつた處へ住宅群を建造して勞働、勤勞大衆を定住せしむる事に依つて、彼等に日光と空氣を與へ生活の安定を得せしめた上精神的指導を與へて民族意識を更に燃え上らせようと云ふ狙ひである。

前置が長くなつたが、實際はナチスが政權を握るや早速初めたのであつて、ヒットラーが在野當時好んで使つた言葉に『吾々の生活は戰鬪の連續であらねばならぬ。前進』と

云ふのがあるが、愈々政權を握つた當時はこれがナチス黨員の合言葉の様になつて居つて一切のナチス黨員には止まる事が許されない。決定したとなると直ちに猛烈な行動に移し全力を擧げて前進する事が生命とされてゐて爲し切らぬ者はドシ／＼落伍して行く。

これをナチスでは簡単に能力の相違として處理して行くので、ナチス政治となつて短期間に偉大な國家事業が次から次へ完成されて行つたのも遠因は此の邊にもあると考へられるのである。種々の事情や國民性の相違はあるであらうが、兎も角因縁と情實一天張りの何處かの國とは凡て對蹠的のものである。

此の新らしい植民地建設の運動も全國一齊に着手され猛進された。先づ各都市の近郊に耕作にも適しない、工場にも向かない土地を選定する。土地價格の騰貴を防ぐ爲に委員を選定して土地所有者の現在迄に投じた資金を綿密に調査した上缺損とはならぬ程度に公定値段を決定する。住宅群新設組合を作り直接定住希望者を募集して組合員とする。國家資金を組合に低利で貸し付けて先づ資金を得させる。

組合員の内から土木建築方面の特別委員を作らせて、夫々資材の必要量を計算させる。これは全國的に集めて平均に國內資材製造業者に注文し、其の價格も出來得る限り高率利潤を制限し廉價に配給し得るやうナチス黨員が世話する（後には前述專業職能組合が出來

て政府の方針に従つて自治統制を美事に行ふやうになつたがナチス政權把握直後はまだ出来てゐなかつたのでナチス黨員中夫々専門に従つて此の種の世話を爲したのであつた。組合員中の交通運搬方面の従事員が別に委員會を作つて出来上つた資材の運搬を立案する是等組合員は何れも労働者又は下級サラリーマンであつて夫々専門の従事員であるから體驗と日常事務から冗費を節約するコツを知つてゐるので、殆ど冗費や中間搾取が起らなかつたと云ふ。

而して失業大衆を漸次招集していよいよ建築に取りかゝる、猶太人追放に依つて有名な建築家は國外に逃れたが此の爲却つて若い獨逸建築技師は縦横に腕が振へたのであつた。

勿論労働者や勤勞大衆の爲の住宅群であるため贅澤は許されない。が然し高さを二階

又は三階に制限し、日常生活の凡ゆる文化的利便を取り入れた、清潔な、頑丈な、棟と棟との間を廣く取り其の間に芝生を植ゑ、子供達の遊び場を持つた堂々たるアパート建築の集合住宅群が斯くして續々各都市近郊に出現したのである。資材生産者も他の國家事業の遂行に伴ひ大增産を必要として來たので續々工場を擴張する失業者は斯くして直接間接に是等國家事業の従事員となつて就職して行つたのであつた。又労働、勤勞大衆は斯くして出来上つた新たらしい氣持ちのいゝ住宅に移つて何年か先きには此の住宅が自分等

のものと云ふ夢が着々實現されて行くにつれ衣食足つて禮節を知るの例へもある通りまるで氣持ちが變つて來て、其の昔生活の苦しさの餘り、熱に浮かされたやうに共產黨の甘言に乗せられて亡國的破壊的行爲を幾分でもやつた事が嘘のやうに考へられ、根本的に民族意識が起つて來てナチス讚美者になつて來たのであつた。

新住宅群建設の効果

斯くして此の住宅群新設運動は思はぬ効果を現はし、第一の目的であつた失業救済の爲の効果が充分にあつたのみならず、心からのナチス讚美者を激増して來た上に、尙是等の住宅群建造に當つて何れは自分のものになるとの觀念が勘定高い國民性の勞働者や勤勞大衆をいやが上にも鋭く建造費を節約せしむる結果となり、又出來上るにつれて移轉する爲都市住宅區の住宅難が自然に緩和され兩々相俟つて無暗に高い權利金を普通として居つた當時の都市借家賃を漸次引き下げたのであつた。

後に各種專業組合の發達と共に自治的に統制し初めた事にも依るが、ナチス政權前即ち一九三二年末に於ける都市住宅借家賃を一〇〇としてナチス政治七年の後の一九三九年春の借家賃の指數は實に六七に迄下つて居る事實は、如何に此の新住宅群建設運動が、暴利の上に眠つて居つた家屋賃貸業者を引き締め得たかを雄辯に物語つて居るではないか。

斯くして今や獨逸の勞働勤勞大衆の生活水準は急速に向上しつゝあるのだから、其の生活向上の結果は彼等に精神的覺醒の機會を與へ、酒、賭博、女へ走る代りに休息と修養と貯蓄に向はせつゝあるので、世界にも比類なき程物資に缺乏し農耕に不適當な本國に於て、凡ゆる植民地を奪はれた狀態に在つて當に國家的破産に直面して居つた獨逸が續々優秀な技術と精巧な機械を生み出して、遂に歐洲を逆に制覇せんとしてゐる破竹の現狀を招來した事も決して故なしとせざる所以が嚴存するのであつて、爲政者の賢明なる施政が如何に重大なる影響を招來するかの一例を吾々は茲にも見るのである。

(四) ナチス獨逸の再軍備宣言と急速軍備擴充

政權把握と同時に始めた慎重な軍備

ナチス獨逸の失業救済を兼ね、其の獨逸民族高揚の最大原動力として、發表はしなかつたが政權を握ると同時に計畫し、外國人の目には勿論自國民の眼にも止まらぬやう極めて慎重な用意の下に着手したのは、狹義に於ける軍備擴充であつた。

再軍備宣言後の用意

一九三五年に至つて英佛の足並みの揃はぬ處を見て取つて勇敢に、長い間のナチスの主

張であつたヴェルサイユ條約の一方的破棄、獨逸の自主的再軍備を宣言したのであるが、實際は一九三三年政權把握と同時に極秘裡に計畫し着手して居つたのである。

然らば再

軍備宣言と共に大ピラに始めたかと云へば、矢張り考へて見れば出来るだけ外國を刺激しない方が利益であるので、續けて秘密主義に依つて軍備を猛烈に進めて居つたのである。これを表面だけ見て英佛はヒットラーの再軍備宣言は國內的政策上の氣勢を擧げただけで

あつて、見る何等大きな軍備に向つてゐないぢやないか、又あの貧乏な獨逸、物資の足りない獨逸が、急速に軍備等出来る筈がない、と高を括つてゐたやうであるが、豈計らんや驚くべき軍備が當時既に進められて居たのであつて、只用意周到なヒットラーの創意に依る特別な方法に依つて、外國人の目にはつかず、宣傳省の防諜教育の徹底の爲に、従事員の口から國民へ洩れる事が殆どなかつた爲に、外部からは判らなかつただけである。英佛は巧みにごまかされただけの事であつた。

獨逸のこの秘密軍備を説明の便宜上空軍大擴張、ジークフリート要塞線の二項目に分類したいと思ふ。

空軍の大擴張

今後の戦争が空軍の威力に依つて決定されるであらうと、ヒットラーは先づ目算を樹て

た。これは今尙獨逸人の中にも議論の的となつてゐる點であつて、空軍だけでは結局最後の勝負はつかないと云ふ意見も相當あるやうであつた。然しヒットラーの股肱と頼むゲーリングが、飛行將校の出身であつた事にも多分の原因があつたと考へられる。

森の中の地下工場

兎も角空軍を大擴張しようと決心したヒットラーは、次に如何にして外國人の目を晦ませるか、國民にも感づかれないやうにするかに就て非常な苦心を重ねたと云ふことであるが、結局着手した事は民間航空機製造業者をして、森の中に秘密工場を作らせる事であつた。獨逸は元來砂地で耕作に適しない土地柄である爲、よく／＼耕作の出来ない土地は人工に依る大森林を植林する習慣があつた爲に、現在獨逸本國の約四分の一が是等の大森林となつてゐる事は旅行者の等しく目を瞠るところである。此の森の奥の方を廣く伐り開いて、地上一階又は二階程度の赤瓦や青瓦の氣の利いた建物を作り、外廻りは芝生を布いて草花を適當に配してゐるのであつて、減多に普通人の近づかぬ場所を選んで居るが稀れに近付いたものも變な處にサナトリウムが出来た位にしか考へない。

内部は地下一階又は二階位として、動力は全部附近の都市から地下ケーブルで持つて來て、完全に電化した煙突一本ない一大機械工場であつて、従事員は附近の都市から專用輕

便軌道を設け、朝都市から専用列車が運んで来る、夕方は又運んで歸る。地圖には勿論書き入れてなく、専用軌道も態と曲りくねつて行くので、其の都市に長く住む従事員ですら、一體どの方向に行つてゐるのか判らない。工場では極く一部分の大量生産であるから、機械の部分と云ふ事は判るが何用の機械であるか判らない、勿論幹部技師は承知してゐるであらうが云はない、従事員も防牒教育が徹底的に行き亘つてゐるので、家に歸つても努めて工場の内容に觸れる事を回避すると云ふ状態であつた。

従つて外國人の目には勿論、國民の目にもつかずに着々空軍が準備せられて行つたのであつて、吾々の常識となつて居つた飛行機工場とは大きな試験飛行場を持ち、特殊の形をした工場内で作るもの、發動機工場とは試験場から間斷なく騒々しい音を立ててゐるものと云ふ考へ方は、ナチス政權確立以來一變したのであつて、吾々の常識にある機體工場は單に森の中のカモフラージュした部品工場で出来たものを各地から集めて組立て、發動機やプロペラーを取付けて試験する組立工場兼試験飛行場に變化し、發動機工場も亦部品組立て及び出力試験を行ふ處と云ふ風に、概念の相違さへ出来て居るのである。

勿論この森の中の偽裝部品製造所で大量生産する事は——金も餘計に掛り、又能率も悪い、又大量生産のためには部品の規格統一や、進歩發達の目まぐるしい航空界に在つて、

將來を見越しその充分なる研究が必要である事は勿論であるが、當時の獨逸として聯合各國監視の下に、急速に有力なる空軍を建設するがためには眞に萬己むを得ざるに出でた窮餘の一策であつたのだが、扱て遂行して見ると案外効果があつて、列國が何れも氣づかず、國民も感づかず、この方の利益が製作原價の少々高くなる事や運搬の不利な事等を補つて餘りあると云ふので、一九三五年再軍備宣言後も、引續きこの方法を續行し擴大したものであつて、それが最近まで英佛をして獨逸の再軍備宣言は單に威嚇に過ぎないと安心させる結果となつたやうである。

當時ナチス指導の下に國策に順應して、この營利的には餘分の資金の要る森の中の工場に力を入れた一流航空機並に發動機會社と、其の本社所在地は次の様であつた。

一、航空機

アラド飛行機工場

伯林市外

B・F・W・飛行機會社

アウグスブルグ市

ビュッカー飛行機會社

伯林市外

ドルニエー金屬構造會社

フリードリッヒスハーフェン市

ファーゼラー飛行機會社

カッセル市

フオッケ、ウルフ飛行機會社

ゴター車輛會社

漢堡飛行機會社

エルンスト、ハインケル飛行機會社

ヘンシユル飛行機會社

ユンケルス飛行機及發動機會社

二、發動機

アルグス發動機會社

ブラモ會社（ブランデンブルグ發動機會社）

ヒルト發動機會社

ユンケルス飛行機及發動機會社

マイバツハ發動機會社

ダイムラー・ベンツ發動機會社

メルセデス・ベンツ發動機會社

B・M・W・バイエルン發動機工場）

伯林市外

ゴター市

漢堡市

ロストック市外

伯林市外

デッソウ市

伯林市外

伯林市外

ストットガルト市

デッソウ市

フリードリッヒスハーフェン市

ストットガルト市、伯林市外

ストットガルト市、伯林市外

ミュンヘン市

其の後新たに設立されそれぞれ特色を持つて健全なる發達をなしてゐる新興會社は左の通りである。

ブラウンシュヴァイク飛行機會社

ブラウンシュヴァイク市

ダルムシュタット大學飛行機工場

ダルムシュタット市

エルラ機械工場

ライプツヒ市

ハレー飛行機會社

ハレー市

キール飛行機會社

キール市

クレム輕飛行機會社

ベプリングン町

メッサーシュミット飛行機會社

レーゲンスブルグ市

ジーベル飛行機會社

ハノーバー市

各會社の原名は左の通りである。

Arado Flugzeugwerke, Babelsberg bei Berlin.

B. F. W. (Bayerische Flugzeugwerke A. G., Augsburg)

Bücker Flugzeugbau G. m. b.

H. Rangsdorf bei Berlin.

Dornier Metallbauten G. m. b. H. Friedrichshafen.

Fieseler Flugzeugbau G. m. b. H., Kassel.

Focke-Wulf Flugzeugbau G. m. b. H., Berlin.

Gothacr Waggonfabrik, Gotha.

Hamburg Flugzeugbau G. m. b. H. Hamburg.

Ernst Heinkel Flugzeugwerke, Rostock.

Henschel Flugzeugwerke, Schönefeld bei Berlin.

Junkers Flugzeug und Motorenwerke, Dessau.

Argus Motorenwerke, G. m. b. H. Reineckendorf bei Berlin.

Bramo (Brandenburgische) Motorenwerke G. m. b. H. Berlin-Spandau.

Hirth Motorenwerke G. m. b. H. Stuttgart.

Maybach Motorenbau G. m. b. H. Friedrichshafen.

Daimler Benz Motorenwerke G. m. b. H. Stuttgart.

Mercedes " " "

B. M. W. (Bayerische Motorenwerke G. m. b. H.) München.

Braunschweig Flugzeugwerke G. m. b. H. Braunschweig.

Darmstadt Akademische Fliegergruppe, Darmstadt.

Erla Maschinenwerke, G. m. b. H. Leipzig.

Halle Flugzeugwerke G. m. b. H. Halle.

Flugzeugbau Kiel G. m. b. H. Kiel.

Leicht Flugzeugbau Klemm G. m. b. H. Böblingen.

Messerschmidt Flugzeugwerke G. m. b. H. Regensburg.

Siebel Flugzeugwerke G. m. b. H. Hannover.

是等の外幾多の機體や發動機の部分品、計器類、プロペラー等の製造者が共に參加した事は勿論である。

右に掲げた一流大會社及び新設會社は、公表せる工場を五乃至三箇所位有してゐるが、森の中の工場をどれ程設けて居るものであらうか、勿論極秘中の極秘事項であつて、種々の數字より推算する外はないのであるが、大體七乃至五箇所見當であらうと推察される。従つて生産方法の時々刻々の改良進歩と生産期間の極度の短縮、組立方法の簡易化と相俟つて、その全獨逸の生産能力は想像に餘るものがあると思はねばなるまい。

又この森の中の工場は、敵の空襲を受ける場合にも極めて有効であつて、上空から見てこれを大工場とは何うしても見えないために、防空効果を多分に有して居るのである。

是等の多數の工場が、その全能力を擧げて軍用飛行機を製造する時、どれ程の能力を有するかは無論厳秘に附されて居るが、輕金屬生産能力とその一臺當り使用量等より割出せぬ事もないが、大戦争繼續中の友邦のために茲に數字を掲げる事は遠慮したいと思ふ。然し非常に大なるものであり、英佛や第三國人の一寸想像出來ぬ數字であることだけは間違ひのないところである。

ナチス政權確立以來僅かに七年、再軍備を宣言してより單に五年にして、此處迄持つて來た偉業は識れば知るだけ敬服に堪へない現狀である。

斯くして必要な機材を十分確保するためのあらゆる努力を續けると共に、ナチス政權は空軍の人的陣容を整備する事にも超人的努力を繼續した。

獨逸空軍の人的構成

先づ總帥に空軍大臣ゲーリング元帥を据ゑた。第一六三圖は元帥の正装をし元帥杖を持つたゲーリングである。彼は第一次世界大戰當時既に飛行將校として従軍し、大戰終了後逸早くヒットラーの主張に共鳴して以來、ヒットラーを援けて奮闘を續け、國會に於けるナチス代表として議長を占め、パーベン内閣、シュライヒャー内閣を倒し、遂にヒットラーに政權が自然に落ちて來なくてはならない様に仕向け、一日政權を握るや共產黨狩



第 163 圖

りその他に凄腕を見せ、美事なナチスの全國征覇に大いに働いた人物である。自然の結果としてヒットラーは今尙ゲーリングだけは友達扱ひをしてゐると云ふ。



圖 164 圖

このゲーリングをヒットラーは元帥に任じ、空軍總帥に据ゑて國防軍に睨みを利かせると共に、大空軍の建設を命じたのであつた。

ゲーリングは直ちにむかしの同僚であり、その後引續き國防軍に居つたミルヒ大將を空軍總監、及び空軍大臣秘書長に任命し、(第一六四圖はミルヒ大將)

同時にウェーバー中將を空軍參謀長とし、(第一六五圖上はウェーバー中將)嘗ては曲乗り飛行家及びアルプス飛行家として、世界に名を轟かしたウデット²⁾を新たに空軍中將に任命し、空軍機材總監に据ゑた(第一六五圖下はウデット中將)。山岳飛行映畫に依り我國に

1) Generaloberst Milch
3) Generalleutnant Udet

2) Generalleutnant Wever

力したこれらの人々の累積した結果は、一九三九年九月戦争となつて初めて國民大衆の眼前に現はれた。

全空軍の偉容

全空軍の偉容は空中師團四箇、一ヶ師團の



第 165 圖



も馴染の顔である。

またストムフ中將を飛行士總監に据ゑ、

(第一六六圖) 更にまたルーデル中將を高射砲總監に(第一六七圖) 任命し、それ以下は各總監の自由裁量に依り任命せしむる事として急速に陣容を整備すべく立つたのであつた。爾來七年、孜々として努



第 166 圖



第 167 圖

整備機數五千、空軍總力實に二萬機と云ふ驚くべき數字であつた。數に於て國民を驚喜させ、敵の心膽を寒からしめた上に尙その質に於て恐るべき優秀性を有して居るのである。

獨 英 の 比 較

今その比較を英國に求めて、二三代表的に掲げて見ると左の如くなる。

一、單座戦闘機

獨 メッサーシュミット

一〇九型

最大時速 七七五浬

ク ハインケル

一二二型

ク 六四〇浬

第一六八圖

ハインケル



第一六九圖

ミンカーJUI

八六一K



第一七〇圖

ルドニエーDO一七



英 スピットファイヤー

ハリケーン

二、重戦闘機

獨 メッサー、シュミット

一一〇型 五五五
英 デファイアント

四八〇

三、直下降爆撃機に於て獨逸ユン

カー會社JU-87機が極めて優秀

なる性能を有するに比し、英は是に

匹敵するものなく（第一七二圖はユ

ンカー會社直下降爆撃専門機を示す）

四、落下傘部隊運搬 前進基地 *

最大時速

五八〇 浬

五四〇



第 171 圖



第 172 圖

* への彈藥食糧
の補給に偉大な
る効果を現はし
た獨逸ユンカー

會社の安定性の極めて大なる輸送機JU—五二を有するに對し英はこれに匹敵する専門機なし（第一七一圖は落下傘部隊を乗せて今や出動せんとするJU—五二機）

開戦後の擴充

その他數へ挙げれば際限もないが、戦争勃發の當初に於て、英佛對獨の空軍の整備は數に於て、質に於て格段の相違があつたのであるが、戦争と同時にゲーリングは最惡の場合に對處するため、直ちに第一期戰時擴充計畫として二箇空軍師團の増設を立案着手し、間もなく又更に二箇空軍師團増設を第二期計畫として立案着手したので、本年即ち一九四〇年の春四月當初には既に空軍師團八ヶ師、整備機四萬臺となつて居た事が推察に難くない。その後第三第四の擴充計畫を實行してゐるか何うかは知るに由もないが、無論何等かの繼續的計畫は戰時中と雖もドシ／＼進めて居るに相違ないと思はれる。これを開戦當時英佛合せて新鋭機一萬台、その後米國より購入したものを併せ、佛の降服に依つて差引かるべきものを考へると、英國現有空軍勢力は正に蟻螂の斧に向ふが如き觀があるではないか。

此の空軍再建に費された國費が幾何であるかは無論發表されてゐない、が然し種々の觀點より推算して、大體數百億程度と想像される。従つて是亦國防力を大いに伸展させると

共に、國內諸工業の殷盛を招き、直接間接に失業救済に効果を擧げたことも想像に難くないであらう。

(五) ジークフリート要塞線の構築

ジークフリート線と云ふ呼稱が何處から起つたかは判らないが、ナチス政府はこれに西の要塞と名付けてゐる。佛のマチノ線に對抗して獨逸瑞西間の國境に起り、獨佛國境に沿つてマチノ線に向ひ合ひ、白耳義、和蘭との國境線に及ぶ延長約四百キロに亘つて、蜿蜒長蛇の陣を布いてゐる觀がある。

實際起工の年度

ナチスの發表に依れば、一九三五年再軍備宣言以來、夜に日を繼いで構築したことになる。佛國の見解に依れば、もつと後の一九三七年頃から着手して急速に仕上げた粗製濫造の要塞であつて、大した防禦力を持つてゐない事になつてゐる。

獨逸國內に於て

も最近迄極秘とされて居つて殆ど民衆の知覺の外に在つたため、誰れ一人右の何れが眞であるかは斷言し得ないのであつたが、開戦と同時に獨逸民衆に安心を與ふるため、我々は斯くの如き強固なる西の壁を有するが故に、佛より攻め入らるゝ惧れはないから安心しろ

と宣傳し、同時に大膽にも當時尙多數の外國人の居住する伯林に於て、ニュース映畫にその一端を發表したのである。見れば是亦ナチス一流の徹底振りで、この大築造が如何にナチスと雖も四年や五年の短時日で仕上げ得る筈がないことは一見して明かであり、是亦ナチス政權把握と同時に計畫し、着手したことで考へねば解決出来ない幾多の點を持つてゐるのである。

要塞の具體的施設

先づ、最前方に巾二十メートル位の戰車防禦用の鐵骨コンクリート高さ一メートル餘りのピラミッド型の頑丈な針を無數に持つた帶を四百キロ全部に布いて居つて、その後方に物凄いい砲口が處々覗いてゐる。後方から見ると處々大きな入口を設け、十噸積十五噸積の大型貨物自動車荷物が満載した儘出入自由な程度の口を開けてゐる。

内部は浅い處で地下五階深い處で七階、大きなエレベーターがあり、大型貨物自動車はその儘最下層の倉庫迄直ちに吊り下ろされる。中央部には電氣列車が通つて居り、ディーゼル機關に依る發電所があり、電氣炊事に依る調理處があり、電話交換室、空氣入替用のポンプ室を具へ、近代文化施設を完備した一大地下都市の觀を呈してゐる。兵員の寢泊りしてゐる部屋は地下の事として勿論廣くはないが極めて清潔に保たれ、兵員は完全な換

氣のため煙草を片手にラヂオに聞き入つてゐる。一朝非常ベルが鳴ると瞬間に或は電氣列車に又はエレベーターに依つて各自擔當の部署に就くのである。兵器の裝備も亦大した状態で、大口徑機關砲、その他物凄いのがずらりと列んでゐる。又最前線の戰車防禦帶の更に前線には強力なる地雷火が設置され、砲眼より覗いて居つて鉦一つ押す事に依つて適宜爆發すると云ふ嚴重振りである。成る程これでは攻めて來た方が手酷い目に會つて全滅すべきは明かである。

構築費用と失業救済

この要塞築造に就いては上記の通り、ごく最近まで國民の前にも一切發表せられなかつたので、従事員數その他全然不明であるが、只、國費九十億を投じたことだけ發表されてゐる。驚くべき巨額を投じたものと感心せられると共に、是亦非常な勞力を喰つたことは明かで、従つて直接間接失業救済の大きな部分を負擔してゐる事も間違ひのない處であらう。

第十三章 ナチスの農村政策

ナチス獨逸の農村政策も、その經濟政策と同様整然たる機構の下に成功してゐる。農相ダレーは、元來農業問題の研究者で、農相に就任するや否や着々その理想を實現し、實績を収めた。彼の政策の重なるものを擧げると

一、農民が農耕地を賣買し又は抵當とする事を禁止し、農民の土地よりの遊離を防いだ事

二、極力農産品の増收を計畫し、又勤勞義務制の基礎となる農村援助法令を出し、義務勞力を以て國家的に農家を助け且つ荒蕪地の干拓を行つて農耕地區を増加した事

三、農産品の價格を農家の生活を保證し乍ら食糧品價格騰貴を防ぐ諸種の機構を案出し自ら其の指導に當つた事

四、失業大衆乃至都市自由勞働者の工業不適任者を農業に轉化せしめこれを保護する方策を講じた事

その結果として大量の農耕地を獲得し、食料品輸入を可なり國內供給に依つて置き替へて、更に健實なる農村を誘導し失業者の幾分を農村へ吸収し、更に義務勤勞制を確立した等に要約し得る。但し農村政策は彼我國情の相違甚だしく、参考となる點も少いと思はれるので、煩瑣な數字を擧げる事を避けて置き度い。

第十四章 文化事業

失業救済事業とは關係もうすいが、ナチス獨逸となつてからの社會的事業の一つとして文化事業に就いて簡單に記じて見度い。

衆知の如く近世獨逸民族は、文化方面に於ても特に秀でた多くの天才を輩出し大いに人類のため貢獻してゐる。哲學にカント、フィヒテ、ヘーゲル、ショーペンハウエル、ニ

ーチエを出し、文學にゲーテ、シルレル、ハイネを送り音樂にバッハ、ハイドン、ヘンデルモツアルト、ベートーヴェン、シュトラウス、シューベルト等多くの天才が現はれて、殆ど近代文化の基礎を確立し、更に十九世紀後半期より二十世紀に亘つては、科學の異常なる大進歩の原動力となつて來た事は當然の結果として、大ビスマルクの天才的國家經營と相俟つて所謂獨逸第二帝國の國力に異常なる進展を與へたのであつた。これを光輝ある民族の傳統として更に發展せしむべき事を民族の光榮ある義務の一つとして主張するヒッラー總統が、政務多端の間にも忘れたかつたのは當然な事であつた。

然るに當時の獨逸の實狀は前大戰後の國民生活極度の貧困に禍ひされて、國民一般に意

氣銷沈し、特に文化方面に於ては純獨逸民族中見るべき業績を残すものなく、多くは猶太人に依つて代表されて居つたのであつた。

ナチスの天下となるやゲッペルスの音頭取りにてナチス學生團の主動の下に是等猶太人系學者は追はれ、猶太人學者の著書は假借なく焚かれたことは既に述べた通りである。

當時世界は此の暴舉をみて獨逸の文化的自殺と爲したのであつたが、ヒットラーやゲッペルスが一旦の激情に驅られてかゝる舉に出でたのでは決してなく、斯くして獨逸青年の奮起を促し焚書の燒跡より新たな純獨逸文化の芽生えを待望して居つたのである。

然し文化方面の仕事は仲々計畫通り簡單に行くものでない。焚書事件に依つてナチス獨逸以前の猶太人文化を一舉に切り落したナチス獨逸は、先づ各地大學の教授の不足に困り、同時に民衆の文化的低下を喰ひ止め得ない形勢となつて來たので、早速ナチスの政治理論である大獨逸民族主義を極端に主張し、ヒットラー總統の自叙傳「吾が闘争」を神聖視して、茲に新獨逸文化の基礎を見出さんと努力し始めたのであつた。

又獎勵の方法の一つとして學者藝術家に第二帝國時代の習慣を復活して樞密顧問官の稱號を與へ、又文學、音樂、美術、建築、彫刻の各部門に分けて年中行事的な展覧會を催し、ヒットラー總統自ら觀覽し、ヒットラー賞を授くる等あらゆる努力を惜まず續けて居るの

であつて、爾來七年、未だ世界を驚かすに足る天才の出現は見えてゐないが、第二帝國時代を繼承し前大戰後ナチス獨逸に至る約二十年の間の變態的期間を獨逸文化の混迷時代として抹殺し去らんと企圖してゐるやうである。若し今回の對英佛戰が豫定通り獨逸の歐洲制覇に終らんか、國民意氣の高揚と共に必ずやこのナチス獨逸の純獨逸民族に依る文化發展企劃が何等かの形に於て急激に成果を結び來るべき事は豫想に難くない。

第十五章、労働戦線の成功と労働者優遇策

前大戦後の獨逸が、國民生活の困難につけ込んだ赤化のために苦しみ抜いたことは餘りにも有名な事實であるが、これがため労働者の質的低下を來し、更に失業者の激増に依つて勤勞階級の自暴自棄的傾向を助長し、第二帝國時代の素朴にして忠實なる技術本位の工人氣質を自ら失はんとするの狀態に導いて居つたのであつた。

しかも労働者の相當なる數字は左傾各政黨の影響を尙相當承けて居たのであつて、左傾政黨の最後の抵抗として罷業の續發に依つて獨逸經濟界の混亂を招來する惧れも多分にあつたのでナチス政權となるや否や果斷に各種労働組合の解散を國法に依つて命じ、ブラックリストに乗せてあつたこの種労働組合の左傾的指導者は遠慮なく投獄し、同時に全國的労働者組織を労働戦線の名稱に於てナチス理論に基いて發表し、全労働者の強制的加入を規定した。但し労働者の利益は飽迄國家に於て保護して行く事を公約した。

労働戦線と労働組合の相違

此のナチス理論に依る新たな労働者組織である労働戦線は、その機構としては資本家工場経営者等支配者側を仕事¹⁾を興ふる者と云ふ新たな名稱を以て呼ぶ事とし労働者を仕事²⁾を引受ける者と呼ぶ事とし、仕事を引受ける者のみの細胞組織を完成せしめ、その選出する委員に委員會議を開催せしめ、一方仕事を興ふる者との友誼的協調を遂げしむる。其の爲ナチス本部より派遣された工場監督者が不斷に注視し正面衝突の起らないやう未然に防ぐ手段を講ぜしむるやうな建前である。従つて労働者の代表會議は従前の労働組合に於ける武器であつた團體交渉の權利、罷業を敢行する機會を巧みに抹殺されたのである。

労働戦線の全國的構成

此の労働戦線は全國的に有機的に結合されて居り、労働相³⁾ロバート、ライを最高指導者と仰ぎ、各地方毎に州指導者の兼任に依る指導者を持ち、更に各工場毎に労働者互選の形に於て實際はナチス工場監督に選定せられたる細胞指導者を頂く仕組みとなつてゐる。

労働戦線の擴大化

又ナチス政府は此の労働戦線組織が意外の好結果を招き、労働者階級の反抗的氣分を一

1) Arbeitgeber
4) Gauleiter

2) Arbeitnehmer

3) Robert Ley

掃したのを見て此の組織を更に擴大し、凡ての仕事を一種の労働と見做す理論に基き、直接工場労働者以外にも關係商人、臨時工人等を希望に依つて参加せしむる事としたので、今回の對英佛戰直前に於ては此の労働戰線組織は驚くべき大衆を抱擁する事となり、戰線加盟員實に二千八百萬 S・A や S・S と共にナチス支持の有力なる部隊と迄なつて來たのである。

労働戰線の事業と歡喜力行運動

加盟員には定額の會費の如き一定の割合の賦課金を課し、これを以て労働者の慰安や向上に資する幾多の事業を行ひ、現在では國內至る處に労働戰線直營の轉地靜養所や運動場等を持ち適宜に按配して常に労働者の利用に供して居る。

更に此の労働戰線の豫期せざる收穫の大きなものは、我國で歡喜力行運動と譯されてゐる K・D・F 運動である。これは最初労働者優遇の各種施設に着手するだけの資金を持たなかつた當時、一労働者の案に依る労働餘暇を利用して無償の勞力と原價提供に依る資材に依つて自ら施設を作り上げんとする創意を全國的に採用したものであつて、労働者の住宅群の新設や、慰安、向上施設の自力建設から始められ、遂には二萬五千噸の巨船三隻

完成に迄發展して來たのであつて、労働者各個人としては僅少な時間の無償労働ではあるが、全國二千八百萬の大衆が不斷に働き出す爲に結果としては實に大きなものとなるのである。

K・D・F 船の一例と其の利用

此の三隻の巨船もナチス一流の遺口で二重三重の目的を持たせて居る事は勿論で、平素は清楚なる客船として年三四回、多數の労働者から抽籤に依つて選ばれた労働者及び家族を滿載し近隣の海外漫遊に當てられてゐる。

漫遊と云つても勿論贅澤は許されないものであつて、普通の食事を供し外國の港へ入つても埠頭費用を節約する爲遠く港外に碇泊し、朝早くボートに是等労働者を滿載して上陸し豫め手配して置いたバスに乗せて見物させ、晝食時となると持參の辨當とビール位で簡単に濟ませ充分見るだけは見て又船に歸り寝させる。此の爲に獨逸としては労働者を喜ばせ、見聞を廣めさせ、又此の機會に巧みに他國の憐れな状態に在る労働者生活を目撃せしめ充分目的を達するのであるが來られた方ではバスの賃賃位しか金が落ちない。船に歸ると労働者中のナチス信奉の度の強い者に、自發的に「吾等労働者が此の如き優秀船に乗

つて遠く母國を離れ海外漫遊する等と云ふ事は昔の獨逸では夢にも考へて見ない事であつた。吾々獨逸労働者が外國富裕階級と同じ樂しみを體驗し得るのは一にヒットラー總統の御蔭である、諸君一つ總統の萬歳を高唱しようではないか「ハイルヒットラー」と云つたやうな演説をする、演説は獨逸人の道樂の一つで労働者でも仲々演説が上手である。それに聞く方は根が正直な、純朴な獨逸労働者の事だから心から賛成してハイルヒットラーを絶叫する。此處迄來れば效果正に百パーセントで皆思ひ／＼に感激を語る。これを一方マイクを通じて獨逸國內に放送して此の行に加はり得なかつた労働大衆に聞かせる

と云つた様に極度に労働者を喜ばす事に利用して居るのである。然して一度び戦争となるや計畫通り此の船は直ちに病院船輸送船として就航したのであつて、單に労働戦線の生み出した一例に過ぎないが、萬事此の調子を失はない處にナチス指導者群の手腕が味はれるのである。

労働者の保護と資本家の喜び

労働戦線組織と共に仕事を與へる側は自己の都合だけで労働者を解雇出來ない事をも規定した。これは労働者の生活を安定する爲であつたが、度々記したやうにナチス治世と

なつて以來、國內工業は異常の殷賑を來し、最近では勞働力の不足を告げて來てゐる様な有様で事實上解雇する必要にも迫られず、又資本家としても罷業や、サボタージュの危険より全く解放されたので、却つて勞働戰線結成を讚美してゐる状態である。

戰時に於ける效果

斯くして七年間に勞働者訓育に非常な努力と成功を收めて來た結果、開戦と共に獨逸全國に亘つて二時間の無償勞働時間延長を法令で規定したにも拘はらず勞働者は平素からK・D・F運動に依つて不斷に無償勞働に慣らされて居つた爲に何等の不平も起らず、粗食に耐へ、重税を忍んで靜肅に自己の職場に必死の努力を捧げて居るのである。斯く觀じ來る時此の勞働戰線組織は驚嘆に値する効果を現はしたナチス政治の成功の一つと見ねばならぬと思ふ。

第十六章 義務勞働制度¹⁾

ヒットラーが政權を握ると共に國民に示した目標は光輝ある獨逸民族大帝國の建設であつた。

ヒットラーの所謂第三獨逸帝國を愈々建設に取掛からうと云ふのであつた。しかも聯合國の猜疑の眼を集中されつゝ、國內の種々の改良、新たな間接的軍備の一端である各種大土木事業を敢行し、又極秘で軍備に着手し自力を養ひつゝ、一方では又食料問題の解決自給自足經濟の確立を期せねばならなかつた。此の何れの一つでも當時の世界列強各國がナチス獨逸程尤大な輪廓と充實せる内容を以て爲し遂げ得なかつた處である。これを破産の危險に曝されてゐた當時の貧弱な經濟狀態に於て一齊に遂行しようと云ふ事が如何に無理であつたか、又冒險であつたか、従つて困難であつたかは想像に難くないであらう。然しヒットラーの信念に依れば何事も意志の問題である。強烈な意志と不屈不撓の精神力のある處不可能と云ふ事は有り得ない、と云ふのである。然るに實際問題としては意

1) Arbeit Dienst

志と精神力のみでは仕事にならないので、此の無理な仕事を可能ならしむべく丁度當時の國內重大問題であり國家の穀潰しであつた六百五十萬の失業大群を動員して取り掛つた事は前述の通りであるが、更に次代の國民である青少年に精神的奮起を促すと共にナチ스의國家主義の不拔の精神力を植ゑ付け、體位を向上させ乍らしかも一方では國家の必要とする廉價なる勞力を得る方法を研究し遂に作り上げたのが此の義務勞働制度である。

義務勞働制に對するナチスの目標

「義務勞働制は、ナチス治世の當初に於て存在した失業者救済の補助とか當時規定する事の出来なかつた兵役義務の代行とか、或は單なる國防軍の補助的準備機關とか、更に國民食糧増收の爲の側面援助等が主要なる目的ではなくて、ヒットラー總統の意志に依る獨逸青年に對する遠大なる且つ新しい様式の學校である。從つて一時的の施設ではなく獨逸帝國存する限り永遠に存在し凡有青年を抱擁し、總統の意志に依る獨逸民族への勞働義務を果たし國民協力の下に其の遠大なる理想を實現せねばならぬ課題を持つてゐるのである。總統が特に國民社會主義大學と迄名付けられたる此の制度の効果は全國民が一人残さず、一度は此の學校に學んだ経験を有するに至つて初めて其の實體を現

はすであらう』

と、ナチスは主張する。實に堂々たる目標と云ふべきである。一つの國民總教育の

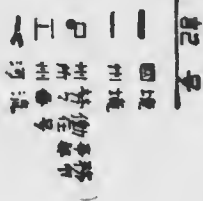
機關として、義務兵役制度と共に其の準備ともなり又種々の効果を狙つてナチス流の一石三鳥四鳥を期したのであつた、従つて單に文字の上から労働奉仕團等と譯されて恰も勞力を國家へ進んで奉仕する一種の義勇團運動の如く解されてゐる惧れがないでもないが、右宣言内容に依つて明かな如く確乎たる一つの國民義務となつて居るのであつて好むと好まざるに拘はらず、獨逸國民である限り、而して不具、廢疾者でない限り一度は必ず通らねばならぬ門であつて總統令を以て規定せられた嚴然たる掟である事を忘れてはならない。此の巧妙なる制度を案出したのは農相として偉勳を樹てたダレ¹⁾である¹⁾と云はれてゐる。従つて此の義務労働制は其の目標を土への働きと農村非常時の救済に限定した。

其の機構

機構としては全國を三十の労働地區¹⁾に分ち其の各地區の最大の都市に義務労働團、各區指導者事務局を設け各地區内に夫々其の土地の狀況に依る労働集團を配置する事とした。

第一七三圖は此の義務労働地區配置の概略である。

1) Arbeitsgaue



ナチス治世の當初に於ける獨逸國內の土地利用の狀況は左の通りであつた。

全 國 土

約四七〇、〇〇〇平方呎

農 耕 地

二一〇、〇〇〇 "

森 林 地

一二七、〇〇〇 "

草原、牧場及び荒蕪地

八四、〇〇〇 "

都市、運河、鐵道線、公園、王侯大邸宅等

四九、〇〇〇 "

土 へ の 勞 働

此の草原や荒蕪地は、土壤劣惡な爲、又は年次的浸水等の爲、如何に根氣のいゝ獨逸農民にも手に負へぬ爲、自然放棄されてゐたのであつて、主として西北獨逸¹⁾シュレスウキッヒホルスタイン²⁾・ヘノーバー³⁾・ウエストファーレン等や東北部⁴⁾ポムメルン地方及び西南部¹⁾ヘッセンの低地等である。又農耕地に數へらるゝ土地でも、自然的條件が悪く極めて耕作に適しない、價值の低い土地が非常に澤山あつた。

義務勞働制の規定

1) Schleswig-Holstein,
4) Hessen

2) Westfalen

3) Pommern

義務勞働制を以て先づ是等の土地を根本的に干拓し排水の土木工事を興し農業政策の一
大動力としつゝ、青年を鍛へやうと云ふのである。従つて各地區指導者は優秀な黨員を
以て任命しこれに農業技師、土木技師を配した。斯くして先づ完全なる機構を造つた上
で、國民一般に男子滿十八才、女子滿二十一才に達するや一齊に此の義務に服する事を規
定し女子三ヶ月男子半年を一期として一九三五年四月一日より實行したのである。

女子は主として農家收穫時の手傳ひ、收穫後の手入れ等稍輕度の勞働に従事させ、臨時
に天幕村を作らせて自炊し、勞働時間以外は各種の講師を派して主婦としての必要な知
識を實習させ乍ら巧妙に其の間にナチス理論に依る獨逸婦女子の理想の型へ導く事を忘れ
ない。

男子勞働の配置

男子は干拓、治水、獨逸國道局管理以外の道路の建設、集團農村住宅、市街地郊外の住
宅群新設運動の準備工事等を引受ける。男子の勞力の配置は大體左の通りである。

五五%

土地改良治水工事

一五%

道路建設、改良



一五%
一〇%

第 174 圖

男子勞働團に對しては稍恒久的な但し極めて粗末な宿舎を各地に建設し、工事進捗と共に次へ移轉するやう計畫され、炊事は勿論自炊ではあるが、食料品はコ



第 175 圖

住宅建設準備工事
水路整理、雨雪害の救済、豫防、其の他



第 176 圖

「ヒ」、煙草等迄各州
農業組合より無償支給され
労働服やゴム靴土木工具類
は國家より支給される。

第一七四圖は早曉労働服
に身を固め、ショベルを銚
の如く肩にして指導者に統
率され、隊伍整然労働地に
向ふ處である。指導者自
身同じく労働服に身を固め

身を以て率ひて行く處にナチスの徹底振りが判るであらう。

第一七五圖は濕地干拓に従事する實景である。

第一七六圖は草原開拓の第一歩として水路を作りつゝある處である。

義務労働の効果の一例

此の勞働義務の效果は着々現はれて來た。

特に極端な一例を舉げると、印刷業や見本

市で名高いライプツヒ市北部にデーリッ¹⁾チュ地方と稱する特に雨量の少い爲殆ど農耕されず草原として放棄されて居た土地があつたが、これに水路を作り土壤を取り替へ道路を開通して努力を重ねた結果、農作の殆ど無に等しかつた此の地方より一ヘクタール²⁾(一萬平方米)當り

乾草(飼糧)

一三〇dz³⁾

馬鈴薯

二三〇々

甜菜

四〇〇々

の收穫を擧げるやうになつたと云ふ。

直接農産の増加以外にも水路を新設し改修し堤防を築いて洪水を豫防し又多くの村道を作つて農村交通に資した等、此の效果は年々歳々擧げられてゐるのである。茲に一寸説明を加へねばならぬのは山岳地帯が多く、農耕地と雖も殆ど傾斜のない土地はないと云つていゝ我國に於ける常識では獨逸の水害は判斷出來ない惧れがあるが、東南部を除く一切の國土が殆ど平面な獨逸に於ては夏から秋へかけて雨季となると到る處浸水する事が度々あつて、此の平坦の土地柄の爲に古くから運河が發達し、鐵道網が容易に伸展したのであ

1) Delitzsch

2) Hektar

3) Doppelzentnel = 200 lbs



第 177 圖

るが、一方に於て排水が困難であり一寸大量の雨が降れば忽ち農耕地に氾濫する事も已むを得ないのであつた。

第一七七圖は此の洪水の實例であつて、同時に義務労働團が出勤して農村の農産搬出に努力してゐる實景である。

此の農耕地浸水だけでも豫防し得る事になれば國家全體としての利益は實に莫大なものであつて、しかも一度根本的工事をして置けば後は年々少しの手入を以てこれを維持出来るのである。

義務労働の軍備的豫備教育

義務労働團は只牛馬の如く只で働かされるものでなく、其の間に實に自然に巧妙に土地の測量方法、地圖の作成方法、從つて地圖を見て直ちに未知の土地の状況を適確に想像する知識を與へられるのであつて尙其の餘暇には體育と稱して乗馬、自動自轉車、貨物自動車等を実習させられ、ナチスから云へば國民として當然な常識の涵養であるが、第三者から見れば完全な近代の軍隊

準備訓練を課せられるのである。

斯くして筋肉労働に依つて身體が引締まりナチス理論の教育に依つて民族的自覺を與へられ、加ふるに役に立つ軍隊的知識と規律を與へられた多くの青年が家庭に歸ると親達は改めてナチス政治の有難さを見せつけられるのであつた。しかもナチスの宣言に依れば此の義務労働の眞の効果は國民の全部が凡て此の門を通つた後始めて批判され評價さるべきであると云ふのである。驚嘆すべき新時代が獨逸に來るであらう事も今から眼に見えるではないか。

第十七章 ナチス少年團

ヒットラーユーゲント運動は其の代表が遙々日本にもやつて來たので、比較的詳細に傳へられてゐると思はれるので、茲には極く大略を記するに留め度い。

ナチス少年團の起源

一九二三年ヒットラーが燃ゆるが如き信念を吐露して南獨にナチス運動を起した當時は既に述べた如く當時の獨逸民衆は仲々素直には共鳴しなかつた。又年齢漸く三十才に過ぎず、學歷も殆どなく、社會的には單なる一歸休兵卒に過ぎなかつた當時のヒットラーが多くの場合彼より年長であり、又社會的にも彼以上の地位のみの大衆を直ちに掴み得なかつたのは當然な事でもあつた。彼の強靱な精神力と天賦の雄辯は、漸次是等の彼の不利なる障害を吹き飛ばして共鳴者を得ては行つたが、彼ヒットラーとしては決して満足すべきものではなかつた。當時ヒットラーが既成人に半ば望みを失ひ、純眞なる少年に目を

着けこれに根強い信念を與へ、是等少年達の成人の曉に望みを囑する外なしと考へたのは實にいゝ着眼點であつた。事實は然しヒットラーの絶望した時分になつて始めて反對に

働き初めナチスの擴大は燎原の火の如き勢となつて現はれて來た爲に是等少年達の成人を待たずしてナチス政權の國內統一となり、ヒットラー自身さへ期待しなかつたであらうと思はるゝ程の赫々たる成功を收めて來たのではあるが、と云つて少年訓育の大切な事を忘れるヒットラーではなかつた。

一九二五年當時一學生であつた十七才のバルドウィル、フォン、シーラッハ青年はヒットラーにこんな心中の悩みがあつたとは知らず、ヒットラー崇拜の餘り、同じ學生層、殊に自分より若い學生達にヒットラーの信念を擴めナチス學生團を組織し度い事を申出たのである。丁度ヒットラーの希望と全く合致する爲當時ナチスの内に餘りに種々の部隊を設ける事に反對であつて、學生團等は不用である、何等の力にもならないではないか、と云ふ様な議論もあつて十七才位の青二才が何を云ふかと云ふやうな空氣や露骨な反對があつたにも拘はらずヒットラーはシーラッハ青年の熱意用ふべきを理由として反對を抑へシーラッハ青年の希望通り少年團を組織する事を許し、特にヒットラー少年團の名稱を用ふる事を許したのである。

感激したシーラッハ青年は自己の一生を此のヒットラー少年團の健全なる擴大と發達に捧ぐる事を誓ひ渾身の努力を注ぎ初めたのである。一〇の才能と力を有するものもこれを感じせしめて用ふれば時に二〇、三〇の効果を齎らす。これに反して不平を持たせて用ふれば五乃至三位の効果しか表はさない。ヒットラーの人を用ふる妙諦は常に此の點を主眼としてゐるやうに考へらるゝのである。此の場合には豫てヒットラー自身が痛感して居つた少年團組織が然も優秀なる少年自身の頭から生れて來たのである。同時に少年は少年を以て指導させ、勞働者は勞働者を以て指導させねばならぬと云ふ彼日頃の考へにも符號を合するが如く合致してゐるのである。感激性を人一倍持つてゐるヒットラーが、此のシーラッハ青年を熱愛した事も當然である。従つてシーラッハ青年の少年團組織は着々成功し、一九二六年夏中獨ワイマール市に於けるナチス全國大會に於て可憐の少年三百名を率ひてシーラッハが登場し、ヒットラーの閱を受けた時、ヒットラーは眼に一杯涙を湛へて居つたと云ふ。

少年團の全國化と其の總指導者

一九三三年愈々ヒットラーが政權を握るや否や此のヒットラー少年團を全國に擴め、ナ

チス黨内に於ての地位を引き上げ、功勞者シーラッハを全國少年團指導者に任命し、ヒットラー直屬としたのである。其の位置は官吏としてではない爲に大臣の稱は與へなかつたが大臣級として取扱はるゝに至つた。時にシーラッハ二十五才の若冠である。

其の後此の少年團運動は義務勞働制や兵役制の如く國民の義務とはされてゐないが、自發的に加入する者、兩親に於てこれを希望する者激増し、現在では獨逸青少年にして此の少年團に加入してゐない者は一寸珍しい位で、團員總計實に千三百萬と稱せられてゐる。

黨の事業である爲今日尙ミュンヘン市に本部を有し、全國至る處に少年團の地方部とも云ふべき立派な建物を有し、男子は十才から十八才迄を、女子は十才から二十一才迄即ち義務勞働制直前迄を資格とし各集團毎に指導者を任命してゐる。指導者は少年團加入の少年中素質優秀の者を選拔しミュンヘン本部に送り充分なる教育を加へた上、原集團に歸して指導者とする。小さな集團の指導者達を相當數集めて其の指導者があり、更に其の上の指導者があつて漸次ピラミッド型に集約して來て其の最高の指導者がシーラッハである事はナチスの政治體制と同一である。従つて此の指導者と名付くる者だけでも相當な人數となる次第である。

指導者の或る者は黨費を以て生活費を支拂はれ、又或る者は一文の給與も受けず自發的に働いて居るのである。

學校教育との調和と限界

仕事は純眞な少年達を指導してスポーツや旅行に依る身體の鍛鍊、精神訓話に依るナチス理論に基く民族意識の高揚、ヒットラーへの忠誠心の養成である、云ひ換へれば學校教育と家庭教育の中間に位して國家教育をやつてゐるとも云へよう。同時に又軍隊の準備教育をしてゐる事も無論である。女子部は矢張り優秀な青年女子や老練な主婦を指導者として女子に適當な體育と家事に對する完全な知識を得させるやう實習を重ねて努力して居るやうである。

又其の教育時間は學校と衝突しないやうに普通週日の夕方から及び土曜の午後と云つた時間を適當に割當ててやつてゐるのである。

獨逸の初等教育重要視の程度

元來獨逸ではナチス治世以前から教育に力を入れて來た國柄であつて、小學校の先生の

如きも貧乏な獨逸としては驚くべき優待をしてゐる。例へば小學校の先生でも凡て一日五時間以上の授業はさせない。修養の餘暇を充分に與へてゐる。又十五年勤続せば贅澤は出来ない迄も一生喰つては行けるやうな退職手当制度を設けてゐて出来る限り素質のいい先生が満足して教育に一生を捧げるやうに仕向けてゐたのであつた。従つて教授法の上手な事は驚くべきものであつて通學兒童は何の苦もなく、寧ろ楽しく其の知識を増して行く。此の點實に羨ましい程であつたが、此の少年團が全國的に擴大さるゝと共に少年團の指導者達が心から信念に燃え、一つの目標を與へられて居つてしかもミュンヘンの本部で教育に充分なる經驗を有する所謂教育専門家達が三百名も集まつて不斷に少年達の導き方を研究し、其の細がい行き届いた指令が毎週送り届けられ、各指導者達はこれに依て一絲亂れず忠實に懸命に指導して來た爲、當初は學校教育の補助的教育機關、しかも體育德育を主としてゐたにも拘はらず、漸次少年團教育が學校教育よりも効果を挙げ初め、寧ろ少年團教育が基本教育であつて學校は其の補足を爲すかの如き觀を呈して來た由であり、又小學校の先生の内にも自發的に學校より少年團に轉向する者もあり、幾年か後には少年團本部が文部省に代つて小學校教育を引受けるやうになりはしないかとさへ云ふ獨逸人がある程である。

少年團の夏季旅行

ナチス治世以前の獨逸に青少年が夏季三ヶ月の休暇を利用し僅かの小遣錢とリックサク一杯の食糧を携へて、隊を爲して野から山へ森へ海岸へと歩き廻り國內至る處に設けられた小屋¹⁾に無料宿泊して自炊し、身體を鍛鍊し見聞を廣めて歩く習慣があつて、渡り鳥と稱した事は、其の一部が我國にも取り入れられたので知られてゐる事と思はれる。少年團組織後も此の習慣は尊重されて居て、夏季となると是等少年團が指導者に引率され、時には醫師看護婦をも加へて國內大旅行を爲し、凡て徒歩を規則とし、歩行の速力迄規定して過重でない程度の歩行の習慣と同時に何程の距離は何時間で達し得るかの目算の練習をせしめつゝ、夜は小屋に泊るか又は天幕野營の習慣を附け、而かも好んで國境方面を旅行せしめ、實地に就いて前大戰に於て獨逸の失つた土地の狀況や、不合理な事情を説明し、若い血を燃え立たせる事を忘れない徹底振りをさへ發揮してゐるのである。

軍隊準備教育

軍隊準備教育としては第一に指導者に對する絶對服從に依る規律、自轉車、自動自轉車

1) Hütte 2) Wander Vögel

自動車、貨物自動車の運轉、乗馬、模型飛行機に依つて空中理論を教へ、グライダーに依つて航空術を實習せしむる事、光學機械、電機、通信機械の實地使用練習、簡単な木工、金屬加工機械の使用實習に依る簡単な機械の修理實習、海岸地區にあつては短艇帆船の操縦より機動艇の實習、海洋氣象の測定實習、水上飛行の實習等であり、此の少年團を十八才となつて離るゝと直ちに前項義務勞動に就き、更に筋肉の鍛鍊と精神力の養成を経て或者は陸軍へ、又或る者は空軍へ、海軍へと服務するのである。従つて軍隊へ入つて來た時

分には準備訓練は充分に出來てゐる爲軍隊教育が又能率良く行はれ、且つ體力から云つても、必要な科學的知識から見ても他國の兵役を完了した兵士よりも遙かに高度の素質を備へて居り、加ふるに十才より國家への奉公、ヒットラーへの忠誠が叩き込まれてゐるのである。今次大戰に白蘭戰、北佛戰に於て示した獨逸兵の決死果敢な戰鬪も決して故なしとは云ひ難いのであつて、しかも此の少年團が全國的に殆ど百パーセントに近い少年を收容し初めたのは極く近年の事に屬する事を思へば今後十年二十年の後ナチス獨逸が世界無比の強い軍隊を持つであらう事は想像に難くないであらう。

第十八章 政治學校

人も知る如くヒットラーは地方中學の二年迄しか正規の學歷を持つて居ない。然して其の後の十年間を圖書館に於ける手當り次第の讀書で自修して來た人である。其の自修の程度も人並外れた好學心と強毅な意志力の爲に想像出來ない深いものであると云はれてゐる事は、彼が三十一才にして投獄せられた一年程の間に筆を起したその自叙傳を見ても直ちに判る通り、又彼の演説を聞いて居ても聞く者を魅了し去るだけの哲學的理論の確かさと詩的美辭麗句を持つてゐる。

ヒットラー總統の考へ方

然しこれは彼にして初めて出來る事であり、一般に望む事の出來ない事を知つてゐるヒットラーは國家に取つて最も大切な政治の眞髓を教へる學校のないのを遺憾として一九三四年文部省に命じて政治専門學校とも云ふべき國立指導者學校を設けた事は曩にも述べ

た（第一四一圖参照）。

指導者學校とヒットラー學校

然るに此の少年團の教育が意外の好結果を收め始めたのを見て更に國立としてではなく黨の事業として、且つ少年團の延長として同じ目的の政治専門の學校を設ける事としたのである。これは一九三八年より初められ未だ結果は判らないが、全國ナチス少年團から優秀な素質の少年を集めこれを次代のナチス中堅層に仕立てようと云ふのであつて、曩の國立指導者學校がナチス理論に依つて養成された中堅官吏養成を目的としてゐるのに對してこれはヒットラーの理想や信念を受け繼いで指導的ナチス黨員を作らうとしてゐるのではないかと考へられる。ヒットラーはこれにアドルフ・ヒットラー學校なる名稱を許したのである。

斯くして養成されて行く少年達が世に出で信念に燃えて活躍する時、其の内より第二のヒットラー第三のヒットラーが生れないとは誰れが保證し得やう、世界は再び三度驚かされるのではなからうか。

第十九章 精神入替所制度

精神入替所とは私が勝手に附けた名稱で實際は集中所と云ふ。精神を集中して惡化しかけた人間を善導しようと云ふのであらう。實際は監獄へ入れる程の極惡人でない程度の人間を引張つて來て勞働至上主義に依つて精神を入れ替へさせる仕事をしてゐるので便宜上勝手な名に譯したのである。

ヒットレリズム 反逆者の矯正

現在の獨逸は國民の殆ど全部がナチスの理論を讚美しナチス治世を謳歌してゐる。殊に今次の大戦に於て國民の夢想も出來なかつた大捷に次ぐ大捷を以てしては獨逸人としてヒットラーを神聖視し一種の信仰と迄なつてゐるのも無理はない。又吾々第三國人が見ても實に不世出の偉人であり、獨逸人の常識から云つて神に近い程無私無慾の人である事も間違ひのない事實である。又其の政治的、外交的、軍略的手腕に於て天才と云ふには餘

りに偉大である事も否定出来ない。

今尙反抗者のある理由

然らば全獨逸民衆が一人残らず心の底からヒットラーを崇拜し、其の命する處喜んで生命も捧ぐるかと云ふと簡單には然りとは云へないと思ふ。無論異分子は極めて小數である事は事實だが絶無とは云へない。現に有耶無耶に葬られた昨一九三九年十一月八日のミュンヘン市に於けるヒットラー暗殺未遂事件が雄辯に物語つてゐるではないか。當時此の事件は英國の仕業であると片附けられたが、其のやうな事のあり得ない事は少しく獨逸事情に明るい人々は直ちに考へ得る事である。

ナチス治世が次から次へ赫々たる成功を收め、國力を充實し、國民の所得はナチス以前に比して六割平均も増加し、失地は續々回復されて來た一九三九年に於てさへ此の事があつた事實からも容易に想像し得る通り、ヒットラーの強烈なる信念と宣傳省の大軍の國民教化にも拘はらず、骨の髄迄滲み込んだ個人主義的利己的觀念は容易に抜け切らないのである。又己むを得ぬ事情にはあつたとは云へ以前の政敵にも可なり苛酷な斷壓も加へてゐる。殊に共產黨に對しては假借なき殺戮を加へてゐる。力の前に屈服した彼等が恨

を呑んで地下に潜つてゐて私かに復讐を念じてゐるのも無理のない事である。是等が時に表面に現はれて來て或はナチス政治を恨み、其の統制を私かに破らんとしたり、又は個人主義的利己心から慾に驅られて政府の方針に反するもののは當然であつた。

精神入替所と監獄との相違

是等を如何に處置するか、殺して了ふのは譯のない事だが、何とかして心を入れ替へさせて心からナチスの理論に従ひ、心からナチス政治を謳歌するやうになつて呉れれば貴重な人的資源を失ふ事なく禍を轉じて福と爲し得ると云ふ考へ方の下に生れたのが此の精神入替所である。従つて監獄とは全然行き方を替へて居つて、飽迄積極的精神善導を目標としてゐるのである。具體的に云へば各都市の郊外不毛の地や干拓を要する地點に粗末な小屋を建て、精神入替を必要とする連中を連れて來て、特に優秀な黨員とS・AやS・Sの隊員を配して、規律ある軍隊的生活と、苛酷な位の勞働を強制し、且つナチスの精神を朝夕に耳が胼胝になる程叩き込む。逃げるにもS・AやS・Sが眼を光らして居つて逃げられない、如何に頑強な連中も斯うして三ヶ月も叩き込むと、心が入替らない迄も馬鹿でない限り、獨逸人と生れ獨逸に生活するからは、ナチス政府の命ずる處に従はない以上は

幸福は望めないのだ、と云ふ嚴然たる事實だけは判然と意識するやうになり、指導者次第では感激して實際心が入れ替るのも出て来る由である。

指導者が宜しと見る迄かうして叩き直し、直つたと認められると歸宅を許される。監獄でないから前科者にはならない。入つてゐる期間の勞力は無償の勞力として國家の利益を齎らす、正に一石二鳥三鳥の狙ひである。

第二十章 黨の耳

これ又私の我流の譯名である。本當は見張所¹⁾とも云ふべきもので、會社にも工場にも、村落にも温泉地にも、避暑地にも住宅地にも獨逸國內至る處目立たないやうに設けられナチス黨員が配されて居る。黨の耳として國民の聲を直接聞くと共に各種各様の社會紛議

を裁判に掛ける迄もなく解決しようと云ふのである。又ナチス政府の方針に反する行爲のないやう未然に防止する役目や、地方官吏や公共團體が地位や權能を悪用してナチスの本意でない事を爲すが如き場合、民衆の利益を保護せんとする所謂見附役の役目も勿論帶びて居るのである。任務の都合上S・AやS・S隊員が任命されてゐる事が多く、政府の役人でなくナチスの黨員である處に妙味がある。

これ亦ナチスの強壓政治の一部と見て了へばそれ迄であるが、其の民衆に接する柔か味と飽迄正直な民を保護し、民の希望を正當なる當然許さるべき性質の希望である限り間髪を容れず實現せしむる事に依つて益々ナチス政治を謳歌せしめんと積極的に努力してゐる

1) Überwachungsstelle

實狀を見て、私はナチス政治の何事にも徹底した、行届いた遣り口の一つとして相當重視すべきであると考へて居るが故に特に書き添へる事とした。

平素は外國人である吾々の目に附く機會は餘りなかつたが、戦時統制經濟に入つて其の存在は俄然重要となり、民衆又これに感謝するやうにさへなり、其の活動は目に立つて來たのであつた。

第二十一章 戰時體制に於けるナチス獨逸の物資統制

一九三九年の八月二十八日、と云ふと獨逸の對波要求の仲介を英國が拒絕し、獨逸は最後の策として直接ポーランド大使へ此の要求に就き伯林で商議し度いから貴國の全責任者を伯林へ寄越して貰ひ度いと申入れた日であつた。従つて未だ平和解決の望みは充分残つてゐると信じられてゐた時であり、又獨逸人は戰爭を嫌ふ自分等の希望の故にナ―ニ大丈夫、ヒットラーが必ず又妙手を打つて最後の瞬間に美事に戰爭をせずに要求を通すであらうと信じ切つて居た時であつた。其の國民大衆を突然驚かしたのが午後三時に行はれたフリック内相のラヂオ放送であつた。

フリック内相の放送

それ程民衆の豫想や期待を破つて出し拔けに生活必需品の切符統制を宣言したのであつた。曰く、時局重大になつて來たから不足して居るのではないが不足して來ないやうに

節約の爲に生活必需品の切符制度を布く事とした。これは獨逸の國家方針として必要に迫られて行ふ事であるから國民は自發的にこれに協力し、勵行して貰ひ度い。切符制度と云ふ事は國民の全部の人が自分の欲するが儘に必要な以上の量を消費するだけの物資があるが、今後多少不足して來るかも知れない惧れがあるので今の内から國民全部の人々が眞に必要な分量だけを消費して行つて、後になつても皆が困らぬやうに國民全部が心を合せて物資を大切にするやうに切符に依つて統制して行く事である。従つて政府が國家の方針として切符統制を行ふ事に對して自分だけは自分の欲するだけ充分な物資を從來通り消費して行き度い、何とかして切符以上の物資を手に入れ度い、と云ふやうな事を考へ、行ふ人が若し有りとせば切符統制を行はんとする國家の方針は茲に其の一端を破られる。又多數の忠實な國民は非常な迷惑をする事となるので政府は其の儘で放置する事は出来ない。國家の方針に反するもの即ち國家反逆罪を以て罰して行くより外に方法がない。反逆罪となると最高死刑迄行かねばならぬかも知れぬから其のやうな罪に落ちるやうな事なきやう注意して貰ひ度い、又旅行者病人等のかやうにして貰ひ度い。云々、と實に詳しく囁んで含める様に約一時間以上に亘つて放送を行つたのであつた。

統制品の一時的賣止め

此の放送の間に全國各都市町村の一切の小賣店に對して此の日だけ統制物資の賣止めを嚴命したやうであつて、フリック内相の放送を聞いて飛び出して物を買ひに行つた者は何れも小賣店の賣子に逆に説教されて引下るより外に仕方がなかつたのであつた。これが戰前三日の出來事である、實に水際立つた切れ味と云はねばならない。これでなければ本當の切符統制は出來ないな、とつくづく感心した事であつた。

翌二十九日の午前九時には一週間分の切符が各市町村住宅ブロックの世話人から各戸の戸口迄配給されて來たのである。珍らしさの餘り隅から隅迄目を皿にして見ると驚く勿れ、一九三七年印刷と記してある。一九三七年と云ふとヒットラーが外交手腕に依つて奥太利を併合した時である。若し當時英佛が向つて來て己むを得ず戰爭に入らねばならぬ場合を豫想して印刷して置いたのではあるまいか、而して夫れを區役所迄は配給したのであつたが幸ひにも英佛が立たなかつたので其の儘伏せて置いたのであつて、ナチス政府が何事に對しても如何に用意周到であるかを物語る一つの例證と考へる事が出来るのである。

切符の詳細

同時に八月二十九日の全國一切の新聞紙は各州の州統監（ガウライター）の命令に依り一齊に別刷ビラを折り込んで、切符統制に關する注意事項と切符の雛形を印刷して全國民に買溜めを戒め、特殊の場合の注意を與へたのであつた。伯林市民に對する分を掲げれば左の通りである。

ベルリン市民諸君！

購買券は公平なる分配を目的とするものであります。

購買券は萬人が飽食し、且つ、見苦しからぬ服飾を施し得るやう配慮されてをります。それ故思惑買は如何なる形にもあれ、全體の配給を紊るものであります。必要もない思惑買の結果は屢々幾多の障礙が惹起されたのであります。各位が自戒ある行動をさるれば食糧品、被服、その他必需品の配給は確保されるであります。

ヒステリックな興奮は配給の圓滑を保つ上には宜しからぬ事であります。配給機構の運用を馴らすには少くとも數日の間は猶豫されたいのであります。

吾人は安んじてナチス國家とナチス經濟の指導に滿腔の信頼を捧げてよいのであります。
ベルリン市民諸君、願はくは相互に協力され、最も深き紀律を發揮されんことを。

州 知 事 代 理

ベルリン消費者に告ぐ。購買券は何處で發行されるか

ベルリン市民は身分證明書と購買券とで消耗品（食糧、石鹼、石灰、織物、靴）を購入し得るやう、市内各區に下記取扱所を設けてをります。

- 1、多數の切符分配所
- 2、經濟局
- 3、食糧局

これ等の役所の所轄事項は次の通りであります。

一、切符分配所

これらは市民と直接密接な關係のあるもので、

(A) 購買切符の分配整理

例へば第一回の分配に際し、引續き同一世帯内に居住する者（例へば新しく誕生した子供の如き）に對する身分證明書が世帯主又はその代理人に與へられてをらぬ時は世帯主は切符を切符分配所に請求することが出来ます。

不在中であつたものが、切符が一般に交付されて後、その世帯に歸還した場合（退院、出獄——誕生も同様——の如き）は、充分な證明（退院、出獄證明並に戸主の證明せる警察への回

A 1	A 2	B 1	Gruppe 1	Gruppe 2	Gruppe 3	Gruppe 4	Gruppe 5	Gruppe 6	Gruppe 7	Gruppe 8	Gruppe 9	Gruppe 10	
A 3	A 4	B 2	Gruppe 3	Gruppe 4	Gruppe 5	Gruppe 6	Gruppe 7	Gruppe 8	Gruppe 9	Gruppe 10	Gruppe 11	Gruppe 12	
1	3	5	<p style="text-align: center;">Ausweis Karte</p> <p>Form für den Ausweis</p> <p>Ort: <input type="text"/></p> <p>Von: <input type="text"/></p> <p>Bis: <input type="text"/></p> <p>Erteilt: <input type="text"/></p> <p>Erteilt durch: <input type="text"/></p> <p style="text-align: center;">Stempel</p>								11	4	1
2	4	4									12	5	2
1	3	4									7	6	3
2	4	3									8	6	3
1	3	2	4	3	4	3	4	3	4	3	4	3	
2	4	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	

第 178 圖

二、經 濟 局

出書)があれば當該人に身分證明書を發行します。

(B) 織物、靴、石鹼等の購買券の交付

(C) 小兒、妊婦、授乳婦には特別に牛乳を追加割當るので、これが購買券の交付

(A) 一時的にその所轄區域内に滞留する者(船員、藝人等)に身分證明書を交付すること。

(B) 旅館・宿泊業者、中小商工業者、諸施設、國防軍、護衛隊へ焚炭購買券の交付。

(C) 従業員がその仕事の關係上、身體や衣服を特に甚しく汚損する如き工場、旅館、宿泊所、諸施設、理髮業者、國防軍、護衛隊への石鹼購買券の交付。

(D) 職務上諸所を移動して歩く人々(護人、船員等)に衣服、靴を購入する事の證明書を交付すること。

(E) 衣服、靴購買券の交付。

——諸施設、國防軍、護衛隊、旅券所持者に對して——

(F) 交付された購買切符購買券(焚炭石鹼)に就て小賣商と協調する。
以上の外に油槽證明と鐵油購買券を交付する。

三、食糧局

(A) 食糧購買券の交付

——諸施設、旅館、宿泊所、國防軍、護衛隊への分を司る——

(B) 交付された購買切符(食糧)に關し小賣商と協調す。

四、苦情相談に就て

ベルリン市内の經濟局、食糧局の統轄に關し、衣服、靴、石炭、石鹼及び切符分配所に關する限りはシエーネンベルク本通四五 (Schönenerg Hauptstr 45) の中央經濟局に御相談ありたく、又食糧の問題に就てはベルリン、モンビヨウ廣場三 (Berlin, Monbijouplatz 3) の中央食糧局に御問合せ願ひたい。

五、その他注意事項

(A) 切符分配所執務時間

市内經濟、食糧局及び切符分配所は平日九時—十三時（午前九時—午後一時）十五時—十九時（午後三時—七時）まで公衆事務を取扱ひます。

(B) 切符分配所、經濟局、食糧局所在地

右に就ては市立相談所の掲示を御参照下さい。切符分配所の所在に就ては家主もしくはその代理人に御問合せ下さい。

(C) 切符の貰ひ方に就て

消費者自身切符分配所に御出で下さるには及びません。代理人を御差し向けになつても宜しうございます。

衣服と靴の購買券は購入資格のある方の代理人をして差し出されても差支ありません。但し代理人は親戚者でなければなりません。この場合所定の書式によらねばなりません。（主人代理にその妻、兩親代理に息子等も差支へありません）

(D) 牛乳の特別割當を貰ひ受けるには

子供や授乳婦に特別量の牛乳を得るためには出生證明もしくは官の證明を必要とし、妊娠の分には醫者、産婆、産院の證明が要ります。六歳以下の子供は一日〇・五リットル餘計に牛乳を

貰ひ受け、妊婦、授乳婦は同様に○三リットル貰ひ受けられます。

申込は所轄切符分配所になされたいのであります。

(E) 焚炭を購入するには

下記の規則を守りたいのであります。ベルリンでは最初の四週間の情勢如何によつては購買券の石炭切符一つに付、コークス若しくは褐炭を煉炭にしたものを二・五疋迄石炭商から購入することが出来ます。然し冬季の使用分として、既に全部もしくはその一部を所持される方は當分の間石炭商から配給を受けることは出来ません。

(F) 軍人も亦購買券のいる商品には購買券を提示しなければなりません

軍司令部諒解の下に、軍人が購買券を必要とする物資を、購買券を提示せずして購入するを禁じます。

どんな織物に購買券がいるか

(一) 注意

次項に挙げられる紡織品にして(下記(n)より(f)まで)繊維を含むものは購買券を必要とします。

(n) 羊毛纖維(羊毛、蠶の毛、肩毛(羊の)、廢品羊毛等)及び類似の動物の毛を以てする

纖維

- (b) 木綿織の纖維（木綿、木綿屑等）
 (d) 生 絲
 (f) 韌皮纖維（亞麻、大麻、黃麻等）
 (c) 木質纖維織のもの
 (e) 人造絹絲

（二）購買券のいるもの

- A 縫物、織物及びその端布
 B 完成品

- 1、敷 布
 2、その他敷物用の布
 3、家庭用、臺所その他に用ふる布
 4、日常ハンカチ
 5、肌 着
 6、靴下、短靴下、足布
 7、仕事着及び法被
 8、外出着
 9、寝巻、旅行服
 10、腹巻、腰巻、手頸暖、衿巻
 11、刺繡絲

前記の A、B の商品 1—11 までの商品は消費者が各購買券を差出す場合のみ入手出来る。
 4—6、8、10 のうち三歳未満の子供に着せる衣服と下着類は購買券を要しません。

三二八頁の切符は第一回到配給した全統制品目中から織物、皮製品及びガソリンだけを除いた全品目に對する一週間分の切符である。中央に居住町名番地と姓名を明記し、居住地の最近距離にある小賣店にて購入する事と規定されてゐた。これは各小賣店の物資配給の圓滑を期する爲めである。

織物皮革類の切符配給の實狀

織物皮革類は必要に應じ最寄りの經濟局、又は區役所へ申出で證議の上配給すると云ふ事にはなつてゐたが、當時は態々區役所へ申出でた二三の例に依ると區役所の役人が——と云つても大抵教育はあるが多少不具の老嬢か未亡人であるが——直ぐ同道し又は他日を約して一々其の要求者の自宅に行き、着物が作り度いと云ふ場合は一切の着物、靴が欲しいと云ふ場合は一切の靴を出させ、一々點檢して修理の方法を教へ、逆に説教して歸つて行つて了ふ。又少し惡性の要求に對しては遠慮なく警察又はS・A、S・S等に通知し處分すると云ふ嚴重さであつた。

自家用自動車の燃料に就いても此の日より統制に入つたがこれは別に燃料の處で詳述しようと思ふ。

切符統制履行の三段構へ

斯くして抜打的に切符統制を初め、上記のやうな親切な注意を與へ、其の二十九日朝から整然と勵行したのであつたが、我々第三國人を驚かした事はこれに止まらなかつた。

買ふ方は切符で締めて行く、これに違反するものは嚴罰にするぞ、と嚇して置いて、更に賣手の方を金縛りに縛り上げたのであつた。

即ち八月二十八日の午後から二十九日の朝にかけてナチス少年團青年團 S・S、S・A とナチス黨員の殆ど全部を總動員して一齊に小賣店、卸商、製造者の倉庫へ押かけて統制品目に關する限り品目種類數量を徹底的に調べ上げ、臺帳に綿密に記入し、店主、所有主の署名を求め、今後月一回宛調べに來るが其の時減じてゐた數量に相當する切符を整理して無切符取引をしてゐなかつた事を證明せぬと精神入替所へ行かねばならぬぞ、と申渡したのであつた。

即ち買手を切符で統制し、賣手を臺帳で取締ると云ふ表からと裏からとの取締り方法に依つて勵行を期したのであつて、水も洩さぬ周到さに驚いたのであつたが、更に時日が経過して後の事ではあつたが尙此の上に第三の方法を講じ、監視隊を準備して居つた事を發見しては舌を捲かすには居れなかつたのであつた。

第三の方法とはナチス細胞組織の活用による横からの監視である。

ナチス細胞組織の活躍と其の歴史

ナチスの細胞組織はナチス擴大運動の極く初期に一鐵道従事員の進言をヒットラーが採用し、社會の各層に職場細胞なる名稱の下にこれを擴大したもので、商店に對しては店主を除いて店員のみに組織せしめる事として居つた。従つて是等店員の細胞組織はナチス政權把握前より相當なる歴史と力を持つて居たのであつて、ナチス政府となつて以來は其の各細胞の背後にS・Aが控へて居るので益々有力なものとなつて來たのであつて。例

へば茲に甲なる洋服店があつて、七名の外交員と十名の仕立工を雇つてゐるとすると、七名より成る外交員細胞と十名より成る仕立工細胞が成立してゐるのであつて、何れも其の仕事の必要上當然と考へられる要求は遠慮なく決議して店主に要求を出す。店主がこれ

を撥ね附けると、直ぐ此の細胞の代表者は最寄りの目附所へ訴へて出る、目附所に詰めてゐるナチス黨員は直ちに店へやつて來て店主と懇談して妥協點を見出すべく努力すると云ふことになるのが常識となつてゐたのである。

例へば二十人も使つてゐる小會社組織の店があつて事務員が外套を脱いで働くのに一人宛の外套其の他を入れるワードローブの設

けがなかつたとすると、其の爲外套のポケットに入れて置いた物等が紛失する恐れがあると云ふので、此の店の従事員よりなる細胞がこれを新設する事を要求する。店主は金がかゝるので承諾しないとすると直ちにこれは最寄りの目附所へ申出る、直ちにナチス黨員が店主を訪ねて来て店員細胞の要求は妥當と思ふが新設してやつて呉れまいか、と柔かに出る。尙店主が言を左右にして承諾しない、夫れでは若し店員の外套のポケットから何か紛失した場合は貴君が全部辨償せねばならぬがいゝか、と云つて結局店員達の要求が通ると云ふやうな事となると云つた調子である。

此の細胞が今回の切符統制に非常に役立つたのであつた。と云ふよりはナチスが活用したのであつた。即ち此の切符統制の勵行を横から監視する役目を申附けたのであつた。店主は自分の店内に多數の監視員を置いて監督され乍ら商賣をして行かねばならない。國策に従つて取引を進めて行く限り、店員は從順に店務に従事して呉れるのだが、若し無切符取引でもしようとすると思ふ店員は監視人に早變りして一人が目附所へ走る、忽ちS・Aや警官が來て店主を引張つて行くと云ふやうな事になるのであつて、又事實此のやうな例が二三あつたのであつた。

人を見たら盜坊と思へ、ナチス幹部の遺口は正に夫れであつた。買手を切符で、賣手を臺帳で締めて置いて、其の上に巧妙なる監視隊の役目

を多年若い純眞な頭に植ゑ付けた民族奉仕の精神に燃ゆる店員會社員等の直接従事員に申付け三重の用意を整へて取懸つたのである。此の周到さ在于るが故に何れの國に於ても至難とされてゐる生活必需品の切符統制が整然と行はれたのであつた。

第三國の人々は獨逸は平常から既に戰時體制に置かれて居つた。しかも食料品の切符統制に就いては前大戰後半に於て經驗済みである。整然と行くのは當然だと云ふ見方をしてゐるやうであるが勿論それも或る程度事實ではある、が然し個人主義巧利主義が骨の髄迄滲み込んでゐる歐洲に於てこれだけの爲に斯くも整然と勵行され得るものではないのであつて、爲政者の用意周到さと徹底した方策及び飽迄目的を遂げずんば止まざる努力こそ其の最大原因ではなかつたらうか。

斯くして整然たる統制に入つた獨逸の第一回の一週間分物資配給量は左の通りである。

切符統制の配給量

- 一、バター（全部人造バターである） 八〇瓦
- 二、炊事用油脂（フェット、ラート、サラダ油の類である） 一九〇々
- 三、獸肉（鶏魚肉を含まず） 五〇〇々

四、チーズ、及び一般牛乳製品

六二・五%

五、砂糖、ジャム

二五〇・%

六、コーヒ、紅茶の代用品

八〇・%

七、パン又は小麦粉

一一・四〇〇・%

自由消費時代との比較と民衆の態度

此の分量は物に依つて多少の相違は無論あるが、統制前の自由消費當時の中流家庭の消費一人當りに比して約四割乃至三割五分見當であると考へられる。殊にバター、チーズ等に於ては更に低いものであらうと考へられる。當然の結果として民衆一般は非常に苦しんだ。

又肉屋が正味五〇瓦又は一〇〇瓦に仲々切る事が出来ない爲に非常に手間取るので、肉屋の前は其の日から婦人の人垣を作つた。が然し訓練の行き届いた獨逸人である、整然として先着順に行列を作り二三日すると携帯用三脚を持つて來て、編物や讀書をし乍ら靜肅に待つてゐると云ふ状態であつて、ラッシュ時に於ける東京驛、省線電車乗場

に於ける知識階級人のみのあの腕力沙汰とは凡そ別世界の觀があつて、考へさせられた事であつた。

政府の耳の活躍とその敏速なる處置

然し民衆の苦痛は相當なもので、凡そ一週間半も経た時になつてポツ／＼栄養不足を訴へる聲が街頭に聞えて來ると、政府の耳である目附所を通じて直ちにナチス黨本部や直接責任者であるフリック内相に傳へられた。直ちに内相は再びラヂオを通じて全國民に呼びかけて曰く。

配給物資が少い爲に栄養不良に陥つて鳥目や結核になると心配してゐる人がある由であるが、それは全然杞憂に過ぎない。配給數量は只漫然と決めたのでは決してないであつて、國立栄養研究所で多年慎重に研究の結果外氣溫度攝氏何度の時何カロリー必要であるかを決定し、更にこれに相當の餘裕を加へて決定した數量である。従つて健全な消化器を有する人ならば栄養不足に陥る惧れは絶體にないのであるから國民諸君は安心して仕事に専念して貰ひ度い。

若し夫れでも尙栄養不良に陥つたと云ふ人があれば、其の人は此の貴重な食糧を完全に消化吸収してゐない爲であつて云ひ換ふれば消化器系統の立派な病人であるに相違ないのであるから左様な人は遠慮なく即時消化器病院へ入院して貰ひ度い、而して一ヶ月

も絶食療法を行へば再び健全なる消化器の機能を發揮するであらう。其の上で再び國家の爲に働いて貰ひ度い。云々

國民はこれを聞いて今でさへ腹一杯にならないのに此の上絶食迄させられてはと云ふので此の不平の聲は直ちに消滅して了つた。

此の内相の放送も全然嚇し文句許りでない事は外氣の溫度が漸次下るに連れて油脂分の配給を増加して來た事に依つて後日裏書されたのであつた。

筋肉労働者の不平と政府の處置

又一週間程すると今度は筋肉労働者の側から不平が起り我々身體を使ふ者が身體を餘り使はない人達と同じ配給を受けてゐる事は不合理であるとの聲が起ると又直ちに政府の耳を通じて内相に傳へられる。今度は労働者の云ひ分に理屈があると云ふので直ちに又内相がラヂオで呼びかけ

筋肉労働者が普通人と同じ配給量では困ると云ふ聲がある由であるが、成る程これは道理である。政府も目下非常に多忙であるので其處迄手が届かなかつたのであるが、來週から早速改める事とした。云々

理由のある事は間髪を入れずに採用し是正して行く。成る程と思ひ乍ら正直に白狀するのは權威に關する等と云ふ、不思議な感情に支配されて是正する事を拒否して頑張るやうな事はナチス獨逸の官吏には許されない事であつて、直ちに總統ヒットラーに對する責任問題を惹起する建前であるから、自然大臣も一生懸命であり、同時に國民の不平も鬱積しないのである。

國民の分類と配給量の按記の妙味

果して九月二十日より全國民及び獨逸國內居住外人を七種類に分類し巧妙なる配給量の變更を斷行したのであつた。表示せば次頁の通りである（一人當り一週間分瓦量、牛乳のみ一日分、普通人及び勞働者は脱脂乳、他は全乳リーター量）。

左の表を暫く見て居ると物資の種類と其の數量の按記にナチス一流の徹底した國家社會主義に立脚した國民生活への思ひ遣りと同時に國民の一部特に富裕階級の批評や不平を全然念頭に置かず、斷乎として大衆の幸福と健康に集中した跡が歴然と浮んで來るではないか。獨逸國內事情に基いて少しく説明を加へると、榮養の大きな役目をしてゐるが、比較的値段の高いバターを全人種通じて八〇瓦とし、榮養上の價值はバターと大差はないが

此の外に鶏卵一週に貳個

妊婦	一歳— 一四歳	七歳—十歳	〇— (乳兒)六歳	重労働者	輕労働者	普通人	バター	炊事	チーズ	肉類	小麦粉	砂糖	紅茶	牛乳
八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇		油脂	乳製品				代用品	
一九〇	一二五	一二五	〇	六六〇	二一〇	一九〇			六二、五	五〇〇	二、四〇〇	二五〇	八〇	$\frac{1}{4}$
六二、五	〇	〇	〇	〇	〇									
五〇〇	五〇〇	五〇〇	二五〇	二、二〇〇	一、〇〇〇	五〇〇								
二、四〇〇	二、四〇〇	一、七〇〇	一、一〇〇	四、八〇〇	三、八〇〇	二、四〇〇								
二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇	二五〇								
八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇	八〇								
$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{1}{4}$	$\frac{3}{4}$	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{2}$	$\frac{1}{4}$								

比較的廉價である炊事用の油脂フエツトとかライト又はサラダ油の如きを普通人は從來通りと押へて置いて輕労働者に少しく増し、重労働者に思ひ切つて是迄の三倍以上を與へる

と云ふ事は收入の比較的少い筋肉労働者をして充分以上の栄養を廉價に得させる方針の表はれであり、其の代りに又乳製品であるから無論栄養價は大であるが今では寧ろ嗜好品となつて居て値段も高く、栄養上の見地から云へば他の安い油脂で充分代用出来るチーズに於ては普通人と妊婦には從來通り與へ乍ら労働者や未成年者には與へない事とした如き、又肉類に於て労働者達を特に優待し普通人の倍量以上を與へてゐるが如き、更に牛乳に於て乳兒に大量の全乳を與へてゐるが如き、何れも實によく栄養と國民各階級の懷勘定を考へて按配してゐる妙味が看取されるのである。

此の國民の聲に對して音の響きに應ずるが如く直ちに取上げて理由のあると思はるゝ不平に對しては間髪を容れずには正して行く處に國民の満足と信頼が起るのであつて、右改正の發表以來労働者階級は完全に満足し不平の聲を聞かなくなつて了つた。富裕階級も今更の如く労働力の國家的重要性を痛感し、我儘な不平を云はなくなつて了つたのみならず労働者に對する理解と同情が起つて來る。労働者も政府の此の徹底した遺口と國民の思ひやりに感激して辛い日常の働きに心の底から振ひ立つて懸命となる。能率は俄然上つて來ると云ふ羨ましい結果を自然に持ち來したのであつた。

筋肉労働者の生活實相

然らば労働者の生活が一躍して普通中産階級と同様になつたかと云ふと決して左様ではなくて、當時二三の工場を訪ねて職工達の書食を見た事もあるが實にひどい粗食であつて榮養上充分であるかも知れないが我國の労働者達ならば一寸箸を付け得ないであらうと思はるゝ程度のものであつた。パンと云つても小麦粉許りで出来てゐる我國のやうな上等のものではなく、大豆粕や馬鈴薯の多分に混ぜられたパンを無論バターは附けず嚙り乍ら一皿のスープと云つても馬鈴薯や豆類や野菜の切れ端と一緒に煮込んだ上にラードでも入れたものであらう、いやな臭ひのする油がギラ／＼浮いたものであるが、これを啜つて済してゐると云ふ程度であつた。此の粗食に耐え戦争と同時に労働力の不足を豫想して緊急令を以て國內一般に實施された労働時間二時間の無償延長に耐え、不平も云はず振ひ立つて懸命の努力をして居る労働者達の姿は尊敬の念をさへ湧き起させるに充分であつた。

配給量の科學的統制

斯くして切符統制も政府必死の努力に依つて美事な効果を擧げて來たのであるが、十月

に入ると外氣溫度が少し下つた。例年ならば十月に入ると漸次曇天勝ちとなり、十一月に入ると最早來春迄は陽の目は絶対に拜めぬのであるが、一九三九年に限つて十一月の半頃迄不思議に晴天が続いたので、外氣溫度の下降も例年程ではなかつたが、攝氏十二三度に下つて來て寒暖に敏感と云ふか用心がいと云ふか民衆は軽い外套を引つけて外出する頃となつて來ると政府は早速此のバター一週一人八〇瓦を一〇〇瓦に増したのである。これを見て民衆は成程内相の放送の通り外氣溫度の變化に連れて政府は嚴密に國民の健康を心配して呉れてゐる、これならば安心だと云ふ信頼心を更に増す、益々切符統制が勵行されると云ふ状態であつた。

獸肉代用魚肉獎勵の實際

切符統制の當初から政府の最も心配したのは牛豚肉の不足であつたらしい。一九三八年の夏家畜類の大疫病流行があつて、多數の牛豚類が斃死してゐるので、戦争の進展に伴ひ最悪の場合はバルカン方面、スカンヂネビヤ方面からの供給が斷たれる事は覺悟せねばならぬと云ふので、一週一人當り五〇〇瓦迄縮めたのであつたが、其の代り一週一度の肉なし日を設け魚肉食を獎勵したのであるが、其の後此の供給遮斷の心配も幾分薄らいだの

で、九月下旬より労働者に倍量を配給したのであつたが、尙一般に魚肉食が普及しないと云ふので、十月初めから更に一週二日の肉なし日を制定したのである。處が海水の冷たい爲か獨逸の魚場であるバルチック海南部、獨逸の所謂東海に獲らるゝ魚肉は實に不味く、我々日本人には食へたものでない。又料理方法も極めて幼稚で、魚を食ふ方法を知らないかと思はれる位であつたが、政府の猛烈な獎勵から漸次料理方法も改まり、鰯の肉等と云ふ日本人には一寸思ひ付けぬやうな魚肉さへ料理屋の御馳走の部として取扱はれるやうになつたのも此の頃の事である。

切符統制違反者處罰の實例

食糧品の切符統制は前述の三段構への締め方で嫌應なしに整然と進められたのであるが當時新たに外國よりの來遊者で事情の充分判らぬ人達を相手とする大ホテルの給仕人等の間に外來旅行者には多少手加減して多く、然かも使用上の便利を考へ小刻みに作られて配給されて居た切符これをライゼカルテと稱して居たが、此の切符を胡魔化して切符通りのものを與へないで、其の差額に相當する食糧を盗んだり、又は切符を賣買するの風が多少現はれて來たのであつた。勿論極めて少量のものであるが、これを細胞の活躍に依つて

知つた政府は、凡てが嚴罰主義であるだけに放置する筈はない。給仕人を精神入替所へ放り込んだ事は勿論であるが他にも如何はしい行爲があつたと云ふので責任者である經營者に經濟的死刑を宣告したのである。即ち資本全額だけの罰金を課したのである。こ

れには流石の獨逸一般民衆も驚ろいた、經營者連資本全額を銀行に積んでゐる譯もなし此罰金は拂ふ方法がない、直ちに此のホテルは什器其の他一切附屬の儘沒收されて競賣に附され、落札した次の經營者が權利義務債權債務關係其の儘で直ちに次ぎの經營を始めると云ふ快刀亂麻を斷つ解決を見せたのである。此の事件を態々ラヂオで國內一般に通

達したので、全國のホテル業者は震ひ上り此の種の行爲が根絶さるゝやうになつたのである。一見餘りに過激であり、苛酷であるやうに我々には考へらるゝのであるが、一業者を血祭りに擧げて全國の同業者を自肅せしむるを得ば全體的に見て非常に有效なる事は見え透いた事で、血祭りに擧げられた業者は全く可哀想であるが、全體の爲には已むを得ないと思ふのがナチス一流の遺口である。統制經濟も眞に勵行させやうとせば實際はこれ位の覺悟と決心が政府になければ遂行出来る筈のものではないのであらうと思ふ。

其の後十一月になり十二月に進んで更に油脂配給量を増し、三月四月となつて又漸減して來た模様である。

纖維類及び皮革類統制の是正

一方纖維類皮革類は一時絶對的と云つていゝ程嚴重に消費を抑へたが、可なり不平の聲を聞くに至つて、政府は更に研究の結果、國民物資保有標準を制定し、洋服五着外套二着靴三足シャツ五枚と云つた程度の物資保有標準を公表し、現在所有してゐるものが、修理を加へて使ふ餘地のなくなつて減じて來て此の標準以下になつて始めて切符を請求する權利を認める事をやつて見たが、漸次富裕階級の死藏物資が消耗されて行く程度を見て、もういゝと考へたのであらう、一九四〇年四月より點數制を定めたやうである。即ち一人一年間の纖維消費總額を一〇〇點として洋服、外套、シャツ、ハンケチと云つた風に其の厚さ、面積等を考慮し、例へば脊廣三ツ揃六〇點、ハンケチ二點、靴下五點と云つた風な定め方であり、一年百點以内は各人の必要と希望に依り自由に使ひ分けを爲し得るやうに制定されたのである。

石鹼の統制

石鹼に就いては最初から標準石鹼月一個と制定されて居つて、ナチス經濟組織の指導方

針の一つである未働商品の累積化防止が石鹼にも現はれて居つて切符統制と同時に月一個の石鹼切符を持つて市民の氣の早いのが百貨店や化粧品店に押しかけると、三四日で以前山のやうに積んであつた石鹼類が全部影を消し二三日は石鹼品切れで其の後になつて一齊に標準石鹼（¹⁾アインハイツザイフェ）と稱する國定標準石鹼が出現し、從來の種々雑多な石鹼が完全に統一されたのである。此の標準石鹼は其の大きさに於て我國の花王石鹼より稍小さく（兩面の膨らみを取り去つた程度）品質は洗濯石鹼と化粧品石鹼の中間位、色は鼠色であつて一寸顔を洗ふには勇氣を要する程度のものであつた。

營業洗濯屋には別に粉石鹼を配給したやうであるが、無論充分とは行かないので、洗濯屋がやがて石鹼を要求するやうになり、シャツ其の他を洗濯に出す時は此の貴重なる石鹼の一部を削つてやつたり自分の名を入れた金札を針金で通して貸與したりする必要に迫られたのである。ホテル、料理屋、カフェー等公衆の集まる場所に於ける手洗場にも石鹼は忽ち影を消して了ふと云ふ有様で、然かも此の一人一ヶ月一個の標準石鹼と云ふのは極めて少い量であつてこれには民衆もコーヒーの無い事と共に最も困つたやうであつた。然し常識程度の一般に高い獨逸民衆は石鹼が動植物性油脂を原料としてゐる事を良く承知してゐるので貴重な食料の一部分と同様であるから節約せねばならぬのは當然であると云

つて何等不平を云はないと云ふ状態であつた。

斯くしてナチス獨逸の切符統制は片手に破邪の利劍を振りかざしつゝ國內事情の變化と國民の聲に對應して刻々に變化は正せられて美事なる効果を擧げて行くのであつて、政府當局の眞劍なる態度、國民大衆の忠實なる態度、共に見上げたものであると共に斯くして節約せられた物資の獨逸全體としての數量は勿論發表せられなかつたが莫大な數字を爲すものと考へられ此の國內上下一致協力の氣持ちだけでも今次の戦争は英佛の非常な苦戦に發展して行くであらうと最初から想像されたのであつた。

食料品統制の裏面

食糧殊に油脂類を何故斯く迄締めなければならなかつたか、九月十九日ダンチッヒ自由市の獨逸への復歸宣言の日ヒットラー總統は獨逸は充分なる食糧を用意してゐると言つて居るではないかと云ふ質問がある筈であると思ふので少しく説明を加へる事とする。

ヒットラー總統の言は決して嘘や出鱈目ではなかつたので、事實三年分位の食糧は用意したやうであつた。近年に於ける滿洲大豆の買溜め、ウクライナ穀倉よりの各種穀類、南米各國よりの穀類等のバーター制に依る輸入等は莫大なものである以外に、ナチス政治

となつて以來勤勞奉仕團の活用によつて國內不毛の土地も急激に開拓され作付面積は相當に増してゐる。　旁々國內全體の消費額の三四年分を貯藏してゐる事も大凡想像されるのである。

又一方に於て長期戦を不利とする國際狀勢を充分に知つてゐるヒットラー總統が迂闊に長期戦に誘ひ込まれるやうな愚は萬に一つもなからうと考へらるゝので三年分四年分の貯藏があれば充分でないかと當時我々獨逸在留邦人は考へたのであるが、何事にも最悪の場合を想定し、これに對し充分なる安全性を保留して事に處するナチスである。

殊に食糧には前大戰に於て人間の堪え得る最も苛酷な經驗を経てゐる獨逸である。　慎重の上にも慎重を期してゐるのは當然であつた。

然らば獨逸の食糧品の國外依存度はどうであらうか、ナチス政權となつて以來食糧の自給自足を最大急務として凡有努力を惜まなかつたにも拘はらず、又獨逸民衆に對しては政策上自給自足度七十五%に達したと宣傳して居るにも拘はらず、悲しい哉國土其の物が一體に砂地が多く農耕には特に不適當であつて、其の爲に人造肥料が漸次發達したのであるが、尙それでも油脂分の多い農作品は殆ど得られないと云つていゝのである。　平和時に於ける實際の食料品國外依存度は植物性油脂に於て九十五%、即ち殆ど全部輸入であつてしかも此の又大部分が滿洲大豆である。　しかも氣候の關係と嗜好の關係で特に油を要求

する國柄である。此の植物性油脂に於ける需要と供給の關係を考へる時、獨逸が暑い氣候の土地を殖民地として持ち度い氣持は充分に同情に値すると共に、第二次歐洲戰爭が宿命的な課題でもあつた事が判るのである。

動物性油脂に就いては近年大いに水産方面に進出したので幾分低下して約八十%が國外依存であり、家畜飼料が七十五%國外依存である。獨ソ不可侵條約の直後、ソ聯より飼料百萬噸供給の提案を受け狂喜したのも故あるかなである。其の他野菜果實の三十五%鶏卵の二十五%等がある。

ナチス政治となつて七年、國內各方面に於けるナチスの努力は何れも人間業でない偉大な結果を來して居るのではあつたが、天然自然の條件は仲々變へ得ないのであつてこの爲にこそナチス政府は斯く迄も慎重なる態度を初めから執つたのであつた。

第二十二章 生活必需品以外の物資需給状態と其の戦時體制

一 鐵 及 び 鋼

戦前の状態

一九三九年初頭に於ける獨逸の鐵及び鋼の年産額は約貳千四百萬噸であつて、内四割が輸出用機械類の原料として向けられて居つたのであつた、原礦關係からは第一次大戰の結果アルサス、ローレンと上シュレージア地方の一部を失つた獨逸としては國內に富礦が少いので己むを得ず約六割を瑞典、スペイン等より輸入して居つた。勿論四年計畫の原料類自給自足の重大項目として礦石を輸入する必要のないやうに貧礦處理を助成し、有名なクルップ會社の直接法、米國¹⁾ブラッサート技術會社の工夫に依る酸性貧礦處理法を併用して年産千萬噸の國立ゲーリング製鐵所を大規模に着手したのであつたが未だ完成を見ない。

開戦と同時に採つた方策

戦争と同時に或は此の國外礦石は輸入出来なくなるかも知れない、と云ふので、國內の

1) Fried Krupp A.G. 2) Brassart

到る處に建築材の補助として使はれてゐる鐵や鋼を國家へ回收する法令を設け、早速着手した。獨逸の住宅は大體煉瓦とセメントと僅かの木材で出來て居るのであるが、何分にも古くより鐵、鋼の生産が多く又鍛冶の發達した國柄であり、民衆は又着物一枚買ふにも耐久力を主眼として選擇すると云ふ位に何事も耐久力を本意として考へる傾向を持つて居つた爲に、少し餘裕のある民衆は其の垣、門、は勿論、窓際に草花を植ゑた箱を置く爲の持出臺等に鋼の火造り細工に依る工夫を凝らして喜ぶ風があつたので、住宅に使はれてゐる鐵及び鋼は相當な量である。これを早速國法に依つて回收し始めたのであつて、基礎の煉瓦積みを成るべく壞はさないやう片端から鐵垣、花臺等を取り去つて其の後には一袋のセメント袋を置いて行く。又場所によつては貧弱な木材を少し與へて行く。民衆はこれ亦國家の必要とあらば己むを得ぬと觀念してゐるやうであつた。

ポーランド征服後の早業

然るに對ポーランド軍事行動が意外に早く片附き前大戰の結果ポーランド領となつて居つた上シュレージャ礦産區域の大半が、再び獨逸のものとなつたので豫め待機させてあつたルール地方の製鐵製鋼の専門技師工人の大郡を送り、同地方の石炭礦區の操業再開と共に破壊せずに接收した上シュレージャ地方製鐵製鋼工場を早速運轉したのであつた。

戰前ポーランド人に依つて年産二百五十萬噸の鋼を產出して居つた同地方から獨逸の技術に依つて五百萬噸出すと宣言したのである。其の後瑞典の富礦の獨逸への流入を防遏せんとして行動した英佛が獨の疾風迅雷の作戰に依つて、先手を打つて居乍ら全面的に敗退して瑞典の富礦は完全に獨逸の獨占に歸し、逆に英國が礦石に困り初めた事は新聞紙上に依つて衆知の通りである。

鐵から見た獨逸の長期戰に對する勘定

又戰前六分通り迄完成して居つた上記の國立大製鐵所を急速に完成せしむべく懸命の努力を拂つた事も事實であつて、加之獨逸製機械の輸出經路の梗塞と共に漸減して來た爲めに年額約一千萬噸の輸出機械向鋼鐵資材は其の大半が自然浮いて來た勘定であり、尙其の上に白義耳、和蘭に於ける戰捷の結果夥しき兵器類の鹵獲に成功してスクラップに充分な補給を得た上、莫大なアルサスローレン、ルクセンブルグを始め白耳義及び北佛の鐵資源を一括押へたので益々鐵及び鋼の供給の心配を解消するのみならず却つて持て餘して居る状態と考へられ、此の方面に於ては假令長期戰となつても何等の不安がないと想像される次第である。

然らばそれ程潤澤な鐵材を以てどれ程戰爭消費物資を作る能力を持つてゐるか、是亦極

秘事項であつて窺ひ知る術もないが、こんな話があつた。獨逸の對ポーランド軍事行動の最初の三日間は空軍のみ出動して、飛行機上の機銃の掃射に依つてポーランドの空軍基地、飛行機工場を第一に、次いで獨波國境に向つて居たポーランドの大軍の主力を破壊したのであるが此の三日間に使用した獨機關銃彈の總量は、前大戰に於いて最も揉み合つたベルダンに於て、四年間に獨逸、聯合國の双方の打ち捲つた小銃機關銃彈の合計よりも少し多かつたさうである。機銃の性能も長足の進歩を爲し、又それ程思ひ切つた作戰をやつた爲に早く片附いたのでもあるが、其の三日間の機銃彈消費高が、獨逸に於ける一日の製造能力の約八割にしか當らないと云ふのである。以て其の偉大なる製造能力を推して知るべきである。即ち材料の方面も其の材料を使つて戰爭消費に必要な物資を作る設備も共に充分に用意してゐるのである。かくして今後に於ける獨逸の對英作戰は益々有利となり、七つの海に領土を有しながら逆に英國の作戰的地位は次第に不利となりつゝあるやうに思はれる。

二 非 鐵 金 屬

銅、亞鉛、ニッケル、マンガン、タングステン等近代科學に必要缺くべからざる資源に

就いてはどうであらうか。銅は自國産を殆ど有しない。平時は輸入に困らないが戰時に於て如何に對處するかに就いて平素からナチス幹部は方針を立て銅の代りに亜鉛や鉛、ニッケル等の合金を以つて置き換へるべく極力努力して居た結果、經濟上の幾分の苦痛を忍べば使用上何等差支へのない處迄漕ぎ附けたので、戰爭と同時に業者自治の力に依つて直接銅の消費を漸次轉換させやうとしてゐるのであつて、量に於て左程重大でないやうに迄漕ぎ着けてゐると考へられる。

亜鉛に就いては亜鉛の一大輸出國であつたポーランドを征服し、其の礦業の中心であつた上シ、レージャ地方を其の勢力下に置いた爲に其の全部を必要としない、幾分輸出出來る状態に在るのではあるまいかと考へられる。

ニッケルも亦貴重なものにも拘はらず従來自國産が極めて貧弱であつたのだが、鐵に成功したクルップ會社の直接法を獨逸シュレージャ地方に産する極めて貧弱な鐵とニッケルの礦石に應用して見た結果僅かな歩合で含んでゐる此のニッケルと鐵の部分が殆ど完全に分離され、純鐵に近い鐵が純ニッケルに近いニッケルを抱いて取れて來るので特殊鋼材料として理想的なものであり、是亦幾分採算を無視して懸れば貧礦であるだけに量が澤山あるので、是も一應の解決が着いて居る譯である。マンガン、タングステン何れも貴重であ

つてしかも自國產を持たない、が然し其の需要量は決して多量ではないが、種々不思議な經路を通つて輸入さるゝ量と從來の貯藏で何とかやつて行けるのではなからうかと思はれる。從來獨逸が政治的に日獨伊樞軸を宣傳し乍ら一方に於て支那に軍事顧問を送つたり經濟的に密接なる關係を結ぼうと努力して來たのも一つに此のタングステン礦取得の目的あるが故ではなかつたらうか。

日支事變勃發後直ちに實現する筈であつた獨逸の軍事顧問引揚げその他が仲々實現しなかつた事、ナチス黨幹部に於て議論沸騰し、遂にヒットラー總統の鶴の一聲で漸く決定した事實が思ひ合はされるのである。

三 輕金屬需給關係

輕金屬工業の實體も亦直接軍需に關係ありとして一切數字は發表されてゐない上に、如何なる獨逸人に聞いて見ても知らないと言ふ、防諜教育も此處迄漕ぎ着け得れば羨ましい事であると思ふ。

然し大體の數字は工場の數や規模から考へて推測出來ぬでもない。茲には單に讀者が獨逸の輕金屬工業はどれ程の發達をしてゐるか大體の概念を得らるゝ様に私の推測に依る

従つて責任のない數字を擧げて置く事とする。私の推測では

アルミ系輕金屬の年産

二十萬噸

マグネシウム系輕金屬の年産

二十五萬噸

と見て大した間違ひはないと思ふ。但し重量噸であるから其の容積は相當なものである。原料は大體自給で足りる状態であり、種々の輕金屬の合金が極めて急速な發達を見せてゐる。是だけの量があれば戦時民需を押へて航空機製造能力を遺憾なく發揮し得る勘定となる。従つて輕金屬關係からも戦争遂行に不安を持つてゐないと見るべきであると思ふ。

四 燃 料 問 題

便宜上固形燃料と液體燃料に分けて考へて見度い。

固 形 燃 料

石炭と褐炭は何れも獨逸に於ては充分なる資源を持つて居つて戦前に於て石炭一億八千萬噸と褐炭其の他二億一千萬噸の年産を持つて居つたのであつた。我國では褐炭も石

炭も區別されてゐないが、獨逸に於ては何事も科學的で、石炭即ち¹⁾スタインコーレと褐炭

即ちブラウンコーレとは嚴格に區別され用途に依つて使ひ分けられる。褐炭其の他（其の他には泥炭等を含む）であつて、例へば製鐵用、鐵加工用、瓦斯用等は石炭が用ひられ、家庭炭、暖房用炭、交通用炭（汽車汽船）化學用炭、殊に人造石油原料等は主として褐炭又は泥炭を天日で乾し固めた大型煉炭等が用ひられる。

此の外對波軍事行動に依つて得た舊ポーランド領上シュレージャ地方炭田より良炭年産三千五百萬噸を得るので直ちに優秀な技師工人を派し、ポーランド時代でさへ年産三千五百萬噸あつたのだから獨逸の技術で堀れば尠くも七千萬噸は出さねばならぬと力んで掛つたのであつた。ポーランド時代には農産國であつたので三千五百萬噸の石炭さへ自國で使ひ切れず、年度バーター契約で伊太利へ輸出して居り、石炭の殆ど產出しない伊太利が特殊船を作つてこれを運搬して居つたのであつたが、獨逸の征服後も引續いて伊太利へ輸出し、其の一部分が英艦に押へられ當時まだ參戰して居なかつた伊太利と英國との間に一時緊迫した空氣を描き出した事も新聞紙上を賑はしたので世人の記憶にまだ新たな通りである。

其の後白蘭制覇に依つて、白耳義と北佛及びルクセンブルグの炭田を手に入れて居るので、恐らく現在に於ては獨逸の勢力下に在る固形燃料年産は大約六億噸に上るのでないか

と思はれる。従つて持て餘す程の石炭資源を抱へてゐる筈である。

戦争直後にはそれでも萬一を慮つて家庭暖房用炭に對しても切符統制を行つたのであつた。今にして思へば餘りに用心し過ぎた觀がないでもない。

液體燃料と自動車の統制

液體燃料が今回の獨逸の最大の弱點とされてゐる事は衆知の通りであるが、其の實相はどうであらうか。

戦争と同時に獨逸國內の液體燃料は一切軍用として空軍に於て管理する事となつた。而して九月一二三の三日間に凡有自家用自動車を再検討し「獨逸民族に幸福を齎らす目的に用ふる車に限り其の目的を果たす用途に於てのみ」運轉を許さるゝ事となつた、此の三日間、獨逸全國一齊に最寄の村町役場、市役所區役所等に自動車所有者が押しかけ一定の書式に理由を記入し自動車手帳と運轉免許證を用意して係官に陳情し許可を得るのであつた。諸否が即座に決定されて、許可した車には自動車手帳記載の自動車機關の氣笛置替容量——デイスプレースメント——に應じて一ヶ月分のガソリン購入券を其の場で支給されたのであつた。其の許可量の一例を挙げれば、二、五〇〇¹⁾C.C.の車で月百二十リッター即ちフオード、シボレー級で一ヶ月二十四ガロン見當である。

1) Cubic Centimeter

此の時許可された自動車は約貳割であつた。

殘餘八割の自動車は其の燃料槽内に殘留するガソリンのある間だけは走れるがそれ以上は動けない事となつて置場にも困ると云ふので軍部に買上げを希望する者は早速試験の上で、中古自動車標準値段に依つて續々買ひ上げる事となつた。但し現金で支拂はれないで、後日現金と引替へられる軍票のやうなもので支拂はれる事に規定されたのである。又獨逸民衆の幸福を賣らす場合に於てのみ使用を許されたのであるから、許可された自動車と雖も個人の享樂に使用する事は出来ない。

九月初旬の土曜の午後日曜の朝夕には都市より郊外への出口の道路に交通巡查やS・A隊員が張つて居つて来る車全部を停め一々行先、用件等を訊し享樂の爲と思はるゝ者は其の場で運轉免許狀を取り上げ、悪性なのは其の場で車を沒收すると云ふ峻嚴振りである。又芝居、映畫館、料理屋等の前には時間になると同じく巡查やS・Aが來て居つて吞氣に乗り附けて來た者は遠慮なく運轉許可證を取り上げ、ガソリン切符を取り上げると云ふ状態であつた。一週間位こんな状態が續くと最早大體此の種の違反者がなくなつて了つた。

一ヶ月經つた十月になつて又許可の再検討を行ふ事となつて今度は「獨逸民衆の幸福を賣らす爲」に動かす車でも機關置換容量が二、五〇〇C・C及びそれ以上の車は絶対に許可

しない事となつた。又許可する車にも更にガソリンを締める事となつた。例へば二・〇〇〇・〇・〇の車で九月初め許可を得て一ヶ月百リーターのガソリン切符を貰つた車が今回再び許されて一ヶ月分二十五リーターのガソリン切符しか呉れなくなつて了つたと云ふやうな状態であつた。此の再検討に依つて許可された自動車は戦前の約八％であると云はれてゐる。しかも機關容量の小さな車許りであつて、加之切符を約二割五分程度に締めたる爲民間自動車に依る燃料消費は戦前の約五％乃至三％迄下つたと見るべきである。パスも殆ど停止し、タクシーも數を思ひ切つて減じ、其の爲の民衆の不便を思つて同方向へ行く客はなるべく同乗させて行く事を奨励した。

又ガソリンの代りに壓縮瓦斯を用ひて走る事を奨励し、壓縮瓦斯で走る車は全然許可不要となつた爲タクシー並に家用自動車¹⁾が漸次出現して來て壓縮瓦斯の容器であるボンベを或は後方に、又は屋根の上に乘せて走る異形の車が吾物顔に走るやうになつたのである。

十一月初旬になつて、更に幾分ガソリンの配給量を減じたのであるが、一方に於て是程液體燃料の節約を計り乍ら理窟のある事には何處迄も主張が通り、凡てが常識的に且つ卒直に處理されて行く事は羨ましい状態であつて、十一月初め筆者は小型の自用車を運轉し

1) Bombe

てナポリに出で歸國の途に上る決心をしたのであつたが先立つものはガソリンである。

是程ガソリンを締めて居る當時、獨逸國境迄運轉して行く燃料を得る事は到底不可能と考へられたのであるが、其の當時迄使つて居つた自動車を買受手もなく、軍部へ買上げで貰つて軍票を貰つても仕方がなしと云つて捨てて歸るにも忍びなかつたので、先づ貿易局へ行き國外持出し許可を申請した。

獨逸では外貨で買つた證明のある車は直ちに國外に持出し得るが馬克貨で購入した車は一般に國外持出しを許されない。其處で押問答の末漸く許可證を貰ひ、今度は國鐵會社へ行つて貨車一臺借受けの交渉を試みた。

案の條軍事輸送で車が足りないから個人の財産を運搬する爲に貨車を貸與する事は出来ないと云ふので、然らば其の旨證明して貰ひ度いと申入れて直ちに其の證明書を貰ひ、其の足で空軍燃料局へ行き、此の許可證と證明書を見せ「貴國の政府の一部局が國外持出しを許可し他の部局が貨車を貸せないと云つてゐる以上自分で運轉して行くより他に方法がないではないか、時節柄御氣毒ではあるが特に二百リーターだけ切符を頂き度い」と申入れたのであつたが、成程理由はあると云ふので暫く上役の人と相談した上直ちに「御要求通り差上げよう、但し貴君の車は一、五〇〇C・Cであるから自動車専用道路を通つて行かれば國境迄七百五十キロであるから百リーターで充分だと思ふが、二十リーターだけ餘裕を差

上げよう合計百二十リッターで我慢して貰ひ度い」と云つて即座に百二十リッターの切符を渡して呉れたのには感心して了つて、心から禮を申述べたのであつたが、驚いた事には國境迄來た時、丁度二十リッターだけ切符が残つた事であつた。

此の一例でも判るやうに、若い大した地位でない人達がこれ位の精確な知識と計算の能力を持つて居る事である。と同時に理由があれば少々無理だと思ふ事が立派に通る事は毎々驚きと羨望の思を新たにさせらるゝ次第であつた。

ガソリン 需給關係

斯様に迄民間消費を押へる事に依つて然らば獨逸はガソリン需要のどれ程を節約し得たであらうか、戦前に於て民間ガソリン需要は年約四百五十萬噸と推算せられる、戦争と同時に旅客用航空路も全部停めたので、此の需要總額の内約四百萬噸は尠くも節約し得たと考へられる。

平時に於ける軍用ガソリンがどれ程であつたかは極秘とされて居つて推算出來ないが、約百五十萬噸乃至二百萬噸位ではなからうかと思はれる、従つて獨逸の年需總量は六百五十萬噸乃至六百萬噸であるとしてよいのではなからうか。此の供給關係を見るに近年大いに擴張された人造石油が平素約百五十萬噸の年產を持つて居たと考へらるゝので、戦時

状態として極度に廻轉を早くしても、倍量三百萬噸が精々であらう。これに舊ポーランド

領上シュレージャに隣るルーマニヤ境の油田——一時ソ聯の割前となつたが其の後ソ聯のファンランド作戦に對し獨逸の横槍が入つて結局、獨逸に譲られた部分であるが——からポーランド時代年産六十萬噸を出して居つた。獨逸の技術に依つて百萬噸に増産され

たとして合計四百萬噸である。其後ルーマニヤとの通商協定に依つて年百六十萬噸を同

國から得る事となつたので、全部で五百六十萬噸となる。是れが精一杯の處であつて此

の上は從來の貯藏から補給して行く外はない。と思つて居たのであつたが、白蘭作戦の

結果多數のガソリタンクを鹵獲して凡そ半年分のガソリンを得たと云ふ事である。然

らば貯藏がどれ程あつたか、是こそ極秘であつて見當も附け得ないのであるが、用意周到

なナチス政府が燃料問題を解決せずして空軍を最大攻撃力とする戦争を始める筈がないので少くも戦時需要の一年分位は貯藏して居るのではなからうかと思はれる。

空軍が大活躍を續けてどれ程のガソリンを消費するか、其の規模と程度に依る事での確な推測は出来ないが大凡六七百萬噸程度のもものではなからうかと筆者は考へてゐるのである。

右のやうに想定する場合には勿論假定や推算が多いので斷言は出来ないが、此の獨逸の

最大弱點とされてゐる液體燃料問題も第三者が案じる程差迫つた弱點とは考へられないやうな氣がする。尠くとも茲一年や一年半は大丈夫ではなからうかと思はれるのである。

最近ルーマニヤが親英主義より親獨主義に早變りしたやうであるからルーマニヤの油も年百六十萬噸に制限されないで、全年產約七百萬噸が獨逸へ供給されぬとも限らぬ。若しさうなればこれで獨逸の惱みの種は解消したやうなものであると解すべきである。

五 戰時燈火管制の徹底振り

對ポーランド軍事行動開始と同時に、即ち一九三九年九月一日より獨逸全國は戰時燈火管制に入つたのであつて、各住宅は勿論、工場、會社、事務所、商店を問はず凡そ人の居る處は一切、内部の凡有電燈を點燈して且つ外部へ絶対に光の洩れぬ事を規定し、例に依つてナチス青年團と云つても商店員や工場労働者達であるが一齊にナチスの腕章を卷いて出動し九月一日二日三日の三晩に亘り各住宅其の他を検査して歩いたのであつた。彼等は指導者がしつかりしてゐると見え遣口が仲々垢抜けがして居つて、三人五人が一隊となり一人が屋内に入つて來て全部點燈して呉れと云ふので點燈すると他の連中が表側と裏側へ廻り、何の窓は少し洩れるとか下の方の端から光りが出るとか云つて内外呼應して綿密

に検査し、其の部分を指摘して明日夕迄に完全にして貰ひ度い旨申入れて歸つて行く、翌日再び來て同じ事を繰り返す、三日目には殆ど完全に光が洩れなくなつて了ふと云ふ状態に持つて來たのであつた。

街路へ出て見ると勿論凡有街路照明は消され、電車は紫色の、光りとは云へない位の、前燈を點し矢鱈に警鈴を鳴らして徐行してゐる。自動車は激減して稀れに通るのもヘッドライトに一センチ巾五センチ長さの横長の穴を切つた覆ひを被せる事を規定されてゐる爲に速力は出せないで徐行してゐる。歩行者同志時々衝突してお互に御免なさいと云つてゐる、懷中電燈を持つてゐる者は螢の如く時々足下を照しては歩いて居ると云ふ状態であつた。

用意周到なナチス政府は此の暗黒を利用して拘摸の横行するであらう事を豫防する爲燈火管制を發令すると同時に此の燈火管制を利用して拘摸を働く者があれば國家の方針に反逆する者として嚴罰に處する事を併せて發表する事を忘れたかつたのみならず、普段人の出盛る場所へは平服のナチス黨員を無數に立たせて置いて、此の警告にも拘はらず婦人のハンドバッグを拘摸つて逃げる不心得者を其の場で押へ、眞偽の程は知るに由なきも矢繼早に死刑にしこれをラヂオで全國民に通告したので、三日目位から此の種の犯罪も其の後

を絶つに至つたと發表した。

何れにしても實に徹底した統制を行つたのである。

第二十三章

ヒットラー總統の私生活

一九一四年、前大戰の勃發と共に一志願兵として出征して以來、ヒットラーの私生活は殆ど絶無の状態であつた。殊にナチス組織以來の彼は、彼の好んで用ふる言葉のやうに闘争の連續であつた。小右傾政黨としての政敵との争ひ、官憲との衝突、更に勢力を得てからは共產黨との烈しい闘ひ、ナチスの天下となつてからは聯盟との對立、更に英佛との抗争と數へ來れば殆ど息吐く暇もない活動であつた。が然し、彼亦人である。激しい活動を要求されてゐるだけ、其の一面又靜かな休息を必要として居つた。ナチスが全國的に擴大され國內各層に信仰者を得た一九二九年頃、彼は平素熱愛してゐる南獨の山地ザルツベルグ州のベルヒテスガーデン¹⁾の山の中腹に小さな、質素な別荘を營んだ。當時は國民にも餘り知られてゐなかつたが、一九三四年頃からポツポツ國民に知られて來たのであつた。ヒットラーが政權を握り國內を統一して、ヒンデンブルグ大統領の薨去後は大統領とこそ名乗らないが、實質に於て大統領以上の國民の信望を集め、半ば神の如く尊

1) Obervellberg

2) Berchtesgaden

崇さるゝ大獨逸帝國の元首としての彼の別荘としては、如何にも質素過ぎ、寧ろ貧弱過ぎる位の小さな、粗末な山小屋式の建物ではあるが、無慾恬淡な彼は唯一無二の憩ひ場所として、寸暇を盗んでは此處に靜思のひとときを送る事を無上の楽しみとし、此處に靜思と讀書に時を送り、倦んでは粗朴な山男や村の子供達と膝を交へて語る私生活を見せてゐるのである。

ヒットラー總統の獨身生活に就ても世に種々の噂さを蒔いてゐるやうで、我國の一流の新聞さへも彼を取巻く多くの女性の内の一二の人々が、總統の特別な寵愛を受けてゐるかの如く書いた事さへあると云ふ事である。彼は獨逸人の目から見れば世にも稀な、

と云ふ程でもないが、先づ百人に一人位の美男である由で、殊に、絶對的に清潔な生活と嚴格な菜食主義とから來る血色の美しさ、不屈の精神力の現はれである男性的の強い眼、讀書と思索に耽る澄み切つた瞳等は、彼の偉大な業績や八千萬民衆の魂を揺り動かさずには措かない信念や、總統としての絶對的な地位等から切り離しても、個人ヒットラーは獨逸女性に取つては等しく崇仰と愛慕の的となるに充分な條件を具へて居ると云ふので、彼に接近せんと死物狂ひの女達も相當な數に上つたやうであり、美的觀念は特に女性の生得の長所であると主張する彼ヒットラーは有能な女性をドシ／＼遠慮なく登用して居る。

で、種々の風説を生んだ事もあつたのは事實であるが、亦彼が欲すれば尠くとも獨逸人である限り如何なる女性も狂喜して身も魂も捧げ盡すであらうし、又世もこれを敢て異としないであらう事も共に事實であるが、最近に至つて漸く八千萬民衆の隅々迄、總統が女性を近づけないのは決して意識的に近づけないのではなく、又性的に不能不具でもなく、それは總統の日常住んでゐる境地在、かゝる地上的なものとは凡そ遠いものであつて、常に高遠な民族の理想に想ひを馳らせ、哲學的な思索に耽つて居つて、實際上總統にけ不自然でなく女性を必要として居ないのである事が知れ渡つたやうである。

斯く云へば、恰もヒットラーを餘りに神聖視し過ぎて居るやうに思はるゝ讀者もあらうが、彼の今日迄の惡戰苦闘の歴史と、更に今後築き上げんとする大獨逸帝國への理想に燃ゆる現在の彼の日常を思ひ、大地球儀を前にして食事を忘れると云はるゝ彼の精神集中振りを考へる時、事實彼には異性を想ふ餘暇なき事も少しは想像出來様ではないか。それ程の精進あればこそ、今日迄の彼に驚異の成功の連續があり得るのであつて、普通人の自己を標準として想像するが如き私利私慾を考へ、異性を想つて居つたのでは、如何に精力絶倫の人であつても、今日の彼の大成功はあり得なかつたらうと考へられる。勿論木石でない以上私慾や性慾を超越するには相當な悩みもあつたであらうが、彼には更に幾萬倍



第 178 圖

かも知大きな、惱みと憧れを民族の上に持つて居つたのであつた。

此の偉大なる人物の私生活の一端を讀者と共に一瞥して、此の筆を擱き度いと思ふ。

第一七八圖は、此の質素な山莊の全景である。煉瓦壁木造の南獨チロール¹⁾地方からバイエルンの山地にかけてよくある農家の様式であり、屋根は柿葺きで、風雪害を避ける爲の石を置いてゐる。

一國の元首の別荘として如何にも質素な事は一見して明かに看取される。

第一七九圖は、此の内部で、ヒットラーの讀書と思索に耽る書齋である。右手に見えるのは獨逸古來の煖房カミンで

1) Tirol

ある私人の一時である。

第一八二圖は此の山莊のペランダーに、山野の



第 179 圖

ある。

第一八〇圖は食堂であつて、どう踏んでも一寸した豊かな農家の食堂以上とは考へられない。

第一八一

圖は此の山莊の庭に出たヒットラーが、一國の元首の持を脱ぎ捨て獵師達と親しく話して



第 180 圖



第 181 圖



第 182 圖

靜かな景觀に解け込んで山男の服
装に寛ぐヒットラーである。

第一八三圖は、山莊のテレース
に出で愛飼の鹿の子と遊ぶヒット
ラーの姿。



第 185 圖



第 183 圖



第 184 圖

春から秋にかけて、ヒットラーの姿に間近く
接し度い民衆が、此の山莊の入口に集まつて幾
時間も我慢強く待つてゐる。ヒットラーは時々
出て是等の人々を失望させない愛嬌を忘れた

第 186—187 圖



い。 第一八四圖はかゝる狀景である。 山莊の近くの山
男達や農家の青年達は、一國の元首としてのヒットラーで
なく、人間ヒットラーに無限の親しみを感じてゐると云
ふ。 ヒットラーも亦努めて彼等と接し、其の純朴な氣持
ちを心から愛してゐると云ふ。 第一八五圖は此の種の一

場面、田舎の青年が、腕まくりした儘親
しくヒットラーに接する喜びを味はつて
ゐる處、斯くしてヒットラーと民衆は深
く結ばれて行くのである。

ナチスの幹部も亦、黨首に對する愛着
より時々此の山莊を訪れる。 第一八六
圖はゲーリングが訪れてベランダーに寛
いでゐるところ。

第一八七圖はゲッペルスが訪れ、附近
の子供達を集めて菓子と與へてゐる狀景

第 188—189 圖



である。

山莊附近の子供達も遠慮のない親しみを持つてゐて時々訪ねる。子供好きなヒットラーも、彼等の純真さ愛してゐると云ふ。第一八八圖は、少女達が、ヒットラーの署名を貰つて感激してゐるところ。

第一八九圖は幼い農家の子供をあやしてゐるヒットラー。

第一九〇圖は、選ばれて遙々訪ねた少年團の挨拶を受け訓話を與へるヒットラー



第 190 圖



第 191 圖

である。

山莊に於けるヒットラーは一人に歸つて、野や山を歩き廻り身心の休養を計る事もある。是等の時は全く無警戒であると云ふ。

ナチスの幹部や S・S が如何に進言しても斷乎として斥け、自信を持つて自由に振舞つてゐる由で、これが亦却つて民衆に敬愛の情を起させてゐるやうである。誠に彼の如く自信に満ちてゐる人も珍らしいと云はねばならぬ。

第一九一圖は此の一時の狀景であつて、質素な手辨當に一息ついてゐるところである。

此の質素、此の人間愛に溢るゝヒットラーの個性あるが故に、八千萬の民衆は粗食に耐え、過重の勞働に堪え、又戰時に於ては喜んで一身を國家に捧げてゐるのであつて、民衆は單に理論や法律や強壓だけで、自發的に動くものでない事を、擱筆するに當り特に附記して置き度いと思ふ。

(完)

[illegible]

昭和十五年九月二十日 印刷
昭和十五年九月廿八日 發行

定價 二圓五十錢

（印）



東京市世田谷區成城町六五七番地

著者 森 川 覺 三

東京市小石川區駕籠町十二番地

發行兼 印刷者 午 來 丈 助

東京市小石川區駕籠町十二番地

發行所

株式會社

コ ロ ナ 社

振替東京 一四八四四番

電話大塚 (96) 三七八番

六六三三番

電氣工學關係類

有線無線通信工學書類

土木及建築工學書類

機械及金屬工學書類

各種工業學校教科書類

以上各方面の高級書類多數刊行致居候詳細目錄御入用の方には御一報次第贈呈可仕候

東京市小石川區鴛籠町十二番地
振替東京 14844・電話大塚 378・6633

株式
會社

コロナ社



¥ 2.50



